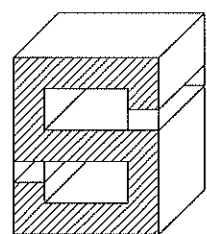


宝達志水武道館改修工事(建築)

竣工図



佐竹建築事務所

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	整理番号	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	整理番号	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	整理番号
A-01	建築工事仕様書 その1		01	A-43	既存・改修 平面詳細図（研修室）	1/50	43	A-85	建具リスト(6)	1/50	85
A-02	建築工事仕様書 その2		02	A-44	既存・改修 展開図（風除室・玄関）	1/100	44	A-86	建具リスト(7)	1/50	86
A-03	建築工事仕様書 その3		03	A-45	既存・改修 展開図（1階ホール）	1/100	45	A-87	建具リスト(8)	1/50	87
A-04	建築工事仕様書 その4		04	A-46	既存・改修 展開図（ｸｰｸ・事務所）	1/100	46				
A-05	建築工事仕様書 その5		05	A-47	既存・改修 展開図（1階便所）	1/50	47	M-01	特記仕様書（機械）		88
A-06	建築工事仕様書 その6		06	A-48	既存・改修 展開図（1階便所・多目的便所）	1/50	48	M-02	特記仕様書（機械）		89
A-07	既存・改修 付近見取図・配置図	1/350	07	A-49	既存・改修 展開図（男子更衣室）共通	1/50	49	M-03	給排水衛生設備 1階平面図(改修前)	1/200	90
A-08	既存・改修 仕上表－(1)		08	A-50	既存・改修 展開図（女子更衣室）共通	1/50	50	M-04	給排水衛生設備 1階平面図(改修後)	1/200	91
A-09	既存・改修 仕上表－(2)		09	A-51	既存・改修 展開図（男女ｼｬｰ室）共通	1/50	51	M-05	給排水衛生設備 2階平面図(改修前)	1/200	92
A-10	既存・改修 仕上表－(3)		10	A-52	既存・改修 展開図（師範室）共通	1/50	52	M-06	給排水衛生設備 2階平面図(改修後)	1/200	93
A-11	既存 1階平面図	1/200	11	A-53	既存・改修 展開図（柔道場）(1)	1/50	53	M-07	給排水衛生設備 1階便所廻り詳細図(改修前・改修後)	1/50	94
A-12	改修 1階平面図	1/200	12	A-54	既存・改修 展開図（柔道場）(2)	1/50	54	M-08	給排水衛生設備 2階便所廻り詳細図(改修前・改修後)	1/50	95
A-13	既存 2階平面図・屋根伏図	1/200	13	A-55	既存・改修 展開図（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室）	1/100	55	M-09	給排水衛生設備 1・2階ｼｬｰ室詳細図(改修前・改修後)	1/50	96
A-14	改修 2階平面図・屋根伏図	1/200	14	A-56	既存・改修 展開図（2階ﾎｰﾙ・ﾐﾆﾃﾞｨﾝｸﾞ室）	1/100	56	M-10	給排水衛生設備 器具表		97
A-15	既存・改修 立面図(1)	1/200	15	A-57	既存・改修 展開図（2階便所）	1/50	57	M-11	給排水衛生設備 撤去器具リスト		98
A-16	既存・改修 立面図(2)	1/200	16	A-58	既存・改修 展開図（2階便所・湯沸室）	1/50	58	M-12	空調換気設備 1階平面図(改修前)	1/200	99
A-17	既存・改修 立面図(3)	1/50	17	A-59	既存・改修 展開図（剣道場）(1)	1/100	59	M-13	空調換気設備 1階平面図(改修後)	1/200	100
A-18	矩計図（柔道場・剣道場）(1)	1/50	18	A-60	既存・改修 展開図（剣道場）(2)	1/100	60	M-14	空調換気設備 2階平面図(改修前)	1/200	101
A-19	矩計図（柔道場・剣道場）(2)	1/50	19	A-61	既存・改修 展開図（研修室）	1/100	61	M-15	空調換気設備 2階平面図(改修後)	1/200	102
A-20	矩計図（玄関・風除室・ﾐﾆﾃﾞｨﾝｸﾞ室）(3)	1/50	20	A-62	既存・改修 展開図（研修室前廊下）	1/100	62	M-16	空調換気設備 機器表		103
A-21	矩計図（ｸｰｸ・研修室）(4)	1/50	21	A-63	既存・改修 平面図（射場・的場）	1/100	63				
A-22	矩計図：既存（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室・研修室）(5)	1/50	22	A-64	既存・改修 平面詳細図（射場）	1/60	64				
A-23	矩計図：改修（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室・研修室）(6)	1/50	23	A-65	既存・改修 矩計図(1)（射場・更衣室）	1/30	65				
A-24	矩計図：改修（内部階段）(7)	1/50	24	A-66	既存・改修 矩計図(2)（審判～洗面湯沸室）	1/30	66				
A-25	外部階段詳細図	1/50	25	A-67	既存・改修 矩計図(3)（射場・控室）	1/30	67				
A-26	バルコニー手摺 平面・立面図	1/10・50	26	A-68	既存・改修 矩計図(4)（的場・看的）	1/30	68				
A-27	屋根伏図	1/200	27	A-69	既存・改修 矩計図(5)（看的）	1/200	69				
A-28	屋根各部断面図（1）	1/7	28	A-70	既存・改修 展開図(1)（通路）	1/200	70				
A-29	屋根各部断面図（2）	1/7	29	A-71	既存・改修 展開図(2)（廊下・ﾏｷﾞﾜﾗ）	1/200	71				
A-30	既存・改修 1階天井伏図	1/200	30	A-72	既存・改修 展開図(3)（射場・審判席）	1/50	72				
A-31	既存・改修 2階天井伏図	1/200	31	A-73	既存・改修 展開図(4)（控室・更衣室・洗面・湯沸室）	1/50	73				
A-32	既存：平面詳細図（1階ﾎｰﾙ・師範室）	1/50	32	A-74	既存・改修 展開図(5)（看的・的場）	1/50・60	74				
A-33	改修：平面詳細図（1階ﾎｰﾙ・師範室）	1/50	33	A-75	既存・改修 平面詳細構造図（的場・看的）	1/100	75				
A-34	既存・改修 平面詳細図（1階便所）	1/50	34	A-76	既存・改修 断面図・断面詳細図（観覧席）	1/30・100	76				
A-35	既存・改修 平面詳細図（ｼｬｰ男女更衣室）	1/50	35	A-77	各部詳細図		77				
A-36	既存：平面詳細図（柔道場）	1/60	36	A-78	改修 1階建具配置図	1/200	78				
A-37	改修：平面詳細図（柔道場）	1/60	37	A-79	改修 2階建具配置図	1/200	79				
A-38	既存：平面詳細図（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室）	1/50	38	A-80	建具リスト(1)	1/50	80				
A-39	改修：平面詳細図（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室）	1/50	39	A-81	建具リスト(2)	1/50	81				
A-40	既存・改修 平面詳細図（2階ﾎｰﾙ・ﾐﾆﾃﾞｨﾝｸﾞ室）	1/50	40	A-82	建具リスト(3)	1/50	82				
A-41	既存・改修 平面詳細図（2階便所）	1/50	41	A-83	建具リスト(4)	1/50	83				
A-42	既存・改修 平面詳細図（剣道場）	1/60	42	A-84	建具リスト(5)	1/50	84				

建築改修工事仕様書

I 工事概要

1. 工事名

宝達志水武道館改修工事

2. 工事場所

羽咋郡宝達志水町今浜地内

3. 工事項目

・ 屋根(鋼板,日本瓦):葺替

・ 防水:塩ビシート貼り

・ 外壁:ひび割,浮き,爆裂等処理の上塗装塗替

・ 建具:カバー工法取替

・ 内装:床・壁・天井等,張替,塗替

・ 外構:スロープ新設,アスファルト舗装

・ 機械設備:和式便器から洋式便器取替,空調設備の取替,新設

別途工事

4. 完成期日

平成 3 0 年 月 日

5. 別契約関連工事

・ 屋外付帯工事

・ 植栽工事

・ 電気設備工事

・ 給排水衛生設備工事

・ 暖房設備工事

・ 冷房設備工事

・ 換気設備工事

・ 空調設備工事

・ エレベーター設備工事

・ 電話設備工事

・ 浄化槽設備工事

・ 合併処理設備工事

II 建築工事仕様

1 共通仕様

1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「改修標仕」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）」（以下「解体共仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「標仕」という。）による。

2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（ / ）図、機械設備工事の工事仕様書は（ / ）図による。

2 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。

4) (別図 . . .) は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。

5) 特記事項に記載の[. . .] 内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「改修標仕」という。）の当該項目、当該図又は当該表を示す。

6) [◎]印は、「図等による環境物品等の調達推進に関する法律」（グリーン購入法）の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

7) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。

8) 斜線で消去した章は適用しない。

章 項 目 特 記 事 項

① 適用基準等

設計図書他に、下記の図書の該当事項を適用する。

・ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版）

・ 建築構造設計基準の資料（国土交通省大臣官房官庁営繕部 平成27年通知）のうち第3章

・ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）

・ 営繕工事電子納品要領（国土交通大臣官房官庁営繕部 平成24年度版）

・ 公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版）

・ 屋根瓦工事共通仕様書（石川県土木部営繕課監修 平成29年版）

・ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修）

・ 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修）

・ 鉄骨構造標準図（石川県土木部営繕課監修）

・ 石川県バリアフリー社会の推進に関する条例（施設整備の手引き）

② 工事実績情報の登録

※ 登録する（但し工事請負代金額500万円以上の工事。）[1.1.4]

③ 発生材の処理

1) 産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。

また、処分に際しては産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。

2) 発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。[1.3.12]

イ) 引渡しを要するもの及び引渡し場所 引渡しを要するもの 引渡し場所

ロ) 特別管理産業廃棄物の有無 有 ◎無

ハ) 特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図面 番 図参照

3) 発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは下記による。

・ 現場で再利用を図るもの

・ 再資源化を図るもの

4) せっこうボードの処理（有害物質非含有のものに限る）[1.3.12]

・ 最終処分

・ 再資源化

5) PCB含有シーリング材 分析調査 する ※しない [1.3.12]

6) 建設リサイクル法第1条に基づく「通知書」及び同法18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無。

・ 有 (CREDASデータディスクを含む)

・ 無

4. 電気保安技術者

⑤ 施工条件

※ 適用する [1.3.3]

[1.3.5]

⑥ 施工調査

施工数量調査 [1.5.2]

調査範囲

調査方法

調査破壊部分の補修方法 [1.5.3]

⑦ 建築材料等

1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。

①「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新年版）」（（社）公共建築協会）によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。

② J I S又は J A Sマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ）からへ）の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用する場合は、監督員の承諾を受ける者とする。

イ) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

ロ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

ハ) 安定的な供給が可能であること。

ニ) 法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。

ホ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

ヘ) 販売保守等の営業体制が整えられていること。

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

2) 請負契約約款第6条の2第6項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出すること。

3) 請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。

※杭 ・ 型枠類 ・ 防水材料 ・ 石材 ・ 木材 但し、杭以外のJIS規格品は除く。

4) 請負契約約款第14条第1項に定める監督員等の立会いのうえ調査等を使用すべき工事材料は次のものとする。 ※高強度コンクリート 試し練り

5) 請負契約約款第14条第3項に定める見本は次のものとする。

・ 金属製品 ・ 合成樹脂製品 ・ 木製建具 ・ 塗装

・ 家具及び家具の金物 ・ 畳 ・ 内外装材料 ・ 屋根材料

なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。

6) 本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないこと。（「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則等の一部を改正する省令の施行等について」（厚生労働省労働基準局長通達平成18年8月）参照）。安全データシート（SDS）等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

※ 技能士 [1, 6, 2]

適用工事種別

技能検定作業

仮設工事 ◎とび作業

鉄筋工事 ・ 鉄筋組立作業

コンクリート工事 ・ 型枠作業 ・ コンクリート圧送工事作業

鉄骨工事 ・ 構造物鉄工作業 ・ とび作業

ブロック・ALCパネル工事 ・ コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業

防水工事 ・ アスファルト防水工事作業 ◎強化ビニル系シート防水工事作業

・ 改質アスファルトシート工法防水工事作業

・ セメント系防水工事作業 ・ FRP防水工事作業

・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ ウレタンゴム塗膜防水工事作業

・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業

石工事 ・ 石材加工作業 ・ 石張り作業 ・ 石積み作業

タイル工事 ・ タイル張り作業

木工事 ・ 大工工事作業

屋根及びとい工事 ◎内外装板金作業 ◎かわらぎ作業

金属工事 ◎銅製地下工事作業 ・ 内外装板金作業

左官工事 ・ 左官作業

建具工事 ◎ビル用サッシ施工作業 ・ 自動ドア施工作業 ◎ガラス工事作業

カーテンウォール工事 ・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業

塗装工事 ◎建築塗装作業

内装工事 ◎ガラス・プラスチック系床仕上げ工事作業

◎カーペット系床仕上げ作業

◎フローリング系床仕上げ作業

◎ボード仕上げ工事作業 ◎塗装（壁紙作業）

排水工事 ・ 建築配管作業

植栽工事 ・ 造園工事作業

⑩ 完成図等

・ 「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢城公園整備工事従事者の認定を受けた者。

※作成する [1.8.1~1.8.3][表1.8.1]

イ) 工事完成図は、製本1部、A3版製本2部提出する。

ロ) CD-R又はDVD-Rに、CADで設計したものはCADデータ、手描きの場合はラスタデータとして記録し、1部提出する。 また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。

※ラスタデータ：画像データでTIF形式、原図大で300dpi密度以上とする。

・ 作成しない

屋外付帯工事実測図 ※提出しない ・ 提出する（1部）

保全に関する資料 ※提出しない ・ 提出する（1部）

保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物の保全の手引き(改訂版)」（（財）建築保全センター）に建物の構造、機器、保安業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。

なお別契約の設備工事等がある場合は、連携の上作成する。

⑪ 工事写真等の記録

1) 工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領（平成28年版）(国土交通省大臣官房官庁営繕部)により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。

各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。

区 分 類 規 格 撮 影 枚 数 部 数

着 工 前 ※カラー ・ ※サービス版 ※10景以上 ※ 1 部

工 事 中 ※カラー ・ ※サービス版 『営繕工事写真撮影要領』による ※ 1 部

完 成 時 ※カラー ・ ※キャビネ版 ・ サービス版 ※10景以上 ※ 1 部

2) 完成写真の撮影 ◎専門業者の撮影（撮影者を明記） ・ 専門業者以外の撮影

3) 原版の使用権を次の者に移譲すること。 ※発注者 ・ 設計者

移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。

4) 中間検査または、監督員の指示により手直しを命ぜられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

⑫ 責任施工

⑬ 工事報告書

⑭ 設備工事との取合い

特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請負人の連帯責任とし、保証書を提出する。工事の進捗度表、作業員の出席報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。

1) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。

2) 設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所等は、下記による。

位置／大きさ 100mm 125mm 150mm 175mm 200mm

補強筋箇所数

梁

壁

床

鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。

軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。

イ) 天井部分 _ _ _ 箇所 ロ) 壁部分 _ _ _ 箇所

他 工 事 と の 取 合 い

建築工事 電気工事 機械工事 備 考

機器の基礎、防油堤、換気扇取付用枠

梁、床、壁貫通部の補強

梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠

外気取付ガラー、床下水槽マンホール蓋

ステンレス流し台等

換気フード、レンジフードファン

取付枠（銅製）とも

天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫

下流し、足湯場の給水、排水、玄関の排水

小機器仕切板（陶器製）、タオル掛（下地共）

洗面所、手洗所等の鏡

ボイラーの煙突

実験台に付属する設備機器

実験台の配管等の接続

埋込み分電盤、端子盤等の壁補強

埋込み分電盤、端子盤等の型枠

天井、壁ボード類の地下補強

簡易間仕切り（内装パネル）内の位置ボックス及び配管の取付

屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎

屋上に設置するテレビアンテナ・避雷針等の設備基礎

配線ビッド及び蓋

照明器具幹線等の吊りボルト用インサート

身体障害者用の手すり

洗濯機用防水パン及びトラップ

F F 暖房機・クーラー等の配管用スリーブ

電話・テレビ等の配線用スリーブ

クーラー取付ボルト用インサート

ユニットバス本体・付属品（シャワー金具・手すり・鏡・照明）

ユニットバス用換気扇

消火器

自動扉、電動S、電動ルーバー、防火設備の開鎖制御機器、感知器

⑮ 設 計 G L

※図示 ・ 設計GL＝現状GL

⑯ 建築基準法に基づき指定する条件

・ 地区の区分に応じた風速（V（m/sec）） 30（県内全域）

・ 地表粗度区分 I ・ II ・ III ・ IV

・ 多雪地域の指定 垂直積雪量 1.0m

改訂 平成14年 4 月 1 日

履歴 平成15年 7 月 1 日

平成15年10月 1 日

平成16年 4 月 1 日

平成17年 4 月 1 日

平成17年 6 月 1 日

平成18年 4 月12日

平成18年 7 月 3 日

平成19年10月 1 日

平成20年 4 月 1 日

平成21年 4 月 1 日

平成21年 8 月 1 日

平成22年 4 月 6 日

平成23年 4 月 1 日

平成24年 4 月 1 日

平成25年 4 月 1 日

平成26年 4 月 1 日

平成27年 4 月 1 日

平成28年 4 月 1 日

平成29年 4 月 1 日

平成29年 7 月 1 日

工事名 宝達志水武道館改修工事

図面番号 A-01

図面名 建築改修工事仕様書 1/6

整理番号 01

設計 佐竹建築事務所

一級建築士事務所 一級建築士

石川県知事登録1303号 第80667号 佐竹 三雄

17	工事現場の掲示板	工事現場には、下記掲示板を設置する。 (記入例) 90cm 上段の地色は、白色 文字は、青色 下段の地色は、青色 文字は、白色 60cm (75cm) 工 事 名 工 期 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日 発注者 (監 修) 石 川 県 土 木 部 営 繕 課 設 計 監 理 施 工 建 築 (業者名を記入する) 電 気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 暖 房 (業者名を記入する) (監 修) 内は、監修を委託した場合。 業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。 監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。 ※根切り掘削完了時 ※主要構造部の配筋 ・型枠の組立て その他監督員が指示するもの。				
18	施工の検査等	監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。 ※根切り掘削完了時 ※主要構造部の配筋 ・型枠の組立て その他監督員が指示するもの。	1. 6. 5			
19	施工の立会い等	請負契約約款第14条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。 ※杭打ち ・コンクリート打 確認及び打込み ・屋外タイル接着力試験 その他監督員等の指示するもの	1. 6. 7			
20	中間検査	中間検査の実施 ※有 ・ 無 実施時期 ※躯体工事完了時 ・	1. 7. 2			
21	公共事業労務調査等に対する協力	・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。 1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 2) 調査票等を提出した事業所が発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。 3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。 4) 対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ・本工事が「建設副産物実態調査」の対象である場合、工事完了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。				
22	保険	工事目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。 ※建設工事保険又は相立保険（工事対象物を全て解体する工事を除く） 加入期間 引渡しまで（引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで）				
23	室内空気汚染対策	室内空気汚染対策の実施 ※実施する ・ 実施しない 1) 測定の有無等 測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 イ) 測定の有無 ※有 ・ 無 ロ) 測定対象室 測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。 内装改修等を行った居室について測定を行う。 ハ) 1室当たりの測定箇所数 室の床面積 A (㎡) 測定箇所数 A ≤ 50 50 < A ≤ 200 200 < A ≤ 500 500 < A 1 2 3 4 全ての測定箇所において、二)の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。 二) 測定対象化学物質及び測定方法 測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンとし、同時に測定する。測定方法は、バッチ型採取機器を用い、国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課長通知（平成24年4月5日 国営整第4号）「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。 ホ) 測定時期 測定は下記の時期に行うものとする。 ① 測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。 ② 別途工事又は家具の設置等が行われる前。 ③ 内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。 ④ 中央式空調設備のように換気を行いながら空調を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。 ヘ) 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置 測定結果が厚生省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。 ト) その他、採取、測定及び分析の方法は、上記二)の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。	1. 6. 9			
		2) 施工中・施工後の通風、換気 接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。 3) 引き渡し前 室内空間中に化学物質を放散するおそれのある建築材料等の使用状況の一覧表を提出する。 4) 揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ)からホ)の事項を満たすものとする。 イ) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ロ) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ハ) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ニ) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ホ) 上記のイ)、ハ)、ニ)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。				
24	名札の着帯	現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。（但し、請負額10百万円以上の工事） 91mm 17mm 55mm 10mm 10mm 10mm 13mm 2mm 42mm 2mm 30mm 2mm 7mm 40mm 8mm 91mm 42mm 30mm 2mm (注意事項) ①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）のとおりとする。 ②顔写真（カラー写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。 ③ケースの寸法は上記①の用紙（台紙）が入る大きさとする。 建設業法第24条の7に該当する施工体制台帳の作成が必要な工事は、当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げておくこと。 次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。 1) バックホウ 2) トラクターショベル 3) 発動発電機 4) 空気圧縮機 5) ローラ類 6) ホイールクレーン 工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までまでに所定の様式により提出することができる。 1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。 3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。 ○行う（「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th>名 称</th></tr><tr><td>営繕工事電子納品要領（平成24年版）</td></tr><tr><td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年版）</td></tr></table> 基準・要領額のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_siryou24.html 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R 又はDVD-Rで1部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4 発注者が行うCALS/EC電子納品に関する調査について協力を行うものとする。 5 工事完成図書の提出の際は、以下の項目を確認するものとする。 1) 電子成果物作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認すること。 入手先 http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_sysv3.html 2) 最新のウイルスチェックソフトで、提出物にウイルスが混合していないことを確認すること。 6 電子納品の媒体は、CD-R 又はDVD-Rを利用することとする。	名 称	営繕工事電子納品要領（平成24年版）	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年版）	
名 称						
営繕工事電子納品要領（平成24年版）						
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年版）						
25	施工体制台帳の作成等	建設業法第24条の7に該当する施工体制台帳の作成が必要な工事は、当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げておくこと。				
26	排出ガス対策型建設機械	次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。 イ) 材料 ・ 鋼板 ・ 亜鉛波形鉄板 ロ) 高さ ①1.8m ・ 2.0m ・ 3.0m ハ) 塗装 ・ する ・ しない ・ 塗装品 ニ) 延長 ① 108.0m				
27	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までまでに所定の様式により提出することができる。				
28	保険の付与及び事故の補償	1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。 3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。				
29	電子納品	○行う（「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th>名 称</th></tr><tr><td>営繕工事電子納品要領（平成24年版）</td></tr><tr><td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年版）</td></tr></table> 基準・要領額のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_siryou24.html 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R 又はDVD-Rで1部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4 発注者が行うCALS/EC電子納品に関する調査について協力を行うものとする。 5 工事完成図書の提出の際は、以下の項目を確認するものとする。 1) 電子成果物作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認すること。 入手先 http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_sysv3.html 2) 最新のウイルスチェックソフトで、提出物にウイルスが混合していないことを確認すること。 6 電子納品の媒体は、CD-R 又はDVD-Rを利用することとする。	名 称	営繕工事電子納品要領（平成24年版）	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年版）	
名 称						
営繕工事電子納品要領（平成24年版）						
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年版）						
30	騒音振動の防止	低騒音（G））、低振動型建設機械を使用する。				
31	隣接建物又は工作物の調査	※行う ・ 行わない				

⑧ 監督員事務所

※設ける
監督員事務所の規模 (m²)
種 別 ・ 1号 ②2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号
面 積 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度
監督職員事務所に設ける備品等
※保護帽 ※安全帯 ※長靴 ※合羽 ※机 ※椅子 ※懐中電灯
※原図大及びA3縮小の設計図面製本各々2部 ・ 書棚 ・ 黒板
・ 寒暖計
⑨ 快適トイレ
(快適トイレ実施要領に基づく)
⑩ 危険物貯蔵所
11. 仮設物撤去他
⑫ 公衆災害防止等

・ 既存建物の一部を使用 ・ 設けない [2.4.1]
・ 快適トイレを設置すること
※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる
快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。
シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。 [2.4.2]
原形復旧の方法・内容 [2.5.1]
建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）及び建設副産物適正処理推進要綱等関係規定を遵守して災害の防止に努めることとする。

③① 一般事項

2. アスファルト防水

3. 改質アスファルトシート防水

④ 合成高分子系
ルフィングシート防水

降雨等に対する養生
改修工法の種類及び工程
1) 防水改修工法の種類
防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水工法の種別
保護防水 ・ P1B ・ P1B1 ・ T1B1 ・ P2A1 ・ P2A ・ M4C ・ P0D ・ P0D1 ・ M4D1 ・ P1E ・ P2E
露出防水
屋内防水
2) アスファルトの種類 ※3種 ・ 4種 [3.2.2][3.3.2]
3) 二重ドレン ・ 設ける (・ P0D工法 ・ P0D1工法) [3.2.5]
4) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4C工法、M4D1工法) ・ 行う [3.2.6]
5) 断熱工法の断熱材の厚さ (mm) ※25 [3.3.2]
断熱材はグリーン購入法における特定調達品目を使用すること
6) 立上り部防水層保護
・ 市販品のれんが、又はれんが形コンクリートブロック (見え隠れ部分)
・ 乾式保護材
7) 仕上げ塗料塗り (C-1、C-3、D-1、D-3、D1-1、D1-2)
※有り (・ シルバー ・ カラー) ・ 使用量は製造所標準仕様
8) 屋上排水溝 ・ 図示 (水勾配は1/200以上とする)
1) 防水改修工法の種類 [3.4.3][表3.4.1~3]
防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水工法の種別
密着工法 ・ M4AS
絶縁工法 ・ M3AS ・ POAS
断熱工法 ・ M3ASI ・ M4ASI ・ POASI
2) 二重ドレン ・ 設ける (・ POAS工法 ・ POASI工法) [3.2.5]
3) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS工法、M4ASI工法) ・ 行う [3.2.6]
4) 断熱工法の断熱材の厚さ (mm) ※25 [3.4.2]
5) 下地に部分的に密着又は接着を行う工法 ※製造所の標準仕様 [3.4.4]
1) 防水改修工法の種類 [3.5.3]
防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水工法の種別
接着工法 ・ POS ・ S4S ・ S3S ・ M4S ・ P1S
機械的固定方法 ・ POS ③S4S ③S3S ・ M4S
断熱工法 ・ POSI ・ S4SI ・ S3SI ・ M4SI
2) 仕上げ塗料塗り (S-F1、S1-F1、S-M1、S1-M1の場合) ・ シルバー ③防水
3) 新規防水層の仕様分類 ・ 非歩行 ・ 軽歩行
4) 断熱材はグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。 ④ [3.5.2]
・ 架橋形発泡ポリウレタン 厚さ ()mm
・ 押出法ポリウレタン 厚さ ()mm
5) PC断熱材部材下地 [3.5.4]
目地処理 (接着工法) ※図示
入隅部の増張り (種別S-F1の場合) ・ 行う (幅 mm程度)
6) 二重ドレイン (POS、POSI) ※設ける

⑤ウレタン系塗膜防水

⑥ シーリング

⑦ 防水工事の保証

⑧ と い

⑨アルミニウム製笠木

⑩調査
・ 外 壁 改 修 工 事

1) 防水改修工法の種類 [3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1]
防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水層の種別 仕上げ塗料塗り
・ P O X ※ X - 1 ・ X - 2 ・ シルバー
・ L 4 X ・ X - 1 ※ X - 2 ・ カラー
2) 二重ドレン (・ P O X 工法の場合) ・ 設ける [3.2.5]
3) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (L 4 X 工法の場合) ・ 行う [3.2.6]
1) 改修方法の種類 [3.1.4][表3.1.2][3.7.4~7]
改修方法の種類 施 工 箇 所
③シーリング充填工法 建具廻り、水切廻り
③シーリング再充填工法 打樁、建具廻り、水切廻り
・ 拡張シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
2) ボンドブレード張り及びエッジング材張り (ブリッジ工法の場合) ・ 適用する [3.7.7]
3) シーリング材の種類及び施工箇所 [3.7.2][表3.7.1]
下表以外は、改修標準仕様3.7.1を標準とする
施 工 箇 所 シーリング材の種類 (記号)
打樁、建具廻り、水切廻り MS-2、20x10、15x10
4) 接着性試験 ※簡易接着性試験 (対象部位) [3.7.8]
5) 撤去既存シーリングの処理
事前調査等
現場においてサンプルを採取し、専門分析機関で分析を行う。
採取箇所 ※外壁目地 ・ 建具周囲目地 ・ 図示
採取箇所数 ・ 部位が異なる毎に1箇所 ・ 図示
分析により PCB の含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理を行う。
施工調査等
調査範囲 ※今回改修工事範囲全て ・ 図示
調査内容 シーリング使用部位及び長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法
防水工事は責任施工とし、下記による保証書を提出する。
施工箇所 種 別 年 限 施工箇所 種 別 年 限
屋 根 1 0 年
洗面、浴室、便所 5 年
1) 材質 [3.8.2][表3.8.1]
※配管用鋼管 ③硬質塩化ビニル管 (③VP ・ RF-V P) ③G
2) 鋼管製との防露巻き [3.8.3][表3.8.3~4]
※「改修標準」表3.8.4による
3) 防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・ 第三種 ・ 次の箇所は行わない ()
4) たてとい受け金物の取付け [3.8.3]
※図示 ・ 「標準」13.5.3(d) (2)による
1) オープン形式アルミニウム製笠木の種類 [3.9.2][3.9.3][表3.9.1]
種 類 板厚 (mm) 表面処理及び色合い 固定間隔 下地補修
・ 100型 ・ 1.5以上 ※A-1又はB-1種 (無着色) 建築基準法に基づき ※行う (図示)
・ 250型 ・ 1.6以上 B-2種 指定する条件により ・ 行わない
・ 300型 ・ 1.8以上 ・ ブラウン系 施工計画書に定める
・ 350型 ・ 2.0以上 ・ ブラック
・ ステンカラー
2) 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※図示)
3) 板材折曲げ形アルミニウム製笠木の取付方法
笠木の固定金具は「改修標準」3.9.3(b) (1)とし、それ以外の取付方法は図示による。
調査範囲 ※外壁全面 ・ 図示の範囲
・ 既存外壁仕上げ材等撤去後の躯体面 (仕上げ材等撤去範囲) [1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
コンクリート、モルタル及びタイル等のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
また、欠損部の寸法形状等を調査する。
モルタル及びタイルの浮き部分を壁面に表示する。
仕上げ塗材等の劣化部分、はく落部分等を壁面に表示する。
また、既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。
調査報告書の部数 ※2部
可とう性エポキシ樹脂 [4.2.2]
項目 引張り強さ (N/mm²) 伸び (%) 引張り接着性
最大引張り応力 (N/mm)² 破断時の伸び (%)
常温特性 1.0以上 30.0以上 1.0以上 10.0以上
低温性 1.0以上 30.0以上
加熱変化 1.0以上 30.0以上
比 重 表示値：±0.10
押出し性 60秒 以下
スランプ 3.0mm 以下
加熱減重 5.0% 以下
その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2) 対象とする被着体を浸さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
3) 常温常湿 (温度5℃~35℃、湿度45%~85%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。

④-1 外壁改修工事共通事項

④-2 コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事

④-3 欠損部改修工法

ポリマーセメントモルタル [4.2.2]
項 目 曲げ強さ (N/mm²) 圧縮強さ (N/mm²) 接着強さ (N/mm²)
標準時 湿潤時 低温時
性 能 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上
表面状態 だれの下がり量は5mm以内かつ、ひび割れの発生がないこと。
透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
その他 ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エポキシは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。
バテ状エポキシ樹脂 [4.2.2]
項 目 初期硬化性 (N/mm²) 接着強さ (N/mm²) 圧縮強さ (N/mm²) 曲げ強さ (N/mm²) 硬化収縮率 (%)
品 質 標準：2.0以上 標準：6.0以上 60.0以上 30.0以上 3.0以下
その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2) 対象とする被着体を浸さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
3) 常温常湿 (温度5℃~35℃、湿度15%~85%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。
試験方法はJIS A6024 (建築補修用注入材 樹脂) に準ずる。
エポキシ樹脂モルタル [4.2.2]
項 目 接着強さ (N/mm²) 圧縮強さ (N/mm²) 曲げ強さ (N/mm²)
品 質 1.0以上 20.0以上 10.0以上
その他 1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。
2) 形状に異常がなく、だれが生じない。
3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
4) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
5) 常温常湿 (温度20±1.5℃、湿度65±20%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後にあっても、品質・性能の各項目に適合していること。
ポリマーセメントスラリー [4.2.2]
項目 注 入 性 保水性 (保水係数) 長 さ 変化率 (収縮) (%) 引張り 接着性 (28日材齢) (28日材齢) 曲げ性能 (28日材齢) 吸水性 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)
広がり 速度 (cm/s) 粘調整 (粘調整係数) 3 0.05~ 0.35~ 0.5 以下 0.5 以上 5.0 以上 以下 以上
品質 3 0.05~ 1.00 0.55 以下 0.5 以上 15 以下 5.0 以上
吸着調整材 [4.2.2]
項 目 全固分 (%) 吸水量 (g) 接着強度 (N/mm²) 界面破断率 (%)
品質・性能 表示値±1%以内 30分間で1g以下 0.98以上 50以下
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
既製調合モルタル [4.2.2]
項 目 保水率 (%) 単位容積質量 (kg/l) 接着強さ (N/mm²) 長さ変化率 (%) 曲げ強さ (N/mm²)
標準時 湿潤後 破断後
品質・性能 70.0以上 1.8以上 0.6以上 0.4以上 0.2以下 4.0以上
④-1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4]
注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0以下 ※200~300 ※
・ 樹脂注入工法
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3以下 ※50~100 ※40
0.3超え~0.5以下 ※100~200 ※70
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5超え~1.0以下 ※150~250 ※130
・ 注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度形又は中粘度形)
検査 (コア抜取り) [4.3.4]
※行わない
・ 行う 抜取り部の補修方法
※充填工法 (・ ポリマーセメントモルタル ・ ポリマーセメントモルタル) [4.3.7]
④-2 Uカットシーリング材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]
充填材料 種 別 備 考
④シーリング材 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う
・ ポリウレタン系シーリング材
・ 可とう性エポキシ樹脂 4-1-2項改修使用材料による。
・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
シーリング材料
・ バテ状エポキシ樹脂 (4-1-2項 改修使用材料による)
・ 可とう性エポキシ樹脂 (4-1-2項 改修使用材料による)
※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
充填材料
・ エポキシ樹脂モルタル (4-1-2項 改修使用材料による)
④ポリマーセメントモルタル (4-1-2項 改修使用材料による)
設 計 工事名 宝達志水武道館改修工事 図面番号 A-03
④ 佐竹建築事務所 一般建築士 一般建築士 図面名 建築改修工事仕様書 3/6 03
一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 第80667号 佐竹三雄

[illegible]

⑥ガラス

ガラスの厚さ・構成等については建具表により、その他ガラス性能等は下記による。[5.13.2]
・合わせガラス
特性による種類 ※Ⅱ－Ⅰ類 (JIS R 3205)

○強化ガラス
材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類 (JIS R 3206)
※フロート強化ガラス Ⅲ類 (曲面はⅠ類)
・型板強化ガラス
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調
※熱線吸収フロート板ガラス 2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・グリーン
○複層ガラス
種 類 断熱性、日射遮へい性による区分
・断熱複層ガラス ※U3-1 ・U3-2 ・U1 ・U2
・日射熱遮へい複層ガラス ・E4 ・E5
・熱線反射板ガラス
品 種 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 色 調 映像調整
※熱線反射ガラス ※内面 ・外面 ・フロート板ガラス ・ブルー ※行わない
・高性能熱線反射 内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・グレー ・行方
ガラス ・強化ガラス ・ブロンズ
・強化ガラス ・倍強度ガラス ・シルバー
・倍強度ガラス
材料板ガラスによる種類の名称 色 調
※ フロート倍強度ガラス
・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ
[5.13.2][表3.7.1]
建具の種類 種 類
アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket (F I X部はシーリング材)
鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材
ステンレス製 ※シーリング材
板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.13.3]
※「改修標仕」表5.13.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能
値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
ガラスブロック [5.13.5]
寸法 (mm) 表面形状 性能等
呼び寸法 厚さ 色 調 パターン 防火性能 耐火性能
※クリア ・ ※無し ・ ※無し ・
壁用金属枠及び補強材 [5.13.5]
壁用金属枠の種類 規格及び補強材等
※アルミニウム製 ※改修共仕5.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・
化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 [5.13.5]
シーリング材料
下表以外は改修標仕表3.7.1による [5.13.5][3.7.2][表3.7.1]
被着体の組合せ シーリング材の種類
記号 主成分による区分 耐久性による区分
ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの
又は、認定を受けた条件による。
名 称 種 類 張り面 性能値
※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 D1
品質 JIS A5759による

⑦ガラス留め材

⑧ガラス溝

19. ガラスブロック積み

⑨ガラス用フィルム

⑥① 床改修一般事項 [6.2.2]
1) エ 法
(1) ビニル床シート等の除去
※仕上げ材のみ (接着剤とも)
・下地モルタルとも (※図示の範囲 ・除去範囲全て)
合成樹脂塗り床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒工法
(2) 改修後の床清掃範囲 ※改修箇所の室内
2) 新設壁下地 ・木製壁下地 ○軽量鉄骨壁下地 [6.1.4]
1) エ 法 [6.1.3][6.4.1]
(1) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修
※既存のまま
・図示の範囲
2) 新設天井下地 ・木製天井下地 ○軽量鉄骨天井下地 [6.1.4]

③ 天井改修一般事項

⑥② 内装改修工事

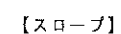
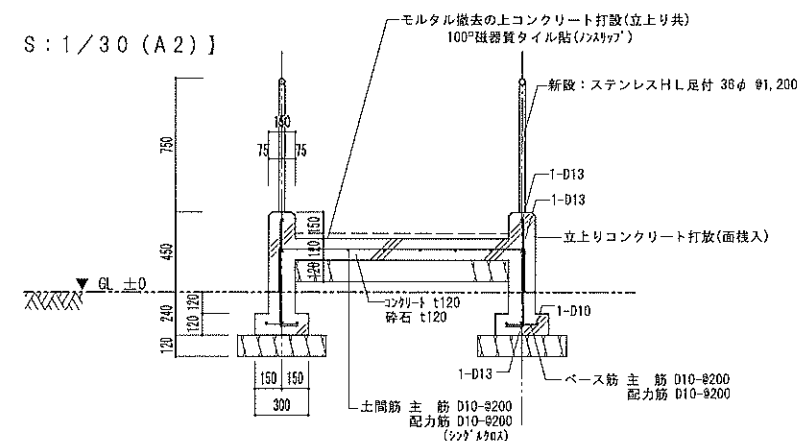
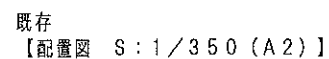
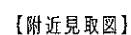
⑥③ 内装改修工事

④ビニル床シート張り [G]
5. ビニル床シート張り [G]
⑥接着剤
6・内装改修工事
⑦床板張り用合板等 [G]
8. 合成樹脂塗り床
⑨フローリング張り [G]
⑩畳敷き
⑪カーペット敷き [G]

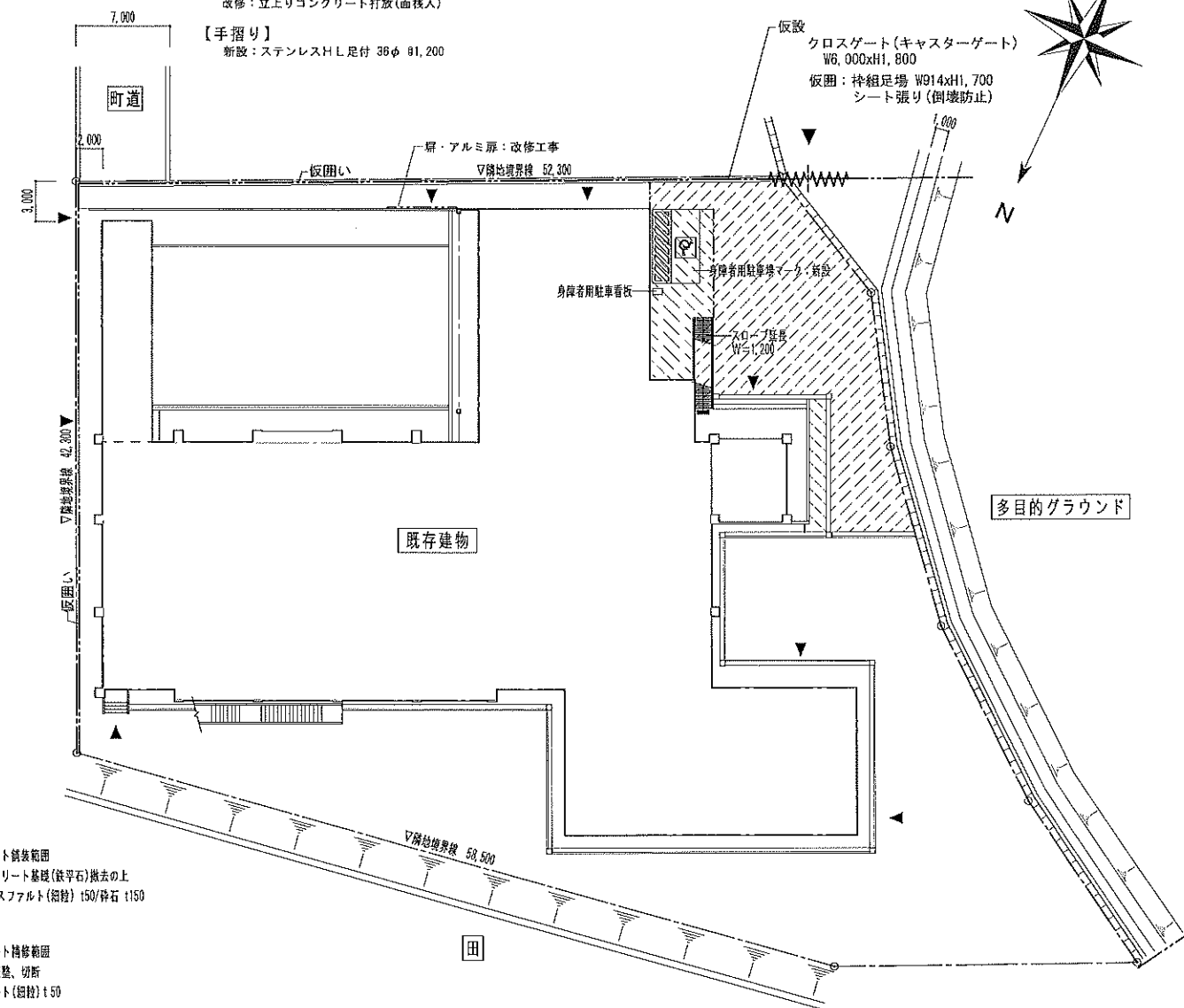
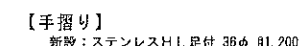
材料 [6.8.2]
種 類 JISの記号 色 柄 厚さ・高さ (mm)
※発泡層のないもの ※F S ・ ※無地 ○マーブル柄 ※2.0 ○2.5
・発泡層のあるもの ・H S ※柄物 ・無地
・
・
○ビニル幅木 ※60
工法 ※熱溶接工法 ・突付け (施工箇所:) [6.8.3]
材料 [6.8.2]
種 類 JISの記号 厚さ・高さ (mm)
※コンポジションビニル床タイル (半硬質) K T ※2
・複層ビニル床タイル F T
・ビニル幅木 ※60
視覚障がい者用床タイル
※強化ビニル系 ※300×300 ブロックパターンは
・磁器又はセラミックタイル JIS T 9251による
帯電防止床タイル
種 類 厚さ 性 能
・コンポジションビニル床タイル ※2.0 体積抵抗値 (JIS K 6911による)
・ホモニアスビニル床タイル ※4.0又は4.5 1.0×10⁹Ω以下、または、
・ 漏えい抵抗値 (JIS A 1454による)
1.0×10¹⁰Ω未満
本工事に使用する接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性とする。 [6.5.3、4][6.8.2][6.9.3]
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種 [6.11.4、5][6.13.2][6.14.2][6.16.4]
ホルムアルデヒドの放散量 [6.5.2]
※規制対象外 ・第三種
下張り用床板及び畳下床板の材料 [6.5.2][表6.5.10]
使用区分 材 料 厚さ (mm)
下張り用床板の材料 ※合 板 [G] ※12
畳下床板 ・パーティクルボード [G]
・繊維板 (MDF) [G]
種 別 仕上げる種類
厚 型 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材 ※薄膜流し展べ工法 (※平滑 ・防滑)
・厚膜流し展べ工法 (※平滑 ・防滑)
・樹脂モルタル工法 (※平滑 ・防滑)
薄 型 ・エポキシ樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ
材料、工法 [6.11.2]～[6.11.6][表6.11.1]～[表6.11.5]
品 名 樹 種 エ 法 厚さ (mm) 大きさ寸法 (mm) 種 別
○フローリングボード ※なら ○釘留め工法 (根太張) ○15 ○巾75 長さ500以上
・12以上 ・巾75 長さ300以上
・フローリングボード ・ひのき ・
・モザイクボード ・ぶな ・
・複合フローリング ・8以上 ・巾75 長さ900以上
・A種・B種※C種
材 料 [6.12.2][表6.5.8][表6.12.1]
下地の種類 畳の種類
「改修標仕」表6.5.8による床組 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床・)
・タタミ・畳床下地 ※C種 ・D種 (畳床・)
○表替:和紙表 (大建工業同等品)
材 料 [6.9.2][6.9.3]
防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されたものとする。
・機じゅうたん [6.9.3][表6.9.1]
織り方 種別 バイル形状 色 柄 帯電圧
・タタミカーペット ・A種 ・カットバイル ※単一色 (無地) 人体帯電圧
・タタミカーペット ・B種 ・ループバイル ・柄物 (標準色) ※3kV以下
・タタミカーペット ・C種 ・カット、ループ併用 ・
・タフテッドカーペット [6.9.3][表6.9.2]
バイル形状 バイル長 (mm) エ 法 帯電性
・カットバイル ※5～7 ・ ※全面接着工法 人体帯電圧
・ループバイル ※4～6 ・ ・グリッパー工法 ※3kV以下
・レベルループバイル ※4 ・
・カット、ループ併用 ・
○タイルカーペット [6.9.3]
種別 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 帯電性
※第一種 ※ループバイル ※500×500 ※6.5 ○7.0 人体帯電圧
・第二種 ・カットバイル ・ ※3kV以下
・カット/ループバイル

②木下地等 [G]
1) 県産材の使用 [6.5.2]
能登ヒバ、杉は、県産材とし、代用樹種は認めない
2) 木材の品質 ※「改修標仕」6.5.2による ・市販品
保存処理木材の適用箇所は「改修標仕」6.5.6(a)(2)による [6.5.2][表6.5.2][表6.5.3]
樹種
土台、水掛り枠類 見え掛り部分 見え隠れ部分 備 考
下地材 (柱等を含む) ・檜・能登ヒバ・草楓 ・松 ・檜 ・杉 ○米松 ○杉
造作材 ・檜・能登ヒバ・草楓 ・松 ・檜 ・杉 ○米松 ・能登ヒバ ・ラワン無節 ・ラワン材
防虫処理
板 材 ・
代用樹種 (県産材を除く) ※「改修標仕」表6.5.4による [6.5.2][表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所 ()
3) 集成材 [6.5.2][表6.5.1]
造作用集成材
品 名 見付け材面の品質 樹 種 名
※1等 ・2等 ※たも ・なら ・しおじ ・
化粧ばり造作用集成材
品 名 見付け材面の品質 化粧薄板樹種名 化粧薄板の厚さ (mm)
※1等 ・2等
造作用単板積層材
品 名 表面の品質 防虫処理
・天然化木化粧
・塗装加工あり ・化粧加工なし (等) ・する
・しない
4) 防腐・防蟻処理 [6.5.5]
防腐処理 ・薬剤加圧注入 ・薬剤塗布 (適用範囲)
防蟻処理 ・薬剤加圧注入 ・薬剤塗布 (適用範囲)
防腐・防蟻剤は、クロルピリホス等含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類
及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。
防腐・防蟻処理の方法
現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を
塗布することとする。
5) 防虫処理 [6.5.5]
ラワン材を使用する場合は、「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1
の防虫処理を行う。
6) 県産材使用証明 [G] [6.5.2]
木材及び合板等は、品質や出荷量等を記録した出荷証明書を提出する。
また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者 (資材の
発注者) は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法
木材証明書」及び「納品書」 (合法木材団体認定番号及び産地名が (石川県産) と明記さ
れたもの) を監督員に提出するものとする。
1) 形式及び寸法 ダブル野縁 ・ mm [6.6.3]
ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を1.2.2
【施工計画書】による品質計画で定める。 [6.6.4]
2) エ 法
引抜き試験 ・適用する ・適用しない [6.6.4]
屋外の場合の試験
荷重 ・400N
箇所数 ・当該階において3箇所程度 ・図示 [6.6.4]
天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・行う 補強箇所 ※ 図示 ・
補強方法 ※ 図示 ・
1) 形式及び寸法 [6.7.3][表6.7.1]
スタッド、ランナーの種類 ・50形 ・65形 ○90形 ・100形
※スタッドの高さによる区分に応じた種類
[6.13.2][表6.13.1]
種 類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等
・硬質毛セメント板 [G] HW ・15 ・20 ・25 再生の木質材又は植物繊維の
・普通毛セメント板 [G] NW ・15 ・20 ・25 質量比割合が50%以上であ
・「ゼイアグ」ツツアグボード [G] MDF ・ ること。但し、体積比20%
・パーティクルボード [G] ・ 以下の接着剤、湿和剤等の質
量は除くことが出来る。
○けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2 (無石綿)
○ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ (※9 ・12 ・)
・凹凸タイプ (※12 ・15 ・19 ・)
・ロックウール化粧吸音板
(軒天井用) ※フラットタイプ9 ((個) 不燃)
・凹凸タイプ (※12 ・15) ((個) 不燃)
○せっこうボード GB-R 12.5 (不燃)
(テーパーエッジボード施工箇所は図示)
○不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用)
化粧有 (トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード GB-S 12.5 ((個) 不燃)
・強化せっこうボード GB-F ※12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
・せっこうラスボード GB-L 9.5
○化粧せっこうボード GB-D 9.5 (不燃) 910x455
・メラミン樹脂化粧板 JIS K6903による 厚さ1.2
・難燃合板 [G]
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 [6.13.2][表3.7.1]
※適用する ・適用しない
設 計 ②佐竹建築事務所 工事名 宝達志水武道館改修工事 図面番号 A-05
一級建築士事務所 一級建築士 図面名 建築改修工事仕様書 5/6 図面番号 05
石川県知事登録1303号 第80667号 佐竹三雄

[illegible]



既存：100^φ磁器質タイル(ノズリタイル)撤去
改修：モルタル撤去の上コンクリート打設(立上り共)
100^φ磁器質タイル貼(ノズリタイル)
改修：立上りコンクリート打放(画桟入)



改修
【配置図 S:1/350 (A2)】

特 記 事 項					訂 正 事 項										
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所 長	審 査	係	製 図	一 級 建 築 士 事 務 所 石 川 県 知 事 登 録 1303 号 一 級 建 築 士		佐 竹 建 築 事 務 所 第 80667 号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号
A-07	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 附近見取・配置図	A-2: 1/350 A-3: 1/494.0		1	2	3								07

■外部仕上表（武道館）																			
①	屋 根	既存	銅板横葺(定尺角ハゼ工法)銅板 t 0.4 30分耐火責任施工 玄関屋根 棟カバー共 妻側:天井換気カラーアルミガラリ2ヶ所 屋根・庇:露出防水 コンクリート金ゴテ押え下地、リベットルーフ防水 t 2.0立上り共 責任施工 真中ベンド止めの上、コーキング処理 手摺:カラーアルミ H=600 軒先納め(唐草、軒先水切共)、5/8納め(唐草、水切共)、 棟納め、下り棟納め、壁立上り納め、箕甲納め(雨押さえ、補強共) 既存笠木脱着、下地清掃の上、塩ビシート防水(平面、立上り)絶縁工法 t 1.5m/m、防水端部変成シリコンシーリング				⑩	ポーチ	既存	床:150角磁器質タイル貼 柱・巾木:ミカゲ石(ジェット工法) 巾木:黒ミカゲH=100本磨き 梁型:コンクリート打放しの上、弾性吹付タイル 天井:アルミスバンドレル t 2.0、幕板:コールテン鋼 t 1.6 床:既存撤去(杉材共)の上、150角磁器質タイル貼替(階段共)、柱:ミカゲ石(立上り)、巾木:黒ミカゲ石H=100(本磨)、浮き割れ、自地処理等補修、梁型天井は外壁仕上に依う 軒裏:既存7/8×5/8撤去の上耐摩耗・GL鋼板 t 0.5mmドム張(追縁共)、幕板:既存撤去の上、耐摩耗・GL鋼板 t 1.0加工、自地シーリング処理 手摺新設:ステンレス足付φ36@1,200									
		改修							改修										
②	外 壁 (庇・見付)	既存	ベニヤ型枠コンクリート打放し打増 t 20補修の上、弾性防水吹付タイル吹付 柱・壁:コーナ部分は面木入り、一部2丁掛磁器質タイル貼 目地:打継目地 ウレタンコーキング処理 バックアップ材入(スリット部分)				⑨	花 壇 (中庭)	既存	自然石積(角)赤土入(水締め)H=400 黒松1本(町木) コブシ1本(町花)他、サツキ密生植込φ450 100株									
		改修	事前調査、ひび割れ、浮き、爆裂、欠損、タイル(浮き、割れ)補修後、ケレン水洗い、下地調整吹付下地(C-2セメントフィラーコテ塗、防水形複層材E吹付) 笠木(梁天端)						改修	既存石積、植栽等全て撤去、スロープ新設W1,200手摺付、身障者駐車場マーク:新設、身障者駐車看板:新設、花壇撤去跡アスファルト舗装:新設部分、補修部分									
③	庇	既存	見付:ベニヤ型枠コンクリート打放し補修の上、弾性防水吹付タイル アルミ笠木(W=300) 庇裏:ベニヤ型枠コンクリート打放し補修の上、アクリルリシン吹付 梁天端:収納庫屋根等:防水モルタル金ゴテ押え ミジン粉入				⑩	犬走り	既存	モルタル金ゴテ押え仕上(目地切)、鉄筋コンクリート t 120 鉄筋タテヨコ共D10@250 敷砂利 t 100									
		改修	事前調査後外壁仕上に依う 外装薄塗材E吹付 梁天端:既存調整ウレタン塗布防水2回塗仕様(立上り共)H=100~150						改修	既存のまま清掃									
④	巾 木	既存	ベニヤ型枠打放し補修H=450				⑪	制 溝	既存	仕上:ベニヤ型枠コンクリート打放し、落蓋付(正面ノミ、グレーチング、フタ付W300)併共、溝下:モルタル金ゴテ押え 鉄筋コンクリート t 120 鉄筋タテヨコ共D10@250 敷砂利 t 100ヒューム管φ250に接続 コーナー:面木入									
		改修	事前調査、ひび割れ、浮き、爆裂、欠損、ケレン、水洗いの上、C2セメントフィラーコテ塗						改修	既存のまま清掃									
⑤	バルコニー	既存	露出防水 コンクリート金ゴテ押え下地、リベットルーフ防水 t 2.5軽歩行(立上り共) 責任施工 アルミ水切り板(既製品)の上コーキング処理 手摺:カラーアルミ H=600				⑫	屋外階段	既存	床:防水モルタルコテ押え 段:ノンスリップタイル(磁器) 立上り:コンクリート打放しの上、弾性吹付タイル 塙裏:コンクリート打放しの上、アクリルリシン吹付 手摺:防水モルタル金ゴテ押えW190									
		改修	下地清掃の上、塩ビシート防水歩行用(平面、立上り)絶縁工法 t 1.5m/m、歩行用シート増張 t 2.5 新設端部変成シリコンシーリング 既存手摺撤去:笠木付手摺(アルミ製)H=850 堅格子付						改修	床・段:既存撤去下地処理の上防水モルタル塗り、ノンスリップタイル取替 手摺:アルミ製、既存のまま 外壁仕上に依う 立上り:外壁仕上に依う 天井、塙裏:庇仕上に依う									
⑥	ルーフトレイン	既存	堅型:φ100 バルコニー:横引φ100 外部階段:中継用ドレインφ100					備 考	既存	天井換気口:各スパ2ヶ所 旗受金物:φ22 タラップステンレスφ42.7-2 L=3,500 1ヶ所(ペランダ) 強化栓受水(3本) 館名文字2,400×800× t 4.0黒ミカゲ									
		改修	改修ドレイン処理						改修	・館名文字:既存撤去、カラスステンレス製取替 7文字(宝達志水武道館) ・整拭マット:既存のまま清掃 ・定礎:既存のまま清掃 ・旗受金物:既設再利用									
⑦	堅 礎	既存	φ100 V P 管 V P 塗 掘み金物(亜鉛メッキ)25×60 P 下部保護管φ150 O P L=1800 玄関部分軒樋 銅 t 0.4 W90クサリ掘真中フック止						改修										
		改修	既存撤去φ100カラーVP取替え、掘み金物(ステンレス製)φ900(西面・南面φ600)、下部保護管φ150再利用 ポーチ部分撤去、硬塩ビ製か軒樋L120、堅礎φ75、掘み金物アルミ製φ450、φ900エルボ付																
※ 石綿含有外壁吹付材撤去:既存塗膜劣化部、剥離部撤去 ・劣化補修部既存塗膜除去の上 ・防水形複層材 E吹付、養生、積込、処分、測定、石綿残量確認、計画書作成、届出者等																			
■内部仕上表																			
階	室 名	既存・改修	床	巾 木	H	腰	壁	天 井	天井高	備 考				室名札	ドア枠	障 幕	点検口		
1	風除室	既存	磁器質タイル張り150角 モルタル下地	黒ミカゲ 本磨き t 100	100		ボーダータイル貼 柱:ミカゲ石(ジェット工法) 巾木:黒ミカゲH=100本磨き 柱・巾木・一部コーナー巾木:補修、修繕 ボーダータイル既存のまま清掃	コンクリート打放しの上、アクリルリシン吹付 木製格子20×50 アルミスバンドレル カラーリブ t 20 木製格子撤去(B下共)、天井・梁型下地処理の上 天井・張:外壁、庇仕上に依う	3,500 - 5,200	・館名文字:既存撤去、カラスステンレス製取替 8文字(宝達志水町武道館)									
		改修	既存のまま清掃 一部剥がれタイル貼替	既存のまま清掃、一部補修、修繕	100														
	玄 関	既存	磁器質タイル張り150角 モルタル下地	テラゾーブロック貼 t 25	100		ビニールクロス貼 モルタル金ゴテ押え	化粧ボード張り t 12.0リブ付300×600 P B t 9.0捨張の上、周囲トラバーチン張	4,100	・スロープ、上框(テラゾーブロック):既存のまま ・掲示板(1,800×900)1ヶ所、(1,200×900)1ヶ所、銘木枠:既存のまま							○		
		改修	既存のまま清掃 一部剥がれタイル貼替 カバ:既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替え t 2.5(重歩)(リブ付タイル)	既存のまま清掃、一部割れ補修	100		既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替	既存下地処理の上、EP塗替	▲										
	クローク	既存	塩ビ長尺シート貼 t 2.3 モルタル金ゴテ下地	▲ ソフト巾木	▲ 75		▲、一部 P B t 12.0	有孔エフジーボードH t 5.0 V P	2,700	・上框(テラゾーブロック):既存のまま ・下足箱:既存のまま 一部小口等ポリ合板張修繕 ・三方枠(テラゾーブロック):既存のまま				○			○		
		改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替え t 2.5(重歩)	既存撤去、貼替	60		▲	既存下地処理の上、EP塗替	▲										
	ホール	既存	塩ビ長尺シート貼 t 2.3 モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木 モルタル金ゴテ押え	▲ 60		▲、一部サンファット張 一部ボーダータイル貼(飾り廻) ▲、タイル既存のまま	P B t 9.0捨張の上、化粧ボード張り t 12.0リブ付 周囲:ニュトラバーチン 300×600	4,000	・飾り廻:既存のまま ・飾り棚銘木等:既存のまま ・ピクチャーレール:既存のまま ・掲示板(1,800×900)1ヶ所、(1,200×900)2ヶ所:既存のまま ・看板(弓道場):既存のまま ・坪庭撤去、自販機コーナー新設							○		
		改修	▲	▲				既存下地処理の上、EP塗替え	▲										
	事務所	既存	▲	▲	75		ビニールクロス貼 モルタル金ゴテ押え	P B t 9.0捨張の上、 化粧石膏ボード張り t 12.0 300×600	2,700	・受付カウンター:既存のまま清掃 ・ブラインド取替:7/8×5/8 W25 W2,200×H2,000 横型操作式 ・流し台取替:W1,200×H800×D550(一槽シンク) ・IH新設:IH台W600×H800×D550 ・吊り廻:既存のまま				○	○				
		改修	▲	▲	60		既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替	既存下地処理の上、EP塗替え	▲										
	機械室	既存	バンデックス防水(ビット床 壁面共)SP 防水モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え			モルタル金ゴテ押え H=1,500	モルタル刷毛引		・消火栓用ビット ・マンホール600φ防水型 ・カマ場1ヶ所(300×300×300):既存のまま				○					
		改修	既存のまま清掃	▲			▲	▲											
	WC(共通)	既存	モザイクタイル貼(t9口)、塩ビ長尺シート貼 t 2.3 モルタル下地(2Fアスファルト防水、立上りH=300共)			100角半磁器質タイル貼 モルタル下地(2階一部、PB下地) 既存タイル撤去の上(杉材共)、下地調整の上(杉材塗)、 一部、LGS下地(W90)防水PB t 12.5(GL工法)、化粧材貼板張 t 5.0	100角半磁器質タイル貼 モルタル下地 既存のまま清掃 B D面:経鉄間仕切W90(5仁ダマニス) 防水PB t 12.5下地、100角半磁器質タイル貼 一部、LGS下地(W90)防水PB t 12.5(GL工法)、ビニールクロス貼	フレキシブルボード t 5.0 目透かし張 V P 既存撤去(LGS共)、LGS下地、 ケイカル板 t 5.0 EP塗	2,600 2,560 2,550	・撤去:スクリーン、衛生器具、T B、スクリーン(アルミ)、洗面台等 ・改修:スクリーン、衛生器具、ボストフォーム、スクリーン(アルミ枠強化ガラス t 4.0)、 洗面台、配管点検口(P S)				○			○		
		改修	既存タイル撤去の上、杉材金ゴテ(リブ付タイル入り) 長尺塩ビシート貼 t 2.5(重歩)	ソフト巾木貼	60														
	多目的WC	既存	塩ビ長尺シート貼 t 2.3 モルタル金ゴテ下地			▲	▲	▲	2,400	・撤去:スクリーン、衛生器具、T B、スクリーン(アルミ)、洗面台等 ・改修:コンパクトトイレ多機能パック、ペーパーシート、ペーパーチェア				○			○		
		改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替え t 2.5(重歩)			▲	▲	▲	▲										
	更衣室(共通)	既存	▲	ソフト巾木	75		一部 P B t 12.0 モルタル金ゴテ押え V P ローラー	有孔エフジーボードH t 5.0 V P	2,700	・ロッカー:一部小口等ポリ合板張修繕				○					
		改修	▲	既存撤去、貼替	60		既存下地処理の上、EP塗替	既存下地処理の上、EP塗替	▲	・掲示板:(800×900)2ヶ所 既存のまま清掃									
	シャワー室 洗面、手洗い	既存	モザイクタイル貼(t9口) モルタル下地(2Fアスファルト防水、立上りH=300共)				100角半磁器質タイル貼 モルタル下地 既存のまま清掃 B D面:経鉄間仕切W90(5仁ダマニス) 防水PB t 12.5下地、100角半磁器質タイル貼 ビニールクロス貼(ジュラク模様) P B t 12.0	バスリブ貼 既存撤去(LGS共)、LGS下地ケイカル板 t 5.0 EP塗	2,600 ▲	・シャワーカーテン:既存撤去、取替(吊金物、レール共) ・脱衣棚:既存撤去、取替メラミンW600×D450×H900 ・ステンレス手洗ひ器:既存のまま磨き清掃							○		
		改修	既存のまま清掃																
	師範室路込 (共通)	既存	塩ビ長尺シート貼 t 2.3 モルタル金ゴテ下地	木製	75		ビニールクロス貼(ジュラク模様) P B t 12.0	杉柵プリント P B t 9.0 目透かし張	2,400	・路板(浜床):既存のまま清掃				○					
		改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替え t 2.5(重歩)	▲	▲		既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替	既存のまま清掃	▲										
	師範室(共通)	既存	タタミ敷き t 60 木下地	タタミ寄せ			ビニールクロス貼(ジュラク模様) モルタル金ゴテ押え 一部 P B t 12.0下地	▲	▲	・長押:既存のまま清掃									
		改修	タタミ取替(表替)	既存のまま清掃	▲		▲	▲	▲										
	押入(共通)	既存	コンパネ t 12.0	雑巾摺り			P B t 12.0	P B t 9.0張	▲	・棚板 ・洋服掛け(ステンレス棒)師範室のみ:既存のまま									
		改修	既存のまま清掃	既存のまま			既存のまま	既存のまま	▲										
	物入(掃除具入)	既存	塩ビ長尺シート貼 t 2.3 モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	75		ビニールクロス貼 P B t 12.0下地	有孔エフジーボードH t 5.0 V P	▲	・ステンレス棒 ・フック5ヶ所 ・棚板:既存のまま				○					
		改修	▲	▲	▲		▲	▲											
特 記 事 項			仕上げ表 表示の既存のまは清掃含む事																
図 面 番 号			工 事 名		図 面 名 称		縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所	整理番号
A-08			宝達志水武道館改修工事		既存・改修 仕上表(1)		A2 S: - A3 S: -	作図 訂正()	1	2	3					第80667号 佐竹三雄		08	

■内部仕上表

階	室 名	既存・改修	床	巾 木	H	腰	壁	天 井	天井高	備 考	室名札	照明器具	暗幕	点検口
1	柔道場	既存	柔道用タタミ、カバ接フローリングt15 特殊貼 捨床板t1t15.0、銅製床組(周囲)、タタミ部分スプリング入	ポリウレタン塗装3回塗 木製壁木 OSCL	120	ラウンt15 縦羽目板張 H=1,800 OSCL 木下地	有孔エフジーボードHt5.0 VP 梁型：ビニールクロス貼(相)モルタル金ゴテ	格天井 有孔エフジーボードHt5.0 VP 周囲：成型吸音板張 イーディケールB 既存下地処理の上、EP塗替 成型吸音板、既存のまま清掃 梁型：モルタル下地、ビニールクロス貼替	4,000 ▲	・収納棚：既存のまま ・看板(柔道場)：既存のまま清掃 ・揭示板(1,800×900)2ヶ所：既存のまま清掃 ・点検口：既存のまま清掃 ・暗幕：既存撤去の上取替、紐引きレール、V30アルミシルバー ・エキスパンゴムカラー：既存撤去取替			○ (取替)	○
		改修	既存フローリング、サンダー掛け(3工程)、ポリウレタン3回塗 既存タタミ隙間補修(タタミ材)	既存のまま清掃	▲	既存のまま清掃	既存下地処理の上、EP塗替	既存下地処理の上、EP塗替	▲	▲				
	用具室(共通)	既存	塩ビ長尺シート貼t2.3 モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	75		モルタル金ゴテ押え VPローラー 一部PBt12.0 VPローラー	ジブトーン張 910×910×t9.0	2,700 ▲	・用具棚：既存のまま	○			
		改修	既存のまま清掃	既存のまま清掃	▲	既存のまま清掃	既存のまま清掃	既存のまま清掃	▲	▲				
	床の間(共通)	既存	タタミ敷き コンパネt12.0	タタミ寄せ			ビニールクロス貼(ジュラク模様) モルタル金ゴテ押え	杉絨プリントPBt9.0 目透かし張	2,400 ▲	・旗下げレール(上下操作付) ・落掛け ・上框 ：既存のまま清掃				
		改修	既存タタミ撤去、取替え	既存のまま清掃			既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替	▲	▲	▲				
トレーニング室 (指導員室)	既存	塩ビ長尺シート貼t2.3 モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	75		ビニールクロス貼 モルタル金ゴテ押え 学校用間仕切	ジブトーン張 910×910	2,700 ▲	・揭示板(1,800×900)：既存のまま		○ 既存の まま			
	改修	既存撤去下地処理の上、タイルカーペット敷 500x500xt6.0	既存撤去	▲	▲	既存撤去	既存撤去	▲	▲					
トレーニング室 (測定室)	既存	▲	▲	▲		▲	▲	▲	・揭示板(1,800×900)2ヶ所：既存のまま		○ 既存の まま			
	改修	▲	既存撤去	▲		既存撤去	既存撤去	▲	▲					
トレーニング室	既存	ニューサニラバーt6.0 ピット内 モルタル金ゴテ押え(一部バンデックス防水)	ソフト巾木	▲		ビニールクロス貼 モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放、岩綿吹付(スラブ梁型) 成型吸音板張 イーディケール貼 既存岩綿吹付のまま、成型吸音板撤去の上 LGS下地、化粧PBt9.5	4,300 5,000	・揭示板(1,800×900)3ヶ所：既存のまま ・行事黒板(1,200×900)1ヶ所：既存のまま	○	○	レール 1ヶ所 既存の まま		
	改修	既存撤去下地処理の上、 タイルカーペット敷500×500×t6.0	既存撤去、貼替	60		既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替	既存撤去下地処理の上、EP塗替	▲	▲					
2	ホール	既存	塩ビ長尺シート貼t2.3 モルタル金ゴテ押え	▲	▲	ビニールクロス貼 モルタル金ゴテ押え	有孔エフジーボードHt5.0 VP	3,500 ▲	・揭示板(1,800×900)：既存のまま清掃 ・踏板(浜床) ：既存のまま清掃				○	
		改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替えt2.5(重歩)	既存撤去、貼替	60	▲	既存下地処理の上、EP塗替	▲	▲					
剣道場	既存	カバ接フローリングt15 捨床板t1t15.0、銅製床組(203)	木製壁木 OSCL	120	ラウンt15 縦羽目板張 H=1,800 OSCL 木下地	有孔エフジーボードHt5.0 VP 梁型：ビニールクロス貼(相)PBt12.0下地	格天井 有孔エフジーボードHt5.0 VP 周囲：成型吸音板張 イーディケールB 梁型：モルタル下地、ビニールクロス貼 既存下地処理の上、EP塗替 成型吸音板張 既存のまま清掃 梁型：既存撤去、下地処理の上、ビニールクロス貼替	4,000 ▲	・収納棚：既存のまま ・看板(柔道場)：既存のまま ・揭示板(1,800×900)2ヶ所：既存のまま、エキスパンゴムカラー：既存撤去取替 ・点検口：既存のまま清掃 ・暗幕：既存撤去の上、紐引レール、V30アルミシルバー ・ライン引：11.0×11.0 W50 立会線含む、外周ライン			○ (取替)	○	
	改修	既存カバ接フローリングt15、サンダー掛け(3工程)、 ポリウレタン2回塗	既存のまま清掃	▲	既存のまま清掃	既存下地処理の上、EP塗替	既存下地処理の上、EP塗替	▲	▲					
ミーティング室	既存	塩ビ長尺シート貼t2.3 モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木	75		ビニールクロス貼 PBt12.0下地、一部モルタル金ゴテ押え下地	化粧石膏ボード張t9.0 300×600 PBt9.0捨張の上	3,000 ▲	・揭示板(1,800×900)2ヶ所：既存のまま ・暗幕：既存撤去の上取替、紐引きレール、V30アルミシルバー	○	○	○ (取替)	○	
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替えt2.5(重歩)	既存撤去貼替	60	▲	既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替	既存下地処理の上、EP塗替	▲	▲					
研修室	既存	タタミ敷き、一部フローリング合板(検)張 コンパネ下地t12.0	タタミ寄せ			ビニールクロス貼(ジュラク模様) PBt12.0下地、一部モルタル金ゴテ押え下地	杉絨プリントPBt9.0 目透かし張	▲ ▲	・揭示板(1,800×900)2ヶ所：既存のまま ・ランマ幕板 ・棟木板敷付75φ ：既存のまま	○			○	
	改修	タタミ取替え(表替)	既存のまま清掃			既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替	既存のまま清掃	▲	▲					
床の間	既存	銘木合板張(ケヤ木)	雑巾摺り(銘木)			▲	杉絨プリントPBt9.0 目透かし張	2,400 ▲	・掛軸受金物 ・落掛 ・上框 ：既存のまま					
	改修	既存のまま清掃	既存のまま清掃			▲	既存のまま清掃	▲	▲					
階 段	既存	塩ビ長尺シート貼t2.3 バックアップ材入 モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木(段巾木共)	75		ビニールクロス貼、モルタル金ゴテ押え 一部、LGS下地、ビニールクロス貼 1階：既存モルタル浮き撤去後(3面)、モルタル金ゴテ、ビニールクロス貼 2階：既存撤去、下地処理の上、ビニールクロス貼替 見切共	有孔エフジーボードHt5.0 VP 既存下地処理の上、EP塗替	3,600 ▲	・笠木：TBブロック190×25：既存のまま ・ステンレスノンスリップ(ゴム3本)：既存のまま ・手摺新設(両サイド、踊り場)：樹脂製φ40ブラケット付					
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替えt2.5(重歩)	既存撤去、貼替(稲妻)	60			既存下地処理の上、EP塗替	▲	▲					
廊下(研修室)	既存	▲	▲	▲		▲	杉絨プリントPBt9.0 目透かし張	3,000 ▲	・飾り棚：既存のまま清掃 ・坪庭、踏石、踏台(浜床)：既存のまま清掃 ・揭示板(1,800×900)1ヶ所：既存のまま					
	改修	▲	既存撤去、貼替	60		▲	既存のまま清掃	▲	▲					
湯沸室	既存	塩ビシート貼t2.3 モルタル金ゴテ押え	▲	▲		▲	フレキシブルボードt5.0 目透かし張 VP	2,400 ▲	・流し台、吊棚、レンジフード：既存のまま ・レンジ：撤去 ・換気扇 ・水切(アルミ) ：既存のまま ・IH：新設	○				
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替えt2.5(重歩)	既存撤去、貼替	60		▲	既存下地処理の上、EP塗替	▲	▲					
書 庫	既存	塩ビシート貼t2.3 モルタル金ゴテ押え	▲	▲		▲	ジブトーン張910×910×t9.0	3,400 ▲		○				
	改修	▲	既存撤去、貼替	60		▲	既存のまま	▲	▲					

特 記 事 項	仕上げ表 表示の既存のままは清掃含む事	訂 正 事 項											
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一 級 建 築 士 事 務 所 石川県知事登録1303号	整 理 番 号
A-09	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 仕上表(2)	A2 S: — A3 S: —	作図 訂正()	1	2	3					一 級 建 築 士	09

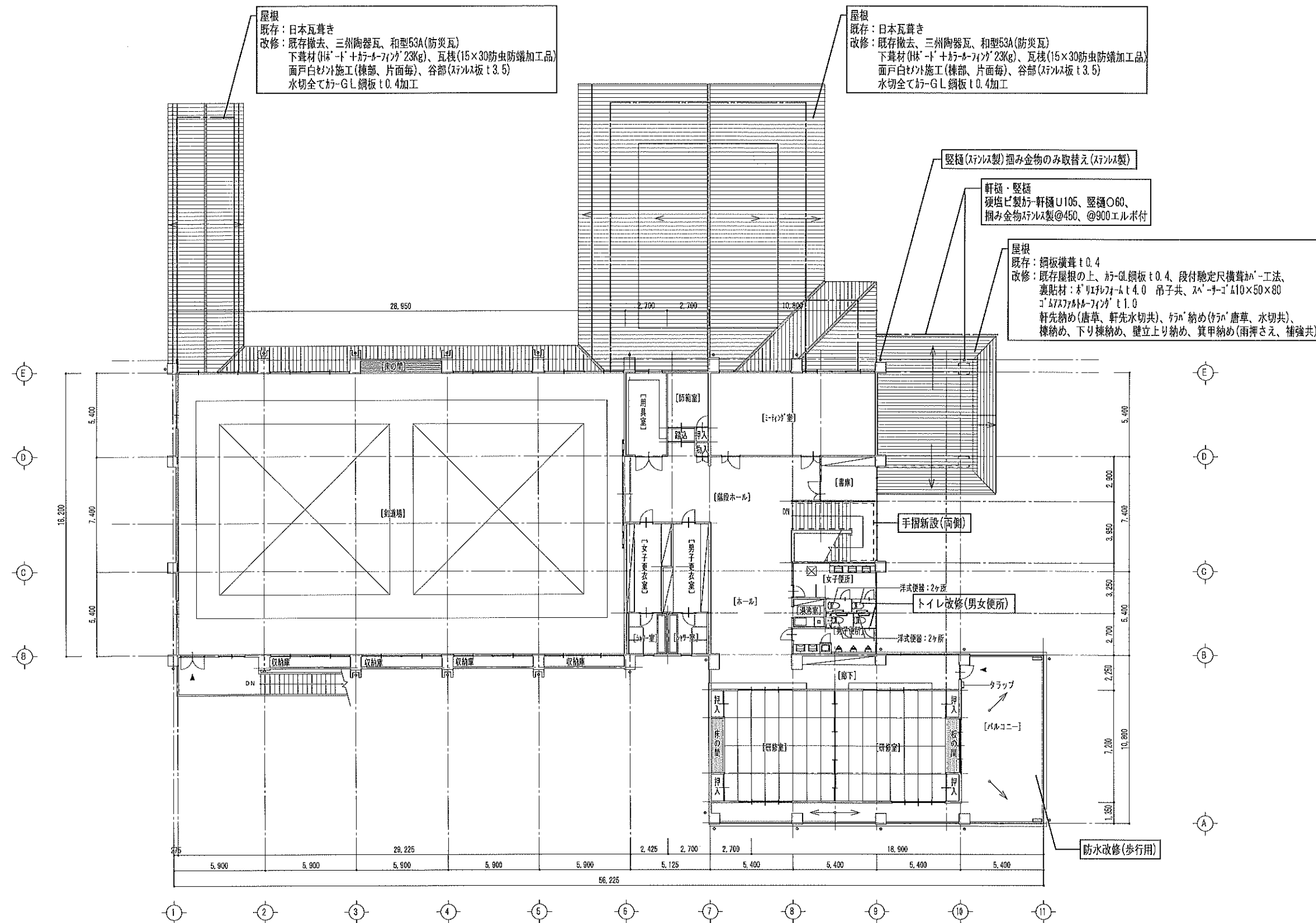
■外部仕上表 (弓道場)

㊦	屋 根	既存	日本瓦葺(銀黒)、雪止め3段、下屋1段、段場2段 逆水止 一文字 アスファルトルーフィング22kg品 野地板T1合板t12.0	㊦	天井換気孔	既存	カラーアルミガラリ(500×500)2ヶ所 軒裏換気口:プラスチック市販品@3,600(200×350)
		改修	日本瓦葺(銀黒、三州陶器瓦同等品)53A(防災瓦)、雪止、一文字、役瓦、既存野地板の上、Hボード+カラールーフィング23kg			改修	既存のまま フード新設:カラーG.L鋼板t0.5加工 W1,300×H700×D200~400網付(スチール製) 骨組:溶融亜鉛メッキ鋼(L-50x50x4.0)
㊧	軒 裏	既存	フレキシブルt5.0VP 破風:アングラス、モルタル下地 弾性吹付タイル 妻側:アルミ格子30×30@600 H=300~1,000	㊧	矢取道・観覧席	既存	モルタル金ゴテ押え 目地切 化粧ブロック4段積 矢取道 U字溝W=200 観覧席W=150
		改修	既存仕上材の上、ケイカル板t5.0増張EP塗、一部既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、ケイカル板t5.0、EP塗			改修	既存のまま
㊨	外 壁	既存	アングラス、モルタル下地 弾性吹付タイル 目地挿入、コーキング詰(ウレタン) アルミ付柱120 加へ外壁:アングラス、モルタル下地、モザイクタイル張	㊨	矢 道	既存	コウライ芝 ベタ張
		改修	武道館仕上に倣う(破風・柱共):射撃棟、看台・的場棟共 アルミ付柱:既存のまま清掃、シーリング打替 加へ外壁:既存撤去(タイル)、既存網張(鉄骨)の上、透湿シート、木屑緑(18×45)、硬質ウレタンフォーム裏打、溶融亜鉛メッキ鋼板下地、小口磁器質タイル貼(タイル同等品)、シーリング処理			改修	既存のまま
㊩	巾 木	既存	玄昌石張300□ H=300、600 的場:モルタル刷毛引 天端:モルタル金ゴテ押え	㊩	扉	既存	CBt150 モルタル下地 弾性吹付タイル 笠木:がんぶり角瓦 のぞき窓150□ @1,800 巾木:内部は玄昌石150□ 外部は玄昌石300□で段積
		改修	既存撤去下地処理の上、モルタル刷毛引(目地入り@900×W30)、一部クローク・弓道:モルタル下地、小口磁器質タイル貼			改修	塀外壁(内外共):武道館外壁仕上に倣う 巾木:既存(内外共)撤去の上モルタル刷毛引仕上@900×W30目地入り 笠木:既存かんぶり瓦撤去の上、取替、一部CBt150解体積替後、モルタル下地、防水型履層E吹付、アルミ建具取替 AD/D 【A-8-8参照】
㊪	犬走り	既存	モルタル金ゴテ押え 目地切 排水溝共 グレーチング蓋板W=250	㊪	建 具	既存	カラーアルミサッシ 格子 カラー 30×30@60
		改修	既存のまま、一部モルタル目荒し(ワイヤーメッシュ入)下地処理の上、モルタル金ゴテ仕上げ(射場前土間)			改修	カラーアルミサッシ:既存撤去カバー工法取替 格子 カラー:脱着再取付
㊫	樋	既存	軒樋:銅板t0.35 φ105 縦樋:銅板φ60 掴み金物 真中φ105、φ60	㊫			
		改修	既存撤去、軒樋:カラー硬塩ビL120、縦樋:カラー硬塩ビφ60、掴み金物:ステンレス製、軒樋@300、縦樋@900				
㊬	床下換気孔	既存	亜鉛メッキグレーチング105×400 6ヶ所	㊬			
		改修	既存のまま清掃				

■ 内部仕上表

[illegible]

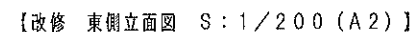
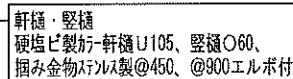
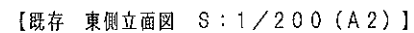
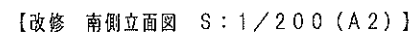
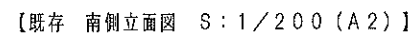
特 記 事 項					訂 正 事 項										
仕上げ表 表示の既存のままは清掃含む事															
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所 長	審 査	係	製 図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号		佐竹建築事務所	整 理 番 号
A-10	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 仕上表(3)	A2 S: - A3 S: -	作図 訂正()	1	2	3					一級建築士		第80667号 佐竹三雄	10



【改修 2階平面図・屋根伏図 S:1/200 (A2)】

2階床面積：1,001.715㎡

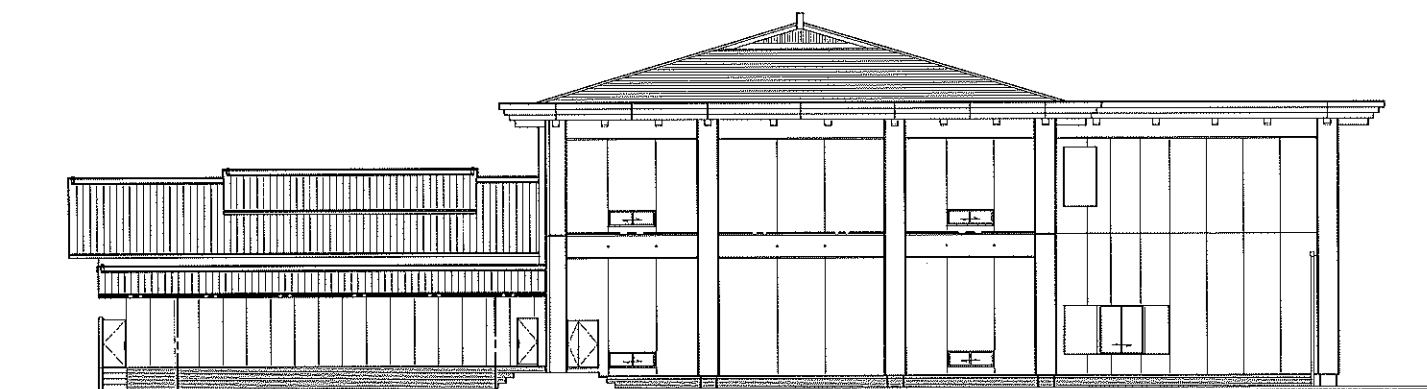
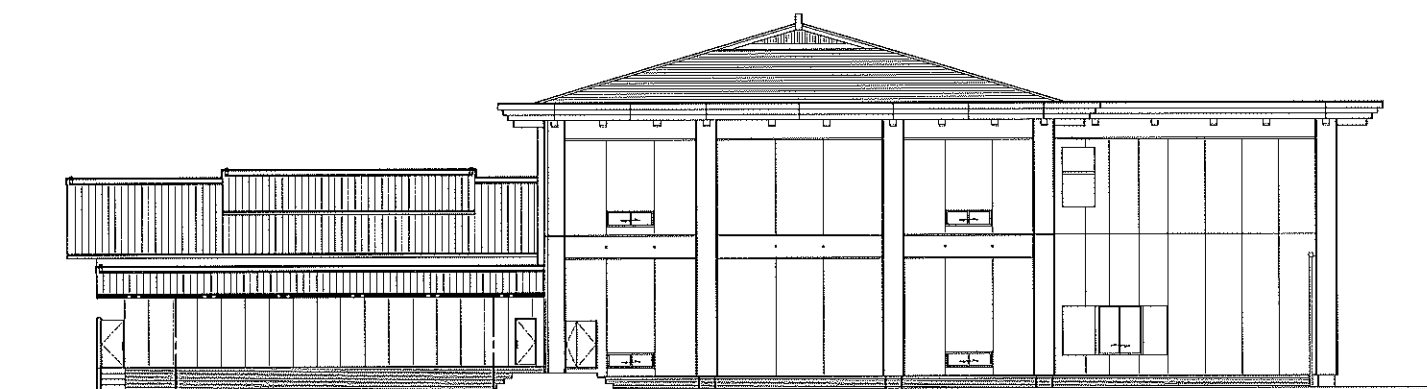
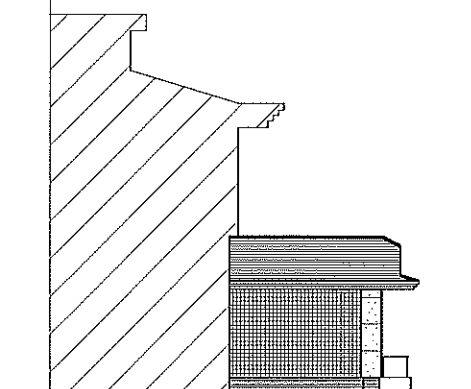
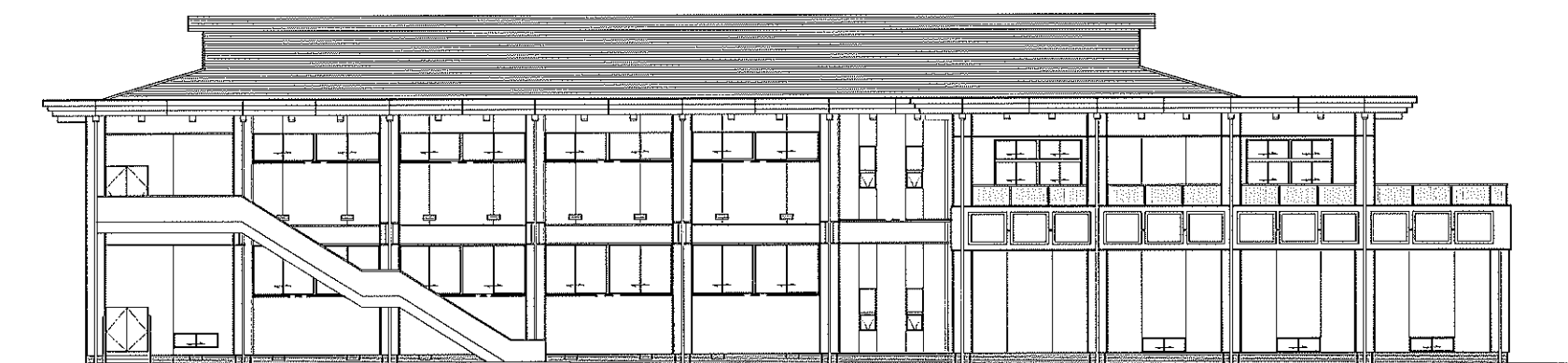
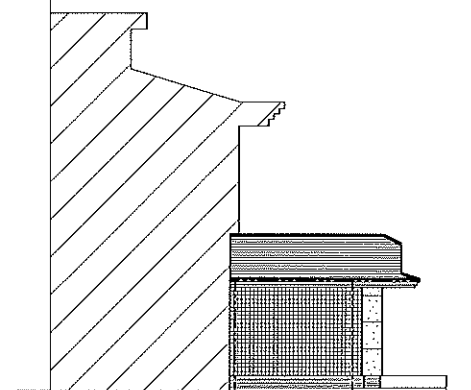
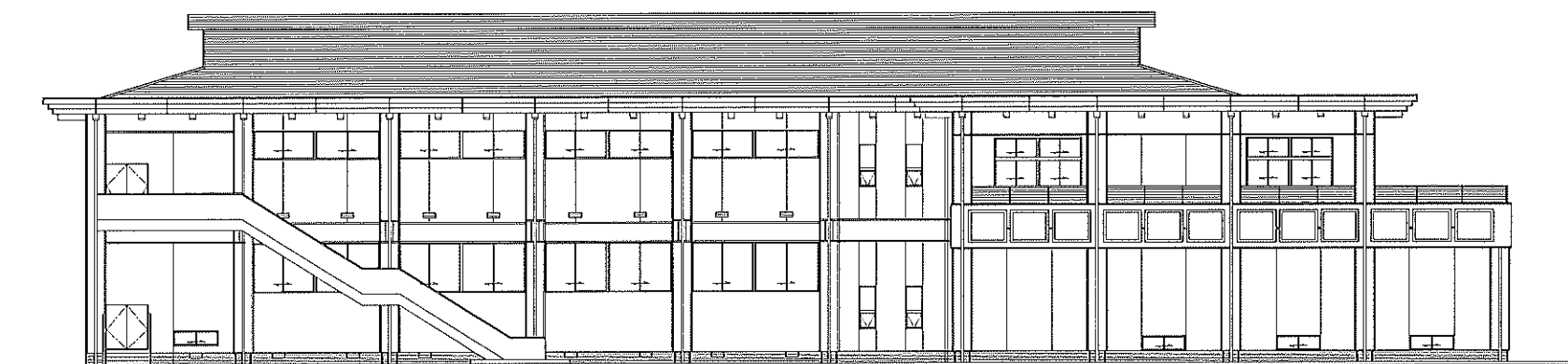
特記事項					訂正事項									
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	 佐竹建築事務所 第80667号 佐竹三雄	整理番号
A-14	宝達志水武道館改修工事	改修 2階平面図・屋根伏図	A-2: 1/200 A-3: 1/282.8		1	2	3							14



①	屋根	既存	銅板横葺(定尺角ハゼ工法)銅板t0.4 30分耐火責任施工 玄関屋根 棟カパー共 妻側:天井換気カラアルミガラリ2ヶ所 屋根・庇:露出防水 コンクリート金ゴテ押え下地、リベットルーフ防水t2.0立上り共 責任施工 真中ベンド止めの上、コーキング処理 外壁鋼板t0.4、既付既定尺横葺工法、裏貼材:タタキ材t4.0 吊子共、木下:タタキt10×50×80 目地シール材t1.0
		改修	軒先納め(唐草、軒先水切共)、瓦納め(瓦、唐草、水切共)、 棟納め、下り棟納め、壁立上り納め、貫甲納め(雨押さえ、補強共) 既存笠木撤去、下地清掃の上、塩ビシート防水(平面、立上り)絶縁工法t1.5mm/㎡ 防水端部変成シリコンシーリング
②	外壁 (庇・見付)	既存	ベニヤ型枠コンクリート打放し打増t20補修の上、弾性防水吹付タイル吹付 柱・壁:コーナー部分は面木入り、一部2丁掛磁器質タイル貼 目地:打増目地 ウレタンコーキング処理 バックアップ材入(スリット部分)
		改修	事前調査、ひび割れ、浮き、爆裂、欠損、タイル(浮き、割れ)補修後、ケレン水洗い、下地調整吹付下地(C-2セメントフィラーコート塗、防水形覆層材E吹付) 笠木(梁天端) ※石縁含有外壁吹付材撤去
③	庇	既存	見付:ベニヤ型枠コンクリート打放し補修の上、弾性防水吹付タイル アルミ笠木(W=300) 庇裏:ベニヤ型枠コンクリート打放し補修の上、アクリルリシン吹付 梁天端:防水モルタル金ゴテ押え ミジン粉入
		改修	事前調査後外壁仕上に倣う 外装薄塗材E吹付 梁天端:既存調整ウレタン塗布防水2回塗仕様(立上り共)H=100~150
④	巾木	既存	ベニヤ型枠打放し補修H=450
		改修	事前調査、ひび割れ、浮き、爆裂、欠損、ケレン、水洗いの上、C2セメントフィラーコート塗
⑤	バルコニー	既存	露出防水 コンクリート金ゴテ押え下地、リベットルーフ防水t2.5経歩行(立上り共) 責任施工 アルミ水切り板(既製品)の上コーキング処理 手摺:カラアルミ H=600
		改修	下地清掃の上、塩ビシート防水歩行用(平面、立上り)絶縁工法t1.5mm/㎡ 防水立上り水切(アルミ)撤去 新設端部変成シリコンシーリング、手摺、笠木撤去新設
⑥	ルーフトレイン	既存	縦型:φ100 バルコニー:横引φ100 外部階段:中樑用ドレーンφ100
		改修	改修ドレーン処理
⑦	縦樋	既存	φ100 V.P管 V.P塗 掴み金物(亜鉛メッキ)25×60P 下部保護管φ150OP L=1800 玄関部分軒樋 銅t0.4 W90ケサリ樋真中フック止
		改修	既存撤去φ100カラV.P取替え、掴み金物(ステンレス製)φ90(西面・南面φ600)、下部保護管φ150再利用 ポーチ部分撤去、硬造じ製鉄-U105、堅礎C60、掴み金物アルミ製φ450、φ900エルボ付
⑧	玄関ポーチ	既存	床:150角磁器質タイル貼 壁面:特殊ポーダータイル貼 柱:ミカゲ石(ジェット工法) 巾木:黒ミカゲH=100本磨き 梁型:コンクリート打放しの上、弾性防水タイル 天井:コンクリート打放しの上、アクリルリシン吹付 アルミ格子20×50 76×36×216 67×216 床:既存撤去(66形共)の上、150角磁器質タイル貼(階段共)、柱:ミカゲ石(タタキ仕上)、巾木:黒ミカゲ石H=100(本磨き)、浮き割れ、目地処理等補修、 梁型天井は外部仕上に倣う
		改修	軒裏:既存76×36撤去の上耐摩材-6L銅板t0.5mm/㎡(張縁線共)、幕板:既存撤去の上、耐摩材-6L銅板t1.0加工、目地シーリング処理 手摺新設:アルミH足付φ36@1,200
⑨	花壇 (中庭)	既存	自然石積(角)赤土入(水締め)H=400 黒松1本(町木) コブシ1本(町花)他、サツキ密生植込φ450 100株
		改修	既存石積、植栽等全て撤去、スロープ新設W1,200手摺付、身障者駐車看板:新設、花壇撤去跡アスファルト舗装、新設部分、補修部分
⑩	犬走り	既存	モルタル金ゴテ押え仕上(目地切)、鉄筋コンクリートt120 鉄筋タテヨコ共D10@250 敷砂利t100
		改修	既存のまま清掃
⑪	側溝	既存	仕上:ベニヤ型枠コンクリート打放し、溝蓋付(正面ノミ、グレーチング、フタ付W300)併共、溝下:モルタル金ゴテ押え 鉄筋コンクリートt120 鉄筋タテヨコ共D10@250 敷砂利t100ヒューム管φ250に接続 コーナー:面木入
		改修	既存のまま清掃
⑫	屋外階段	既存	床:防水モルタルコテ押え 段:ノンスリップタイル(磁器) 立上り:コンクリート打放しの上、弾性吹付タイル 揚裏:コンクリート打放しの上、アクリルリシン吹付 手摺:防水モルタル金ゴテ押えW190
		改修	床・段:既存モルタル撤去、下地処理の上防水モルタル塗、ノンスリップ取替 手摺:アルミ製、外壁仕上に倣う 立上り:外壁仕上に倣う 天井、揚裏:庇仕上に倣う
備考		既存	天井換気口:各スパン2ヶ所 旗受金物:φ22 タラップステンレスφ42.7-2 L=3,500 1ヶ所(ベランダ) 強化栓受水(3本) 銘名文字2,400×800×t4.0黒ミカゲ
		改修	・銘名文字:既存撤去、カラーステンレス製取替了文字(宝達志永武道館) ・乾拭拭取:既存のまま清掃 ・定礎:既存のまま清掃 ・旗受金物:既設再利用

梁天端・壁取合庇
改修：——下地調整±1.0程度
高韌性環境対応型ウレタン塗布
防水2回塗、立上り共H=150

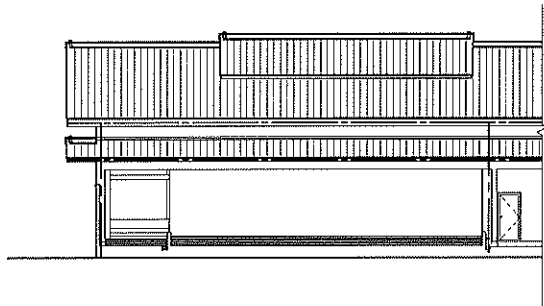
特記事項					訂正事項										
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所 第80667号 佐竹三雄	整理番号
A-15	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 立面図(1)	A-2: 1/200 A-3: 1/282.8		1	2	3								15



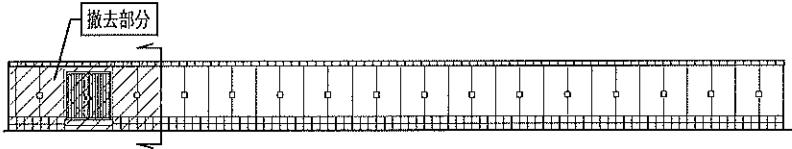
[凡例]

梁天端・壁取合庇
改修：——下地調整 t 1.0 程度
高韌性環境対応型外塗布
防水2回塗、立上り共 t=150

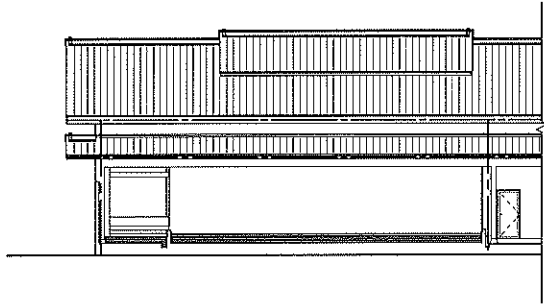
特記事項					訂正事項									
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正			所長	審査	保	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	 佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-16	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 立面図(2)	A-2: 1/200 A-3: 1/282.8		1	2	3							16



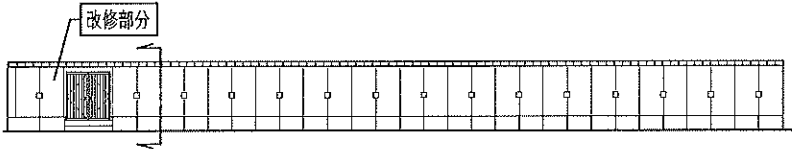
【既存 北側立面図 S：1／200（A2）】



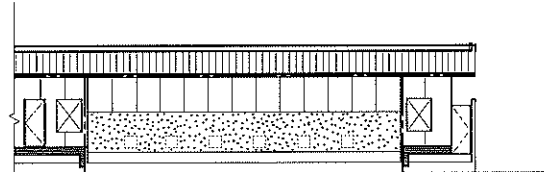
【既存 南側立面図 S：1／200（A2）】



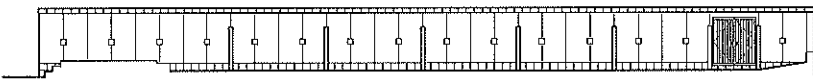
【改修 北側立面図 S：1／200（A2）】



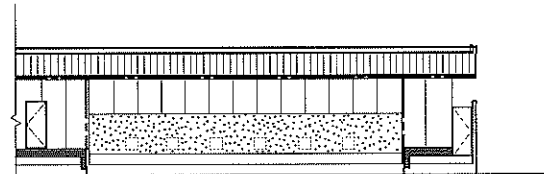
【改修 南側立面図 S：1／200（A2）】



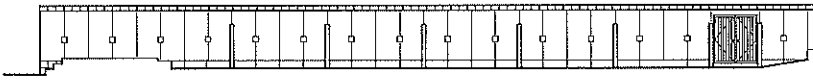
【既存 南側立面図 S：1／200（A2）】



【既存 北側立面図 S：1／200（A2）】



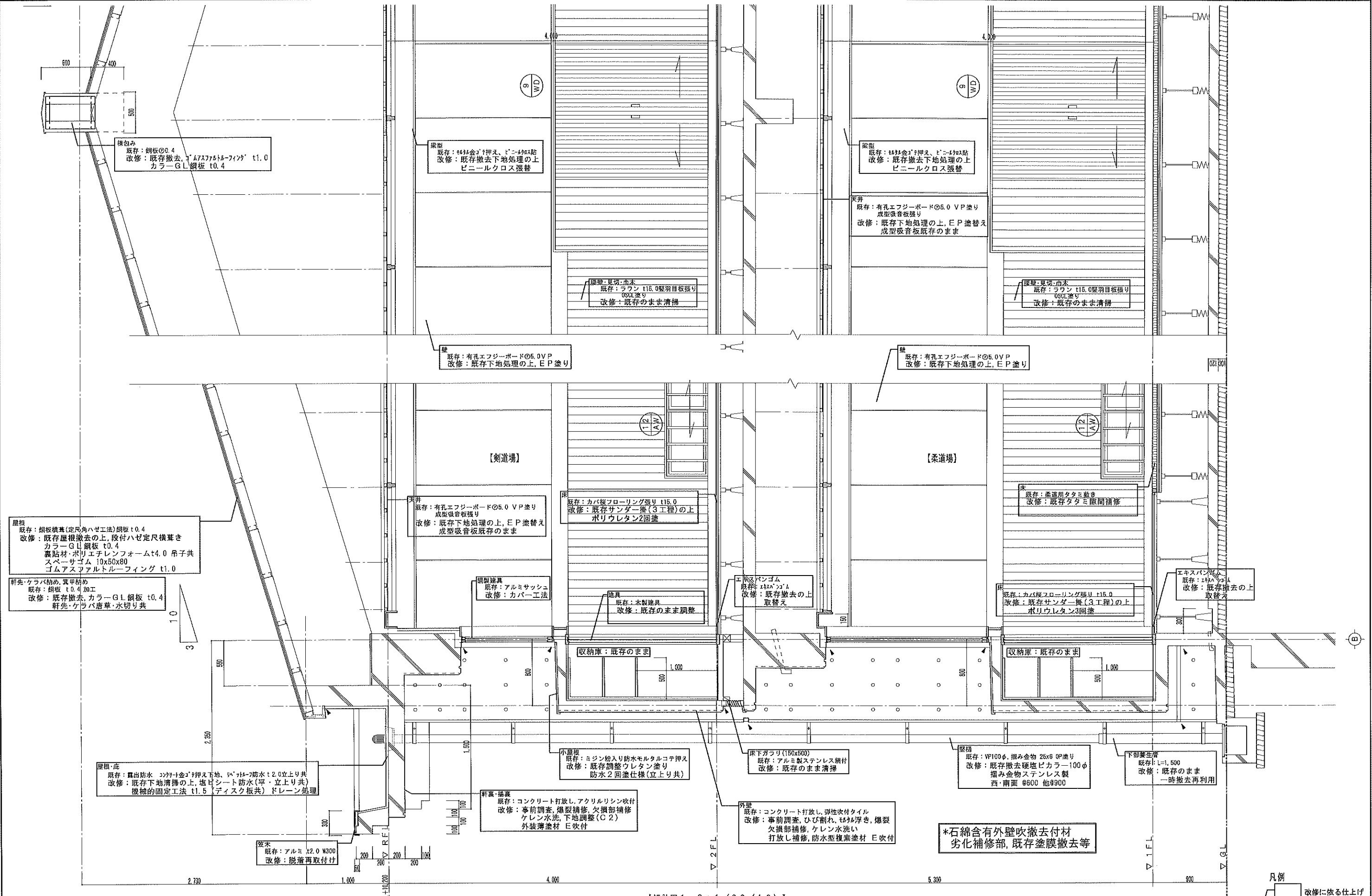
【改修 南側立面図 S：1／200（A2）】



【改修 北側立面図 S：1／200（A2）】

■外部仕上表（弓道場）

㊦	屋 根	既存	日本瓦葺(銀黒)、雪止め3段、下屋1段、段場2段 逆水止 一文字 アスファルトルーフィング22kg品 野地板T1合板t12.0
		改修	日本瓦葺(銀黒、三州陶器瓦同等品)53A(防災瓦)、雪止、一文字、役瓦、既存野地板の上、Hボード+カラールーフィング23kg
㊦	軒 裏	既存	フレキシブルt5.0VP 破風：アングルラス、モルタル下地 弾性吹付タイル 妻側：アルミ格子30×30@600 H=300~1,000
		改修	既存仕上材の上、ケイカル板t5.0増張EP塗、一部既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、ケイカル板t5.0、EP塗
㊦	外 壁	既存	アングルラス、モルタル下地 弾性吹付タイル 目地挿入、コーキング詰(ウレタン) アルミ付柱120
		改修	武道館仕上に徹う(破風・柱共)：射場棟、看的・的場棟共 アルミ付柱：既存のまま清掃、シーリング打替 加へ外壁：既存撤去(サッシ等)、既存網鉄(鉄骨)の上、透湿シート、木隠縁の上(18×45)、硬質ウレタンフォーム裏打、溶融亜鉛メッキ、鋼板下地、小口磁器質タイル貼(タイル同等品)、シーリング処理
㊦	巾 木	既存	玄昌石張300□ H=300、600 的場：モルタル刷毛引 天端：モルタル金ゴテ押え
		改修	既存撤去下地処理の上、モルタル刷毛引(目地入り@900×W30)、一部クローク・弓道：モルタル下地、小口磁器質タイル貼
㊦	大走り	既存	モルタル金ゴテ押え 目地切 排水溝共 グレーチング蓋版W=250
		改修	既存のまま、一部モルタル目直し(ワイヤーメッシュ入)下地処理の上、モルタル金ゴテ仕上げ(射場前土間)
㊦	樋	既存	軒樋：銅板t0.35 φ105 縦樋：銅板φ60 掴み金物 真中φ105、φ60
		改修	既存撤去、軒樋：カラー硬塩ビU105、縦樋：カラー硬塩ビφ60、掴み金物：ステンレス製、軒樋@300、縦樋@900
㊦	床下換気孔	既存	亜鉛メッキグレーチング105×400 6ヶ所
		改修	既存のまま清掃
㊦	天井換気孔	既存	カラーアルミガラリ(500×500)2ヶ所 軒裏換気口：プラスチック市販品@3,600(200×350)
		改修	既存のまま フード新設：カラーG.L.鋼板t0.5加工 W1,300×H700×D200~400網付(スチール製) 下地7mm溶融亜鉛メッキ鋼材 既存格子枠撤去処理
㊦	矢取道・観覧席	既存	モルタル金ゴテ押え 目地切 化粧ブロック4段積 矢取道 U字溝W=200 観覧席W=150
		改修	既存のまま
㊦	矢 道	既存	コウライ芝 ベタ張
		改修	既存のまま
㊦	塀	既存	CBt150 モルタル下地 弾性吹付タイル 笠木：がんぶり角瓦 のぞき窓150□ @1,800 巾木：内部は玄昌石150□ 外部は玄昌石300□で段積
		改修	塀外壁(内外共)：武道館外壁仕上に徹う 巾木：既存(内外共)撤去の上モルタル刷毛引仕上@900×W30目地入り 笠木：既存がんぶり瓦撤去の上、取替、一部CBt150解体積替後、モルタル下地、防水型複層E吹付、アルミ建具取替 AD/D 【A-88参照】
㊦	建 具	既存	カラーアルミサッシ 格子 カラー 30×30@60
		改修	カラーアルミサッシ：既存撤去カバー工法取替 格子 カラー：脱着再取付
備 考		・看的表示板BOX撤去：2ヶ所 ・軒裏換気口：ケイカル板増張のため、換気口周囲、塩ビ廻縁にて処理	



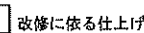
特記事項					訂正事項					図面番号				
▶ 印 シーリング: コンクリート打設・建具廻り・その他					訂正					工 事 名				
図 面 番 号					所 長					図 面 名 称				
A-18					係					縮 尺				
宝達志水武道館改修工事					製 図					設 計 年 月 日				
					1 2 3					A2 S:1/30				
										A3 S:1/42.4				
										作 図				
										訂 正 ()				

一級建築士事務所
石川県知事登録1303号
一級建築士

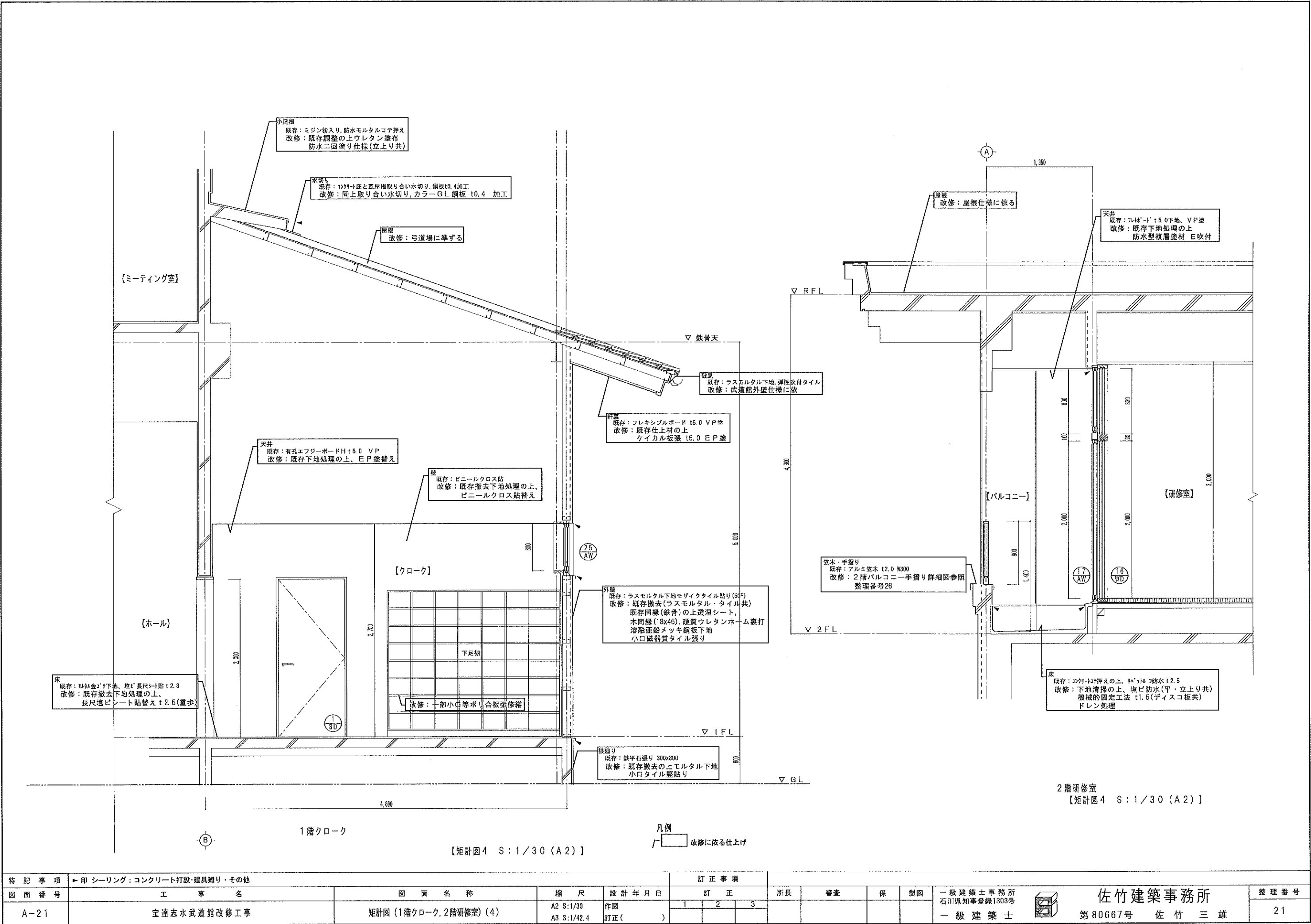


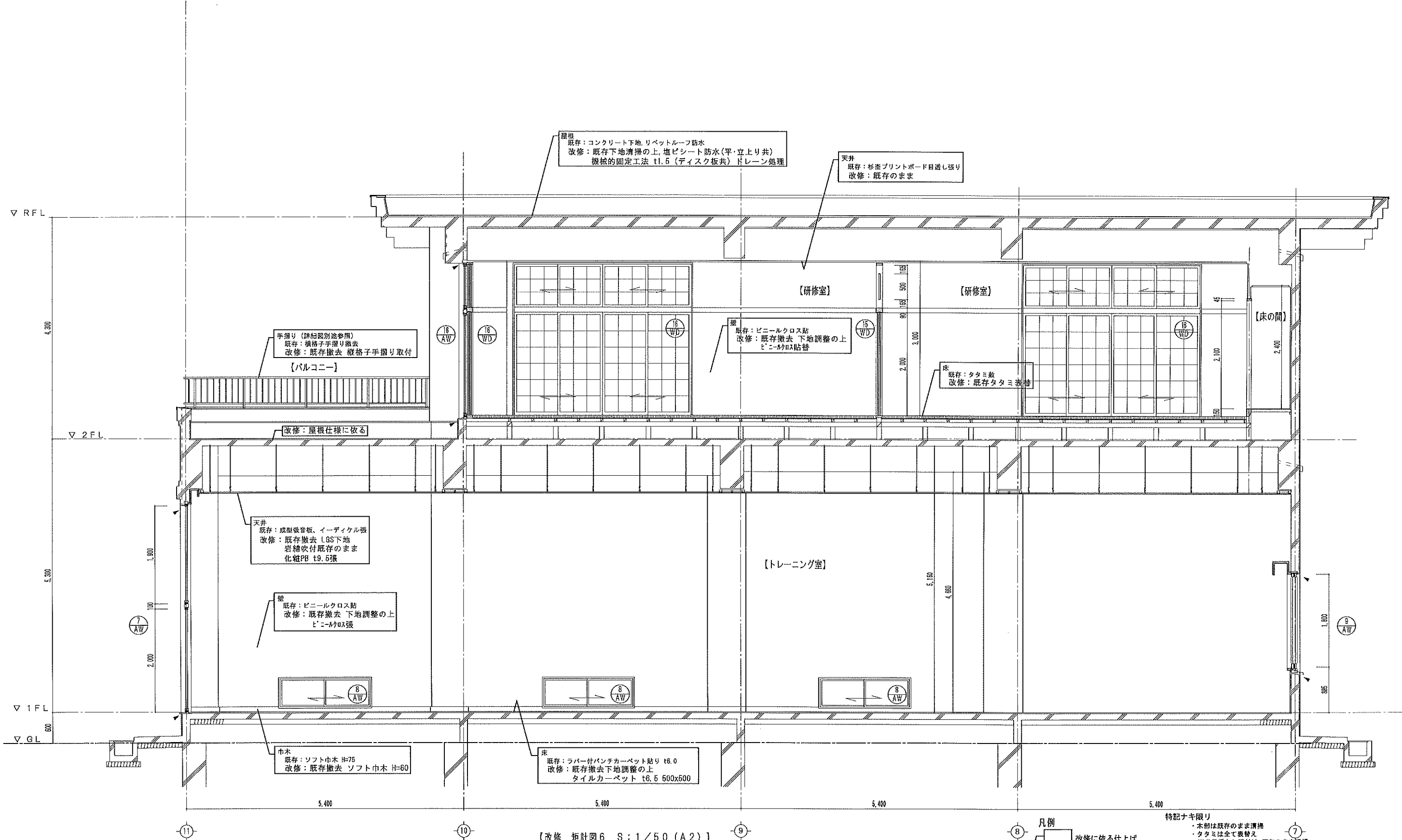
佐竹建築事務所
第80667号 佐竹 三雄

整理番号
18

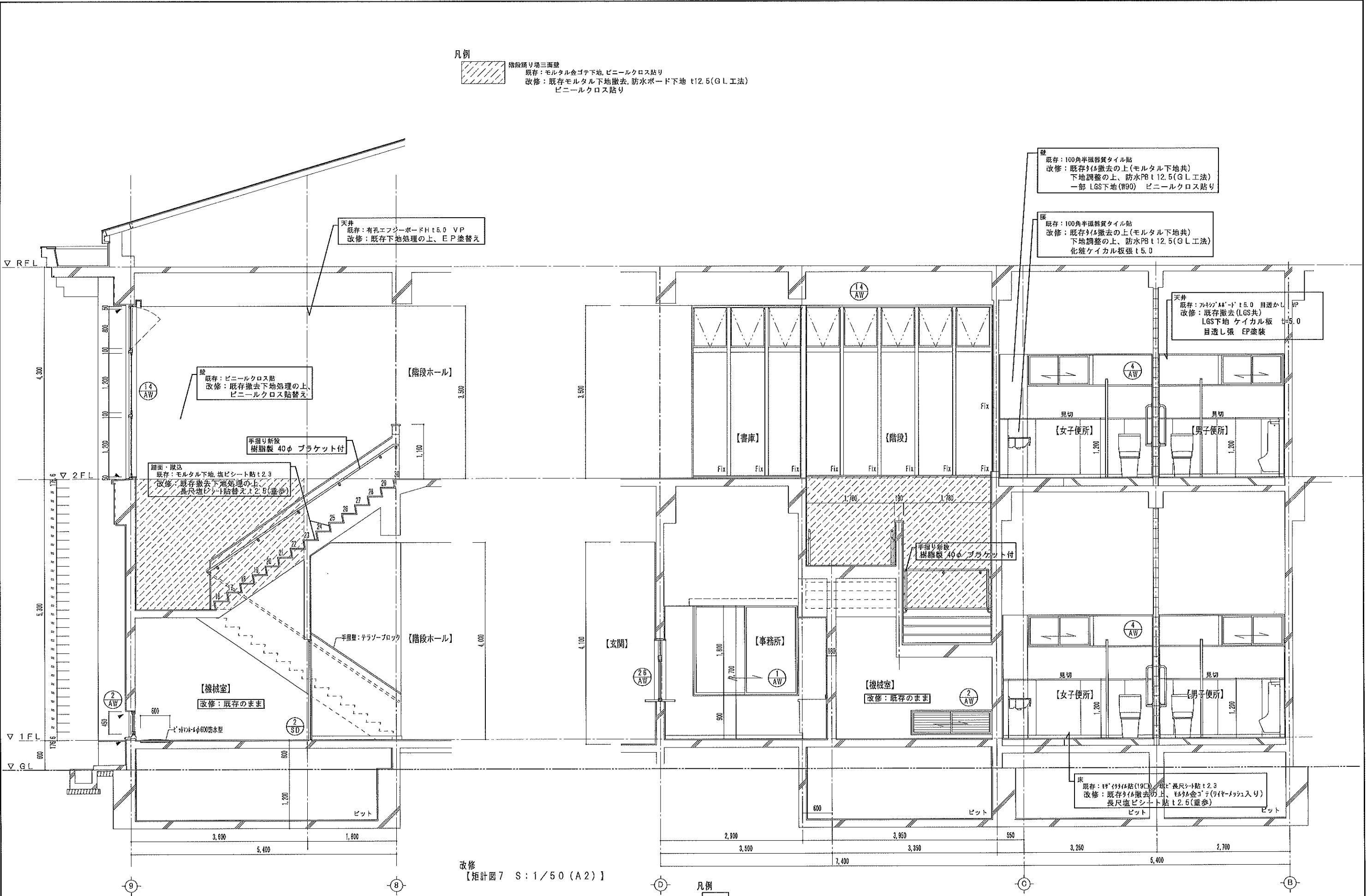


特 記 事 項	▶ 印 シーリング：コンクリート打設・建具廻り・その他				訂 正 事 項									
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所 長	審 査	係	製 図	一 級 建 築 士 事 務 所 石 川 県 知 事 登 録 1303 号 一 級 建 築 士	 佐 竹 建 築 事 務 所 第 80667 号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号
A-19	宝達志水武道館改修工事	矩図(柔道場・剣道場)(2)	A2 S:1/50 A3 S:1/70.4	作図 訂正()	1	2	3						19	



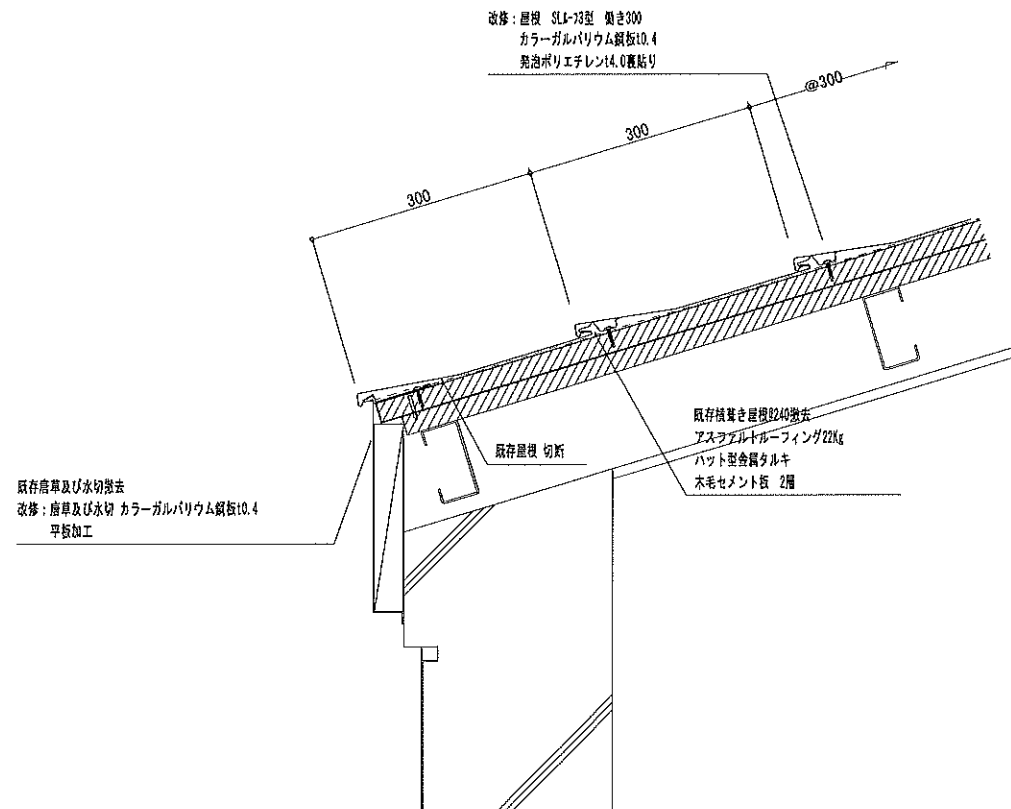


特記事項		印 シーリング：コンクリート打設・建具廻り・その他		訂正事項		所長		審査		係		製図		一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄		整理番号	
図面番号		工事名		図面名称		縮尺		設計年月日		訂正									
A-23		宝達志水武道館改修工事		矩計図:改修 (1階トレーニング・2階研修室) (6)		A2 S:1/50 A3 S:1/70.4		作図 訂正 ()		1 2 3								23	

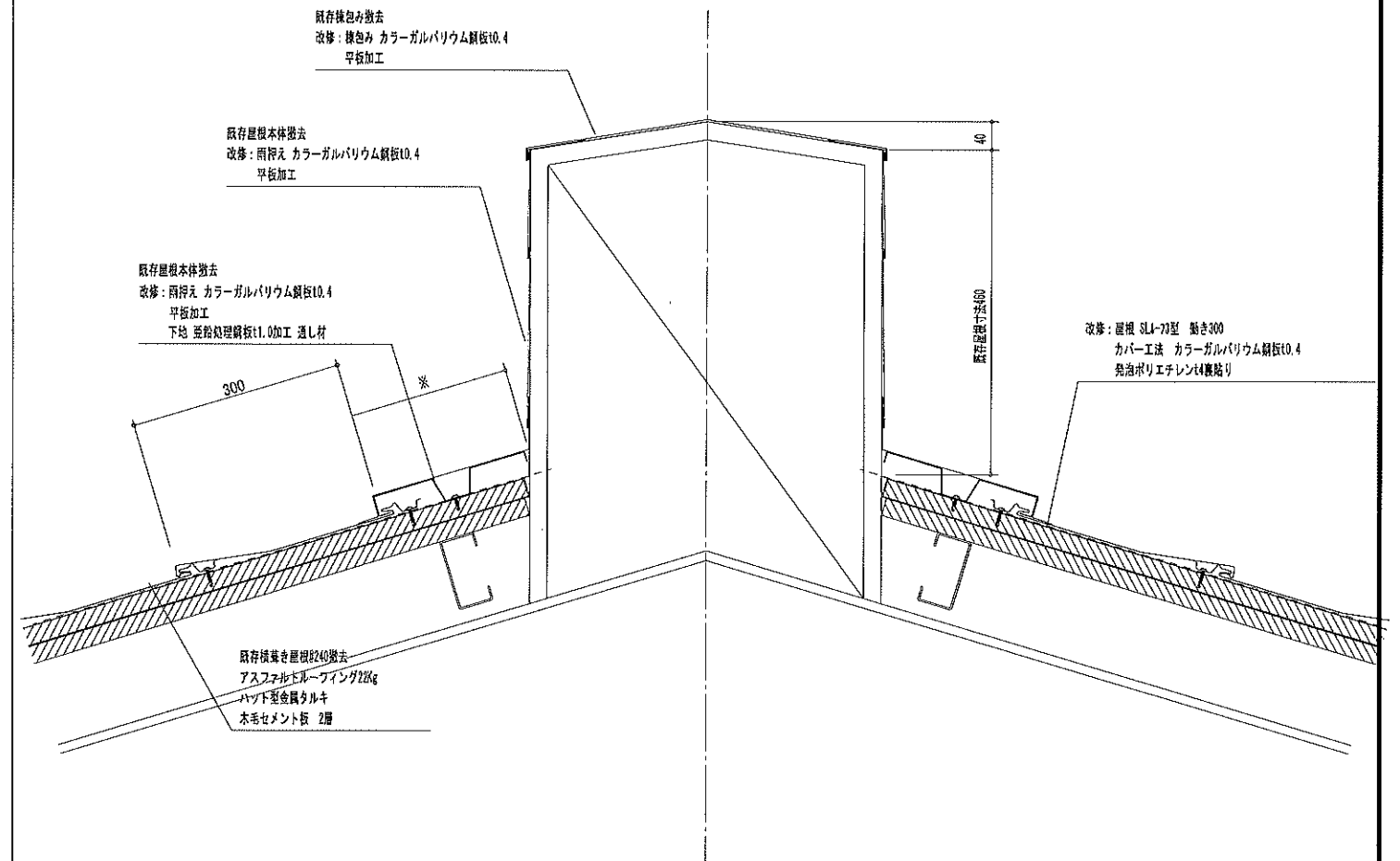


特記事項		印 シーリング：コンクリート打設・建具廻り・その他		訂正事項		所長		審査		係		製図		一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄		整理番号	
図面番号		工事名		図面名称		縮尺		設計年月日		訂正									
A-24		宝達志水武道館改修工事		矩計図：改修（内部階段）（7）		A2 S:1/50 A3 S:1/70.4		作図 訂正（ ）		1 2 3								24	

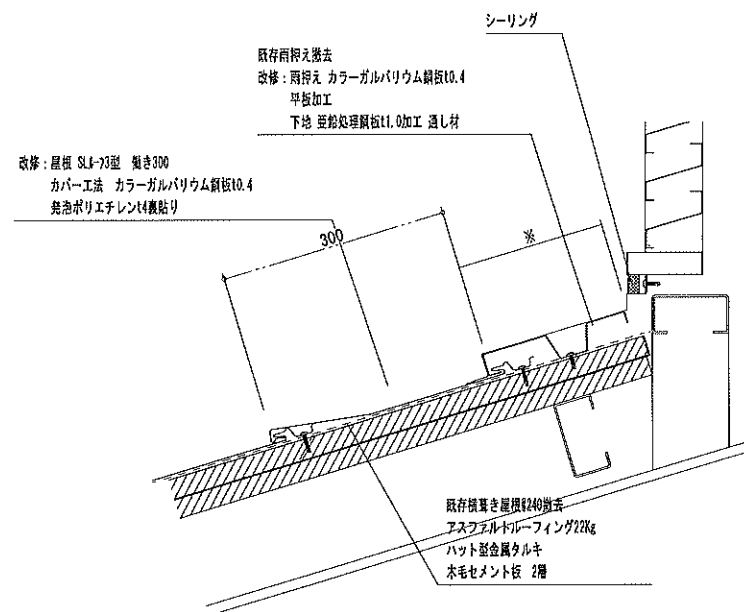
大屋根軒先断面図 S: 1/7



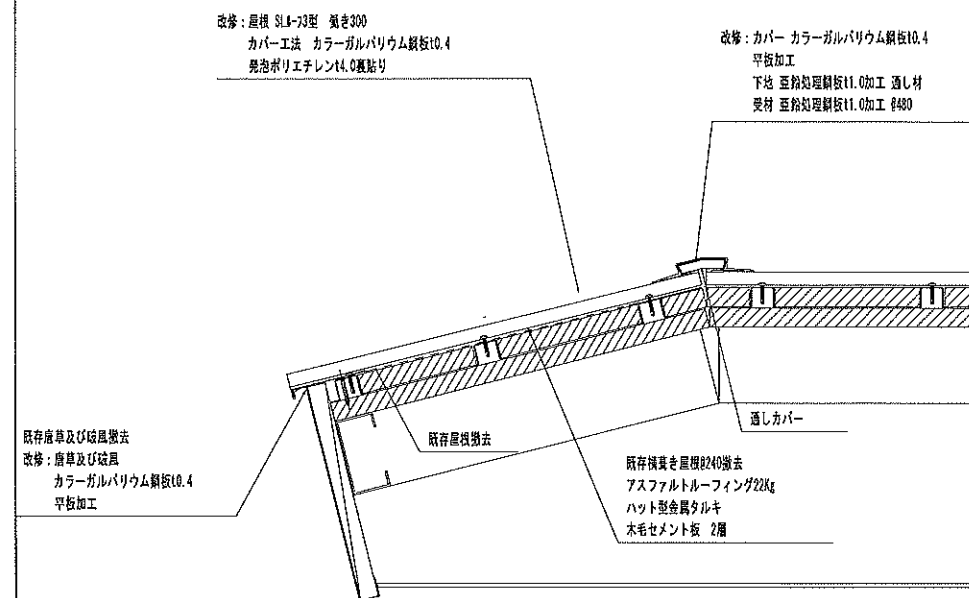
大屋根棟断面図 S:1/7



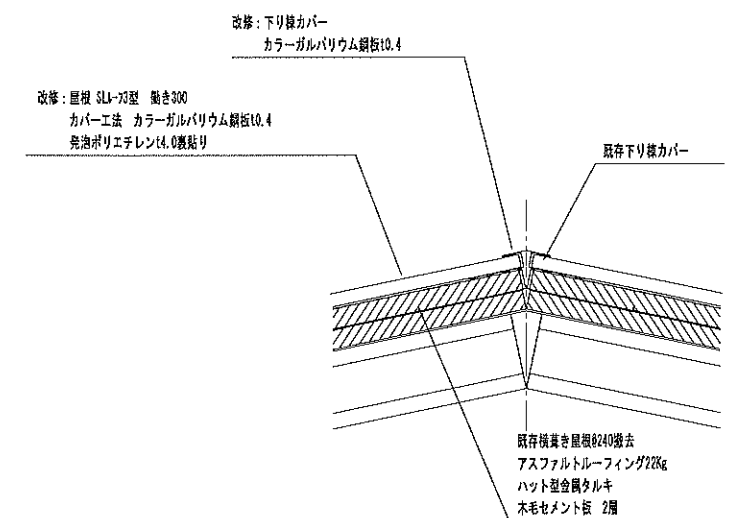
大屋根立上り断面図 S:1/7



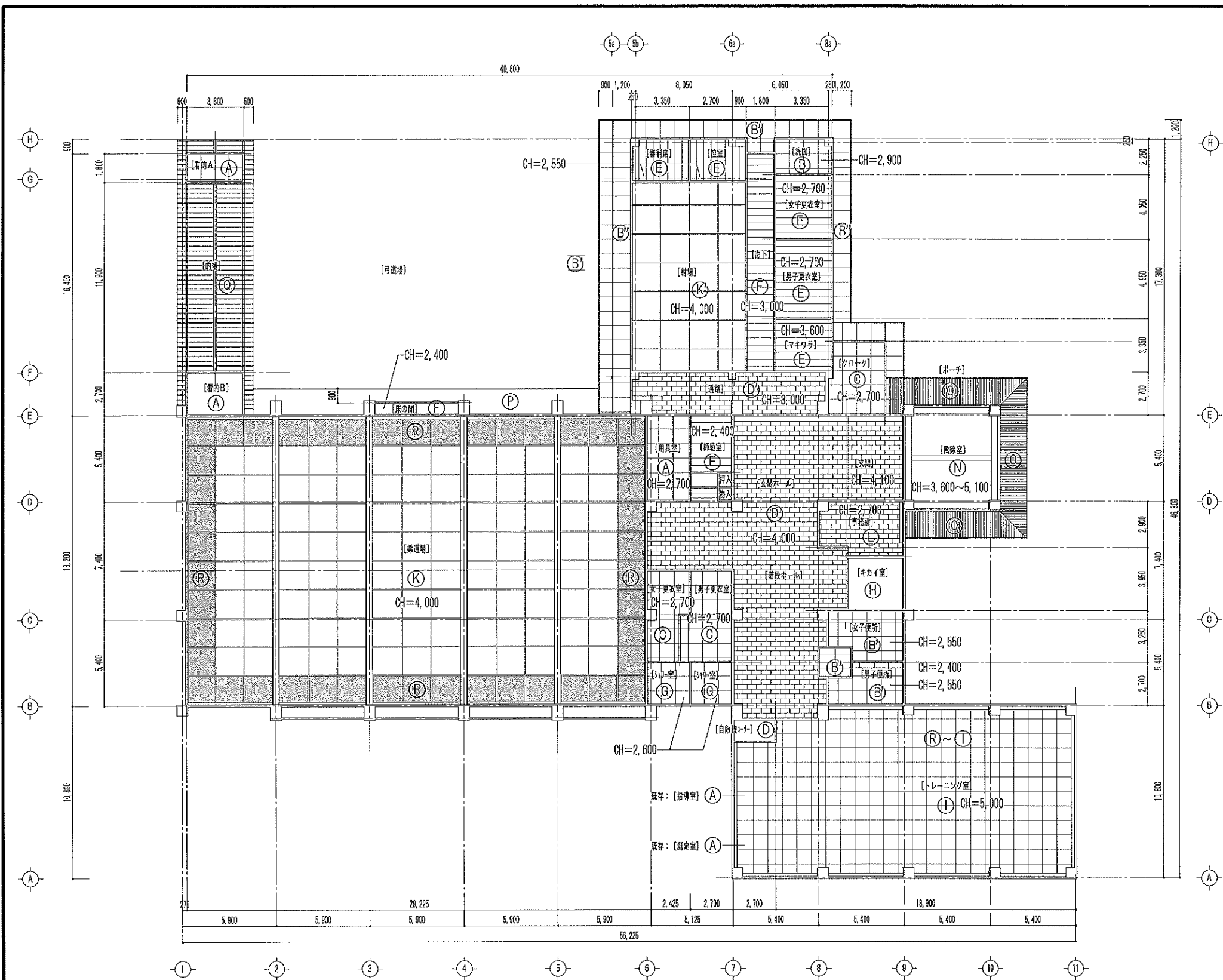
大屋根ケラバ（箕甲）断面図 S:1/7



下り棟断面図（共通） S:1/7



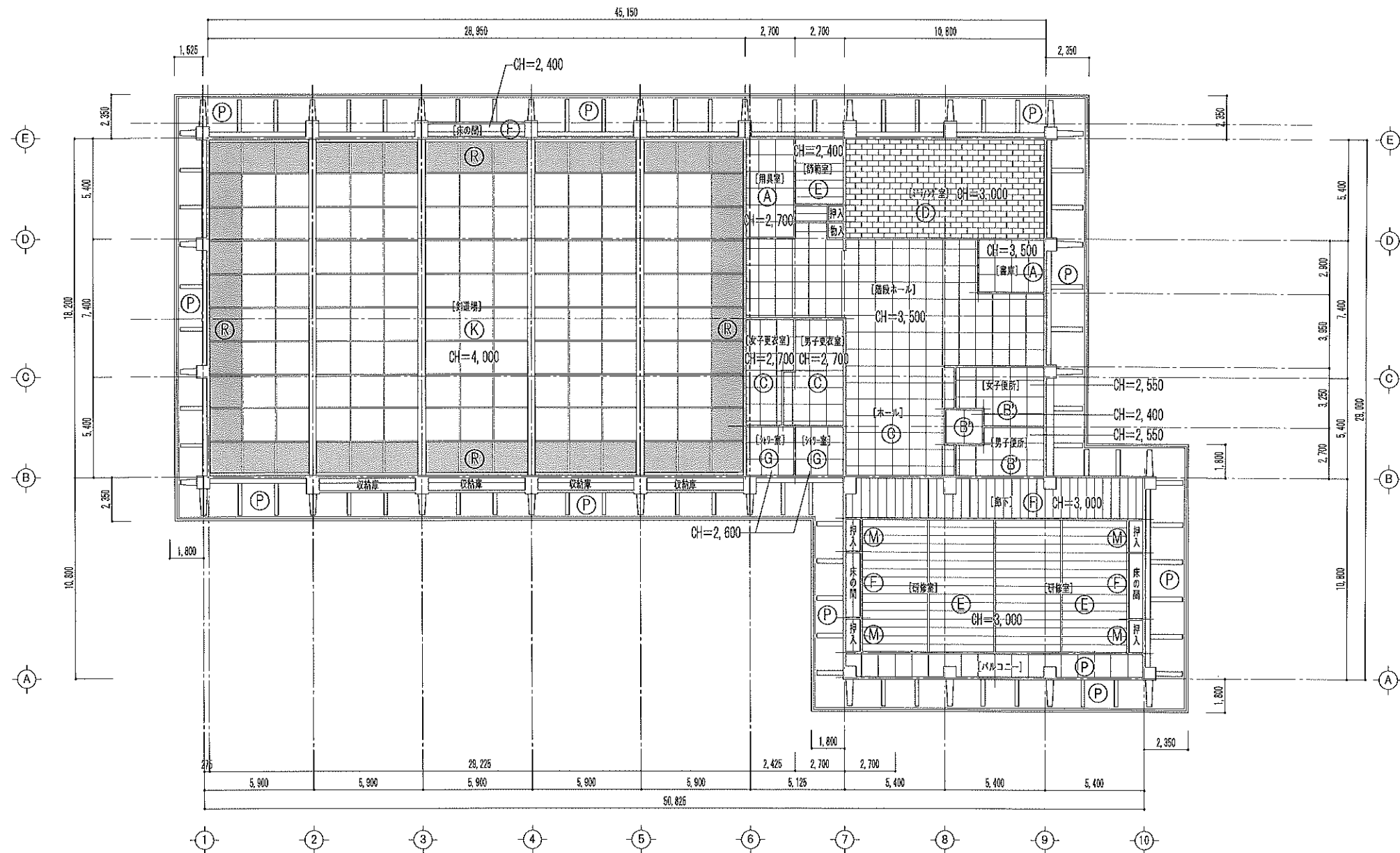
特記事項					訂正事項									
図面番号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設計年月日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	 佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-28	宝達志水武道館改修工事	屋根 各部断面図(1)	A2 S:1/7 A3 S:1/9.9		1	2	3							28



【1階天井伏図 S:1/200 (A2)】

■天井仕上表

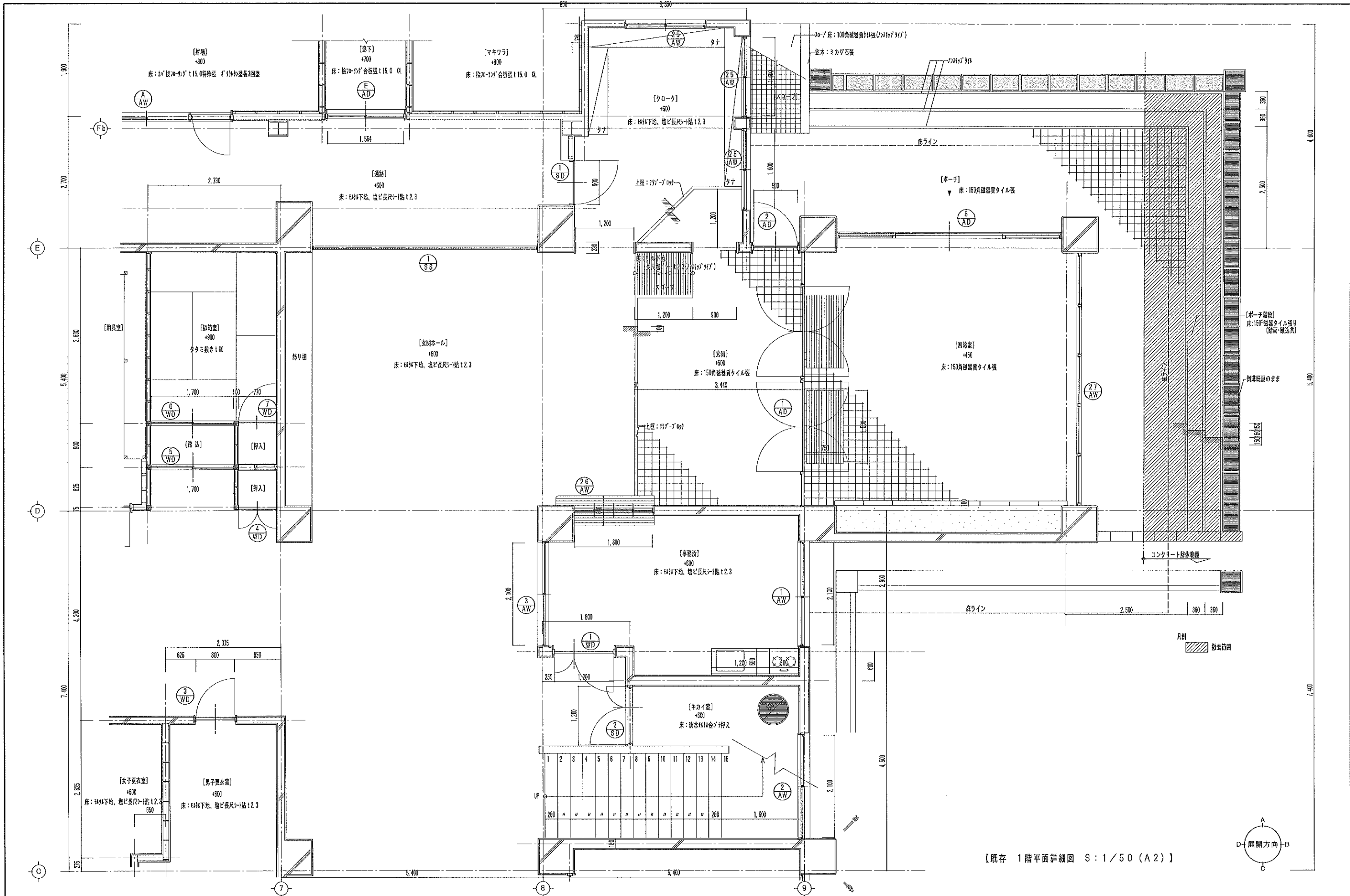
記号	仕上
(A)	既存 ジブトーン張 t9.0 910×910
改修	既存のまま、一部(指導室・測定室)撤去
(B)	既存 フレキシブルボード t5.0、目透かし張 VP
改修	既存下地調整の上、EP塗替
(B')	既存 フレキシブルボード t5.0、目透かし張 VP
改修	既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、ケイカル板 t5.0 EP塗
(B'')	既存 フレキシブルボード t5.0、目透かし張 VP
改修	既存の上、ケイカル板 t5.0張、EP塗
(C)	既存 有孔エフジーボード H t5.0 (カンレイシヤ張) VP
改修	既存下地調整の上、EP塗
(D)	既存 PB t9.0捨張の上化粧ボード張 t12.0リブ付300×600、周囲トラバーチン張
改修	既存下地調整の上、EP塗
(D')	既存 PB t9.0捨張の上化粧ボード張 t12.0リブ付300×600、周囲トラバーチン張
改修	既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、化粧石膏ボード張910×455×t9.5
(E)	既存 杉本プリントPB t9.0 目透かし張
改修	既存のまま
(F)	既存 杉本プリントPB t9.0 目透かし張
改修	既存のまま
(G)	既存 バスリブ貼
改修	既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、ケイカル板 t5.0 EP塗
(H)	既存 モルタル刷毛引
改修	既存のまま
(I)	既存 コンクリート打放、岩綿吹付(カラー)梁型共
改修	既存のまま、LGS下地、化粧PB t9.5張
(J)	既存 コンクリート打放、岩綿吹付
改修	
(K)	既存 有孔エフジーボード t5.0(カンレイシヤ張)VP、梁型:ビニール吸貼(木目)格天井
改修	既存下地調整の上、EP塗 梁型:既存撤去、下地調整、ビニールクロス貼
(K')	既存 有孔エフジーボード t5.0(カンレイシヤ張)VP、梁型:ビニール吸貼(木目)格天井
改修	既存のまま、吸音用穴あきボード張 t9.5
(L)	既存 PB t9.0捨張の上、化粧石膏ボード張 t12.0 300×600
改修	既存下地調整の上、EP塗
(M)	既存 PB t9.0張
改修	既存のまま
(N)	既存 コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付 木格子@100 吊天井金物20×50
改修	既存木製格子撤去の上、既存コンクリート面、下地調整の上、外装複層塗材E吹付
(O)	既存 アルミスバンドレル t2.0 カラーリブ
改修	既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、カラーGLスバンドレル t0.5張(役物共)
(P)	既存 コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付
改修	既存下地調整の上、外装複層塗材E吹付
(Q)	既存 野地板 t12.0張、鉄部OP、タルキ表LOS
改修	既存鉄部サビ落し、サビ止めの上、LGS下地、ケイカル板張 t5.0、EP塗
(R)	既存 成型吸音板張 イーディケール貼
改修	既存のまま、トレーニング室:既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、化粧PB t9.5張
天井点検口	既存 アルミ450×450
改修	既存のまま、天井改修部分は既存使用



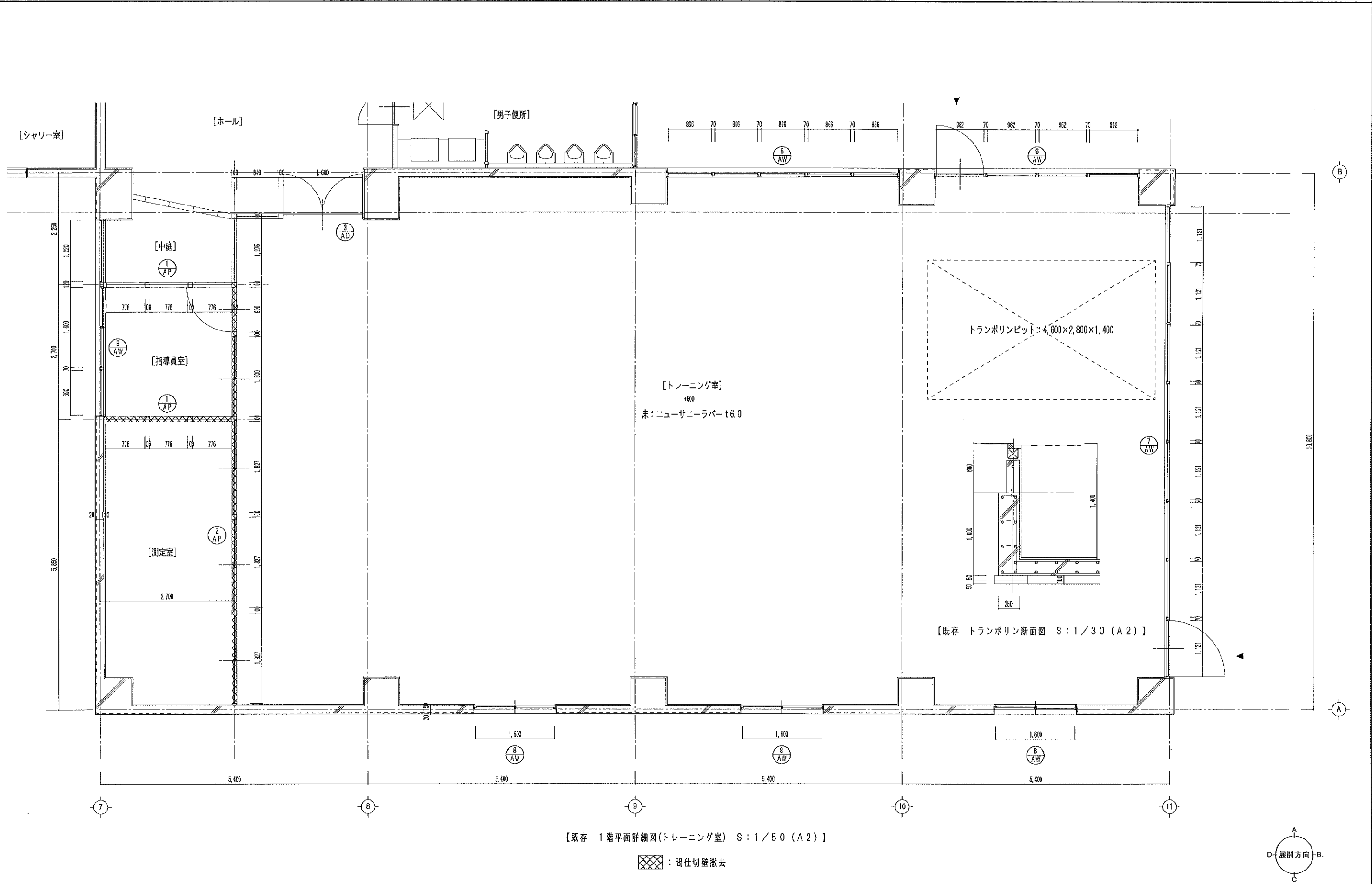
【2階天井伏図 S:1/200 (A2)】

■天井仕上表

記 号	仕 上
①	既存 改修 ジブトーン張 t9.0 910×910 既存のまま、一部(指導室・測定室)撤去
②	既存 改修 フレキシブルボード t5.0、目透かし張 VP 既存下地調整の上、EP塗替
③	既存 改修 フレキシブルボード t5.0、目透かし張 VP 既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、ケイカル板 t5.0 EP塗
④	既存 改修 フレキシブルボード t5.0、目透かし張 VP 既存の上、ケイカル板 t5.0張、EP塗
⑤	既存 改修 有孔エゾボードH t5.0 (カンレイシヤ張) VP 既存下地調整の上、EP塗
⑥	既存 改修 PB t9.0捨張の上化粧ボード張 t12.0リブ付300×600、周囲トラバーチン張 既存下地調整の上、EP塗
⑦	既存 改修 PB t9.0捨張の上化粧ボード張 t12.0リブ付300×600、周囲トラバーチン張 既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、化粧石膏ボード張910×455×t9.5
⑧	既存 改修 杉本プリントPB t9.0 目透かし張 既存のまま
⑨	既存 改修 杉本プリントPB t9.0 目透かし張 既存のまま
⑩	既存 改修 バスリブ貼 既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、ケイカル板 t5.0 EP塗
⑪	既存 改修 モルタル刷毛引 既存のまま
⑫	既存 改修 コンクリート打放、岩綿吹付(カラー)梁型共 既存のまま、LGS下地、PB t9.5張、EP塗(梁型共)
⑬	既存 改修 コンクリート打放、岩綿吹付 既存のまま
⑭	既存 改修 有孔エゾボード t5.0(カンレイシヤ張)VP、梁型:ビニール貼(木目)格天井 既存下地調整の上、EP塗 梁型:既存撤去、下地調整、ビニールクロス貼
⑮	既存 改修 有孔エゾボード t5.0(カンレイシヤ張)VP、梁型:ビニール貼(木目)格天井 既存のまま、吸音用穴あきボード張 t9.5
⑯	既存 改修 PB t9.0捨張の上、化粧石膏ボード張 t12.0 300×600 既存下地調整の上、EP塗
⑰	既存 改修 PB t9.0張 既存のまま
⑱	既存 改修 コンクリート打放しの上、アクリルリシン吹付 木格子@100 吊天井金物20×50 既存木製格子撤去の上、既存コンクリート面、下地調整の上、外装復層塗材E吹付
⑲	既存 改修 アルミスパンドレル t2.0 カラーリブ 既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、カラーGLスパンドレル t0.5張(役物共)
⑳	既存 改修 コンクリート打放しの上、アクリルリシン吹付 既存下地調整の上、外装復層塗材E吹付
㉑	既存 改修 野地板 t12.0張、鉄部OP、タルキ表しOS 既存鉄部サビ落し、サビ止めの上、LGS下地、ケイカル板張 t5.0、EP塗
㉒	既存 改修 成型吸音板張 イーディケール貼 既存のまま、トレーニング室:既存撤去(LGS共)の上、LGS下地、PB t9.5張、EP塗(梁柱共)
天井点検口	既存 改修 アルミ450×450 既存のまま、天井改修部分は既存使用



特記事項	図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正事項	所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-32		安達志水武道館改修工事	既存 1階平面詳細図 (※-チ・風除室・玄関・※-ホ・事務所・更衣室・節電室)	A-2: 1/50 A-3: 1/70.7		1 2 3							32



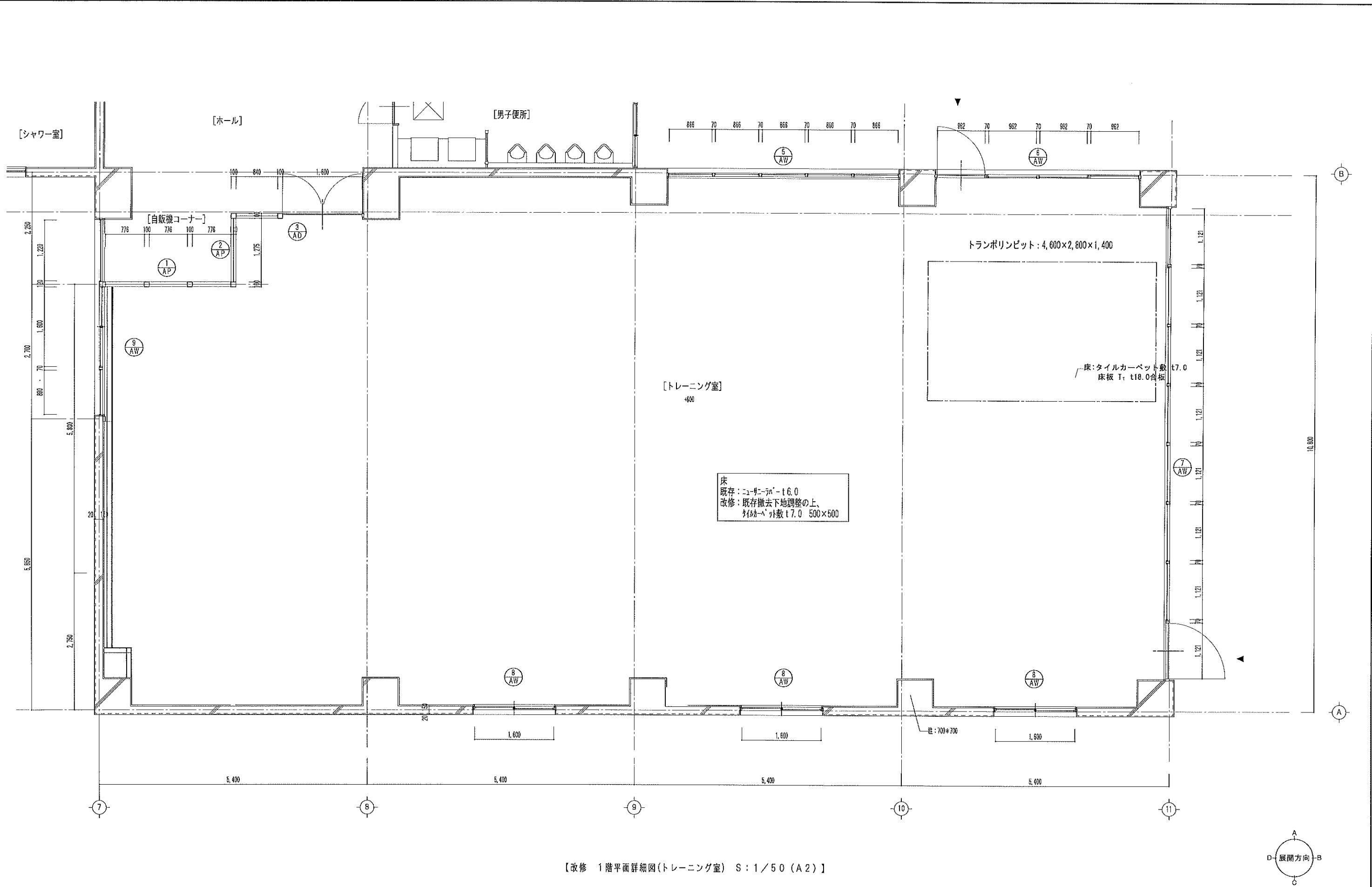
特記事項					訂正事項									
図面番号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一 級 建 築 士	佐竹建築事務所  第80667号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号
A-38	宝達志水武道館改修工事	既存 平面詳細図(トレーニング室)	A-2 : 1/50 A-3 : 1/70.7		1	2	3							38

一級建築士事務所
石川県知事登録1303号
一級建築士

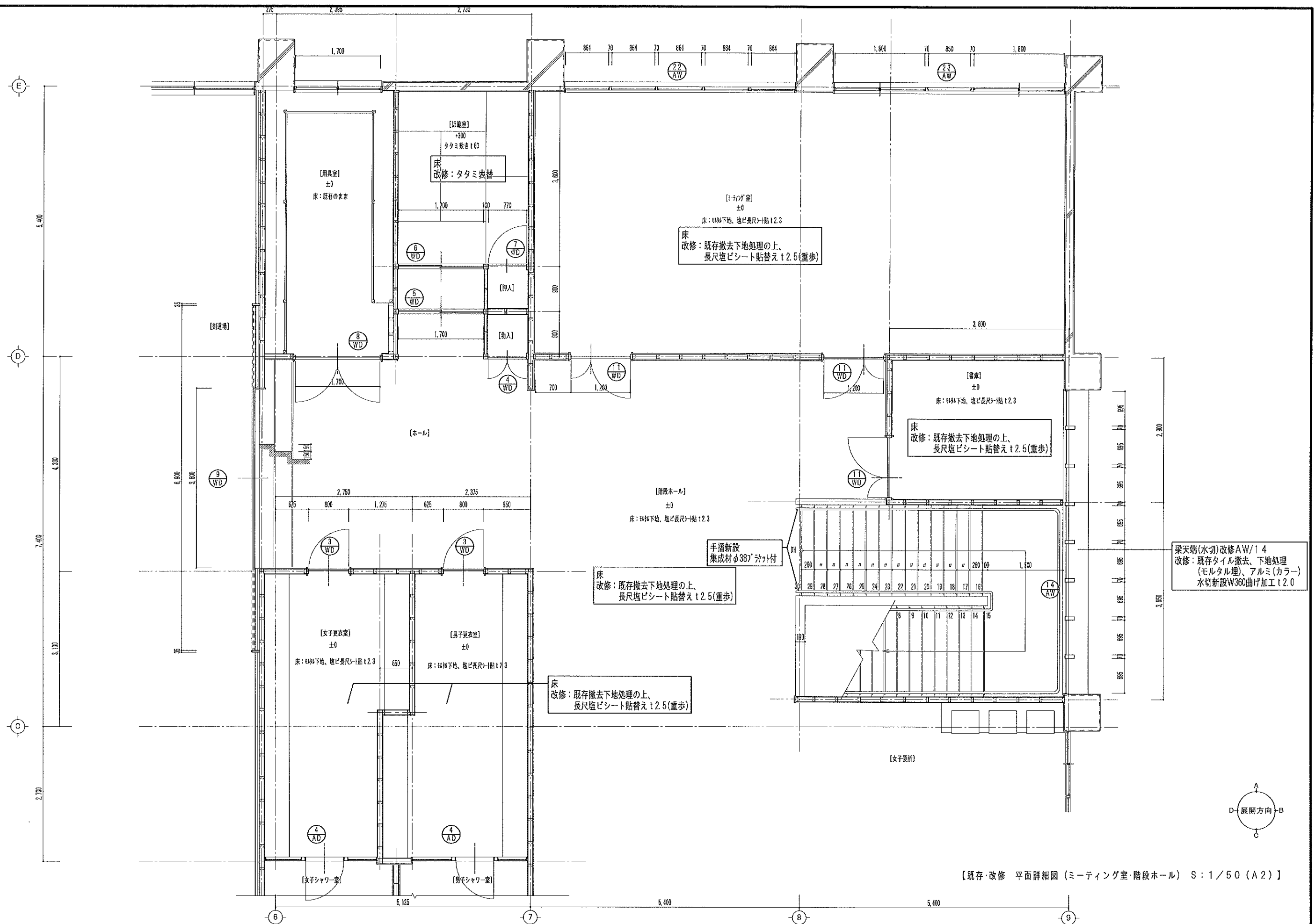


佐竹建築事務所
第80667号 佐竹 三雄

整理番号
38

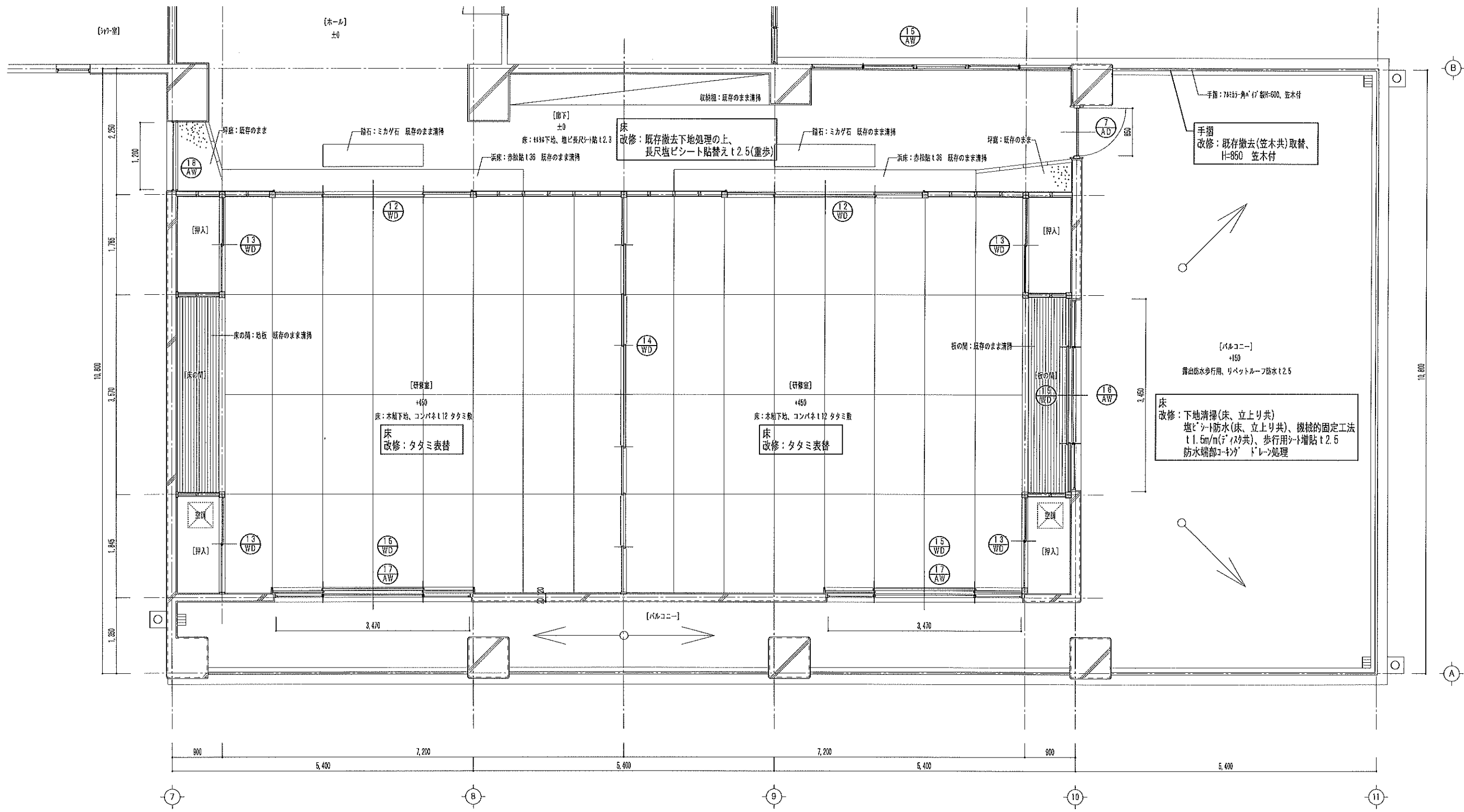


特記事項					訂正事項										
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所 第80667号 佐竹三雄	整理番号
A-39	宝達志水武道館改修工事	改修 平面詳細図(トレーニング室)	A-2: 1/50 A-3: 1/70.7		1	2	3								39

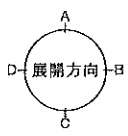


【既存・改修 平面詳細図（ミーティング室・階段ホール） S:1/50 (A2)】

特記事項					訂正事項									
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正			所長	審査	保	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-40	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 平面詳細図(2階ホール・ミーティング室)	A-2: 1/50 A-3: 1/70.7		1	2	3							40

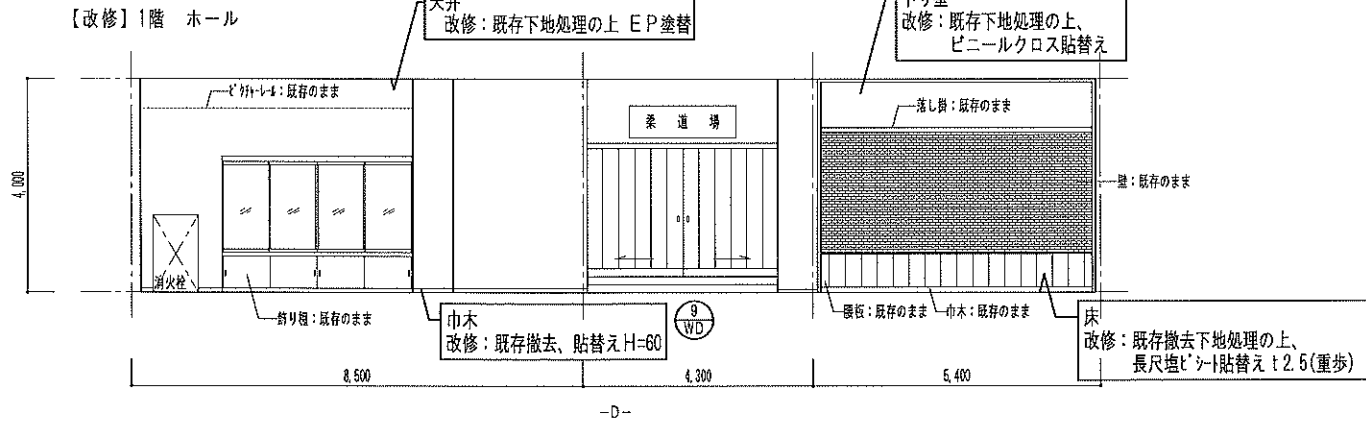
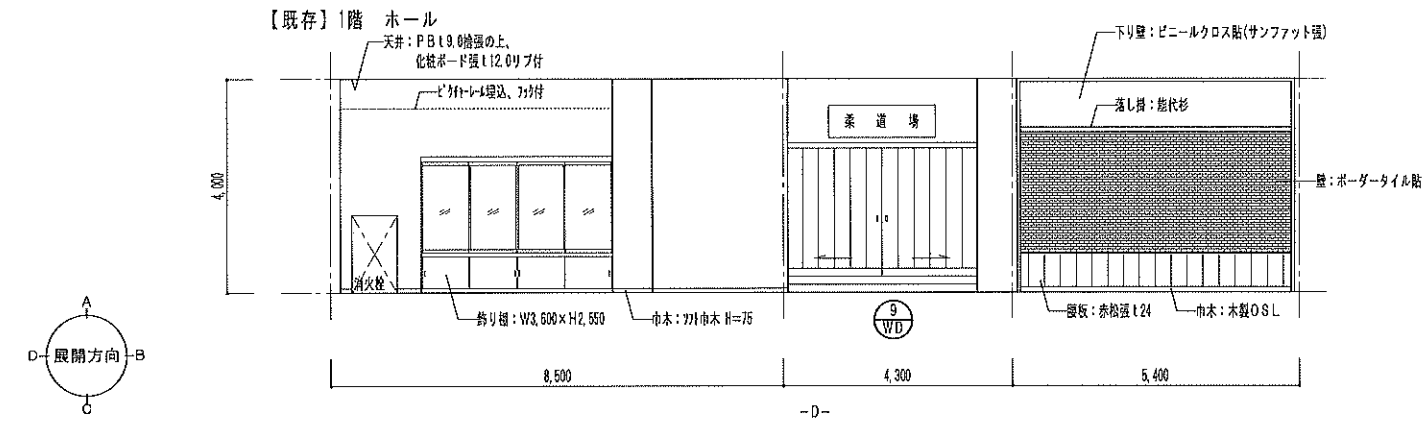
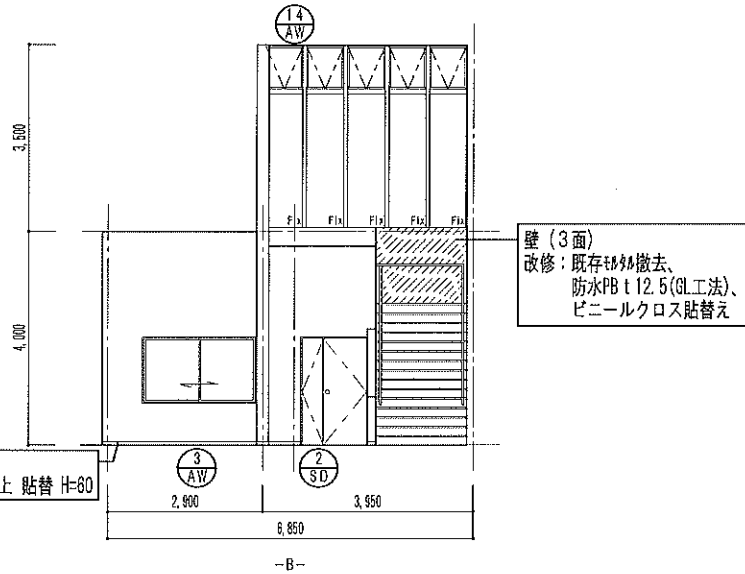
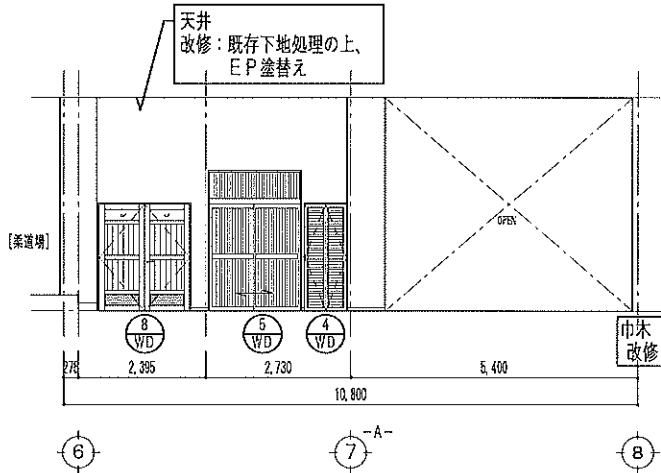
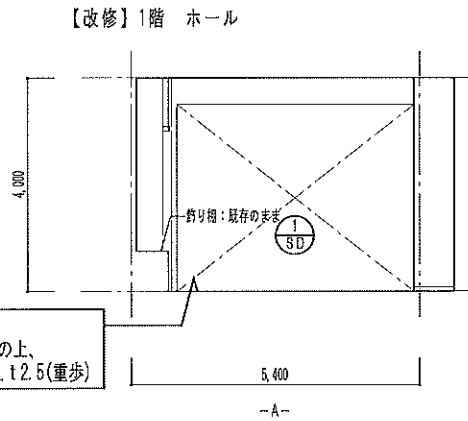
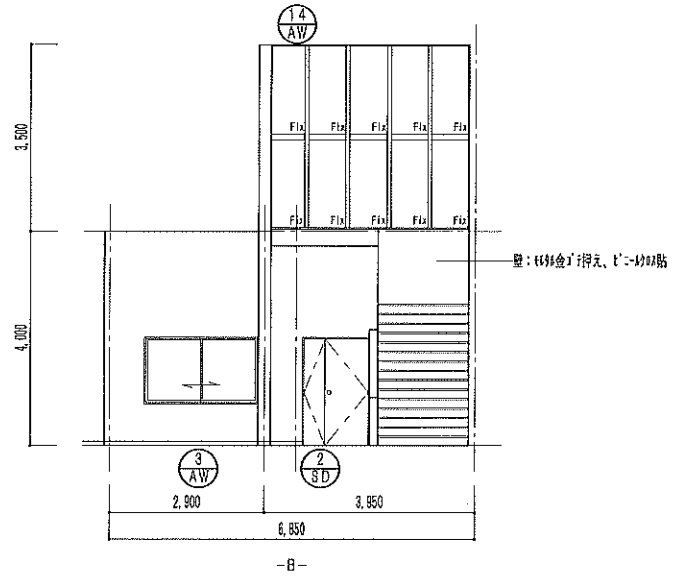
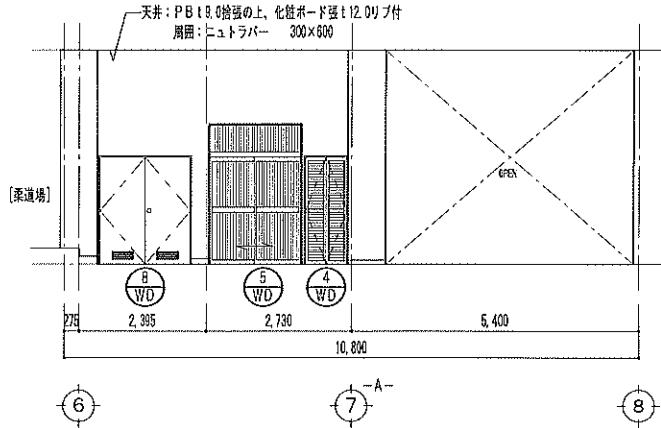
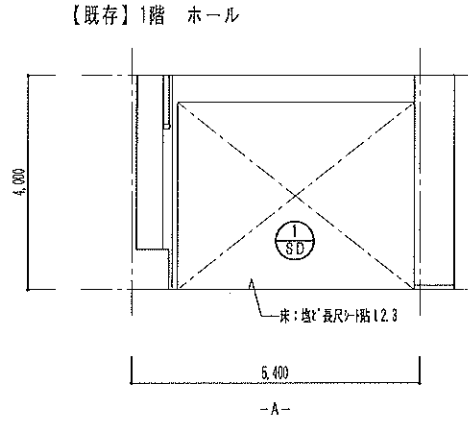


【既存・改修 平面詳細図(研修室) S:1/50 (A2)】



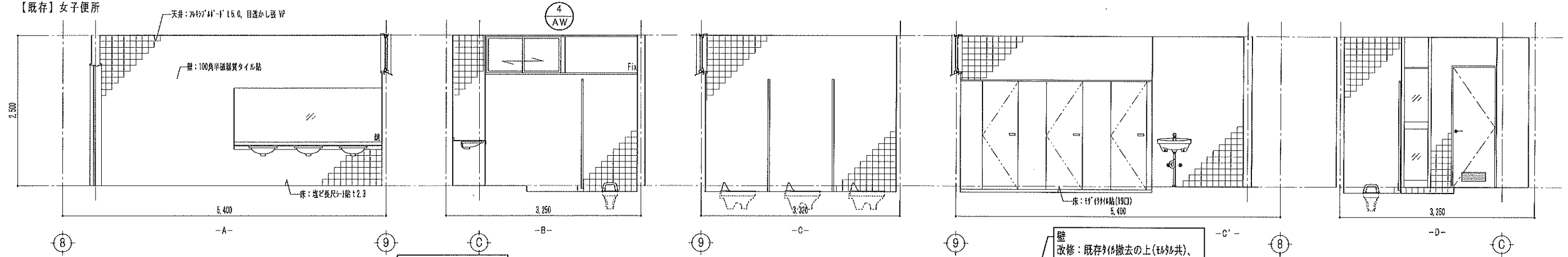
特記事項					訂正事項												
図面番号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所 第80667号 佐竹三雄	整理番号		
					1	2	3										
A-43	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 平面詳細図(研修室)	A-2: 1/50 A-3: 1/70.7												43		

1階 ホール		天井高さ：OH=4,000	
天井	既存	PB t 8.0換気の上、化粧ボード強 t 12.0リブ付 周囲：ニュトラバー 300×600	
	改修	既存下地処理の上、EP塗替え	
廻縁	既存	地ビ	
	改修	既存のまま	
壁	既存	ビニルクロス貼、一掃サンファット強 一掃ボダータイル貼(釣り目)	
	改修	既存撤去下地処理の上、ビニルクロス貼替え 一掃ボダータイル貼(釣り目)：既存のまま清掃	
巾木	既存	ソフト巾木	H 75
	改修	既存撤去、貼替え	H 60
床	既存	地ビ長尺シート貼 t 2.3 モルタル金ゴ子押え	
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替え t 2.5(重歩)	
備考		・釣り目：既存のまま ・釣り廻縁木等：既存のまま	
		・ビクチャーレール：既存のまま ・ノンスリップ：既存のまま ・掲示板(1,800×900)1ヶ所、(1,200×900)2ヶ所：既存のまま ・看板(弓道場)：新機作製 ・厚底撤去、自販機コーナー新設	

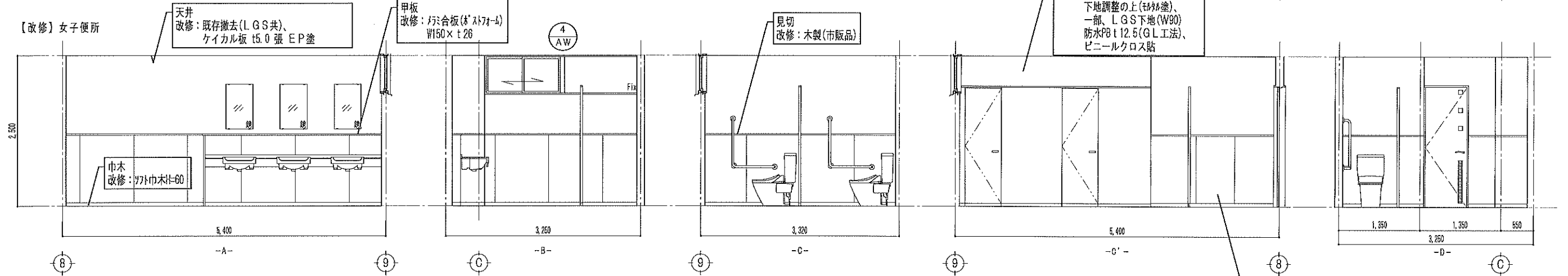


特記事項	工事名		図面名称	縮尺	設計年月日	訂正事項			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹三雄	整理番号
A-45	宝達志水武道館改修工事		既存・改修 展開図 (1階ホール)	A-2: 1/100 A-3: 1/141.4		1	2	3							45

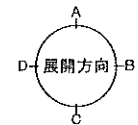
【既存】女子便所



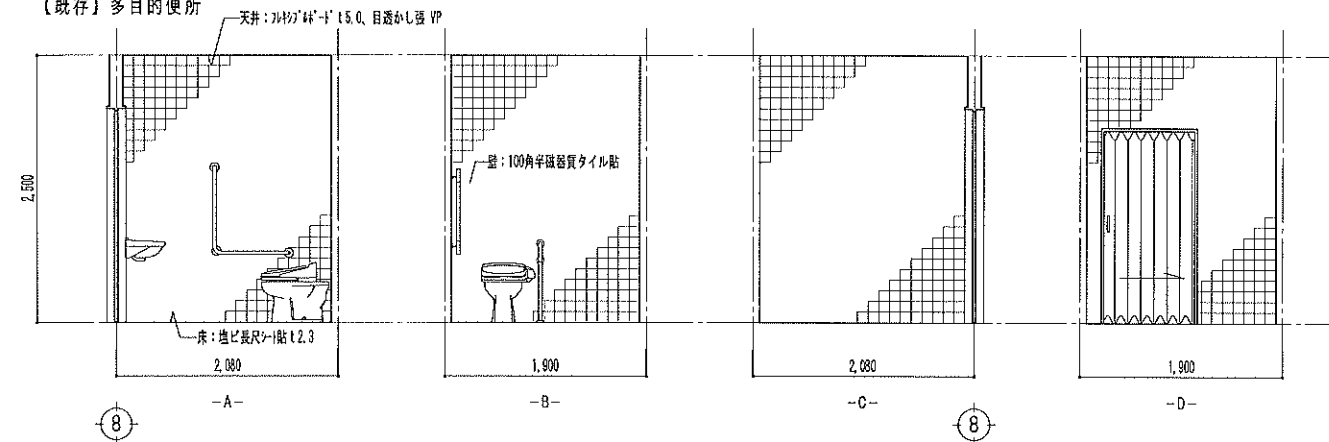
【改修】女子便所



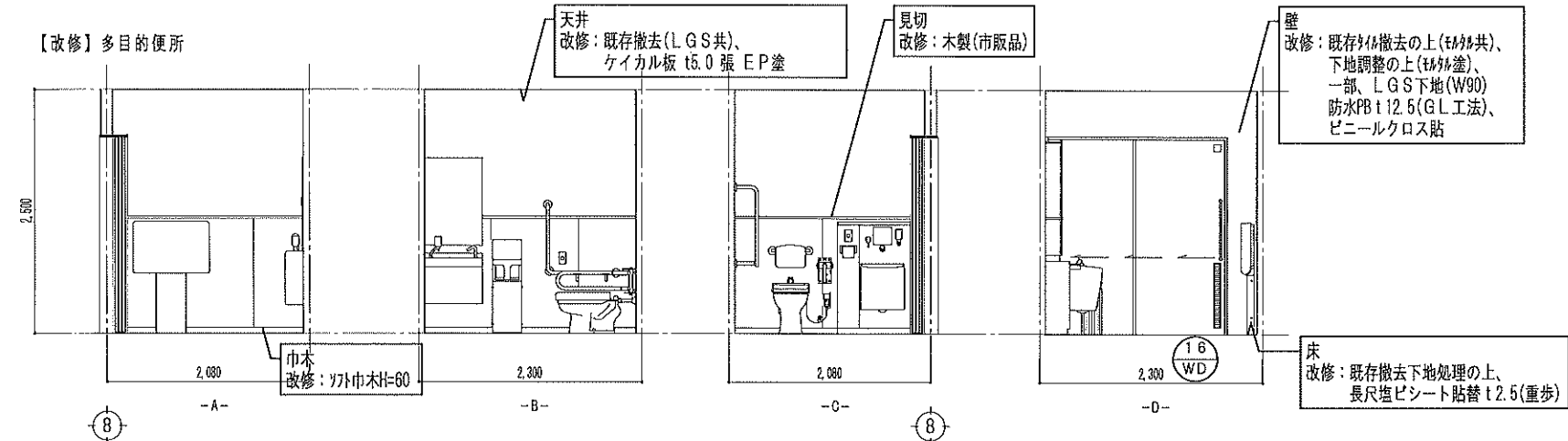
1階多目的便所		天井高さ：6H-2.500		
天井	既存	フレキシブルボード15.0 目透かし径 VP		
	改修	既存撤去(LGS表)、LGS下地、ケイカル板 15.0 扱 EP塗		
廻廊	既存	塩ビ撤去		
	改修	塩ビ		
壁	既存	100角半磁質タイル貼 モルタル下地		
	改修	既存914撤去の上(441表)、下地調整の上(441裏)、 一部、LGS下地(W90)防水PB112.5(G工法)、ビニールクロス貼		
腰	既存	100角半磁質タイル貼 モルタル下地		
	改修	既存914撤去の上(441表)、下地調整の上、441下地、一部LGS下地 防水PB112.5(G工法)、化粧ケイカル板15.0	H	1.100
巾木	既存	100角半磁質タイル貼		
	改修	ソフト巾木貼	H	60
床	既存	塩ビ長尺シート貼123 モルタル金ゴテ下地		
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替12.5(重歩)		
備考	・撤去：スクリーン、衛生器具、T・B、スクリーン(アルミ)、洗面台等 ・改修：隙間保護、手箱、手洗器、オストメイト、ベビースーツ、ベビースーツチェア			



【既存】多目的便所

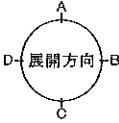
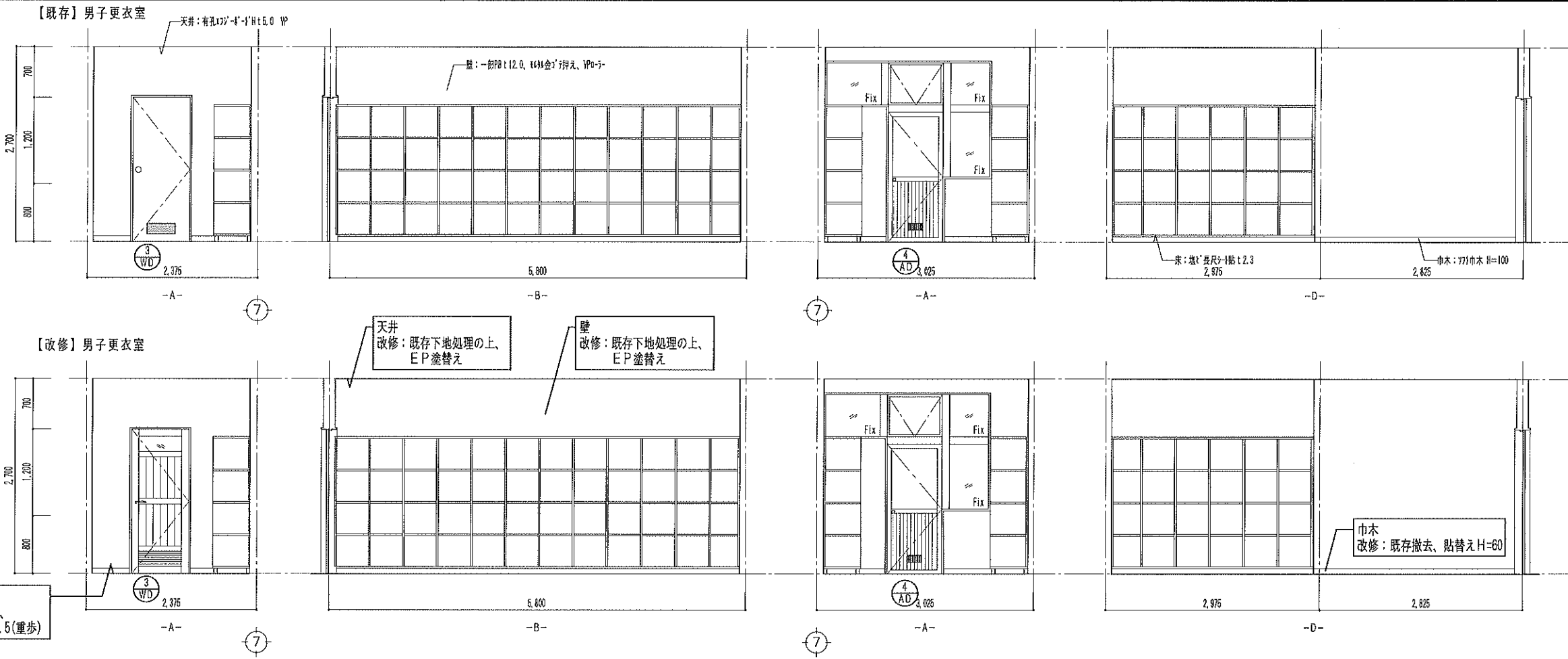


【改修】多目的便所



特記事項					訂正事項									
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	 佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-48	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図（1階便所・多目的便所）	A-2：1/50 A-3：1/70.7		1	2	3							48

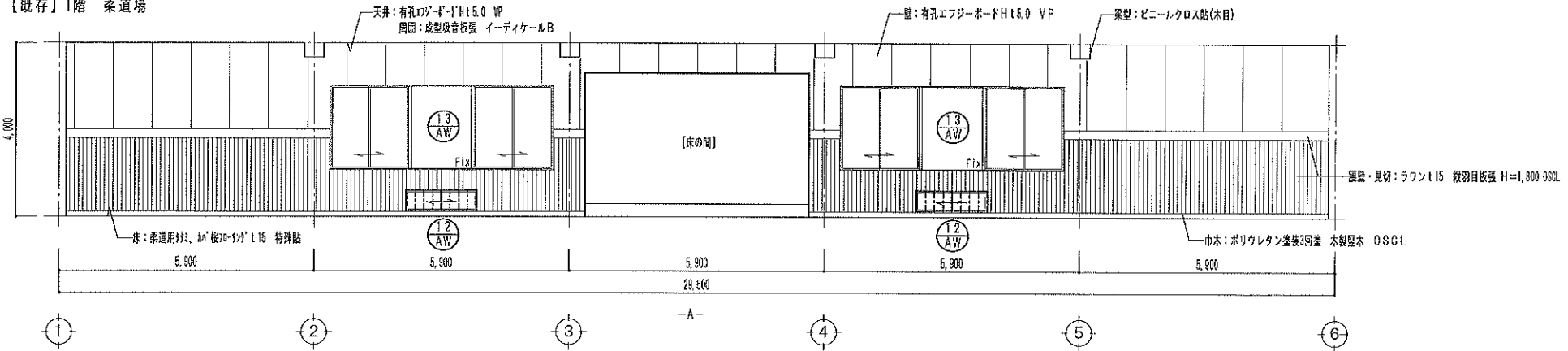
男子更衣室 (1・2階共通)		天井高さ: 08-2.700		
天井	既存	有孔120'×4'×H±5.0 VP		
	改修	既存下地処理の上、EP塗替え		
屋根	既存	塩ビ		
	改修	既存のまま		
壁	既存	一部P8±12.0、t45金2'付替え、VP0-5-		
	改修	既存下地処理の上、EP塗替え		
巾木	既存	77巾木	H	75
	改修	既存撤去、貼替え	H	60
床	既存	t45金2'下地、塩ビ長尺シート貼±2.3		
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替え±2.5(重歩)		
備考	・ロッカー:一部小口等ポリ合板強修繕			



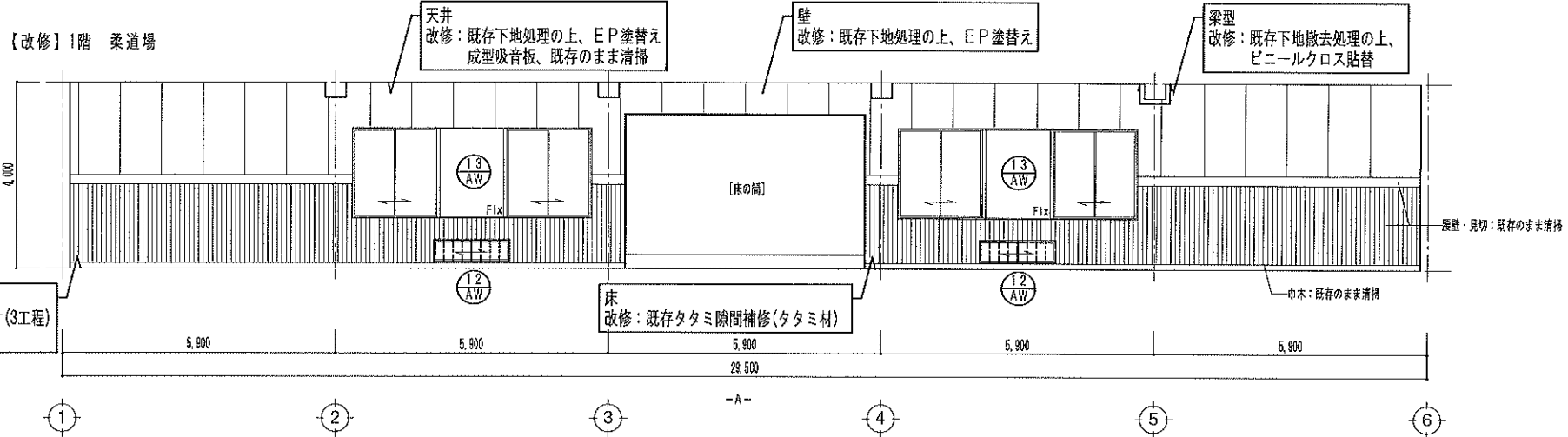
特記事項					訂正事項												
図面番号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審 査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一 級 建 築 士		佐竹建築事務所 第80667号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号		
					1	2	3								49		
A-49	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図(男子更衣室)共通	A-2: 1/50 A-3: 1/70.7														

柔道場		天井高さ：H=4,000		
天井	既存	格天井 有孔エフジボードH15.0 VP 周囲：成型吸音板、イーディケールB 梁型：H15.0下地、V=400貼		
	改修	既存下地処理の上、EP塗替 成型吸音板、既存のまま清掃 梁型：既存撤去、下地処理の上、V=400貼替		
廻縁	既存	木部OSCL塗		
	改修	既存のまま清掃		
壁	既存	有孔エフジボードH15.0 VP 梁型：ビニールクロス貼(細)モルタル金ゴテ		
	改修	既存下地処理の上、EP塗替		
床	既存	ラワン115 縦羽目板強 H=1,800 OSCL 木下地		
	改修	既存のまま清掃		
巾木	既存	ポリウレタン塗装3回塗 本製堅木 OSCL	H	120
	改修	既存のまま清掃	H	
床	既存	柔道用タタミ、カバセフローリング115 特殊貼 枕床板T115.0、鋼製床組(側面) タタミ部分スプリング入		
	改修	既存フローリング、サンダー掛け(3工程)、ポリウレタン3回塗 既存タタミ隙間補修(タタミ材)		
備考	・収納部：既存のまま ・看板(柔道場)：既存のまま清掃 ・床の間：既存タタミ塗替 ・掲示板(1,800×900)2ヶ所：既存のまま清掃 ・点検口：既存のまま清掃 ・増床：既存撤去の上取替、斜引きレール、V30アルミシルバー ・エキスパンダムカラー：既存撤去取替			

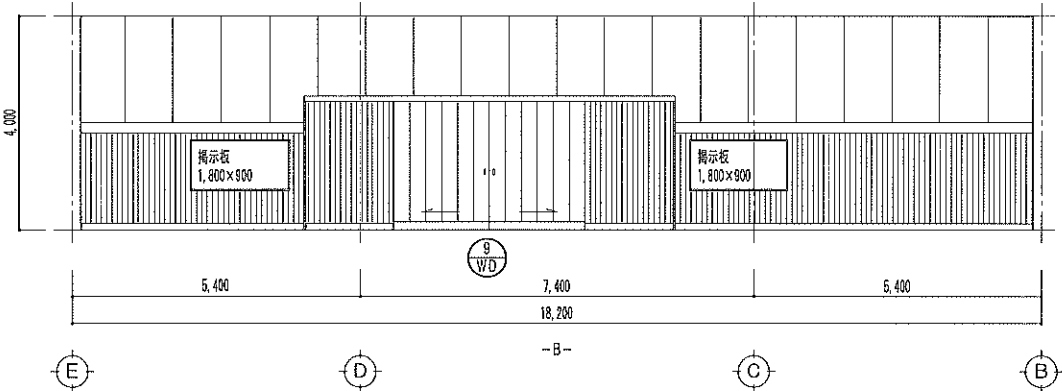
【既存】1階 柔道場



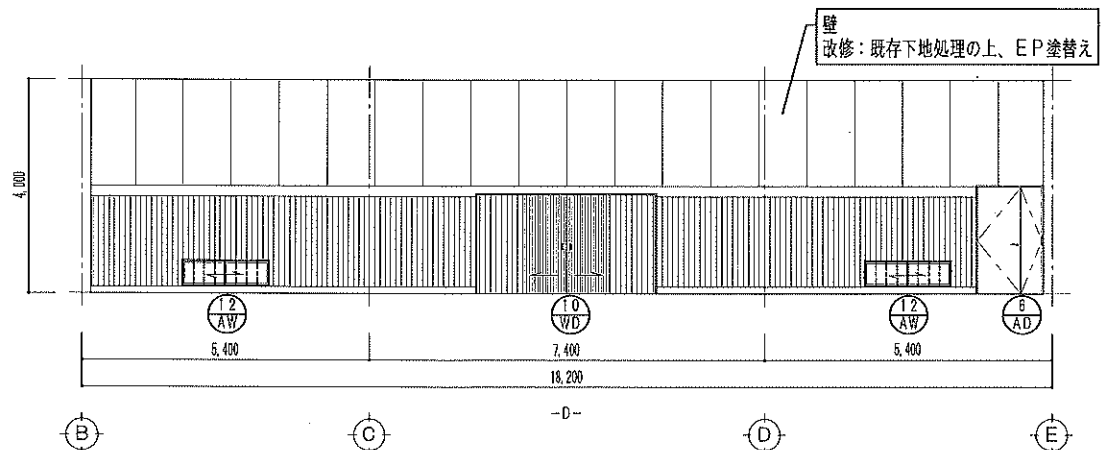
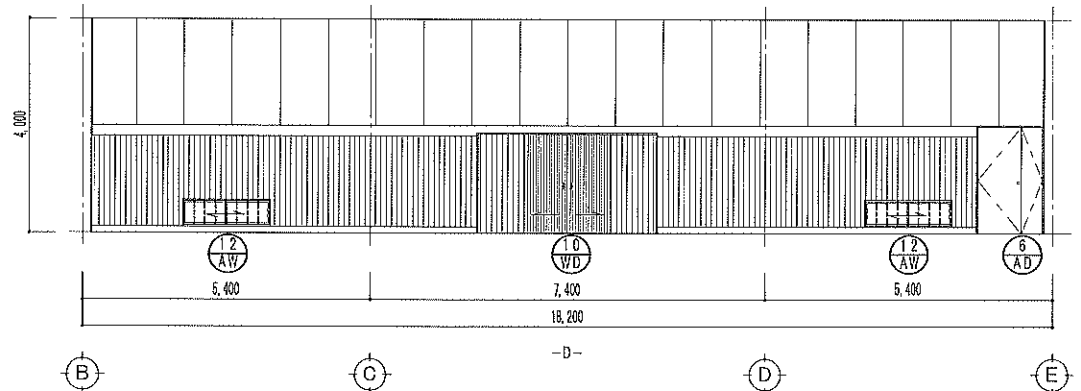
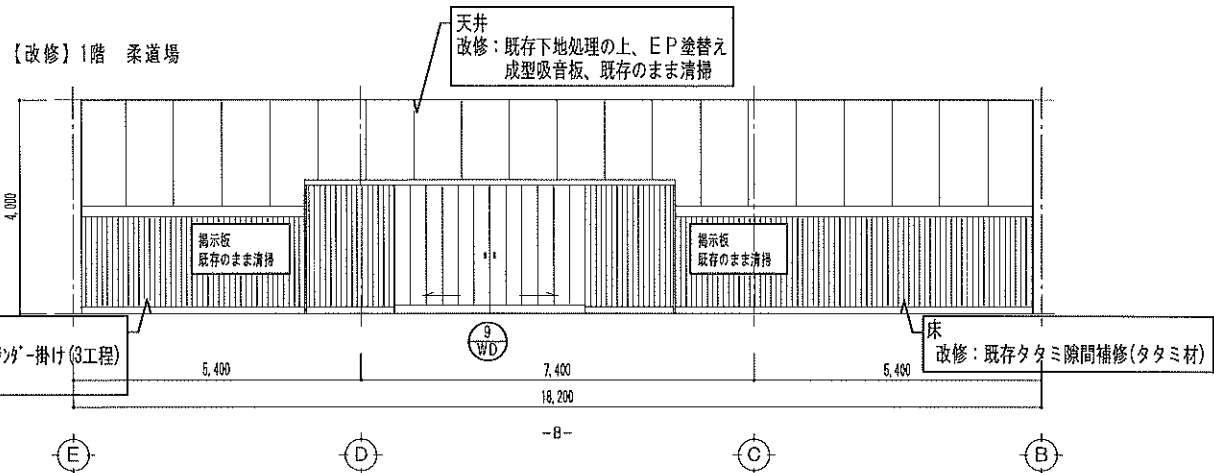
【改修】1階 柔道場



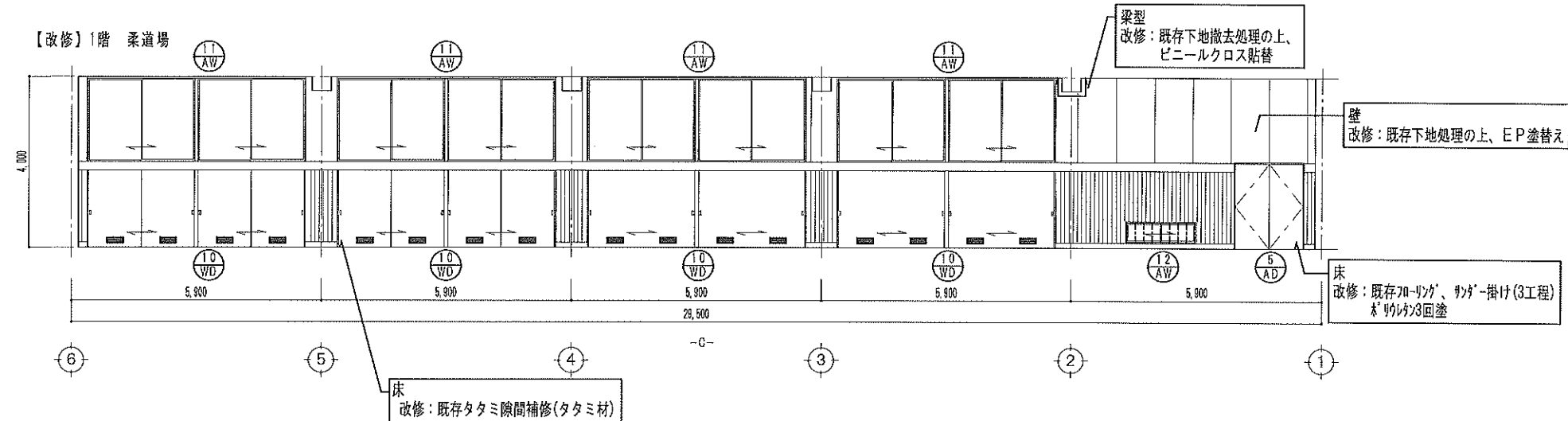
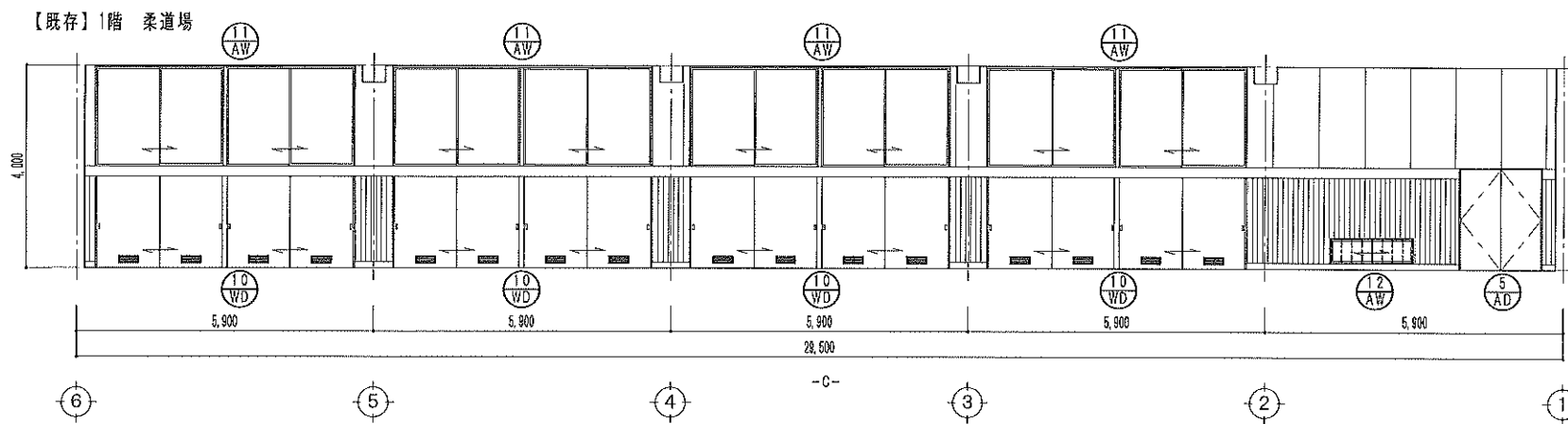
【既存】1階 柔道場



【改修】1階 柔道場



特記事項					訂正事項							
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正				所長	審査	係	製図
A-53	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図 柔道場 (1)	A-2: 1/100 A-3: 1/141.4		1	2	3					一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士
										佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄		整理番号 53



特記事項		訂正事項								
四面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正			所長	審査	係
A-54	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図 柔道場 (2)	A-2 : 1/100 A-3 : 1/141.4		1	2	3			

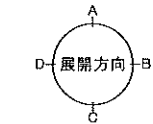
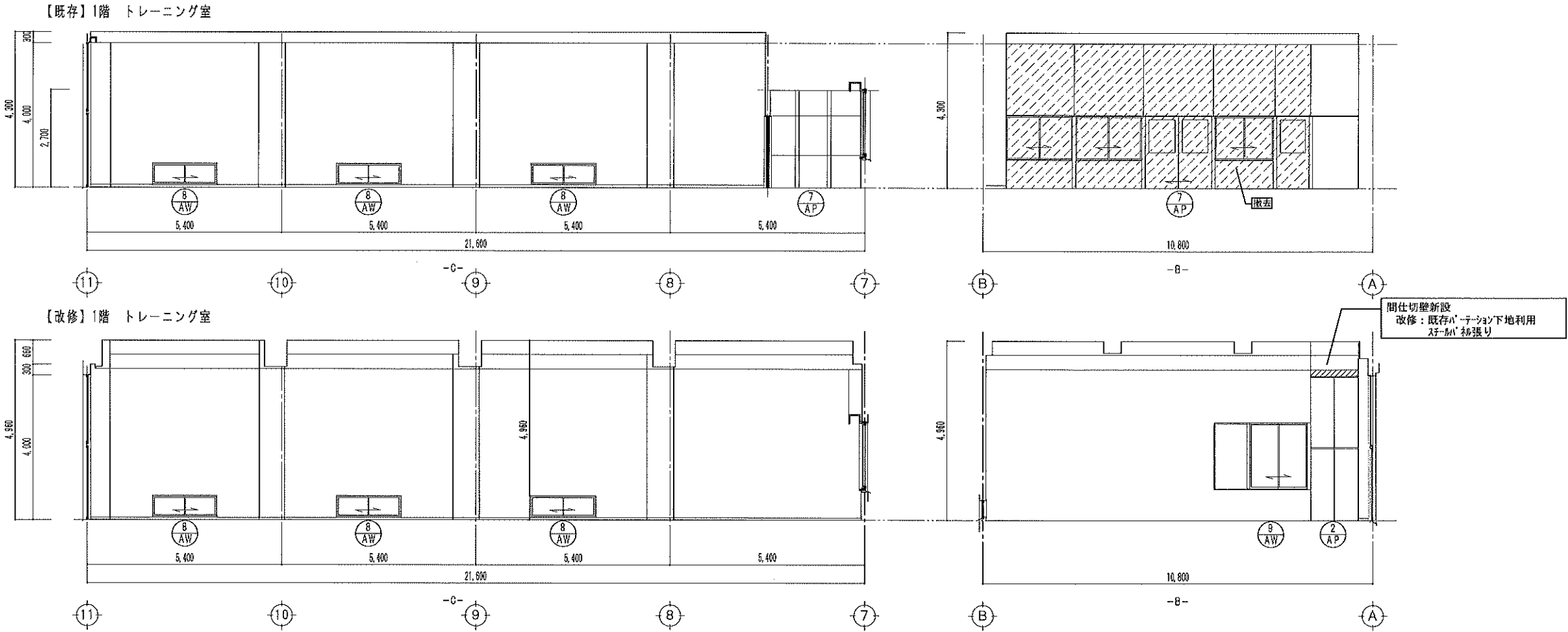
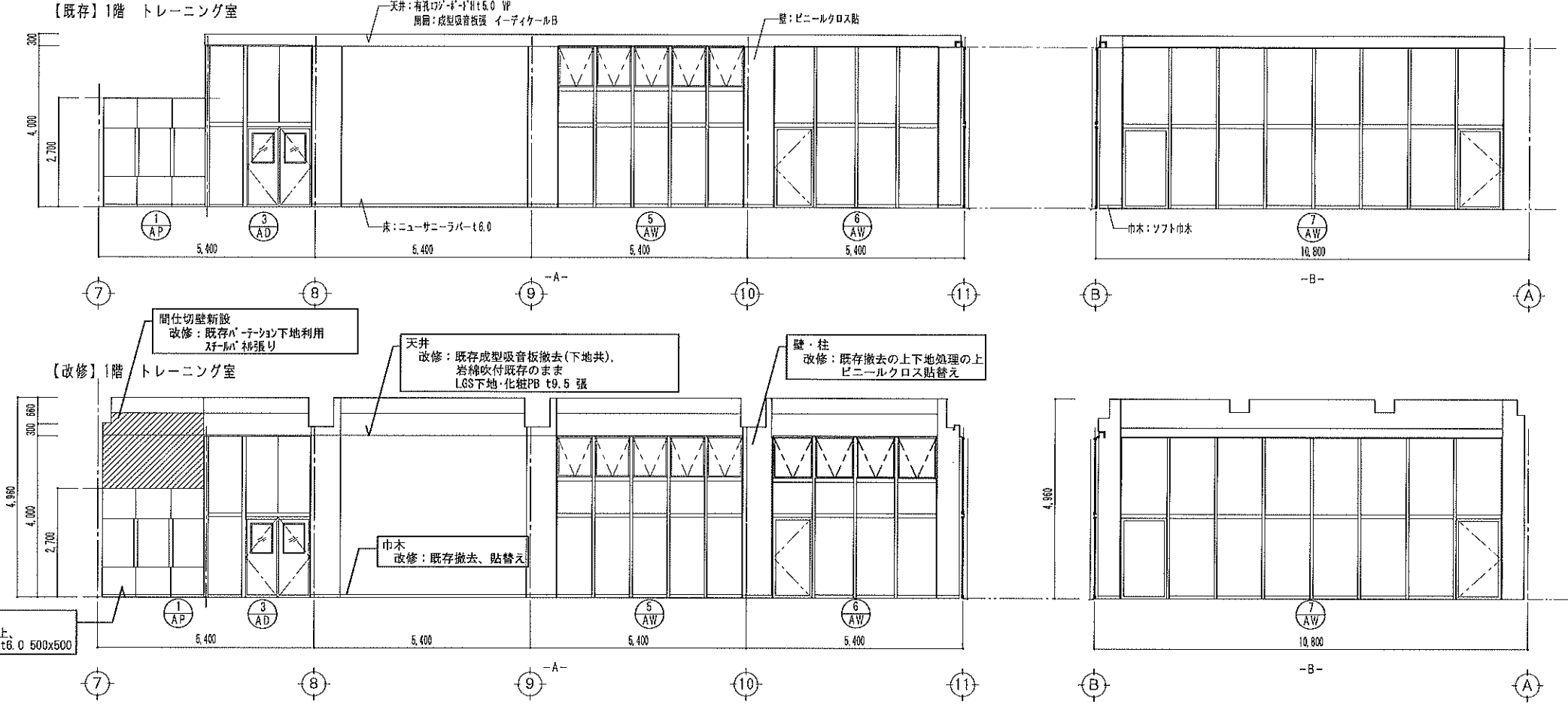
一級建築士事務所
石川県知事登録1303号
一級建築士



佐竹建築事務所
第80667号 佐竹 三雄

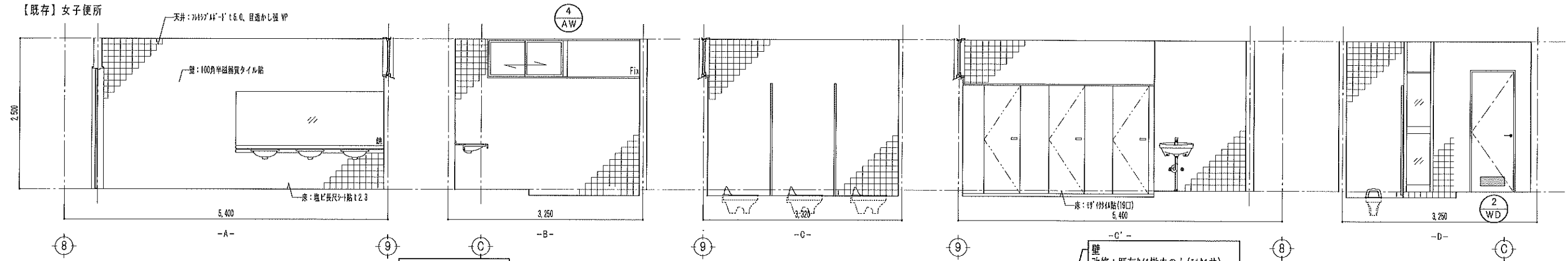
整理番号
54

トレーニング室		天井高さ：0H-4,300~5,000	
天井	既存	コンクリート打放、岩綿吹付(スラブ裏面)	
	改修	成型吸音板貼 イーディケール貼 既存成型吸音板撤去(下地共)、岩綿吹付既存のまま LGS下地・PB t9.5 張、EP塗(天井・梁型美)	
窓	既存	—	
	改修	地ビ	
壁	既存	ビニルクロス貼 モルタル金ゴテ付え アルミ間仕切撤去	
	改修	既存下地調整の上、ビニルクロス貼替え	
巾木	既存	ソフト巾木	H 75
	改修	既存撤去、ソフト巾木	H 60
床	既存	ニューサニラバー t6.0 ピット内 モルタル金ゴテ付え	
	改修	既存撤去下地調整の上、タイルカーペット 16.0 500x500	
備考	・	トランポリンピット封鎖(4,600x2,800xH1,400)	
	■	間仕切新設：LGS下地(x90) PB t12.5張り(片面)	

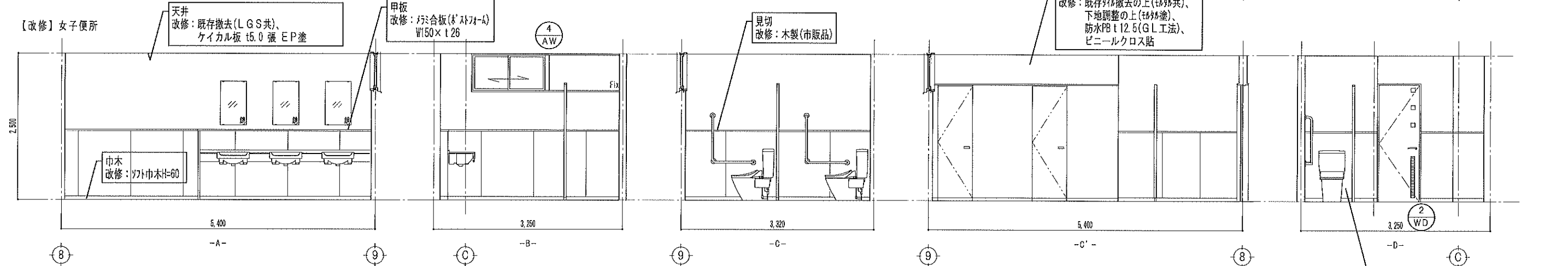


特記事項	工 事 名			訂 正 事 項			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
図面番号	図 面 名 称			縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正							
A-55	宝達志水武道館改修工事			A2 S: 1/100 A3 S: 1/141.4	作図 訂正()	1 2 3							55

【既存】女子便所

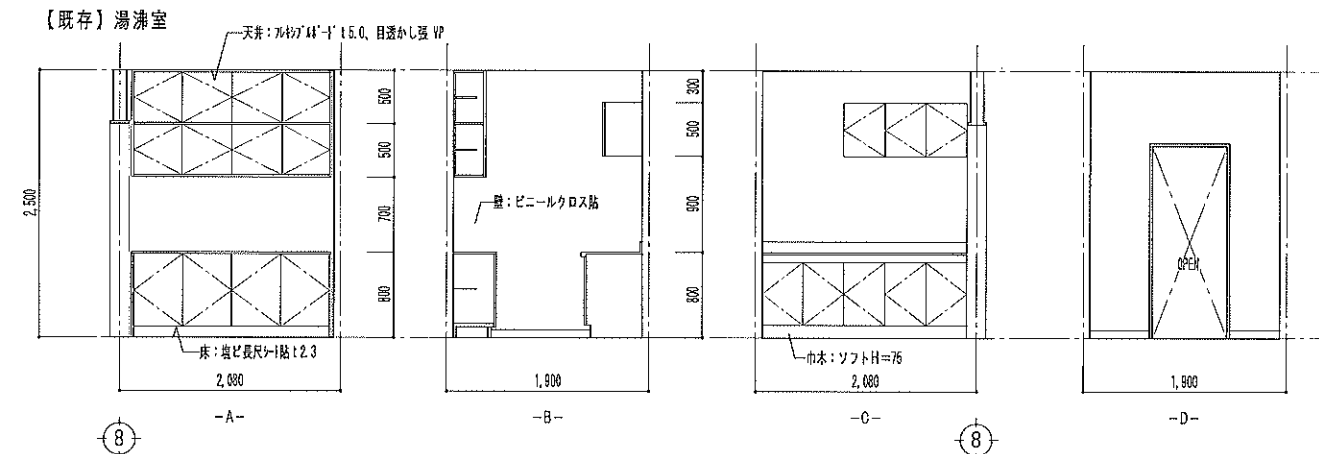


【改修】女子便所

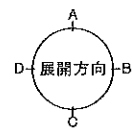
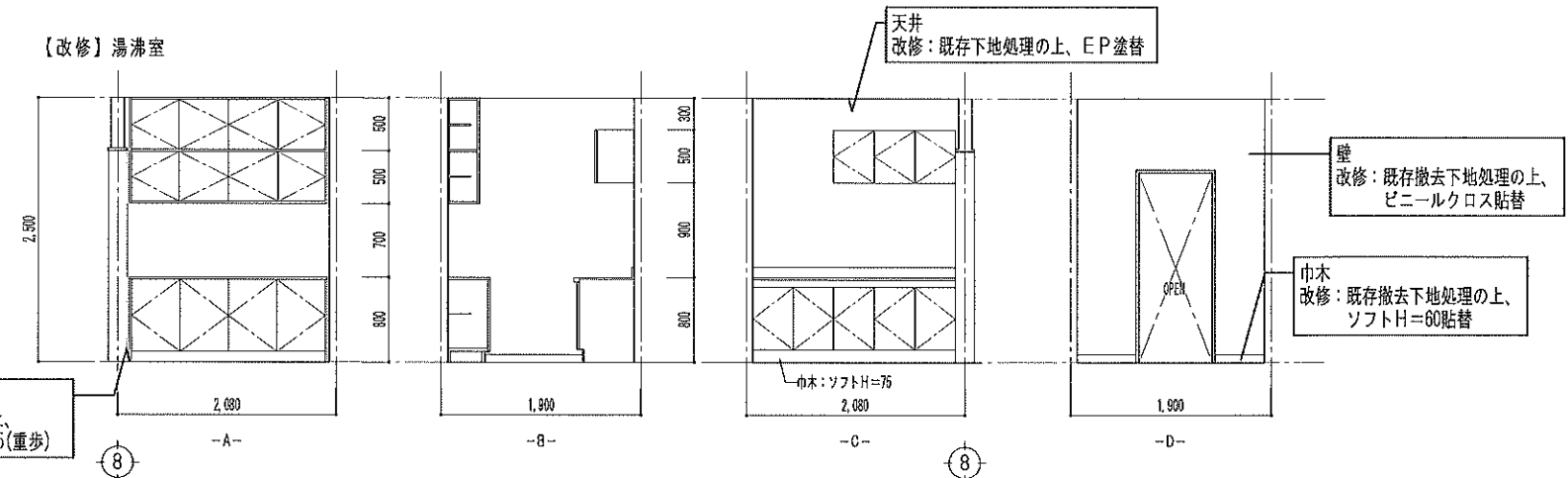


湯冷室		天井高さ：2H=2,500	
天井	既存	フレキシブルボード t5.0 目隠かし張 ヴ P	
	改修	既存下地処理の上、E.P 塗替	
図縁	既存	塩ビ	
	改修	既存のまま	
壁	既存	ビニールクロス貼 モルタル金ゴテ押え	
	改修	既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替	
巾木	既存	ソフト巾木	H 75
	改修	ソフト貼替	H 60
床	既存	塩ビシート貼 t2.3 モルタル金ゴテ押え	
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替 t2.5(直歩)	
備考	・渡し台、吊钩、レンジフード：取替 ・レンジ：撤去 ・換気扇：水切(アルミ) ・IH：新設		

【既存】湯沸室



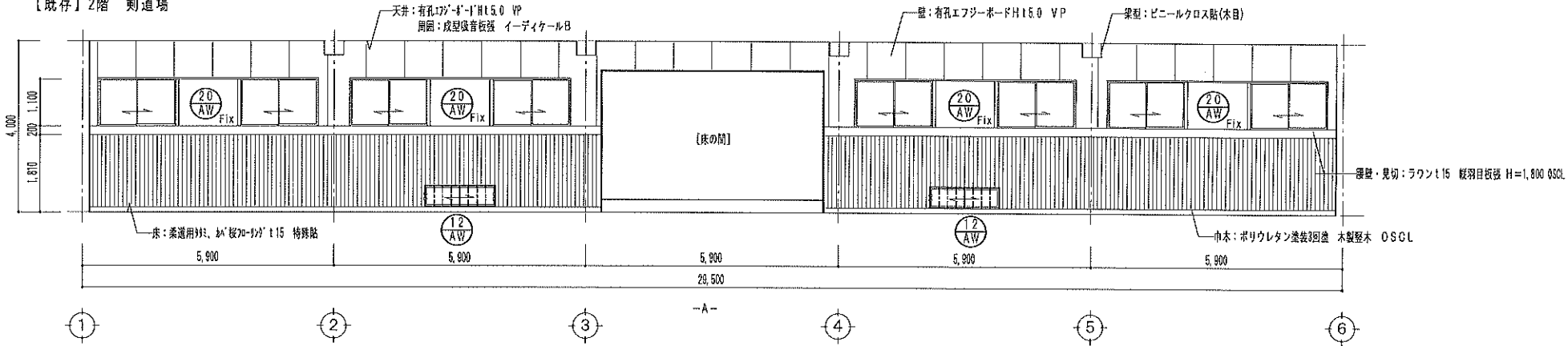
【改修】湯沸室



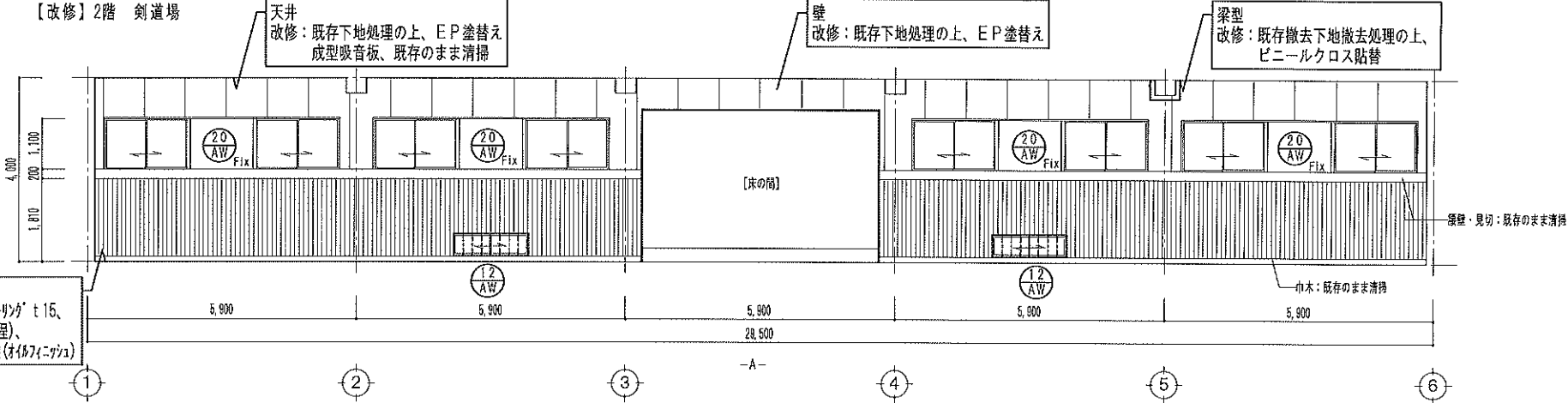
特 記 事 項					訂 正 事 項										
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-58	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図 (2階便所・湯沸室)	A-2: 1/60 A-3: 1/70.7		1	2	3							58	

2階 剣道場		天井高さ: 00=4,000	
天井	既存	格天井 有孔エフジボードH15.0 VP	
	改修	周囲: 成型吸音板 イーディケールB 梁型: 既存下地、ビニールクロス貼 既存下地処理の上、EP塗替え 成型吸音板、既存のまま清掃 梁型: 既存撤去、下地処理の上、ビニールクロス貼替	
図様	既存	木製OSCL 差	
	改修	既存のまま清掃	
壁	既存	有孔エフジボードH15.0 VP 梁型: ビニールクロス貼 モルタル金ゴテ	
	改修	既存下地処理の上、EP塗替	
床	既存	ラワン115 縦羽目板張 H=1,800 OSCL 木下地	
	改修	既存のまま清掃	
巾木	既存	木製壁木 OSCL	H 120
	改修	既存のまま清掃	H 120
床	既存	カバ板フローリング115 特殊貼 捨床板1115.0、鋼製床組(203)	
	改修	既存カバ板フローリング115、リリグ-掛(3工程)、 全体塗装2回塗(オキナフニツシ)	
備考	・収納棚: 既存のまま ・看板(築道場): 既存のまま ・床の間: 既存タミ表替		
	・掲示板(1,800×900)2ヶ所: 既存のまま清掃 ・点検口: 既存のまま清掃 ・障子: 既存撤去の上、紐引レハ、Y309x336x1- ・ライン引: 11.0×11.0 W50 立金縁含む、外周ライン		

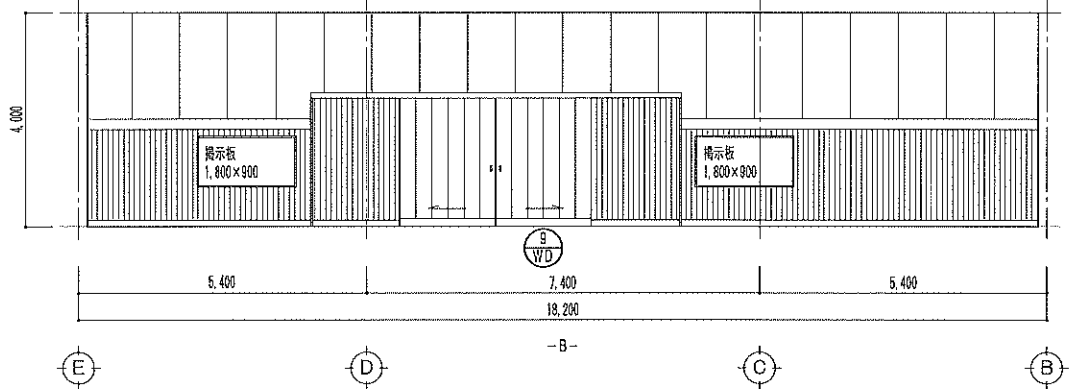
【既存】2階 剣道場



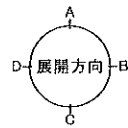
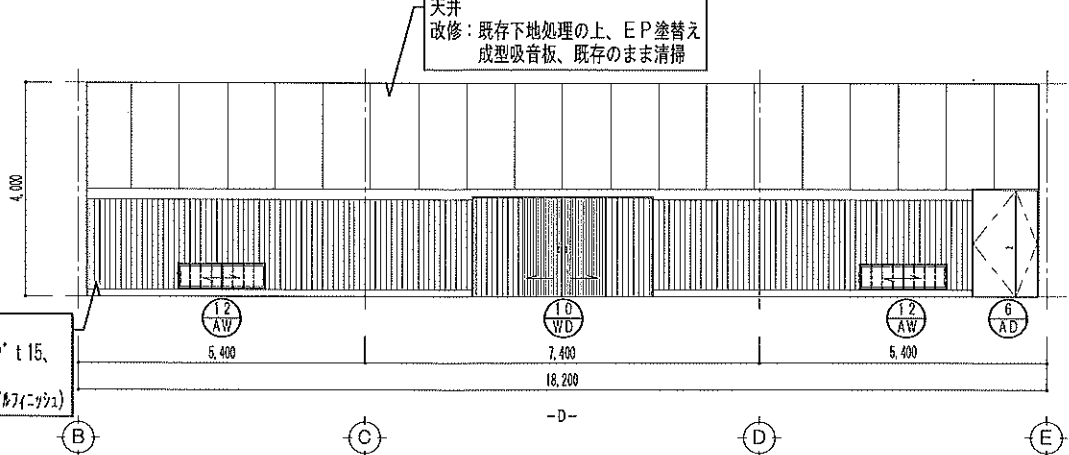
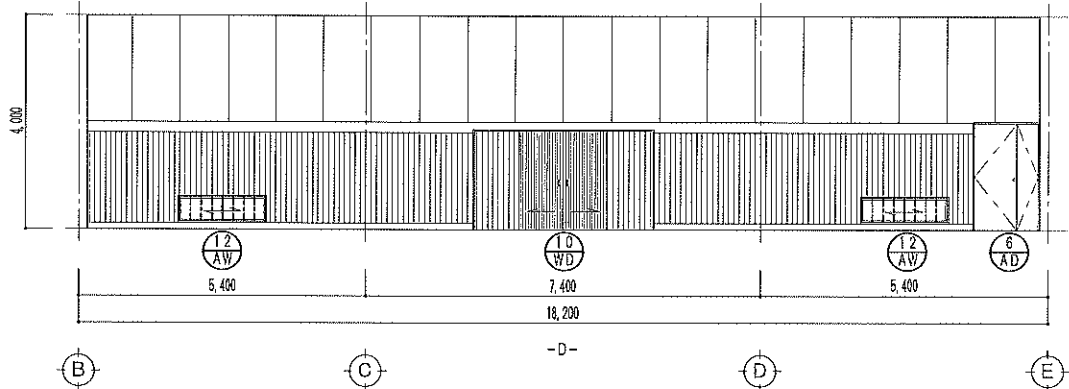
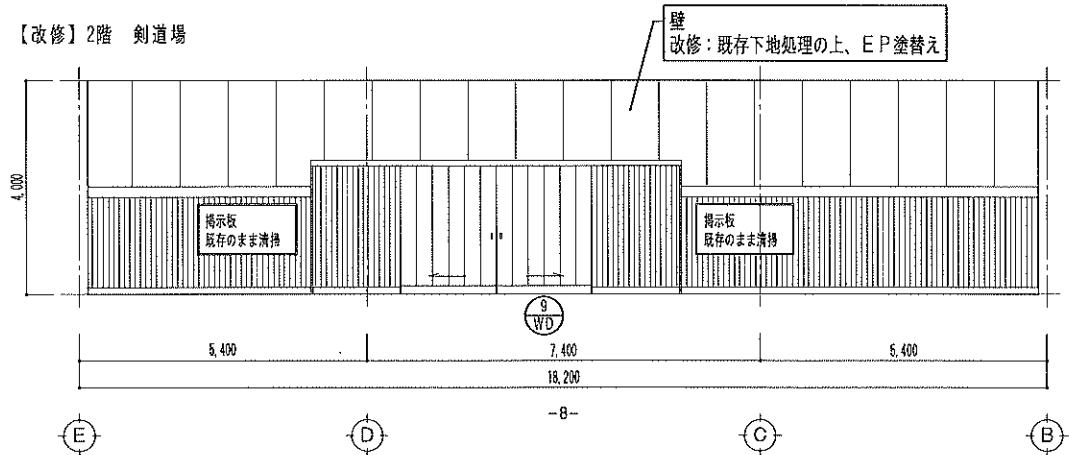
【改修】2階 剣道場



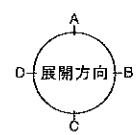
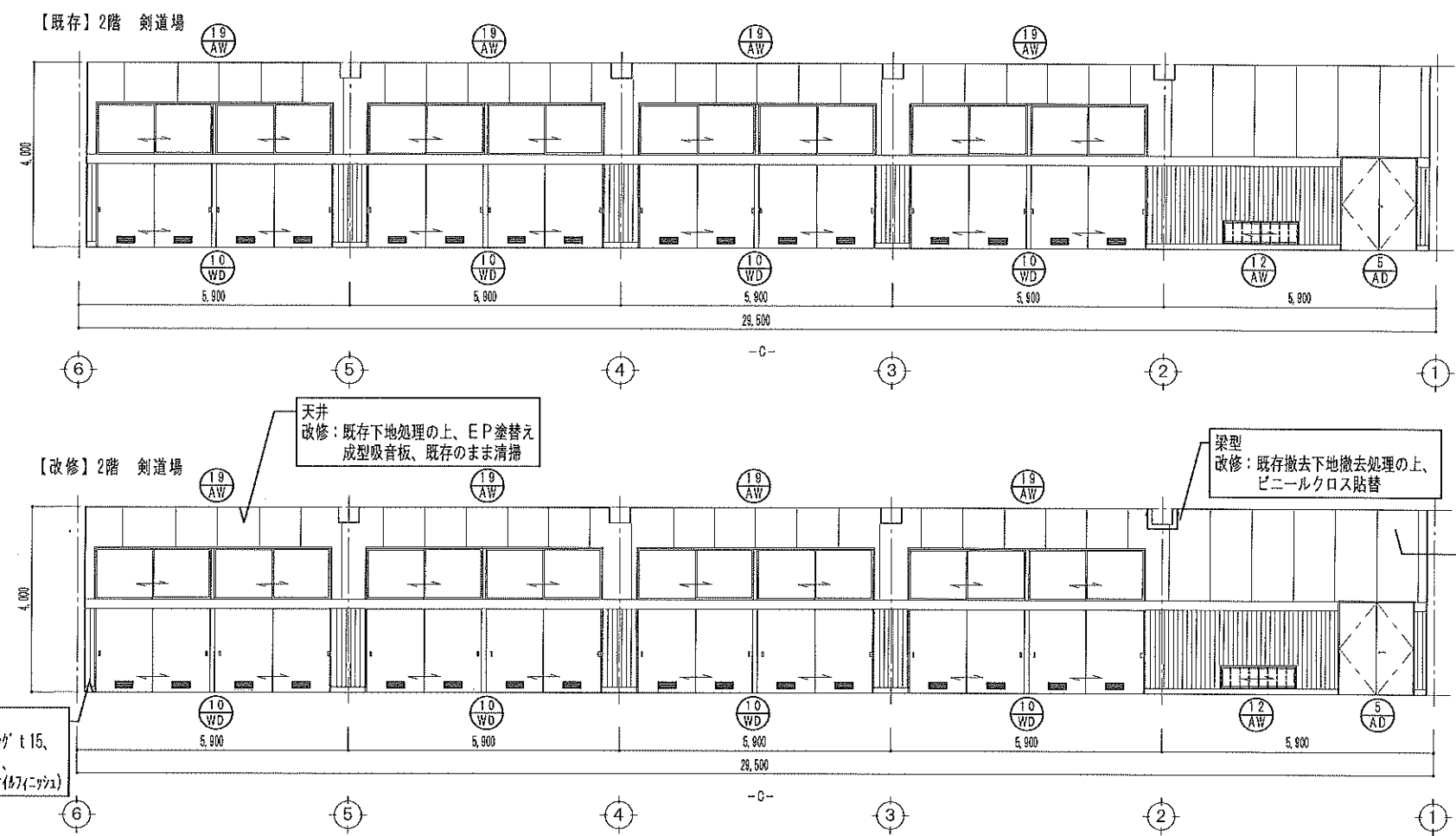
【既存】2階 剣道場



【改修】2階 剣道場



特記事項					訂正事項							
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正	所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹三雄	整理番号
A-59	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図 (剣道場) (1)	A-2: 1/100 A-3: 1/141.4		1 2 3							59



特記事項				訂正事項							
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正			所長	審査	係	製図
A-60	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図 (剣道場) (2)	A-2: 1/100 A-3: 1/141.4		1	2	3				

一級建築士事務所
石川県知事登録1303号
一級建築士

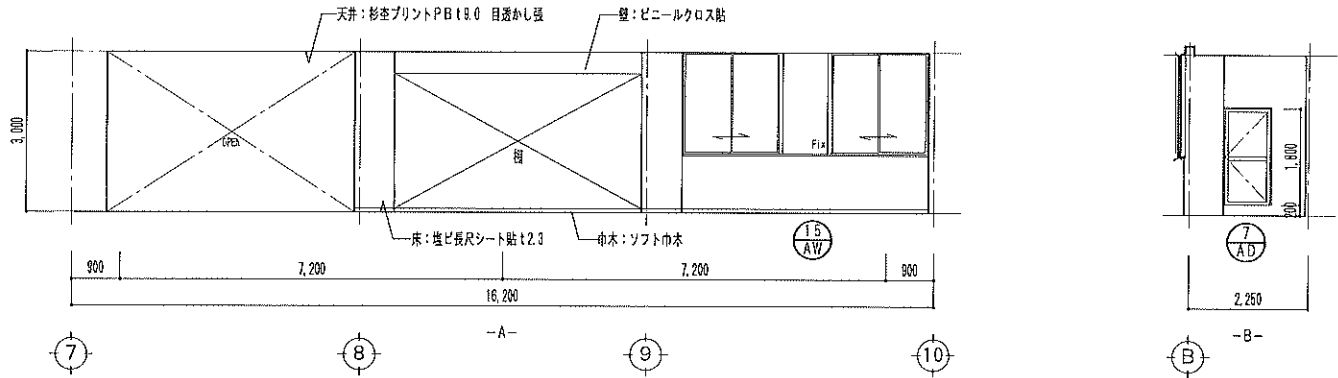


佐竹建築事務所
第80667号 佐竹 三雄

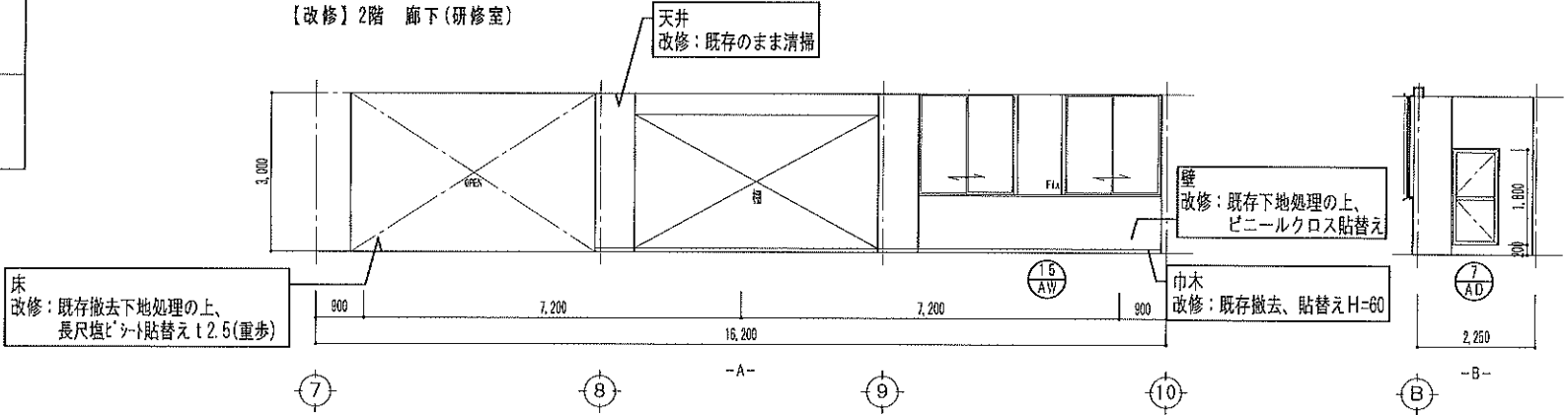
整理番号
60

2階 廊下(研修室)		天井高さ: GR-3,000		
天井	既存	杉空プリントPB10.0 目透かし強		
	改修	既存のまま清掃		
通路	既存	塩ビ		
	改修	既存のまま		
壁	既存	ビニールクロス貼 モルタル金ゴテ控え		
	改修	既存撤去下地処理の上、ビニールクロス貼替え		
巾木	既存	ソフト巾木	H	75
	改修	既存撤去、貼替	H	60
床	既存	塩ビ長尺シート貼12.3 バックアップ材入 モルタル金ゴテ控え		
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート貼替え12.5(重歩)		
備考	・飾り物: 既存のまま清掃 ・珪藻、踏石、踏合(浜床): 既存のまま清掃 ・掲示板(1,800×900)1ヶ所: 既存のまま			

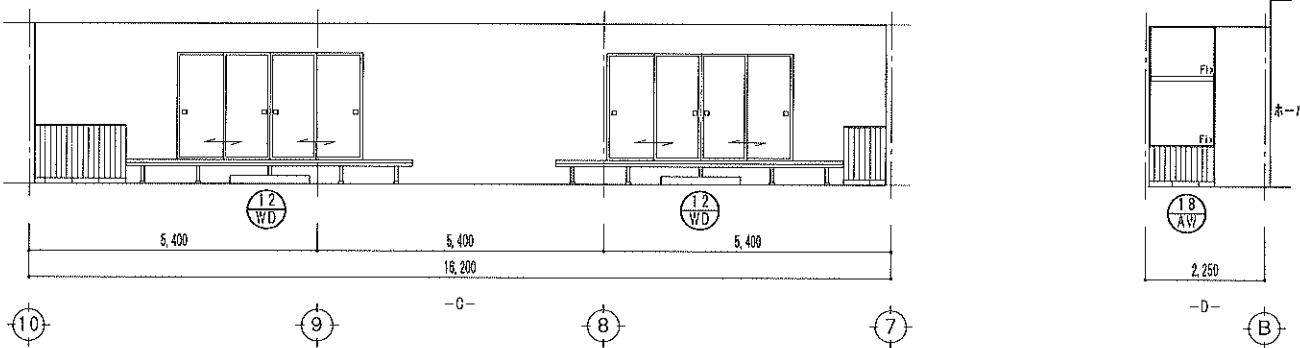
【既存】2階 廊下(研修室)



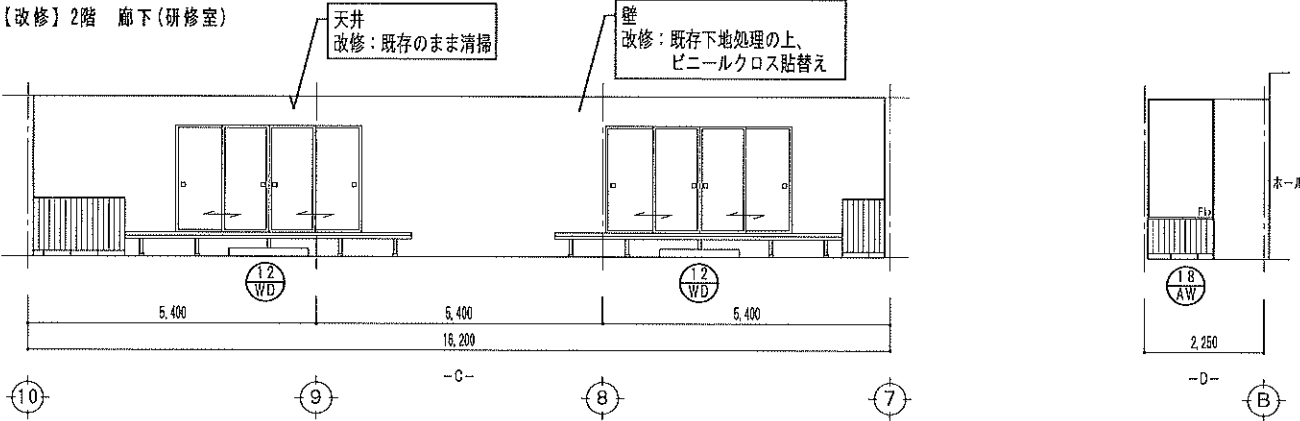
【改修】2階 廊下(研修室)



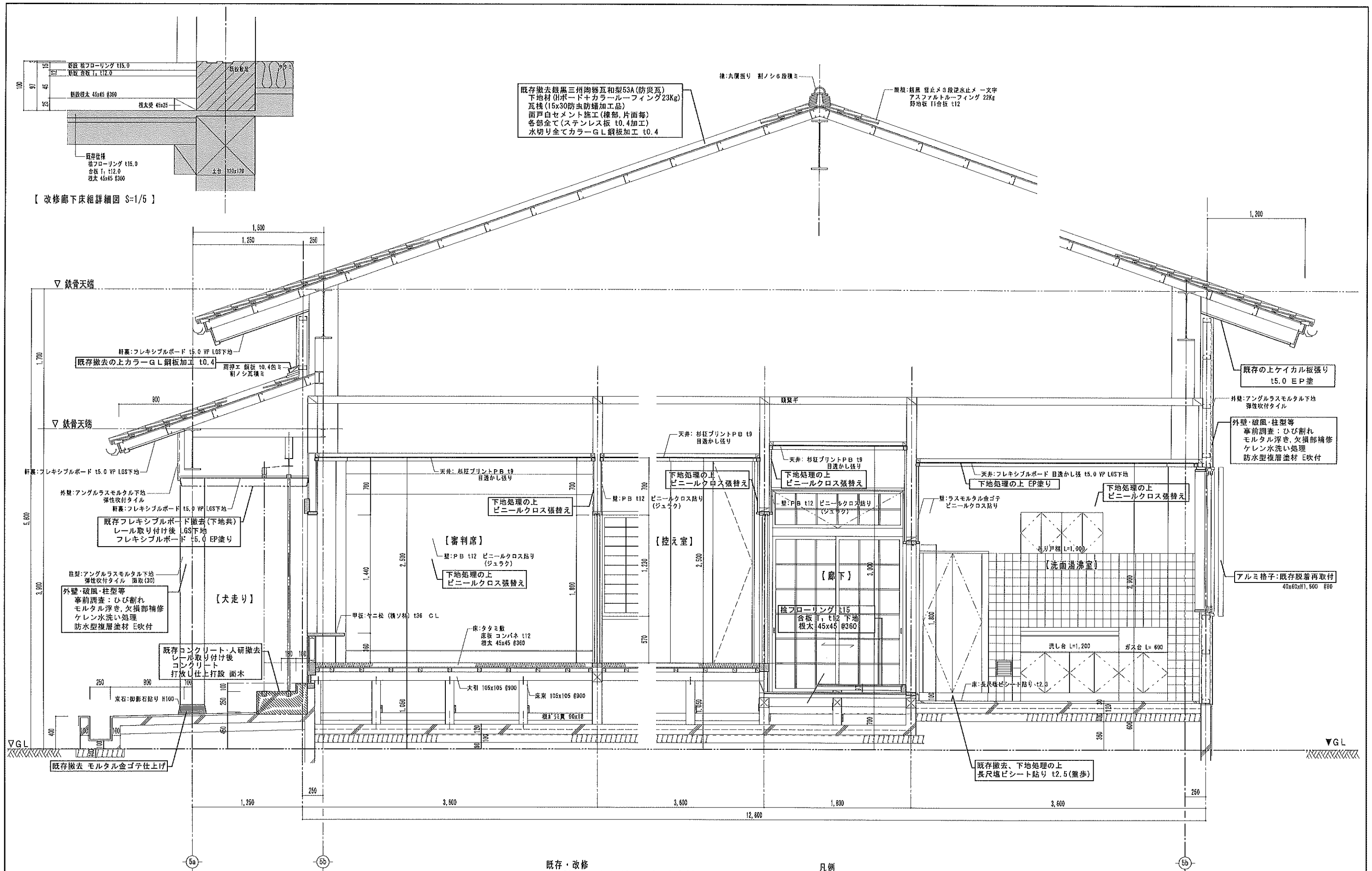
【既存】2階 廊下(研修室)



【改修】2階 廊下(研修室)



特記事項					訂正事項									
図面番号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	 佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-62	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図(研修室前廊下)	A-2: 1/100 A-3: 1/141.4		1	2	3							62

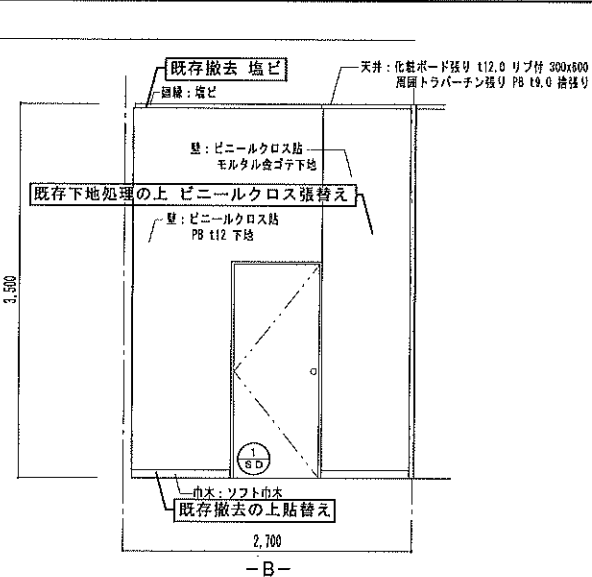
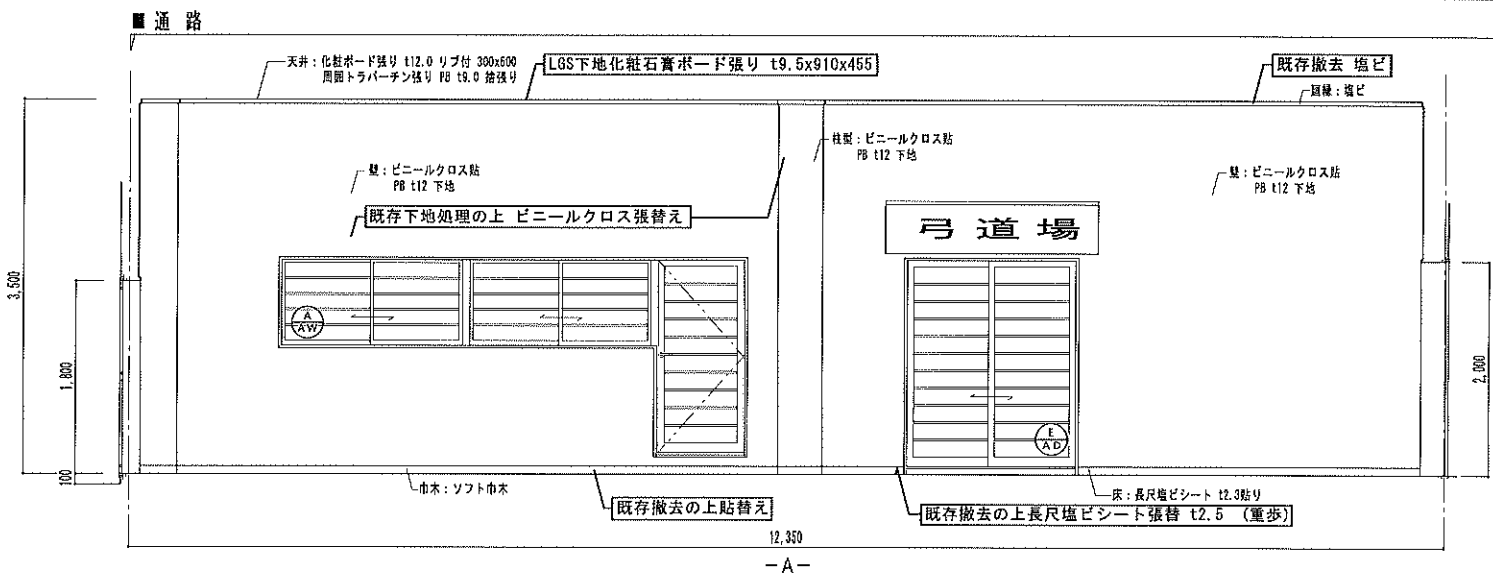


既存・改修
【矩計図 (2) (審判～洗面湯沸室) S:1/30 (A2)】

凡例
☐ 改修に依る仕上げ
 特記ナキ限り
 ・木部は既存のまま清掃
 ・タタミは全て裁替え
 ・天井目透かし張りは、既存のまま清掃

待 記 事 項		訂 正 事 項		所 長				製 図		一 級 建 築 士 事 務 所		佐 竹 建 築 事 務 所	整 理 番 号
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正	1	2	3	所 長	審 査	係		
A-66	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 矩計図 (2) (審判～洗面湯沸室)	A2 S:1/30 A3 S:1/42.4	作図 訂正 ()								第 80667 号 佐 竹 三 雄	66

道 路		天井高さ：3,500	
天井	既存	PB 19.0 換気の上化粧ボード張り t12.0リブ付300x600 周囲トラバーチン張り	
	改修	既存撤去 (LGS貼) LGS下地化粧石膏ボード張り t9.5x910x455	
屋根 (見切)	既存	塩ビ	
	改修	既存撤去 塩ビ	
壁	既存	ビニールクロス貼 PB t12.0 下地 モルタル金ゴテ下地	
	改修	既存下地処理の上 ビニールクロス貼替え	
床	既存		H
	改修		
巾木	既存	ソフト巾木	H 75
	改修	既存撤去の上貼替え	60
床	既存	塩ビシート貼り t2.3 モルタル金ゴテ下地	
	改修	既存撤去の上長尺塩ビシート張替 t2.5 (重歩)	
備考	・収納棚：既存のまま、清掃・調整 ・名指板：弓道場、既存のまま清掃		

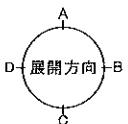
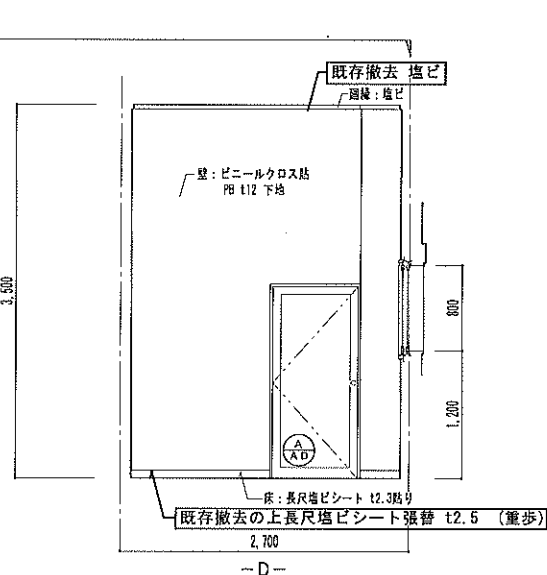
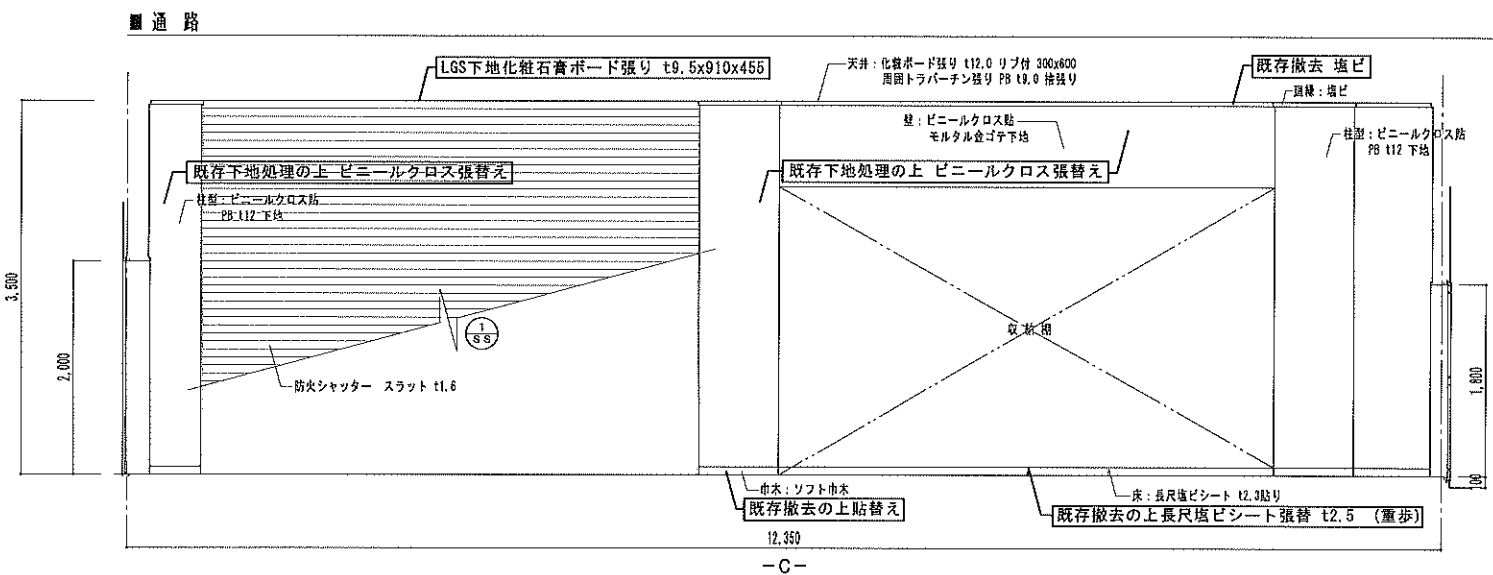


凡例

改修による仕上げ

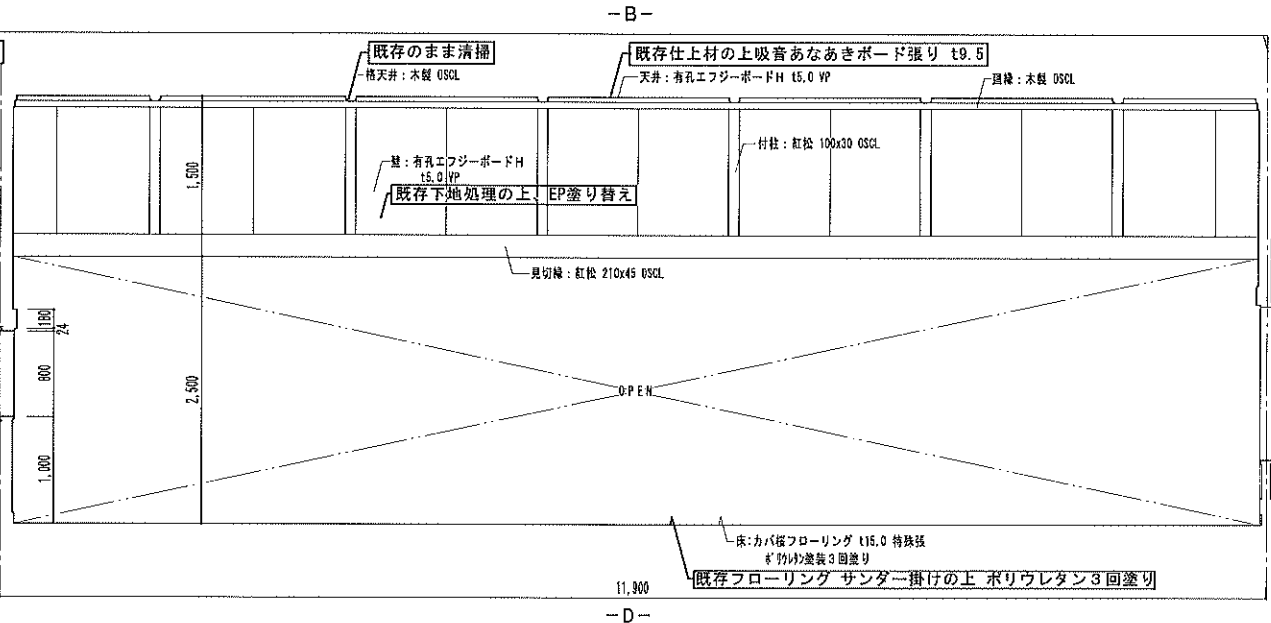
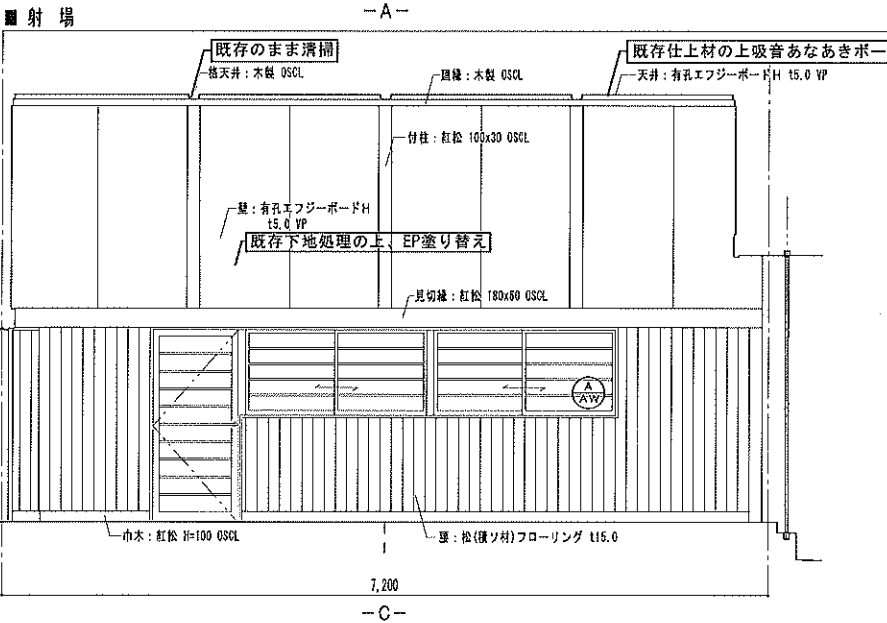
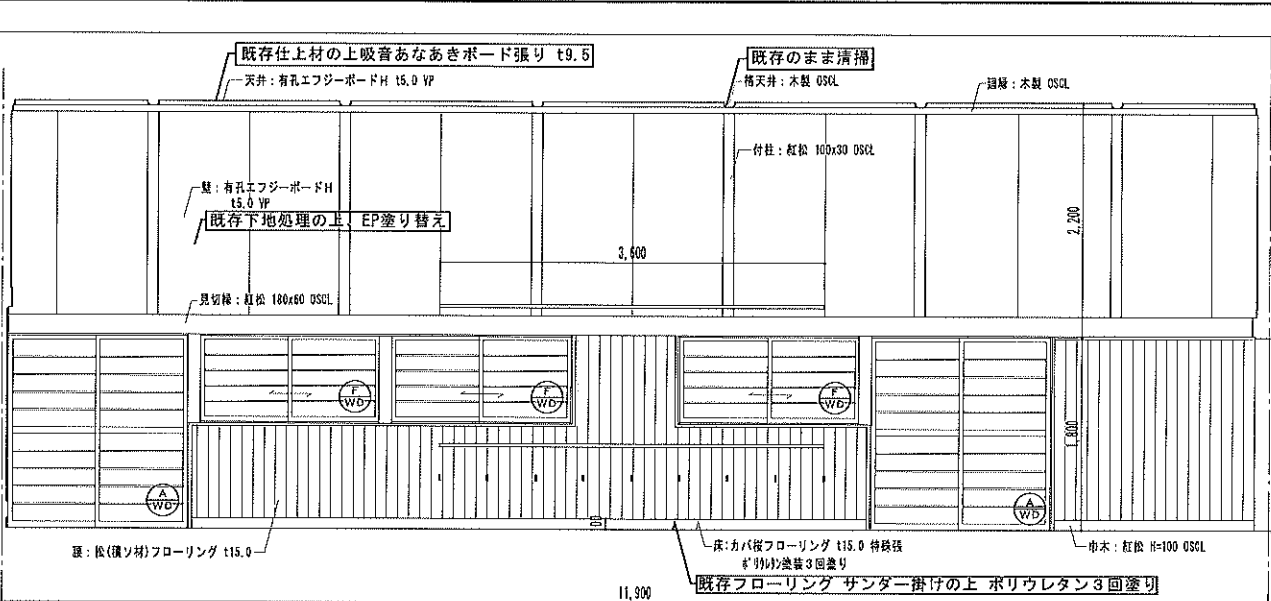
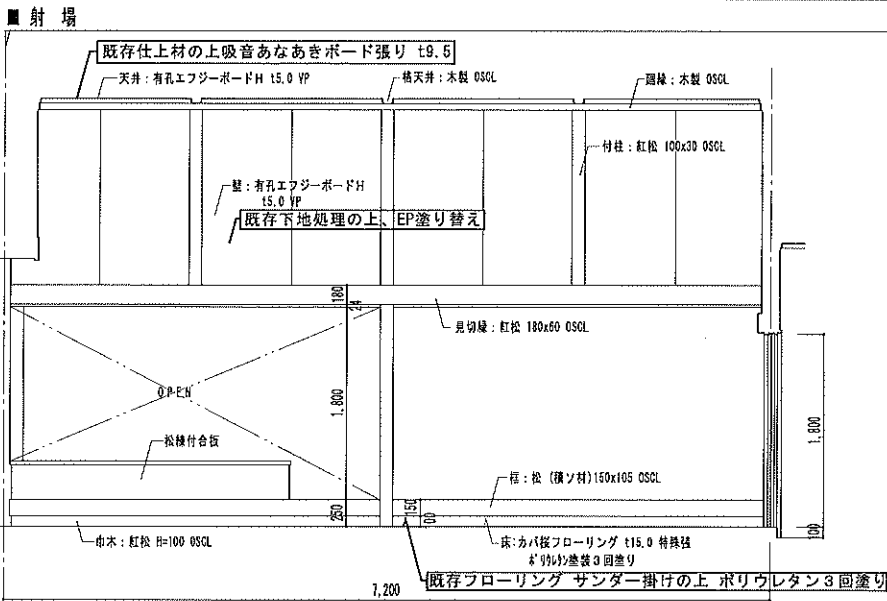
特記ナキ限り

・木部塗装は全て既存のまま清掃



特 記 事 項					訂 正 事 項											
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一 級 建 築 士		佐竹建築事務所 第 80667号 佐 竹 三 雄		整 理 番 号
A-70	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 展開図 (I) (通路)	A2 S:1/60 A3 S:1/70.7	作図 訂正()	1	2	3									70

射場	天井高さ: 4,000
天井	既存 有孔エフジーボードH 15.0 VP 後天井: 木製 OSCL
改修	既存仕上材の上吸音あなきボード張り t9.5 後天井: 木製 OSCL 付柱: 既存のまま清掃
図縁(見切)	既存 木製 OSCL 改修 既存のまま清掃
壁	既存 有孔エフジーボードH 15.0 VP 付柱 OSCL 改修 既存下地処理の上、EP塗り替え 付柱: 既存のまま清掃
床	既存 松(積ノ材)フローリング t15 改修 既存のまま清掃
巾木	既存 紅松 OSCL 改修 既存のまま清掃
床	既存 カバ板フローリング t15.0 特殊板 6'9"巾塗装3回塗り 付柱: 既存のまま清掃 改修 既存フローリング サンダー掛けの上 ポリウレタン3回塗り
備考	・電光掲示板: 撤去



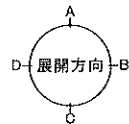
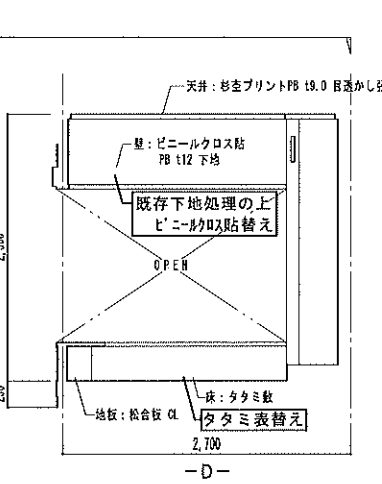
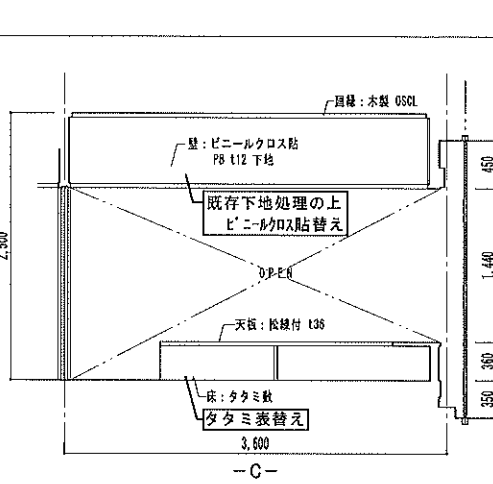
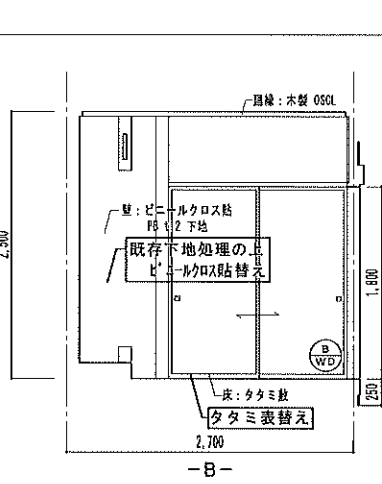
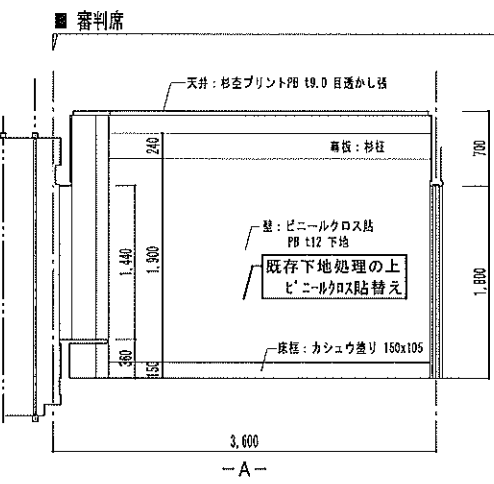
凡例

改修による仕上げ

特記ナキ限り

- ・木部塗装は全て既存のまま清掃
- ・タタミ敷きは全て表替えとする

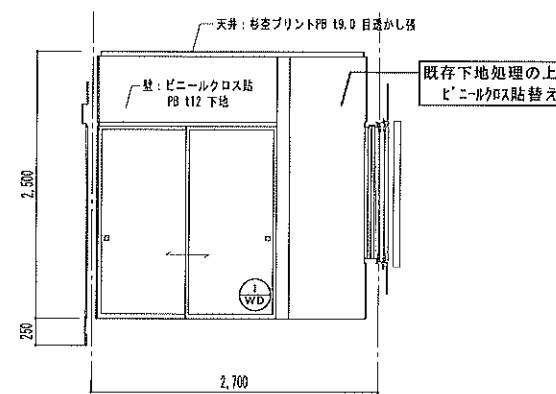
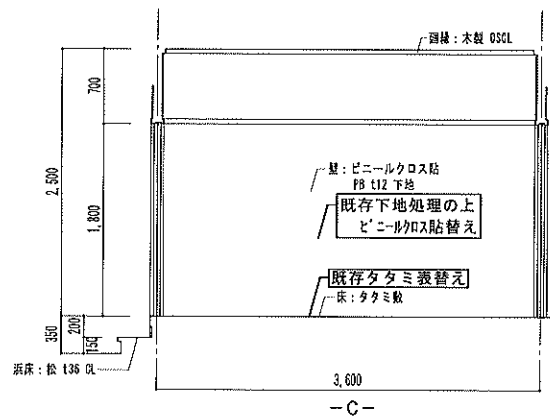
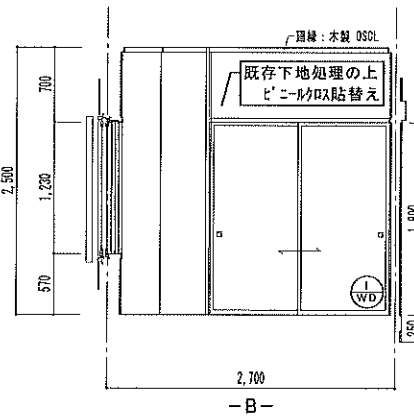
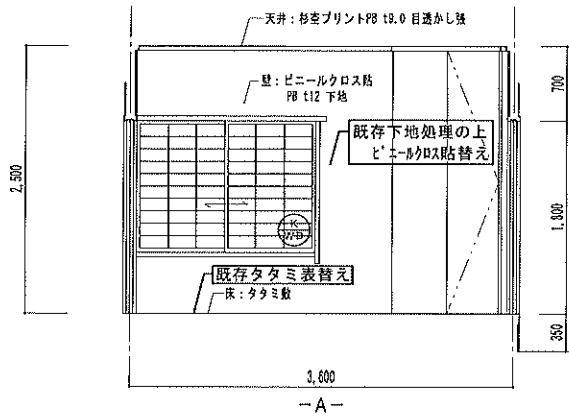
審判席	天井高さ: 2,500
天井	既存 杉板プリント PB t9.0 目透かし張
改修	既存のまま清掃
図縁(見切)	既存 木製 OSCL 改修 既存のまま清掃
壁	既存 ビニールクロス貼 PB t12 下地 改修 既存下地処理の上 ビニールクロス貼替え
床	既存 タタミ敷き 改修 既存タタミ表替え
巾木	既存 杉板プリント PB t9.0 目透かし張 改修 既存のまま清掃
床	既存 タタミ敷き 改修 既存タタミ表替え
備考	・床の裏 ・床板 ・裏板 ・各部位既存のまま清掃



特記事項	訂正事項	所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号 72
四面番号 A-72	工事名 宝達志水武道館改修工事	図面名称 既存:改修 展開図 (3) (射場・審判席)	総尺 A2 S:1/50 A3 S:1/70.7	設計年月日 作図 訂正()	訂正 1 2 3			

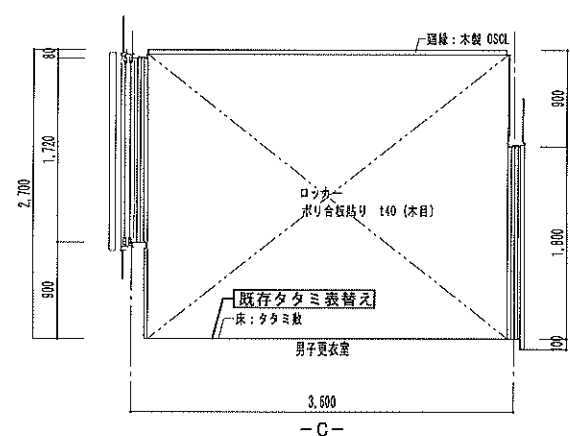
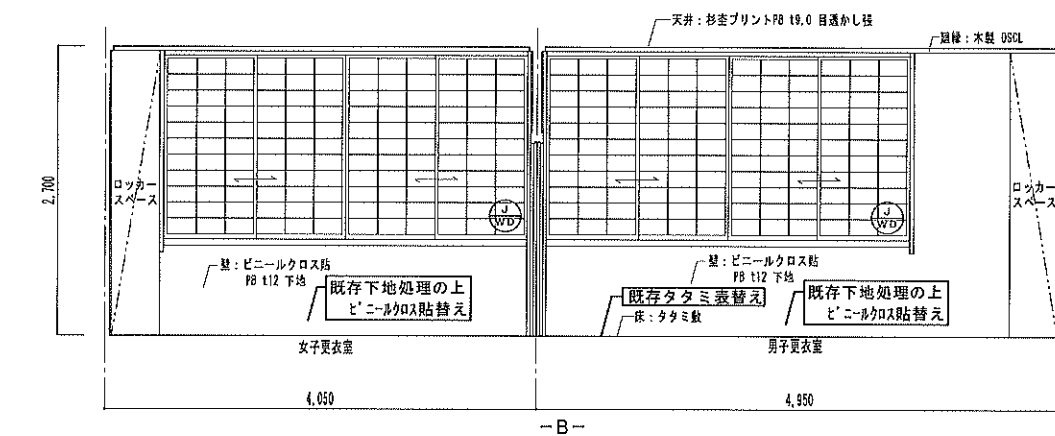
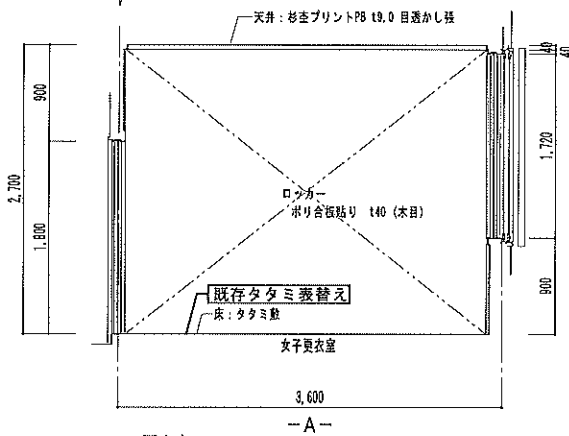
控室		天井高さ：2,500
天井	既存	杉空プリント PB 19.0 目透かし張
	改修	既存のまま清掃
廻縁(見切)	既存	木製 OSCL
	改修	既存のまま清掃
壁	既存	ビニールクロス貼(ジュラク模様) PB t12.0 下地
	改修	既存下地処理の上 ビニールクロス貼替え
扉	既存	
	改修	
巾木	既存	タタミ寄せ
	改修	既存のまま清掃
床	既存	タタミ敷き 施設板(コンパネ) T1 t12.0
	改修	既存タタミ張替え
備考	・ロッカー(右立て)：既存のまま	

■ 控室

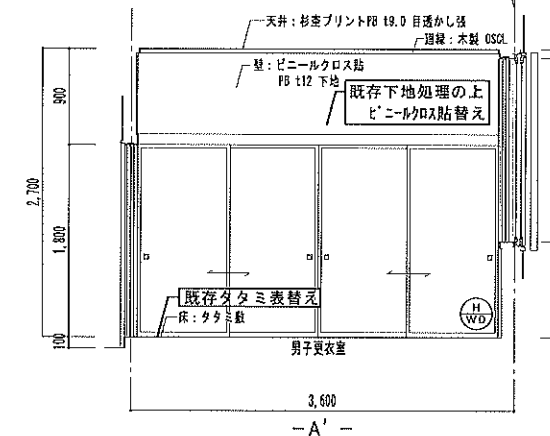
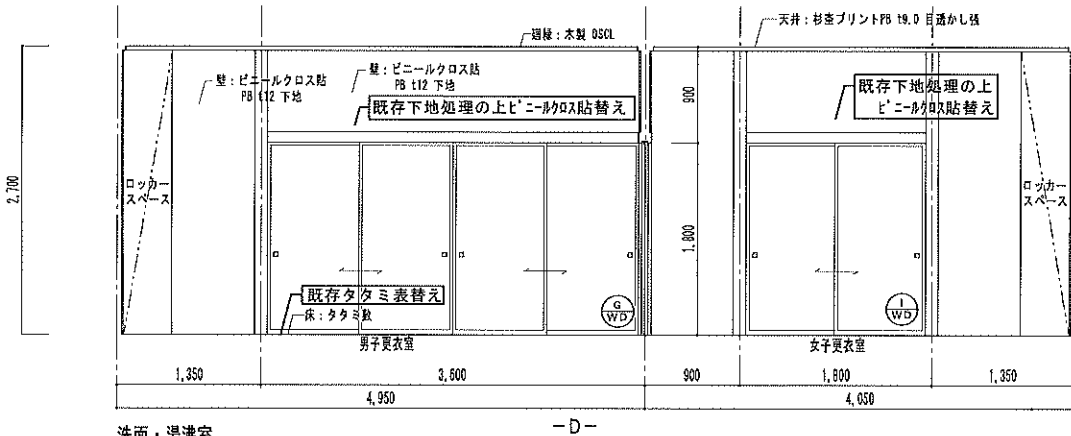


更衣室(男・女)		天井高さ：2,700
天井	既存	杉空プリント PB 19.0 目透かし張
	改修	既存のまま清掃
廻縁(見切)	既存	木製 OSCL
	改修	既存のまま清掃
壁	既存	ビニールクロス貼(ジュラク模様) PB t12.0 下地
	改修	既存下地処理の上 ビニールクロス貼替え
扉	既存	
	改修	
巾木	既存	タタミ寄せ
	改修	既存のまま清掃
床	既存	タタミ敷き 施設板(コンパネ) T1 t12.0
	改修	既存タタミ張替え
備考	・収納ロッカー：既存のまま	

■ 更衣室 (男子・女子更衣室)



■ 更衣室 (男子・女子更衣室)

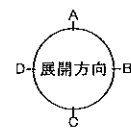
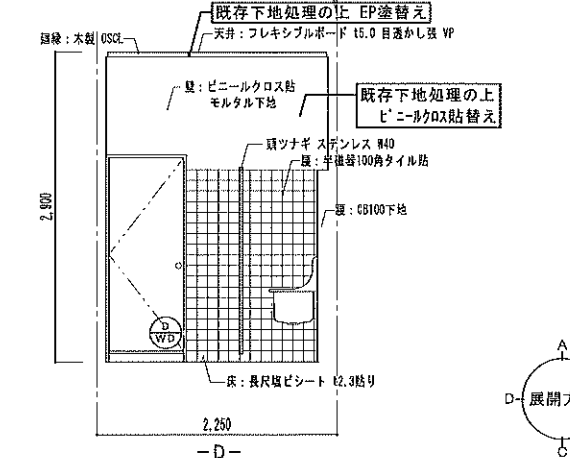
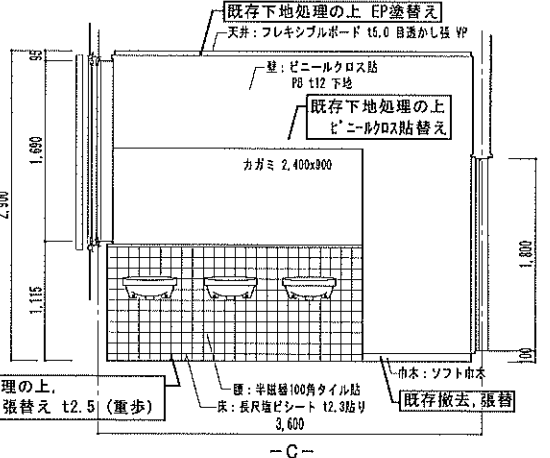
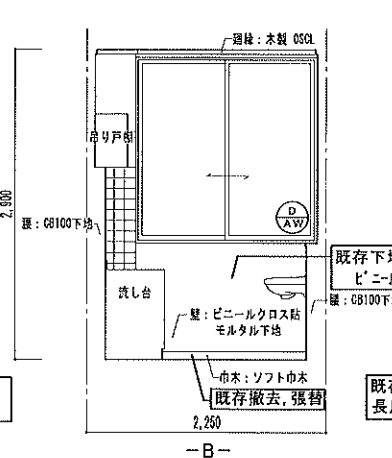
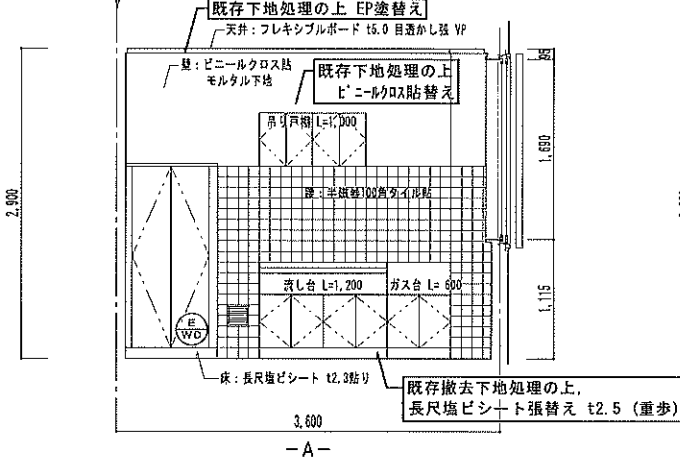


凡例
 改修による仕上げ

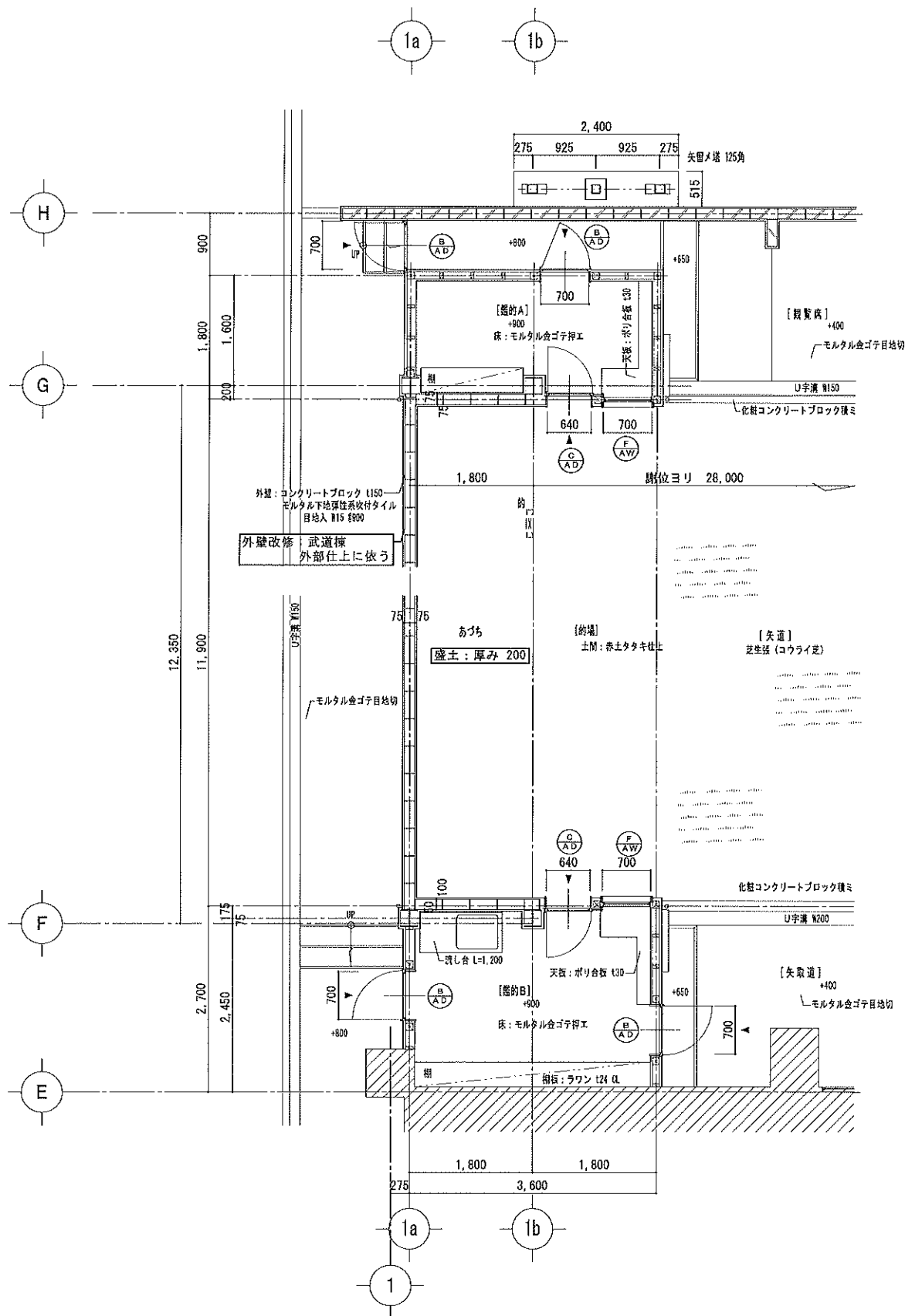
特記ナキ限り
 ・木部塗装は全て既存のまま清掃
 ・タタミ敷きは全て表替えとする

洗面・湯沸室		天井高さ：2,900
天井	既存	フレキシブルボード t5.0 目透かし張 VP
	改修	既存下地処理の上 EP塗替え
廻縁(見切)	既存	木製 OSCL
	改修	既存のまま清掃
壁	既存	ビニールクロス貼(ジュラク模様) ラスモルタル金ゴテ付 t12.0 下地
	改修	既存下地処理の上 ビニールクロス貼替え
扉	既存	半田鍍銀タイル貼り 100角
	改修	既存のまま清掃
巾木	既存	ソフト巾木
	改修	既存撤去、張替
床	既存	長尺塩ビシート貼 t2.3 モルタル金ゴテ付
	改修	既存撤去下地処理の上、長尺塩ビシート張替え t2.5 (重歩)
備考	・流し台: 既存のまま ・水切ステンレス: 施設のまま ・湯沸用器具: 既存のまま ・レンジ: 既存のまま ・給排水(70+1付) 既存のまま ・IH: 新設	

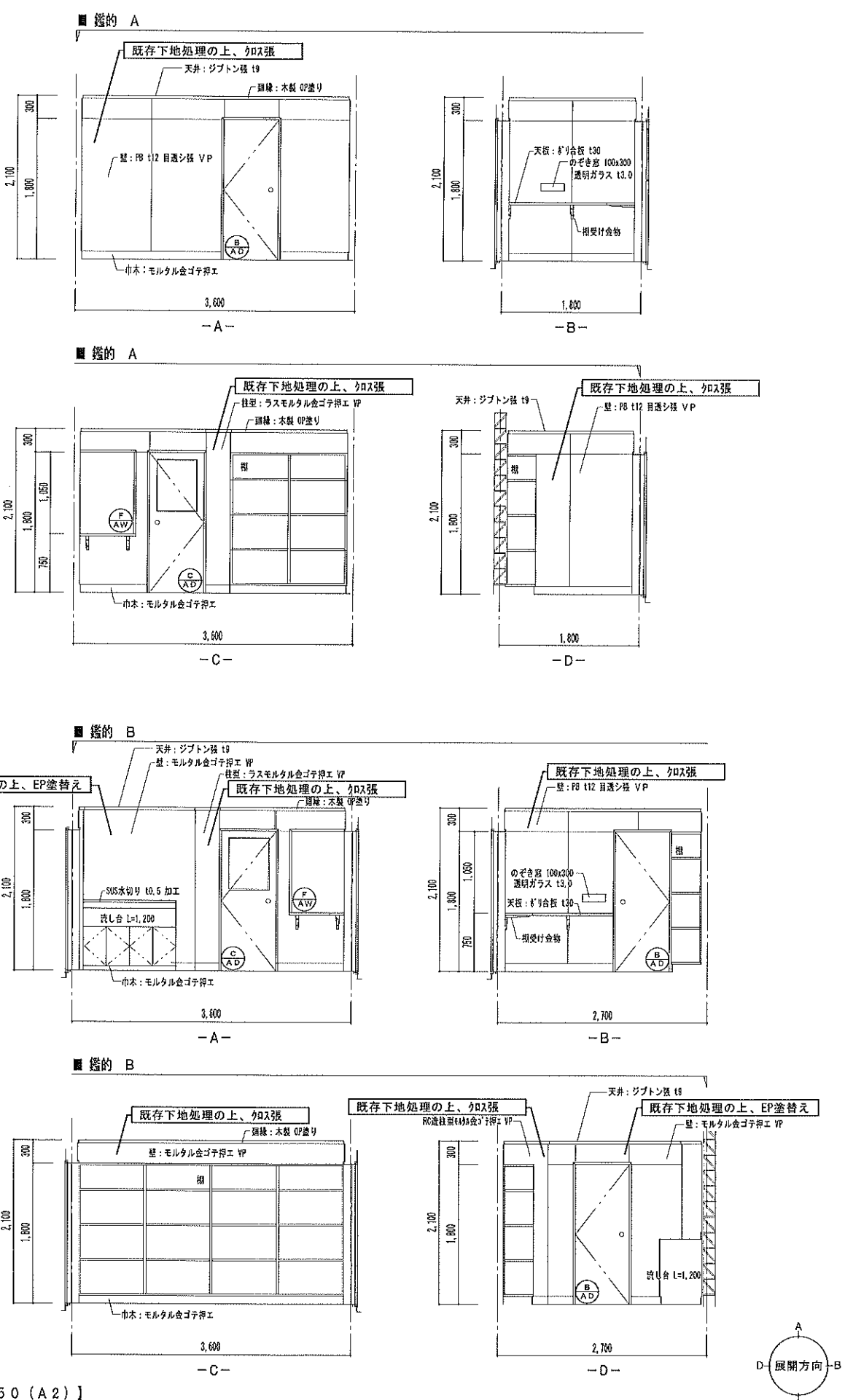
洗面・湯沸室



特記事項		訂正事項		所長		審査		係		製図		一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄		整理番号 73	
図面番号		工事名		図面名称		縮尺		設計年月日		訂正		1		2		3	
A-73		宝達志水武道館改修工事		既存・改修 展開図 (4) (控室・更衣室・洗面・湯沸室)		A2 S:1/50 A3 S:1/70.7		作図 訂正()									



鑑的 A・B		天井高さ: 2,100
天井	既存	ジブトン様 19.0x9.0x910
改修	既存のまま清掃	
窓枠	既存	木製
改修	▲	
壁	既存	木製: 木下地 t=15, PB t12.5 張りの上 ブロック材: モルタル金ゴテ押エ VP塗り
改修	既存下地処理の上、EP塗り替え	
床	既存	—
改修	—	H —
巾木	既存	モルタル金ゴテ押エ目地分け
改修	▲	H 100
床	既存	モルタル金ゴテ押エ
改修	▲	
備考	・壁2ヶ所 ・洗し台(L=1,200) ・カウンター(ポリ合板 t30)	
	既存のまま清掃	

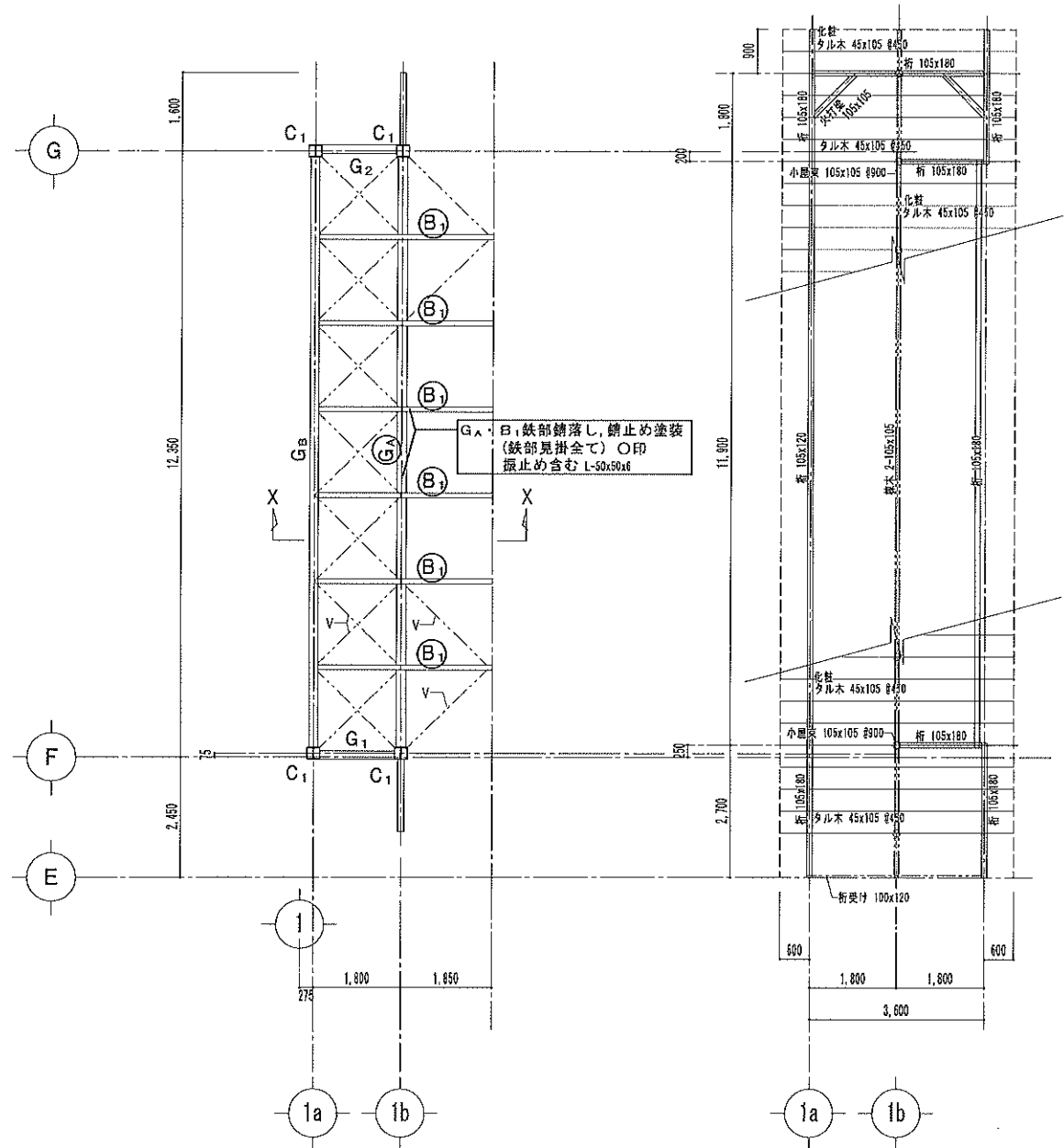


凡例
 改修に依る仕上げ
 特記ナキ限り
 ・木部は既存のまま清掃

既存・改修
 【平面詳細図(約場・鑑的) S: 1/60 (A2)】

既存・改修
 【展開図(5)(鑑的) S: 1/50 (A2)】

特記事項	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正事項	所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-74	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 平面詳細(約場・鑑的) 展開図(5)(鑑的)	A2 S: 1/50-60 A3 S: 1/70, 7-84, 8	作図 訂正()	1 2 3							74



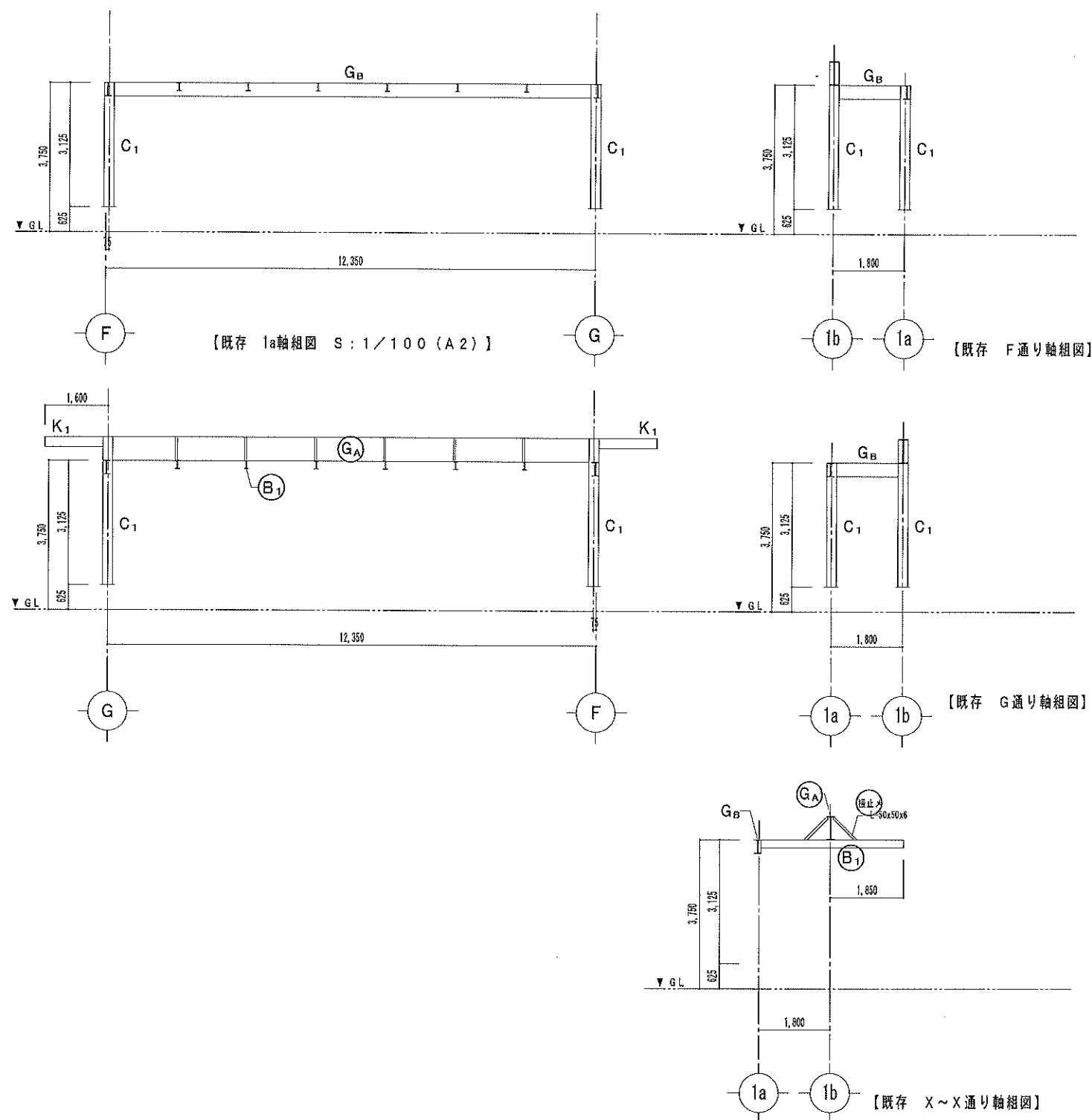
【既存・改修 的場梁伏図 S: 1/100 (A2)】

【既存 的場小屋伏図 S: 1/100 (A2)】

【部材リスト】

符号	サイズ		サイズ
G _A	H - 596 x 199 x 10 x 15	振止め	L - 50 x 50 x 6
G _B	H - 346 x 174 x 6 x 9		桁 105x180
G _{1,2}	H - 346 x 174 x 6 x 9		桁 105x120
B ₁	H - 200 x 100 x 5.5 x 8		棟木 105x105
K ₁	H - 248 x 124 x 5 x 8		化粧・タル木 45x105 @450
C ₁	H - 250 x 250 x 9 x 14 + 2R - 9 x 232		火打梁 105x105
V	ブレース RB 1 - 16φ		小屋束 105x105 @900

凡例
 改修による仕上げ

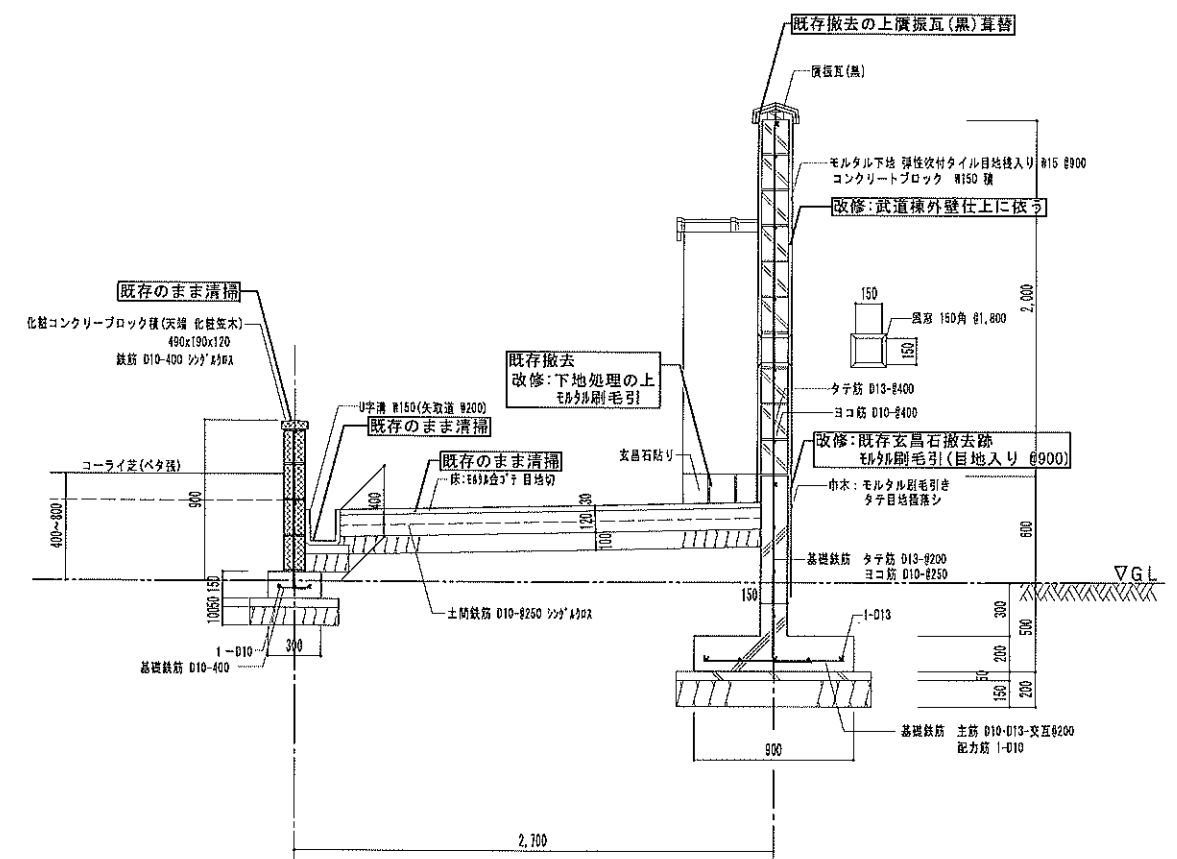
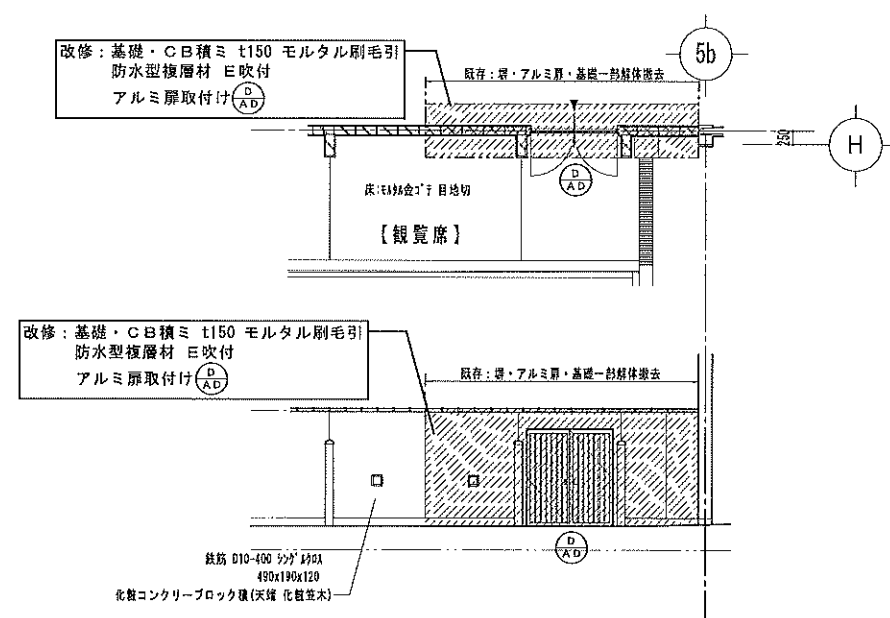
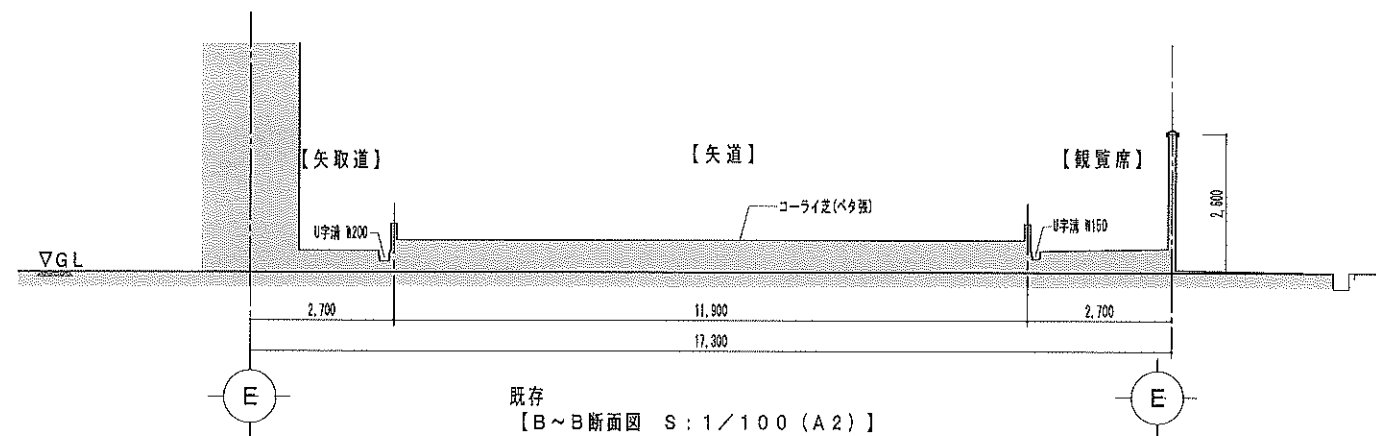
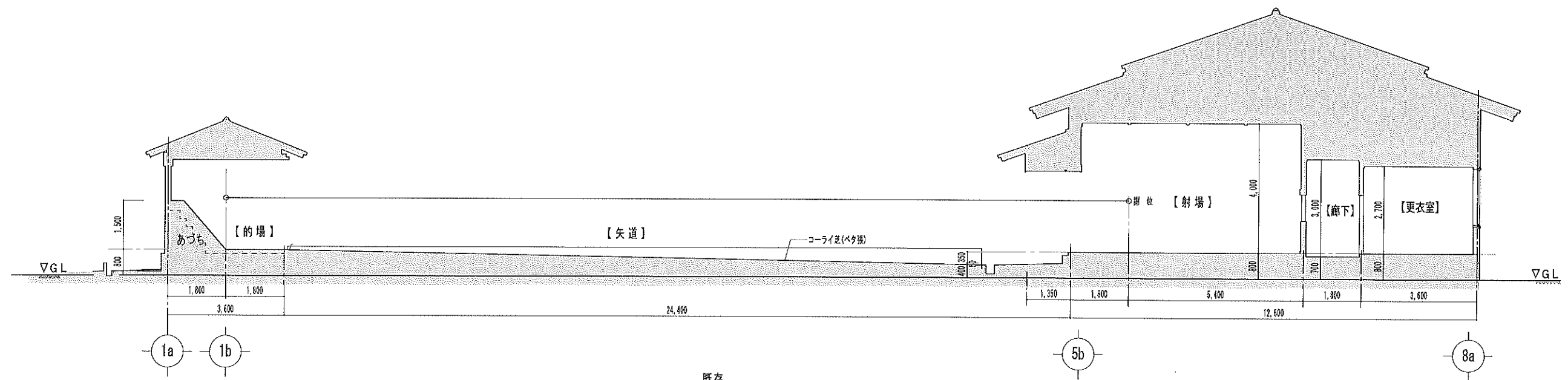


【既存 1a軸組図 S: 1/100 (A2)】

【既存 F通り軸組図】

【既存 G通り軸組図】

【既存 X~X通り軸組図】

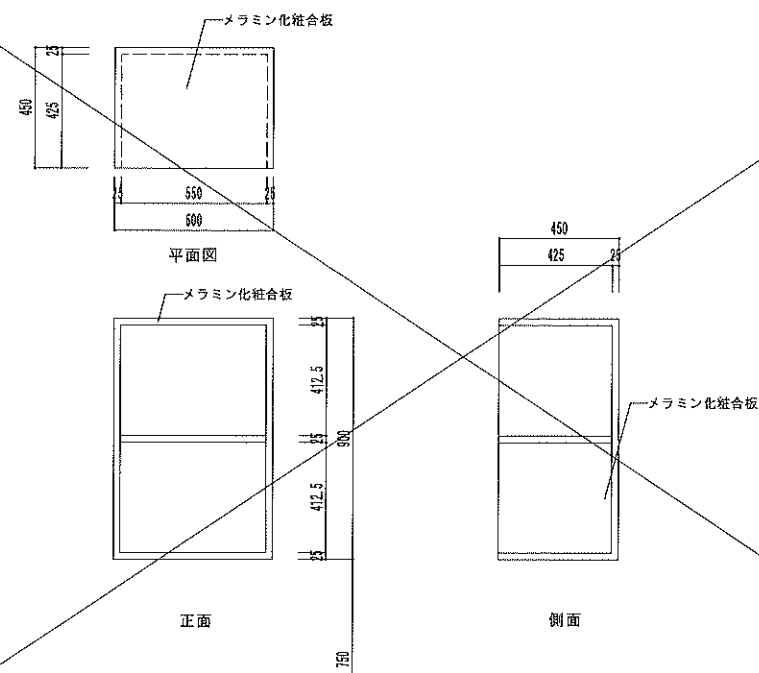


凡例

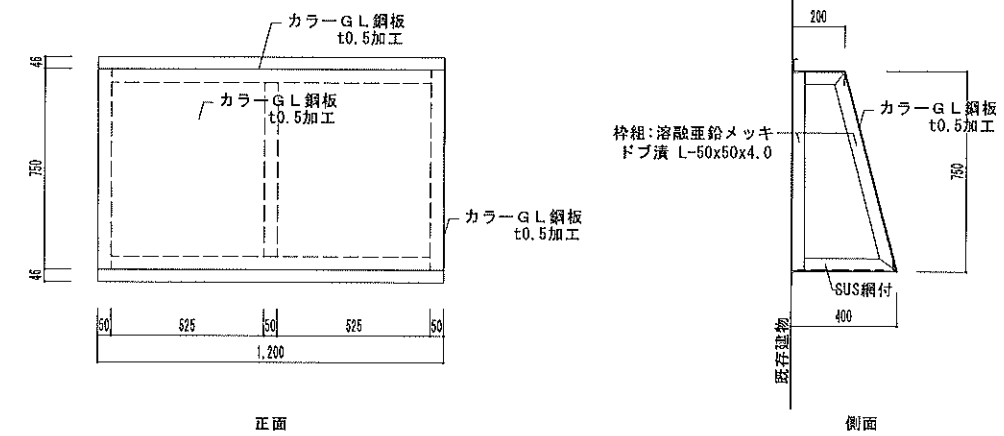
 改修による仕上げ

特 記 事 項						訂 正 事 項								
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所 長	審 査	係	製 図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一 級 建 築 士	 佐竹建築事務所 第80667号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号
A-76	宝達志水武道館改修工事	既存・改修 断面図・断面詳細図（観覧席）	A2 S:1/30・100 A3 S:1/42.4・141.4	作図 訂正（ ）	1	2	3							76

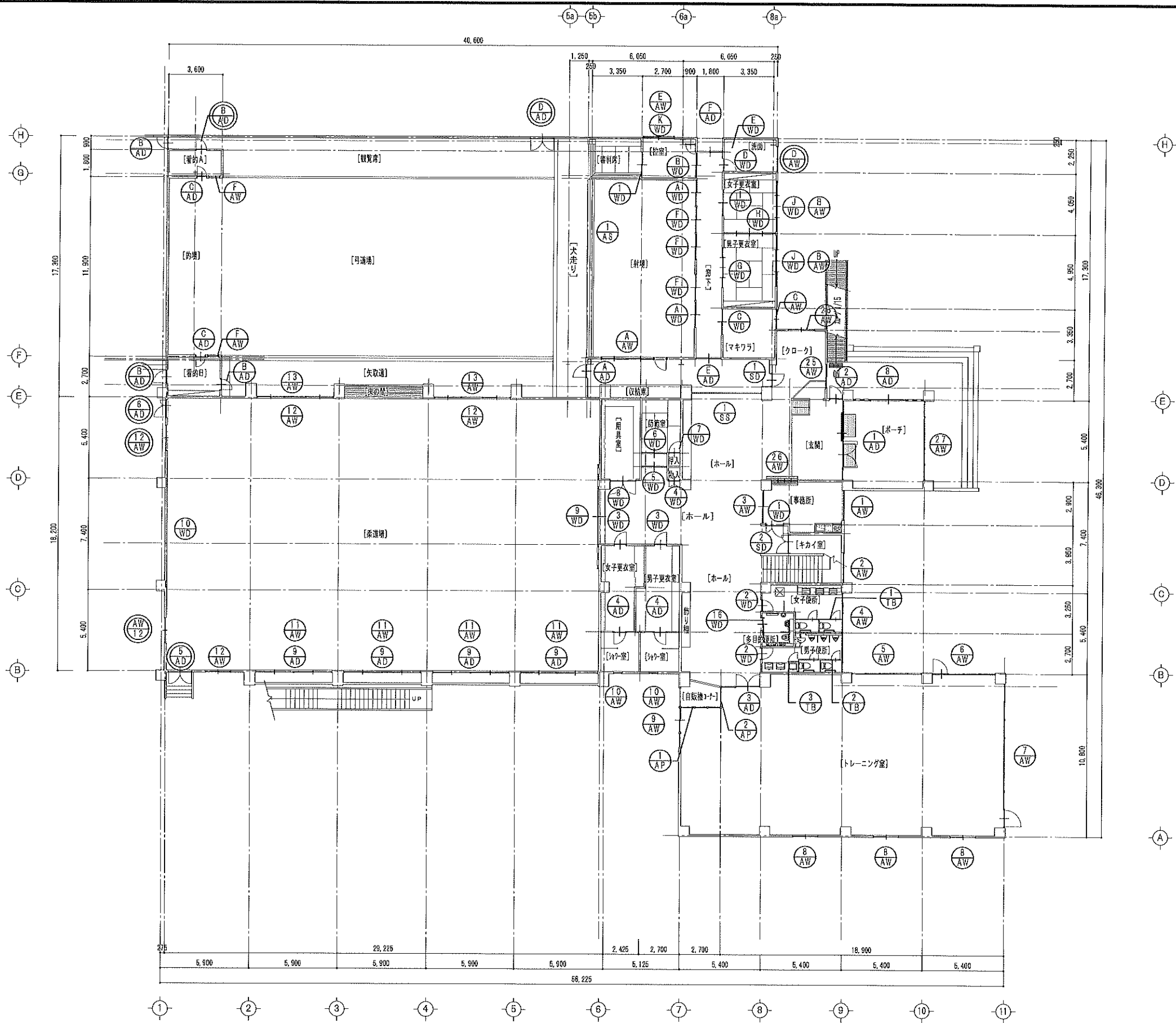
◇脱衣棚詳細図 S=1/20


$$\nabla F L$$

◇ フード詳細図 S=1/20



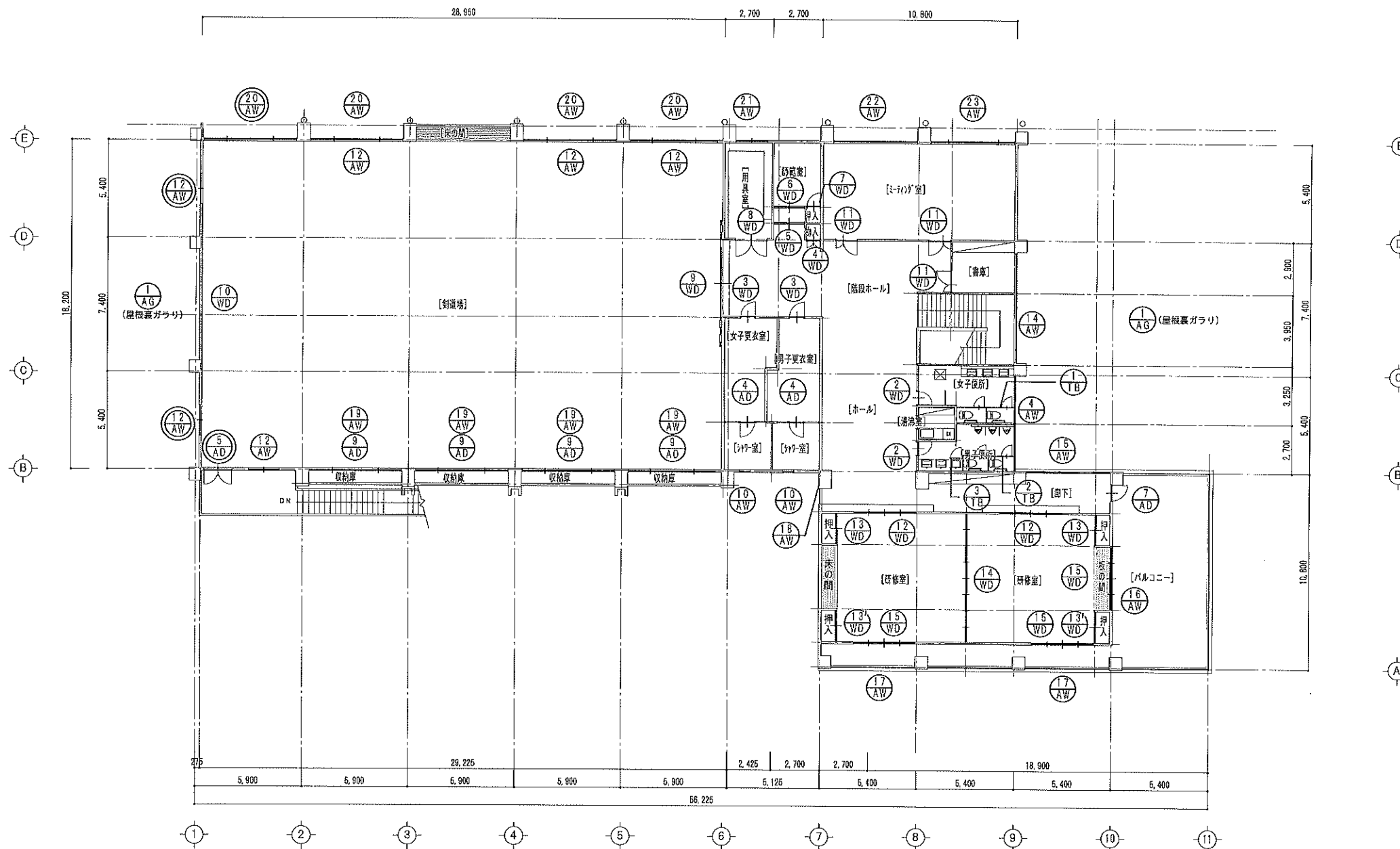
待 記 事 項					訂 正 事 項										
図 面 番 号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所 長	審 査	係	製 図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一 級 建 築 士		佐 竹 建 築 事 務 所 第 80667号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号
A-77	宝達志水武道館改修工事	各部詳細図	A-2：1/20・1/10 A-3：1/28・3/14.1		1	2	3							77	



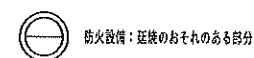
【改修 1階建具配置図 S:1/200 (A2)】

防火設備：延焼のおそれのある部分

特記事項	訂正事項				所長				製図		一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号 78
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正	1	2	3	所長	審査	係		
A-78	宝達志水武道館改修工事	改修 1階建具配置図	A2 S:1/200 A3 S:1/282.B	作図 訂正()									

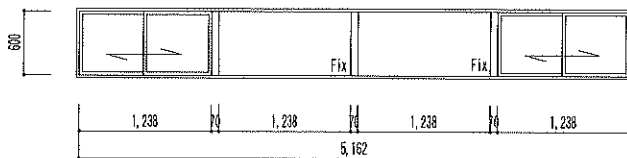
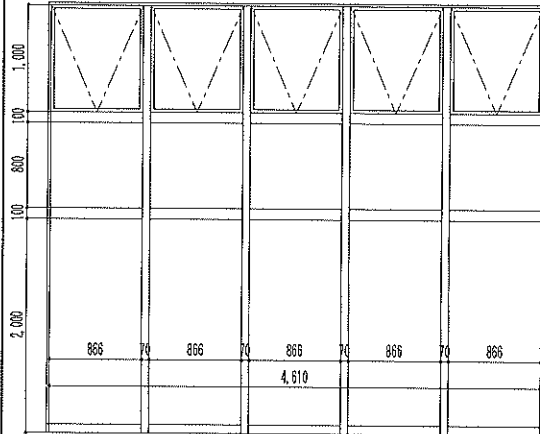
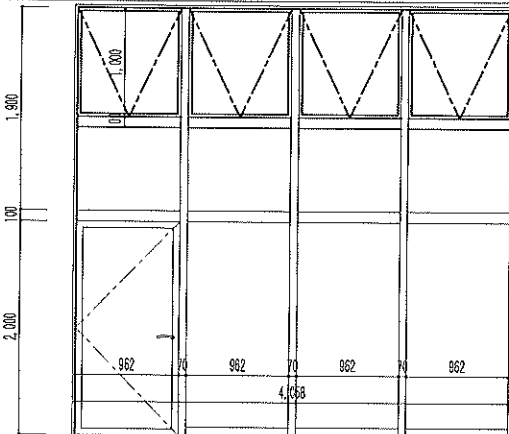
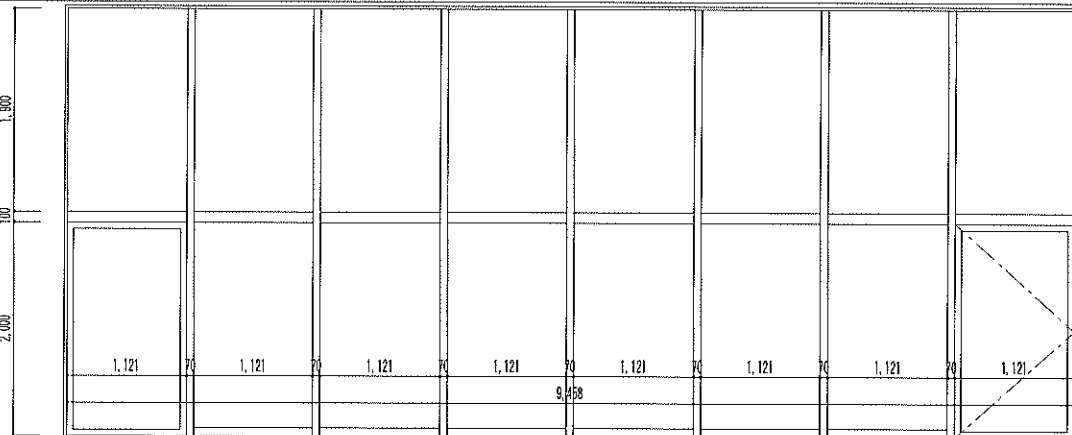
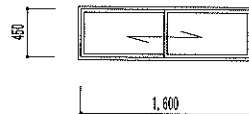
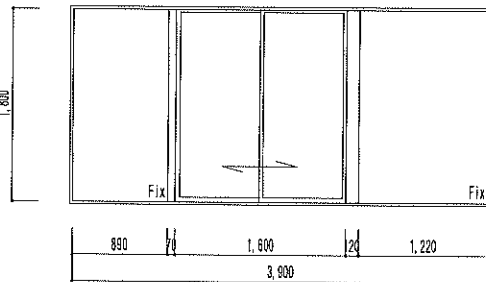
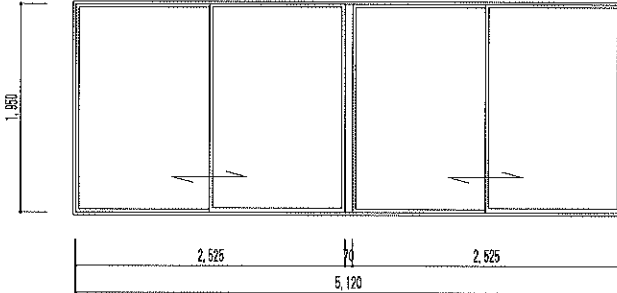
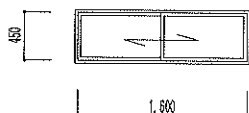
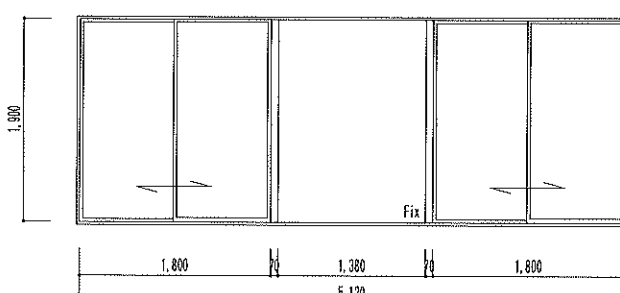


【改修 2階建具配置図 S:1/200 (A2)】



特記事項		訂正事項		所長		審査		保		製図		一級建築士事務所		佐竹建築事務所		整理番号	
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正							石川県知事登録1303号		第80667号	佐竹 三雄		
A-79	宝達志水武道館改修工事	改修 2階建具配置図	A2 S:1/200 A3 S:1/282.8	作図 訂正 ()	1	2	3					一級建築士					79

符号・数量	1AD ×1	ポーチ～玄関	一部撤去 改修	2AD ×1	玄関～外廊	既存のまま調整	3AD ×1 2AP ×1	トレーニング室～廊下	既存のまま調整	4AD ×4	シャワー室	既存のまま調整			
姿図(外観図)															
形式・見込	既設: F1 X付両開き戸 改修: 両開き戸撤去の上、片引きハンガー戸(平自動)新設 見込: 100mm			片開きドア 見込: 70mm			高仕切スクリーン、両開きアルミ戸 見込: 100mm			ランマ付片開き戸 見込: 70mm					
材質・仕上	カラーアルミ			カラーアルミ			カラーアルミ、カラーアルミパネル			カラーアルミ、カラーアルミパネル					
硝子	既設: フロート6y/n(ランマ表) 改修: フロート6es 衝突防止シール貼			フロート6y/n			6y/nフロート			既設ガラス14.0(ランマ表)					
金物	既設: フロアヒンジ、トップピボット、押棒、シリンダー錠 改修: 押棒L=600			丁香、押棒、シリンダー錠			フロアヒンジ、ピボットヒンジ、レバーシリンダー錠取替え、フランス落とし、ステンレス靴留、ドアチェック			レバーシリンダー錠(表・裏付)取替え					
備考				錠具廻りシーリング打替え											
符号・数量	5AD ×2	柔道場・剣道場	カバー工法	6AD ×1	柔道場	カバー工法	7AD ×1	研修室	カバー工法	8AD ×1	ポーチ	既存のまま調整			
姿図(外観図)															
形式・見込	両開きフラッシュ戸(防火設備) 見込: 70mm			親子開きフラッシュ戸(防火設備) 見込: 70mm			片開き戸 見込: 70mm			両引分付戸+F1 X窓+ガラリ窓					
材質・仕上	カラーアルミ			カラーアルミ			カラーアルミ			カラーアルミ					
硝子							複層ガラス FL5+A6+FL5 衝突防止シール貼			既設: 6y/nフロート					
金物	ドアチェック、フランス落とし、水切 丁香、レバーハンドル錠取替			ドアチェック、フランス落とし、水切 丁香、レバーハンドル錠取替			ドアチェック、水切 丁香、レバーハンドル錠取替			シリンダー錠、押棒L=600					
備考							錠具廻りシーリング打替え								
符号・数量	9AD ×8	柔道場・剣道場	アルミ戸変更	1AW ×1	事務所	カバー工法	2AW ×1	機材室	カバー工法	3AW ×1	事務所	既存のまま調整			
姿図(外観図)															
形式・見込	引違いフラッシュ戸 ガラリ付 → アルミ引違い戸変更 見込: 36mm			引違い窓 見込: 70mm			引違いガラリ窓 見込: 70mm			引違い窓 見込: 70mm					
材質・仕上	表: ヒーリング張 ポリ → 裏: アルミパネル			カラーアルミ			カラーアルミ			カラーアルミ					
硝子				複層ガラス FL5+A6+FL5						5y/nフロート					
金物	戸草、引手、引違いシリンダー錠、Uステンレール → 戸草、引手(大型)、引違いシリンダー錠、ガラリ			クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸			クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸			クレセント、戸草、水切、付属金物一式					
備考															
特記事項															
図面番号	工事名		図面名称		縮尺	設計年月日	訂正事項		所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-80	宝達志水武道館改修工事		建具リスト(1)		A2 S:1/50 A3 S:1/70.7	作図 訂正()	1 2 3								80

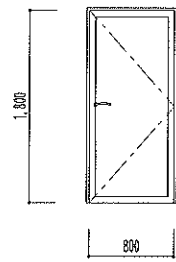
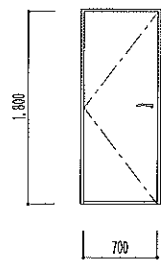
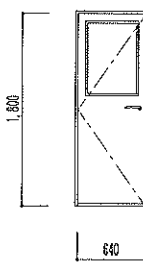
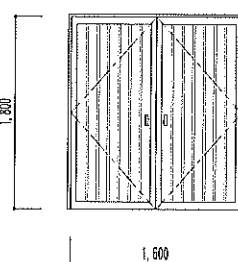
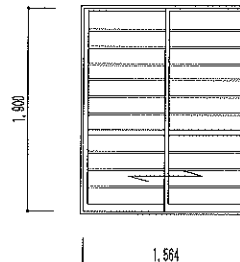
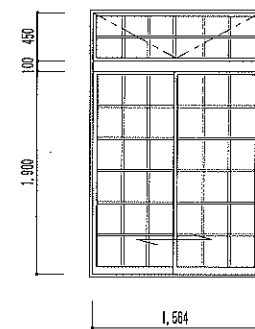
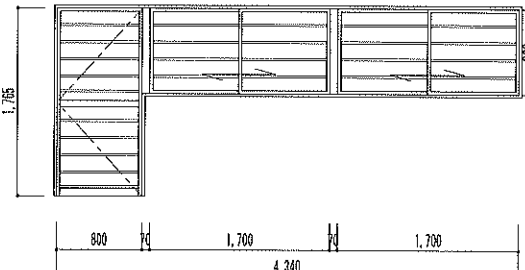
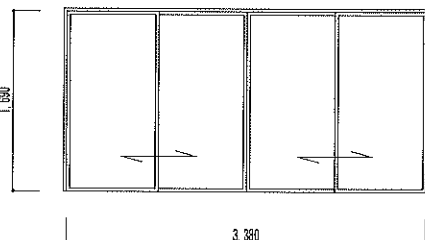
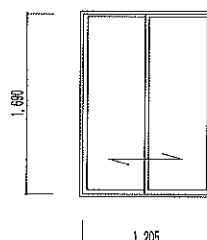
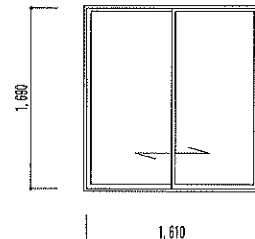
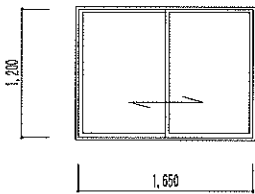
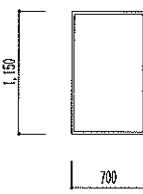
符号、数量	4 AW	x 2	便 所	カバー工法	5 AW	x 1	トレーニング室	一部カバー工法	6 AW	x 1	トレーニング室	一部カバー工法、換気窓新設
姿図(外観図)												
形式・見込	引違い窓+FIX				FIX窓+換気外倒し窓				片開き戸+FIX窓+換気外倒し窓			
材質・仕上	カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ			
硝子	複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5			
金物	クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				巾木用アルミ框、網戸、水切				巾木用アルミ框、ピボットヒンジ、ドアチェック、レバーシリンダー錠、網戸、水切			
備考					既設：方立再利用、換気窓システム既利用調整				既設：方立再利用 新設：換気窓システム			
符号、数量	7 AW	x 1	トレーニング室	一部カバー工法	8 AW	x 3	トレーニング室	カバー工法	9 AW	x 1	中庭・指導員室	カバー工法
姿図(外観図)												
形式・見込	片開き戸+FIX窓				引違い窓				FIX付引違い窓			
材質・仕上	カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ			
硝子	複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5			
金物	巾木用アルミ框、ピボットヒンジ、ドアチェック、レバーシリンダー錠、水切				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸			
備考	既設：方立再利用											
符号、数量	11 AW	x 4	柔道場	カバー工法	12 AW	x 7	12 AW	x 4 柔道場・剣道場	13 AW	x 2	柔道場	
姿図(外観図)												
形式・見込	引違い窓				引違い窓				FIX付引違い窓			
材質・仕上	カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ			
硝子	複層ガラス FL5+AG+FL5				網入型ガラスt6.8				複層ガラス FL5+AG+FL5			
金物	クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸			
備考												
特記事項												
図面番号	工 事 名			図 面 名 称			縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 事 項			所長
A-81	宝達志水武道館改修工事			建具リスト(2)			A2 S:1/50 A3 S:1/70.7	作図 訂正()	訂 正			審査
									1 2 3			係
												製図
												一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士
												佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄
												整理番号 81

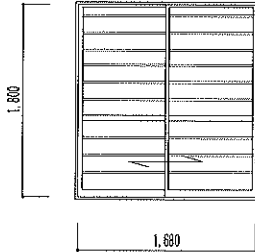
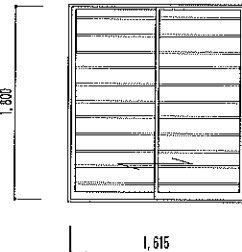
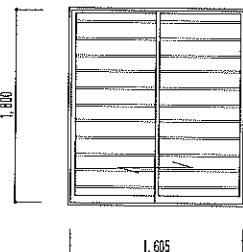
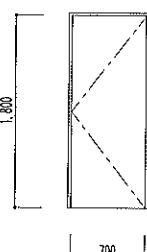
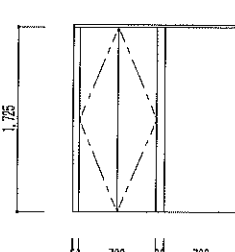
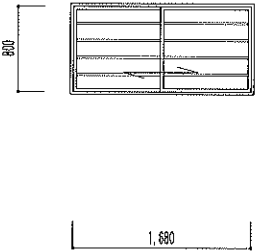
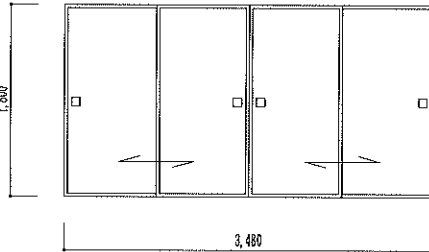
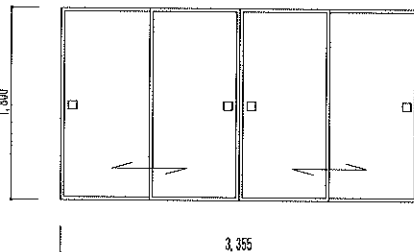
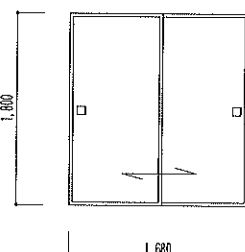
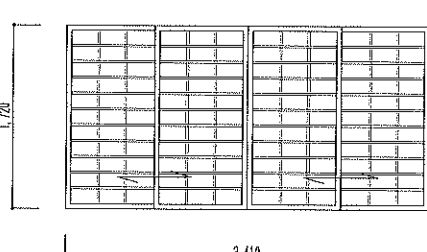
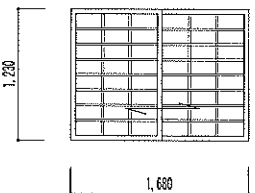
符号,数量	14 AW	×1	階段	一部カバー工法、排煙窓新設	15 AW	×1	研修室・廊下	カバー工法	16 AW	×1	研修室	カバー工法	17 AW	×2	研修室	カバー工法						
姿図(外観図)																						
形式・見込	FIX窓 + 排煙内倒し窓				FIX付引違い窓				4枚引違い窓				4枚引違い窓									
材質・仕上	カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ									
硝子	複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5									
金物	巾木用アルミ程、水切、付属金物一式、網戸				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸									
備考	既設：方立再利用 新設：排煙窓システム(内倒し) 梁天端(水切)改修：既存タイル撤去、下地処理(モルタル埋)、アルミ(カラー)水切新設W380曲げ加工 t2.0																					
符号,数量	18 AW	×1	研修室	カバー工法	19 AW	×4	剣道場	カバー工法	20 AW	×3	20 AW	×1	剣道場									
姿図(外観図)																						
形式・見込	FIX窓				引違い窓				FIX付引違い窓				見込：70mm									
材質・仕上	カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ									
硝子	複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5									
金物	水切				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸									
備考																						
符号,数量	21 AW	×2	用具室・防犯窓(2F)	カバー工法	22 AW	×1	ミーティング室	カバー工法	23 AW	×1	ミーティング室	カバー工法	24 AW	×1	便所(点検口)	撤去 新設	25 AW	×3	クローク	カバー工法		
姿図(外観図)																						
形式・見込	引違い窓				FIX窓				FIX付引違い窓				片開き窓				引違い窓					
材質・仕上	カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ				カラーアルミ					
硝子	複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5				複層ガラス FL5+AG+FL5					
金物	クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				水切				クレセント、戸草、水切、付属金物一式、網戸				丁番、ケースハンドル				クレセント、戸草、水切、付属金物一式					
備考																						
特記事項																						
図面番号	工事名			図面名称			縮尺	設計年月日	訂正事項			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士			佐竹建築事務所 第80667号 佐竹三雄			整理番号
A-82	宝達志水武道館改修工事			建具リスト(3)			A2 S:1/60 A3 S:1/70.7	作図 訂正()	1	2	3										82	

符 号 , 数 量	26 AW × 1	専務所	既存のまま調整	27 AW × 1	ホーチ	既存のまま調整										
姿図 (外観図)																
形 式 ・ 見 込	引違いガラス窓			F I X窓												
材 質 ・ 仕 上	カラーアルミ			カラーアルミ												
硝 子	透明φ0.0、ランマφ0.0			5y/nフロート												
金 物	レール、框：ステンレスハカマ、戸草、錠付(2ヶ所)															
備 考				換気廻りシーリング打替え												
符 号 , 数 量	1 AP × 1	トレーニング室～ホール	既存のまま調整				1 AG × 2	小屋裏 (表側)	カバー工法							
姿図 (外観図)																
形 式 ・ 見 込	アルミスクリーン (学校用パーテーション)			見込：100mm				ガラス窓	見込：70mm							
材 質 ・ 仕 上	カラーアルミ							カラーアルミ								
硝 子	透明φ0.0 メラミン化被覆							付属金物一式、水切、外装線								
金 物								網戸 (ガラス障子入り合成樹脂製)								
備 考																
符 号 , 数 量	1 SS × 1	ホール(1F)	既存のまま調整	1 SD × 1	ホール(1F)	既存のまま調整	2 SD × 1	屋根室	既存のまま調整							
姿図 (外観図)																
形 式 ・ 見 込	防火シャッター (甲)			片開きスチールフラッシュ戸 (甲)			スチールフラッシュ戸									
材 質 ・ 仕 上	スラット1.6y/n OP仕上 SOP塗替え			P L I 6 OP仕上 SOP塗替え			P L I 6 OP仕上 SOP塗替え									
硝 子																
金 物	電動機、ガイドレール、ケース、マグサ座板カバー(ステンレス)、自動用閉鎖装置モーター交換			ヒボットヒンジ、ドアチェックストップナシ、レバーハンドル錠取替え			ヒボットヒンジ、フランス差し、戸当り、レバーハンドル錠取替え									
備 考	煙感知器運転															
特 記 事 項																
図 面 番 号	工 事 名			図 面 名 称		縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 事 項		所 長	審 査	係	製 図	一 級 建 築 士 事 務 所 石 川 県 知 事 登 録 1303 号 一 級 建 築 士	佐 竹 建 築 事 務 所 第 80667 号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号
A-83	宝達志水武道館改修工事			建具リスト (4)		A2 S:1/50 A3 S:1/70.7	作図 訂正 ()	1	2	3						83

符号・数量	1WD ×1 事務所	取替え	2WD ×4 便所	取替え	3WD ×4 更衣室	取替え	4WD ×2 物入	既存のまま調整	5WD ×2 師範室	既存のまま調整					
姿図(外観図)															
形式・見込	親子開き戸	見込：36mm	片開き戸	見込：36mm	片開き戸	見込：36mm	両開きガラリ戸	見込：36mm	引違い格子戸	見込：36mm					
材質・仕上	板戸 OSC L 塗		フラッシュ戸突板張 OSC L 塗		板戸 OSC L 塗		米杉 ガラリ		米杉 桧格子共						
硝子			型ガラス t4.0		型ガラス t4.0										
金物	丁番、レバーシリンダー錠、フランス落し、戸当り、ガラリ		丁番、錠錠、戸当り、ガラリ		丁番、錠錠、戸当り、ガラリ		ステン丁番、フランス取手、ローラーキャッチ		引手、底戸車、引違いシリンダー錠、Uステンレール						
備考															
符号・数量	6WD ×2 師範室	既存のまま調整	7WD ×2 師範室(押入)	既存のまま調整	8WD ×2 用具室	取替	9WD ×2	柔道場・剣道場	既存のまま調整						
姿図(外観図)															
形式・見込	引違い縁		片開き縁		両開きフラッシュ戸	見込：36mm	引き分け木製板戸	見込：45mm							
材質・仕上	ラウン フスマ紙：張替え		ラウン フスマ紙：張替え		板戸 OSC L 塗		赤松張、巾木ステンレス、化粧釘								
硝子					型ガラス t4.0										
金物	角引手		フランス取手、ローラーキャッチ		丁番、レバーシリンダー錠取替え、フランス落し、戸当り、ガラリ		ハンガーレール、ガイドローラー、プレート車、戸当り、引手、Uステンレスレール、ステンレスカバー付								
備考	ラフマ、喜板														
符号・数量	10WD ×2 柔道場・剣道場：縁	既存のまま調整	11WD ×3 ミーティング室・倉庫	既存のまま調整	12WD ×2 研修室	既存のまま調整	13WD ×2 13A ×2 研修室 押入	既存のまま調整							
姿図(外観図)															
形式・見込	引き分け戸	見込：36mm	ランマ付親子開きフラッシュ戸	見込：36mm	4枚引違いフスマ戸	見込：33mm	引違いフスマ戸 格子戸	見込：33mm							
材質・仕上	表：ヒーリング張 ポリ		板戸 OSC L 塗		ポリ合板、フスマ紙、ラワンシブ出し 新島の子張替え		フスマ紙、ラワンシブ出し 新島の子張替え 格子戸：既存のまま維持								
硝子			ランマφ3.0(既存)												
金物	戸車、角取手、引手		ヒボットヒンジ、レバーシリンダー錠、フランス落し、ドアチェック		引手		引手								
備考															
特記事項															
図面番号	工事名		図面名称		縮尺	設計年月日	訂正事項		所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
A-84	宝達志水武道館改修工事		建具リスト(5)		A2 S:1/50 A3 S:1/70.7	作図 訂正()	1 2 3								84

符 号 , 数 量	14 WD × 1	研修室	既存のまま調整	15 WD × 3	研修室	既存のまま調整	16 WD × 1	多目的便所	新設							
姿図(外観図)																
形 式 ・ 見 込	引違いフスマ戸 見込：33mm			引違い障子戸(ランマ共) 見込：27mm			3本引き戸									
材 質 ・ 仕 上	フスマ紙、ラウンシブ出し 新鳥の子張替え			米杉、和紙 和紙：張替え			メラミン合板張り(木目)									
硝 子							型ガラス14.0									
金 物	引手			引手			ガラリ(150×600)、持棒L=600、多目的用表示錠、付属金物一式									
備 考							3方枠(ノンケーシング枠)、上吊り仕様									
符 号 , 数 量	1 TB × 2	女子便所(1階・2階)	取替撤去、新設	2 TB × 2	男子便所(1階・2階)	取替撤去、新設	3 TB × 2	男子便所(1階・2階)	取替撤去、新設							
姿図(外観図)																
形 式 ・ 見 込	トイレブース 見込：40mm			トイレブース 見込：40mm			トイレブース 見込：40mm									
材 質 ・ 仕 上	芯材：ペーパーコア、表面材：メラミン化粧合板			芯材：ペーパーコア、表面材：メラミン化粧合板			芯材：ペーパーコア、表面材：メラミン化粧合板									
硝 子																
金 物	SUS製巾木、アルミ製壁木、アルミ製壁張ぎ、Rドアエッジ、グレビティヒンジ、付属金物一式			SUS製巾木、アルミ製壁木、アルミ製壁張ぎ、Rドアエッジ、グレビティヒンジ、付属金物一式			SUS製巾木、アルミ製壁木、アルミ製壁張ぎ、Rドアエッジ、グレビティヒンジ、付属金物一式									
備 考	表示鏡、戸当たり、帽子掛け			表示鏡、戸当たり、帽子掛け			戸当たり									
符 号 , 数 量	1 AS × 1	射 場						取替								
姿図(外観図)																
形 式 ・ 見 込	イスターカーテン(スリムタイプ)															
材 質 ・ 仕 上	3方枠 アルミ標準シルバー色															
硝 子	上：3/6mmアクリル板、下：3mm/アルミ複合板															
金 物	下レール ステンレス1.5m/6 特殊 本体両開き12×10、10×12枚 奥和FN錠(空一サムターン)															
備 考	アルミアングルL=15×20、標準取付寸法															
特 記 事 項																
図 面 番 号	工 事 名		図 面 名 称		縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 事 項			所 長	審 査	係	製 図	一 級 建 築 士 事 務 所 石 川 県 知 事 登 録 1303 号 一 級 建 築 士	佐 竹 建 築 事 務 所 第 80667 号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号
A-85	宝達志水武道館改修工事		建具リスト(6)		A2 S:1/50 A3 S:1/70.7	作図 訂正()	1 2 3									85

符 号 , 数 量	A AD × 1	廊 下	既存のまま調整	B AD × 2	B AD × 2	看的A・看的B	カバー工法	C AD × 2	看的A・看的B	カバー工法 既存のまま調整	D AD × 1	観覧席A	取替	E AD × 1	廊 下	既存のまま調整				
姿図(外観図)																				
形 式 ・ 見 込	片開き戸		見込：70mm	片開き戸 (防火設備)		見込：70mm		片開き戸		見込：70mm	両開き戸		見込：70mm	引違い戸		見込：70mm				
材 質 ・ 仕 上	アルミカラー			アルミカラーパネル、ハニカムフラッシュ				アルミカラーパネル、ハニカムフラッシュ			アルミカラーパネル、ハニカムフラッシュ			アルミカラー						
硝 子	単入透明0.8							フロート13.0						フロート13.0						
金 物	丁番、レバーシリンダー錠、ドアチェック			丁番、レバーシリンダー錠、ドアチェック				丁番、レバーハンドル錠、ドアチェック			丁番(3)、シリンダー錠			シリンダー錠、アングルピース、取手						
備 考																				
符 号 , 数 量	F AD × 1	廊 下	廊取替(ランマ共)					A AW × 1	射 場	既存のまま調整	B AW × 2	男女更衣室	カバー工法	C AW × 1	マキワラ	カバー工法				
姿図(外観図)																				
形 式 ・ 見 込	横間内倒し窓、引違い戸		見込：70mm				片開き 引違い連窓		見込：70mm	4枚引違い窓		見込：70mm	引違い窓		見込：70mm					
材 質 ・ 仕 上	アルミカラー						アルミカラー			アルミカラー			アルミカラー							
硝 子	複層ガラス FL5+AG+FL5						フロート0.8			複層ガラス FL5+AG+FL5			複層ガラス FL5+AG+FL5							
金 物	内倒し金物一式、シリンダー錠、引手、アングルピース						シリンダーロック錠、ドアチェック、アングルピース、クレセント			アングルピース、クレセント、水切、網戸			アングルピース、クレセント、水切、網戸							
備 考																				
符 号 , 数 量	D AW × 1	洗面・湯浴室	カバー工法	E AW × 1	控 室	カバー工法		F AW × 1	看的A・看的B	既存のまま調整										
姿図(外観図)																				
形 式 ・ 見 込	引違い窓		見込：70mm	引違い窓		見込：70mm	F1X窓		見込：70mm											
材 質 ・ 仕 上	アルミカラー			アルミカラー			アルミカラー													
硝 子	単入型ガラス1.6.8			単入型ガラス1.6.8			単入透明0.8(既存のまま)													
金 物	アングルピース、クレセント、水切、網戸			アングルピース、クレセント、水切			アングルピース、水切													
備 考							チオコール													
特 記 事 項																				
図 面 番 号	工 事 名			図 面 名 称			縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 事 項			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		佐竹建築事務所		整 理 番 号
A-86	宝達志水武道館改修工事			建具リスト(7)			A2 S:1/50 A3 S:1/70.7	作図 訂正()	訂 正	1	2	3							第80667号 佐竹 三雄	86

符 号 , 数 量	A WD × 2	射 場	既存のまま調整	B WD × 1	控 室	既存のまま調整	C WD × 1	マキワラ	既存のまま調整	D WD × 1	洗面・湯沸	既存のまま調整	E WD × 1	洗面・湯沸	既存のまま調整		
姿図(外観図)																	
形 式 ・ 見 込	引違い戸	見込：30mm		引違い戸	見込：30mm		引違い戸	見込：30mm		片開き戸	見込：30mm		両開き戸＋ブース	見込：30mm			
材 質 ・ 仕 上	ラワンOSCL：既存のまま			ラワン、片面化粧合板(樹下側)、片面フスマ張 新島の子紙：張替え			ラワンOSCL：既存のまま			ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ				
硝 子	型ガラスφ4.0																
金 物	引手、戸草、真チョウ、角レール			引手			引手、戸草、真チョウ、角レール			丁番(3)、空錠：レバーハンドルに取替え			ラバトリ－ヒンジ、表示付ラッチ錠、取手				
備 考													足滑金物、緩ツナギ、ステンレス				
符 号 , 数 量	F WD × 3	射 場	既存のまま調整	G WD × 1	男子更衣室	既存のまま調整	H WD × 1	女子更衣室	既存のまま調整	I WD × 2	控室・女子更衣室	既存のまま調整	J WD × 2	男女更衣室	既存のまま調整		
姿図(外観図)																	
形 式 ・ 見 込	引違い窓	見込：30mm		4枚フスマ戸	見込：33mm		4枚フスマ戸	見込：33mm		引違いフスマ戸	見込：33mm		4枚障子戸	見込：27mm			
材 質 ・ 仕 上	ラワンOSCL：既存のまま			ラワン、シブ出し、新島の子紙：張替え			ラワン、シブ出し、新島の子紙：張替え			ラワン、シブ出し、新島の子紙：張替え			米杉、和紙：張替え				
硝 子	透硝φ3.0																
金 物	引手、底草			引手			引手			引手							
備 考																	
符 号 , 数 量	K WD × 1	控 室	既存のまま調整														
姿図(外観図)																	
形 式 ・ 見 込	引違い障子戸	見込：27mm															
材 質 ・ 仕 上	米杉、和紙：張替え																
硝 子																	
金 物																	
備 考																	
特 記 事 項																	
図 面 番 号	工 事 名			図 面 名 称		縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正 事 項			所 長	審 査	係	製 図	一 級 建 築 士 事 務 所 石 川 県 知 事 登 録 1303 号 一 級 建 築 士	佐 竹 建 築 事 務 所 第 80667 号 佐 竹 三 雄	整 理 番 号
A-87	宝達志水武道館改修工事			建具リスト(8)		A2 S:1/50 A3 S:1/70.7	作図 訂正()	訂 正	1	2	3						87

工 事 仕 様 書 （機械設備）

I. 工 事 概 要

1. 工 事 名 称 宝達志水武道館改修工事

2. 工 事 場 所 羽咋郡宝達志水町今浜地内

3. 完 成 期 日 令和 年 月 日
指定部分 ○ 無 ・ 有（指定期日：平成 年 月 日） 対象部分（ ）
概成工期 ○ 無 ・ 有（平成 年 月 日） (1.2.1(a))

4. 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備 考
武道館	RC造	2階建(地階 階、塔屋 階)		(15)	

5. 別契約の関連工事

○建築工事 ○電気設備工事 ・給排水衛生設備工事 ・空気調和設備工事 ・電話設備工事
・昇降機設備工事 ・自家発電設備工事 ・厨房機器設備工事 ・屋外付帯工事 ・植栽工事

6. 工 事 内 容

1. 本工事は武道館改修工事に伴い各階便所の改修及び換気設備の更新、トレーニング室にエアコンの新設並びに一部エアコンの更新工事を行う。

II. 工 事 仕 様

1. 一 般 仕 様

- 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成28年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成28年版）」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成28年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。

2. 特 記 仕 様

章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 事 項	1 工事実績情報	請負金額5,000千円以上のものは工事実績情報登録を行う。(1.1.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(1.1.5(b))
	3 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。(1.1.7)
	4 工事の記録	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。(1.2.4)
	5 施工条件	(1.3.3)
	6 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの（ ・ ） (1.3.9(b)) ・ 特別管理産業廃棄物（ ・ 廃石綿（エルボ保温、パッキン） ・ ） ・ 現場で再利用を図るもの（ ・ 残土(敷きならし) ・ ） ・ 再資源化を図るもの（ ・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 ・ ）
	7 再使用機材	・ 取外し後再使用するもの（ ・ ） (改1.4.3)

章	項 目	特 記 事 項																				
● 一 般 事 項	8 事前調査	アスベスト含有分析調査は図示による。 (改1.5.2)																				
	9 養生	1) 既存部分の養生範囲は、図示による。 2) 養生の方法及び備品・ロッカー等の移動は、図示による。 (改3.1.1) (改3.2.1(b))																				
	10 撤去等	1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ・ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油 2) アスベストの撤去は、図示による。 3) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。 (改4.1.1(a)) (改4.1.2(2)) (改4.2.4)																				
	11 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。(1.4.1(a)) ・ 吸収式冷温水機 ・ 氷蓄熱式空調機 ・ 送風機 ・ ポンプ ・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 ・ 下塗用塗料（重防食） ・ 洋風大便器 ・ 自動洗浄装置及びその組込み小便器 ・ 自動水栓 2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。(1.4.1(b)) ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. ホルムアルデヒドを発散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用																				
	12 機材の品質等	1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有するべき品質及び性能を有するものとする。 2) 機器類の能力、容量等は図示された数値以上とする。 3) 電動機、燃料消費量、圧力損失は、原則として図示された数値以下とする。 4) 下表に示す機材等の製造業者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。外部機関の評価とは、（一社）公共建築協会「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（評価名簿の最新版）等である。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。																				
		<table><tr><th colspan="4">機 材 名 称</th></tr><tr><td>ボイラー</td><td>空気調和機</td><td>ポンプ</td><td>タンク</td></tr><tr><td>温水発生機</td><td>空気清浄装置</td><td>ダクト付属品</td><td>消火装置</td></tr><tr><td>冷凍機</td><td>全熱交換器</td><td>自動制御</td><td>厨房機器</td></tr><tr><td>冷却塔</td><td>送風機</td><td>衛生器具ユニット</td><td>铸铁製ふた</td></tr></table>	機 材 名 称				ボイラー	空気調和機	ポンプ	タンク	温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置	冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器	冷却塔	送風機	衛生器具ユニット	铸铁製ふた
	機 材 名 称																					
	ボイラー	空気調和機	ポンプ	タンク																		
	温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置																		
	冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器																		
冷却塔	送風機	衛生器具ユニット	铸铁製ふた																			
13 一級技能士の適用	○ 配管（建築配管） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け） ○ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 厨房設備施工（機器据付け） ○ 冷凍空気調和機器施工（冷凍機、パッケージ形空気調和機の据付け、整備及び冷媒配管） (1.5.2(1))																					
14 工事の創意工夫等	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 (1.5.7)																					
15 中間検査	中間検査の実施 ○ 無 ・ 有（時期 ・ 天井下地完了時 ・ ） (1.6.2)																					
16 完成図	原因及び製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）提出する。 (1.7.2)																					
17 保全に関する資料	保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。 ① 建築物等の利用に関する説明書※ ② 機器取扱説明書（主要機器一覧表とも） ③ 機器性能試験成績書（総合調整試験成績書とも） ④ 官公署届出書類 ※建築物等の利用に関する説明書作成の手引き及び作成例 国交省ホームページ（ http://www.mlit.go.jp/gobuild/kljun_kentikubuturiyou_tebiki.htm ） (1.7.3)																					
18 足場類	内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。 (改2.2.1)																					
19 工事用水等	○ 既存施設に量水器等を設けて使用できる ・ 水道局引込み等 ・ (改2.2.2)																					
20 仮設間仕切・扉	設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。 (改2.2.3)																					

章	項 目	特 記 事 項															
● 共 通 事 項	1 総合調整	下記の項目の測定表(測定箇所は監督員の指示による)を提出する。(1.3.2) ・ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定 ・ 飲料水の水質測定 (・ 11項目 箇所 ・ 16項目 箇所)															
	2 配管等	1) 仕切弁はJIS又はJV (・ 5K ○ 10K (水道直結等の図示部分)) とする。(2.2.1) 2) 絶縁継手の取付け箇所は、図示による。(2.2.12) 3) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、排水及び通気配管を除く。(2.4.1(3)) 標準図 (・ (a)フレキシブルジョイント ・ (b) ・ (c)) による。 4) 呼び径60Su以下のステンレス鋼管は、 (・ プレス ・ 拡張 ・) 接合とする。(2.5.6(a)) 5) ポリエチレン管の接合方法は、 (・ 電気融着 ・ メカニカル) とする。(2.5.11(b)) 6) 溶接部の非破壊検査を ・ 行う ・ 行わない (2.5.16.12(3)) 7) 地中埋設機の設置箇所は、図示による。(2.7.1(h)) 8) 埋設表示用テープ (倍折り金属箔無し) を土被り150mm程度の深さに埋設する。(2.7.1(i)) 9) 埋設深さは、図示が無い場合、車両道路 (・ 60cm ・)、その他 (・ 30cm (2.7.2) ・) 以上とする。															
	3 防凍保温	屋外露出部(給水管、消火管、膨張管、冷水管、弁類を含む)は 防凍保温を行い、保温材の厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm以上、それ以外は40mm以上とする。(3.1.6)															
	4 塗装	下記の亜鉛めっきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。(3.2.1.1) ・ 機械室 (E/V機械室) ・ 電気室 (自家発電室) ・ 倉庫 ・															
	5 吊り及び支持金物の防錆	多湿トレンチ内等の吊り金物、支持金物類は溶融亜鉛めっき処理又はステンレス鋼製とする。(3.2.2.1)															
	6 監督員事務所等	1) 監督員事務所を ○ 設けない ・ 設ける [・ 1号 (10㎡程度) ・ 2号 (20㎡程度)] (4.1.1(2)) 2) 監督員事務所に設ける備品等 ・ 保護帽 ・ 安全帯 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子 ・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・ 3) 設計図を工事監理用に製本 (等倍 1部、A3縮小 2部) し、監督員事務所等に置く。															
	7 工事現場の表示板	工事現場には、下記掲示板を設置する。(記入例) (4.1.1(3)) <table><tr><td colspan="2">上段の地色は白色 文字は青色</td></tr><tr><td colspan="2">工 事 名 工 期 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日</td></tr><tr><td>発注者</td><td>宝 達 志 水 町</td></tr><tr><td>設 計</td><td>(委託業者名を記入)</td></tr><tr><td>監 理</td><td>(委託業者名を記入)</td></tr><tr><td>施 工</td><td>建 築 (施工業者名を記入)</td></tr><tr><td></td><td>電 気 (施工業者名を記入)</td></tr><tr><td></td><td>機 械 (施工業者名を記入)</td></tr></table> 60cm ～75cm 90cm	上段の地色は白色 文字は青色		工 事 名 工 期 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日		発注者	宝 達 志 水 町	設 計	(委託業者名を記入)	監 理	(委託業者名を記入)	施 工	建 築 (施工業者名を記入)		電 気 (施工業者名を記入)	
上段の地色は白色 文字は青色																	
工 事 名 工 期 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日																	
発注者	宝 達 志 水 町																
設 計	(委託業者名を記入)																
監 理	(委託業者名を記入)																
施 工	建 築 (施工業者名を記入)																
	電 気 (施工業者名を記入)																
	機 械 (施工業者名を記入)																
	設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。																
8 埋め戻し土	○ 根切り土の中の良質土 (ただし、管の周囲は山砂) ・ 山砂 (4.2.1(5))																
9 はつり	1) 放射線透過検査を ・ 行う ○ 行わない (改4.1.1) 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。(改4.1.3)																
10 あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。(改5.2.1) 2) あと施工アンカーの性能確認試験及び施工後確認試験は、図示による。(改5.2.3)																
11 県内産材料	石川県建設工事標準請負契約約款 (以下「請負契約約款」という。) 第6条の2第6項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。																
12 材料検査	請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 熱源機器 ○ 空調機器 ・ ポンプ類 ・ ダクト及び付属品 ○ 衛生器具 ・ タンク類 ・ 消火機器 ・ 合併処理槽 ・ 厨房機器 ・																

最終改訂 H29.4.1

工事名	宝達志水武道館改修工事	図面番号	M-01
図面名	工事仕様書（機械設備） 2枚組	整理番号	88
設計	 佐竹建築事務所 一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士 第80667号 佐竹 三雄		

章	項 目	特 記 事 項																											
共 通	13 工事写真等の記録 の記録	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」による。 2) 請負契約約款第14条第3項に定める工事写真は次のとおり。 ○ 地中埋設配管部 ・ 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 ・ 塗装工程 ○ 保温工程 ○ 天井、トレンチ内の隠ぺい箇所 ・ 躯体スリーブ 3) 区分による規格、枚数、部数は次による。 <table border="1"><thead><tr><th>区 分</th><th>規 格</th><th>撮 影 枚 数</th><th>部数</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>着工前</td><td>サービス版</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>工事期間中は現場事務所に整理保管し、</td></tr><tr><td>工事中</td><td>サービス版</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>工事完成時に提出する。</td></tr><tr><td>完成時</td><td>サービス版</td><td>監督員の指示による</td><td>1 部</td><td>A 4 用紙に整理したもの</td></tr></tbody></table> 4) 完成写真の撮影は、次による。 ・ 建築写真撮影業者 ○ 建築写真撮影業者以外 5) 写真は A 4 用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。 6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。	区 分	規 格	撮 影 枚 数	部数	備 考	着工前	サービス版	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、	工事中	サービス版	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。	完成時	サービス版	監督員の指示による	1 部	A 4 用紙に整理したもの							
	区 分	規 格	撮 影 枚 数	部数	備 考																								
	着工前	サービス版	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、																								
	工事中	サービス版	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。																								
	完成時	サービス版	監督員の指示による	1 部	A 4 用紙に整理したもの																								
14 部分払いの対象 工事材料	請負契約約款第37条第1項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。 ・ 機器 ・ 器具 ・ 配管																												
15 火災保険等	請負契約約款第49条に定める火災保険等は次のとおり。（加入期間は着工日より引渡日まで） ○ 組立保険 ・ 建設工事保険																												
16 耐震施工	次に示す事項を除き、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）」による。 1) 設計用水平地震力 機器の重量（kN）に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度（○内の値は水槽類に適用する） <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">特定施設</th></tr><tr><td></td><th>・ 甲類（重要機器、一般機器）</th><th>○ 乙類（重要機器、一般機器）</th></tr></thead><tbody><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td></tr><tr><td>中間階</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>一階及び地下階</td><td>1. 0（1. 5）</td><td>1. 0</td></tr></tbody></table> （注）上層階の定義は次による。2～6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階 2) 設備機器の固定方法及び計算は、独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針」（2014年版）による。 3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし水平地震力と同時に働くものとする。 4) 100kg以下の軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。	設置場所	耐震安全性の分類		特定施設			・ 甲類（重要機器、一般機器）	○ 乙類（重要機器、一般機器）	上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	中間階	1. 5	1. 0	一階及び地下階	1. 0（1. 5）	1. 0											
設置場所	耐震安全性の分類																												
	特定施設																												
	・ 甲類（重要機器、一般機器）	○ 乙類（重要機器、一般機器）																											
上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5																											
中間階	1. 5	1. 0																											
一階及び地下階	1. 0（1. 5）	1. 0																											
事	17 名札の義務	請負金額10,000千円以上の場合は、元請の現場代理人及び主任（監理）技術者は名札を常時着用する。下記の寸法等は、参考であり、社員証等に替えることができる。 <table border="1"><tr><td rowspan="2">55mm</td><td colspan="2">17mm</td><td rowspan="2">40mm</td><td rowspan="2">10mm</td></tr><tr><td colspan="2">10mm</td></tr><tr><td>10mm</td><td colspan="2">10mm</td><td>10mm</td><td>10mm</td></tr><tr><td>18mm</td><td colspan="2">10mm</td><td>10mm</td><td>10mm</td></tr><tr><td colspan="2">2mm</td><td>13mm</td><td>42mm</td><td>2mm</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">91mm</td><td></td></tr></table>	55mm	17mm		40mm	10mm	10mm		10mm	10mm		10mm	10mm	18mm	10mm		10mm	10mm	2mm		13mm	42mm	2mm			91mm		
	55mm	17mm		40mm	10mm																								
10mm																													
10mm	10mm		10mm	10mm																									
18mm	10mm		10mm	10mm																									
2mm		13mm	42mm	2mm																									
		91mm																											
項	18 退職金共済制度	受注者は建設業退職金共済制度に加入し、本工事の掛金収納書を工事着工後速やかに監督員を通じて発注者に提出する。また、現場事務所に適用標識（シール）を掲示する。																											
	19 過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長しないようにする。 4) 取引関係のあるダンパー事業車が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示等を土砂等運搬使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。 5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにする。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年8月2日法律第131号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進する。 7) 1)から6)につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導する。																											
	20 景観への配慮	本工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく下記の事業であり、景観に配慮した施工に努める。 ・ 重点事業 ○ 一般事業																											
	21 総合評価方式における技術提案	「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく、「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。履行にあたり疑義が生じた場合は、監督員と協議し、指示を受ける。																											
	22 電子納品	○ 行う（別表－2 「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない																											

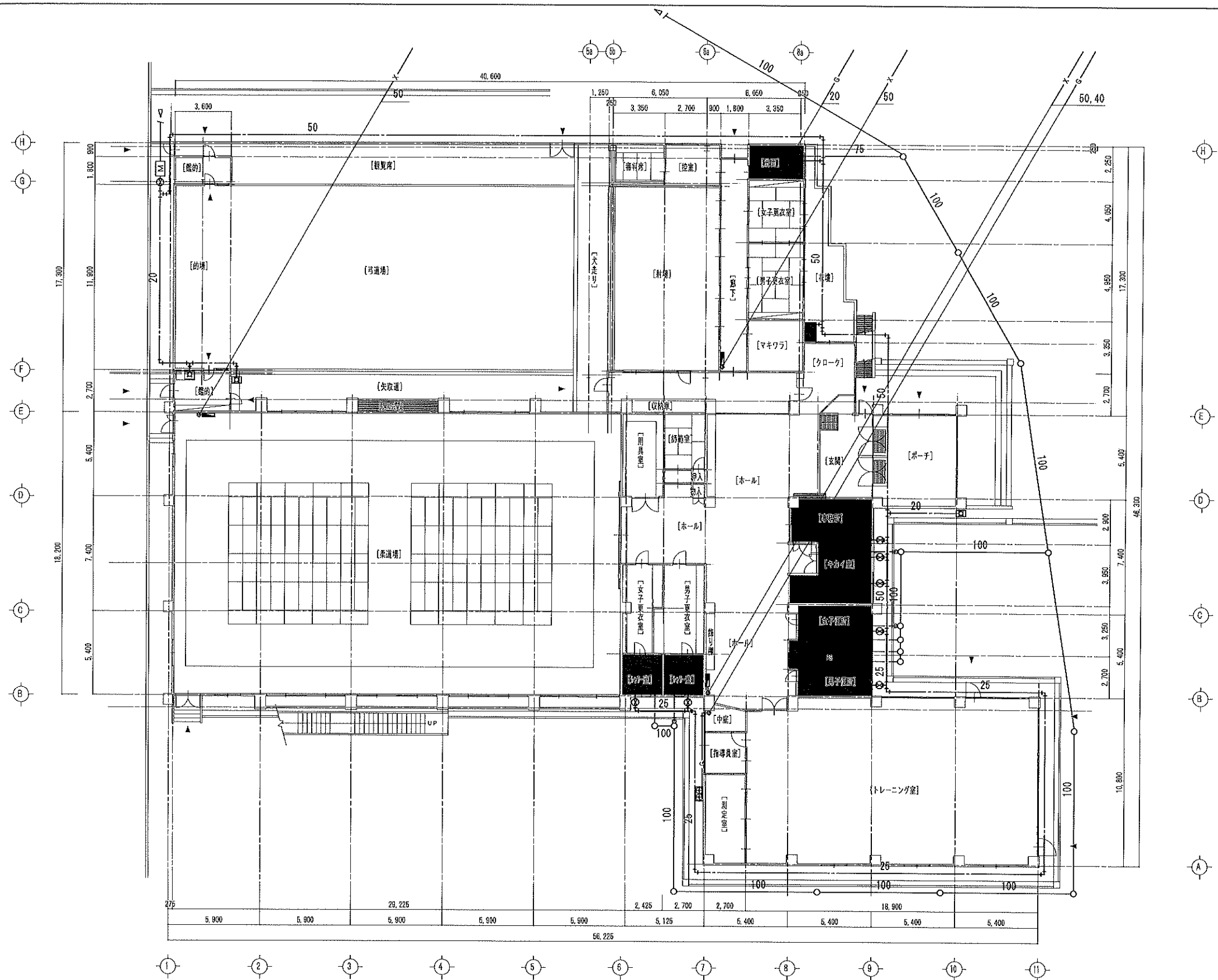
章	項 目	特 記 事 項				
● 共 通 事 項	23 公共事業労務費 調査の協力	受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査に対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 ① 調査票等に必要な事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。 ② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。 ③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。 ④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。				
	1 煙道	ばい煙濃度計取付座、ばいじん量測定口、伸縮継手及び掃除口は図示による。(1.1.9)				
	2 冷媒	パッケージ空気調和機等の冷媒の種類は、図示による。(1.7.5.15)				
	3 ダクト	1) 低圧ダクト ・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） ② スパイラルダクト (2.2.1(6)) 2) 高圧1ダクト（適用範囲は図示による） (2.2.3.1(2)) 3) 厨房用長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書の1ランク厚いものを使用する。(2.2.2.2)				
	4 チャンバー	消音内貼りを施すチャンバーは、図示による。(2.2.7.1)				
	5 風量測定口	取り付け位置は、図示による。(2.2.7.3)				
	6 瞬間流量計	・ 着脱形 ・ 固定形 を設ける。(2-2.3.8)				
	7 基礎	防振基礎は、図示による。(2.1.1(6))				
	8 保温	1) 還りダクト（RAダクト）の保温範囲は図示による。(2-3.1.4) 2) 外気取入れダクト（OAダクト）の保温範囲は図示による。 3) 外壁1m以内のダクト及び多湿箇所（図示の範囲）のダクトは保温（25mm厚）を行う。 4) 膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は、温水管の項による。 5) 建物内の空気抜き管の保温は、温水管の項による。 6) 冷媒管の保温外装は次表による。				
	調		<table><tr><td>屋内露出</td><td>○ 合成樹脂製カバー ・ 保温化粧ケース</td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>○ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース</td></tr></table>	屋内露出	○ 合成樹脂製カバー ・ 保温化粧ケース	屋外露出
屋内露出		○ 合成樹脂製カバー ・ 保温化粧ケース				
屋外露出	○ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース					
和 						

章	項 目	特 記 事 項
● 給 排 水 衛 生 設 備	1 配管材料	8) 屋内消火栓 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) 9) 連結送水管 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) 10) 給水引込管 (直結部分) は水道事業者指定のものとし、図示による。加入負担金は別途。
	2 水栓	水抜栓を使用する系統の水栓は、固定こま式とする。台所流し用水栓は泡沫式とする。(1.1.6)
	3 量水器	1) ・ 親メーター(・ 貸与品 ・ 買取) ・ 子メーター(・ 買取 ・) (2-2.2.16) 2) 量水器樹は ・ 水道事業者指定品(・ 貸与品 ・ 買取) ・ 標準図 M C 形 (1.8.4)
	4 汚水用 水中ポンプ	水中ケーブルの長さは、図示による。(1.2.7)
	5 タンクの保温	ステンレス鋼板製タンクの保温を ・ 行う。 ・ 行わない。(1.4.2.4) (1.4.2.5)
	6 緊急遮断弁装置	受水槽、高架水槽に設ける緊急遮断弁装置は、図示による。(2-2.2.22)
	7 洗面器等の 排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。(2-2.4.5)
	8 満水試験継手	図示箇所に取り付ける。(2-2.9.4)
● ガ ス 設 備	1 配管材料	1) 屋内 ○ 配管用炭素鋼管(白) (2.1.1) (3.1.1) 2) 地中埋設 ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLS1層管) ・ ガス用ポリエチレン管 3) 屋外露出、暗渠内 ・ 塩化ビニル被覆鋼管(PLV) ・ 配管用炭素鋼管(白)
	2 メーター	・ 親メーター(・ 貸与品 ・) ・ 子メーター(・ 買取 ・) (2.2.1.3) (3.1.3.4)
	3 ガス漏れ 警報器	・ 本工事 (図示による) ・ 別途工事 (2.1.3) (3.1.3.6)
	4 その他	ガス遮断装置、漏洩検知装置、電気防食措置、ポンベの転倒防止措置は、図示による。
○ 浄 化 槽 設 備	1 配管材料等	1) マンホールふたは、 ・ ボルトロックとする。 ・ メーカー標準ロックとする。(2.1.27) 2) 管材や弁類は、図示による。(2.1.30)
	2 山止め	山止め壁 ・ 要 (図示による。) ・ 不要 (2.2.1(3))
	3 維持管理	工事引渡後6ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7条検査を受検し、その報告を行う。(2.2.2)

（別表－1）他工事との取り扱い						
	工 事 内 容		機械	電気	建築	備 考
開口部	はり・床・壁の貫通部 (RC造)	スリーブ・仮枠・穴埋共	●			S造は建築
		補 強 筋			●	建築図面に図示
	天井・壁の切り込み	ボ ー ド 類 切 込 み	●			
		下 地 補 強			●	建築図面に図示
外部取付ガラリ (ダクト、チャンパの接続用フランジを含む)					●	建築図面に図示
レンジフードファン・フード (取付枠共) 及び流し台 (排水トラップ共)					●	
洗面所、手洗所等の大型鏡、はめ込型洗面器用カウンター及び身障者用手すり					●	
下流し、足洗い場及び玄関の排水			●			
床・天井・壁の点検口及び床下水槽のマンホール蓋					●	
屋内外設備の基礎			●			
屋上設備の基礎 (架台・アンカーボルトを除く)					●	
油サービスタンクの防油堤					●	
ボイラーの煙突及びプロパンボンベ庫 (既製のものは機械)					●	
実験台 (陶器製流し、化学水栓、ガス栓及びコンセント共付属品を含む)					●	
実験台への配管及び配管接続			●			
電気配線	機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)		●			二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			●		一次側
	制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線			●		
	機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線			●		

（別表－2）電子納品仕様書		
1 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R又はDVD-Rで1部納品する。 下表の電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成し、検査システムでエラーが無いことを確認する。 最後に、最新のウイルスチェックソフトでウイルス対策を実施する。		
	名 称	入手先
	営繕工事電子納品要領 (平成24年版)	※1
	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 (平成24年版)	※1
	電子成果物作成支援・検査システムVer3.0	※2
	※1 http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_eals_siryou24.htm	
	※2 http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_eals_sysv3.htm	
2 工事着手時に事前協議チェックシートを用いて監督員と事前協議を行い、提出する書類を決定する。		

工事名	宝達志水武道館改修工事	図面番号	M－
図面名	工事仕様書 (機械設備)	2 / 2	整理番号
設計	 佐竹建築事務所 一級建築士事務所 石川県知事登録1993号 一級建築士 第80667号 佐竹 三		



【既存 1階平面図 S:1/200 (A2)】

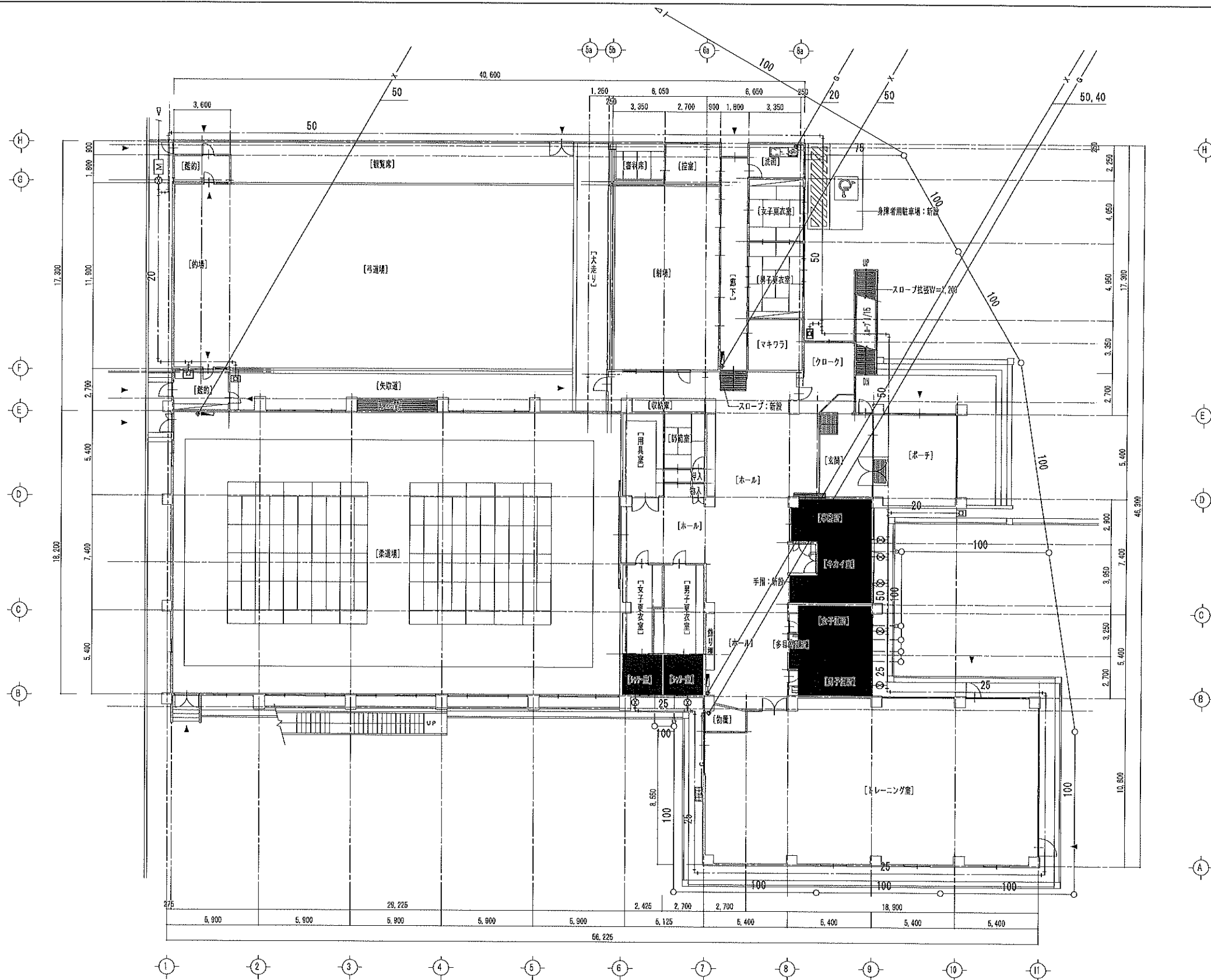
1階床面積: 1,381.065㎡

特記事項	訂正事項				所長				製図			
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正	所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号		
M-03	宝達志水武道館改修工事	給排水衛生設備 1階平面図(改修前)	A-2: 1/200 A-3: 1/282.8		1 2 3					一級建築士		



佐竹建築事務所
第80667号 佐竹 三雄

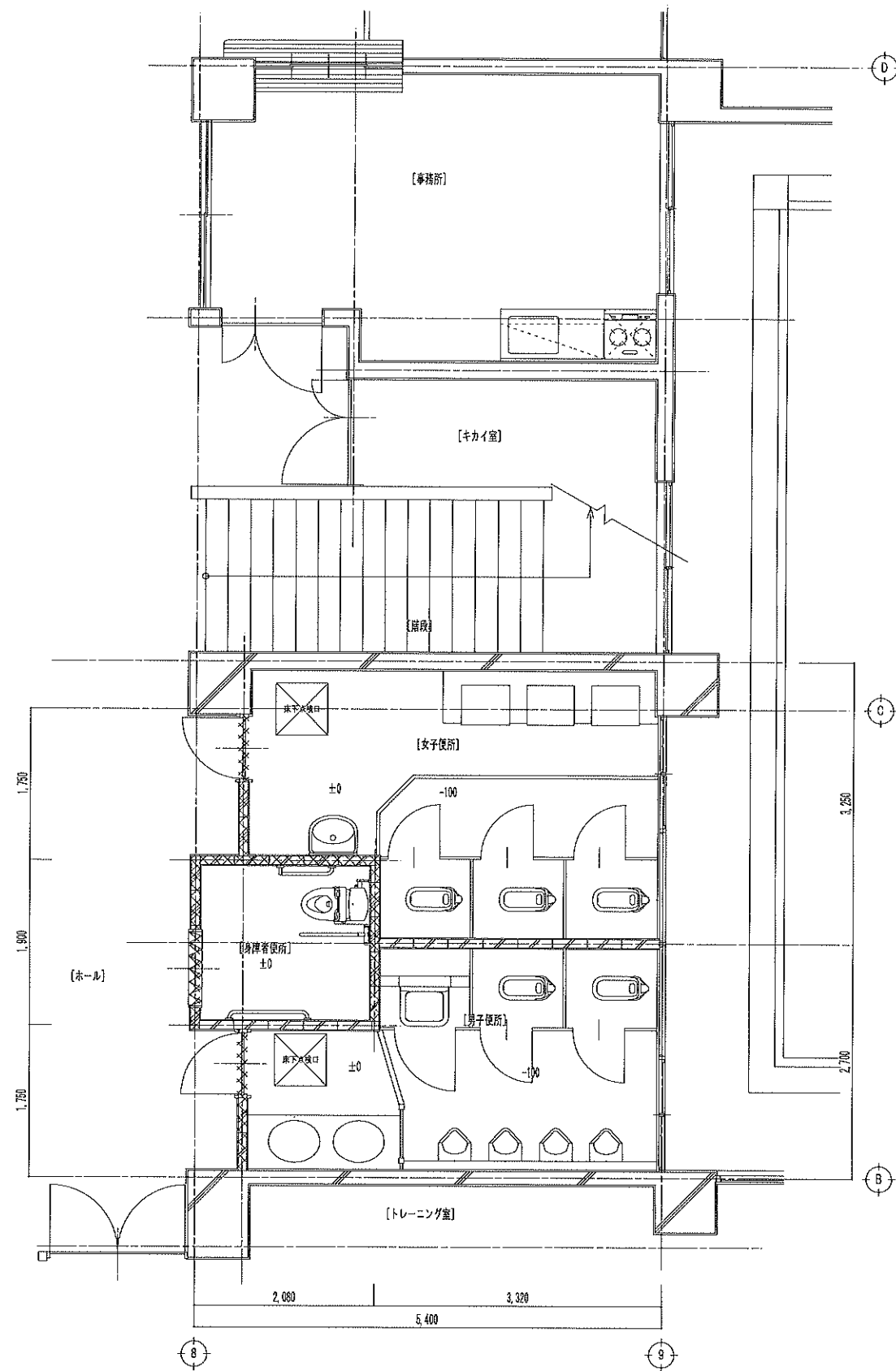
整理番号
90



【改修 1階平面図 S:1/200 (A2)】

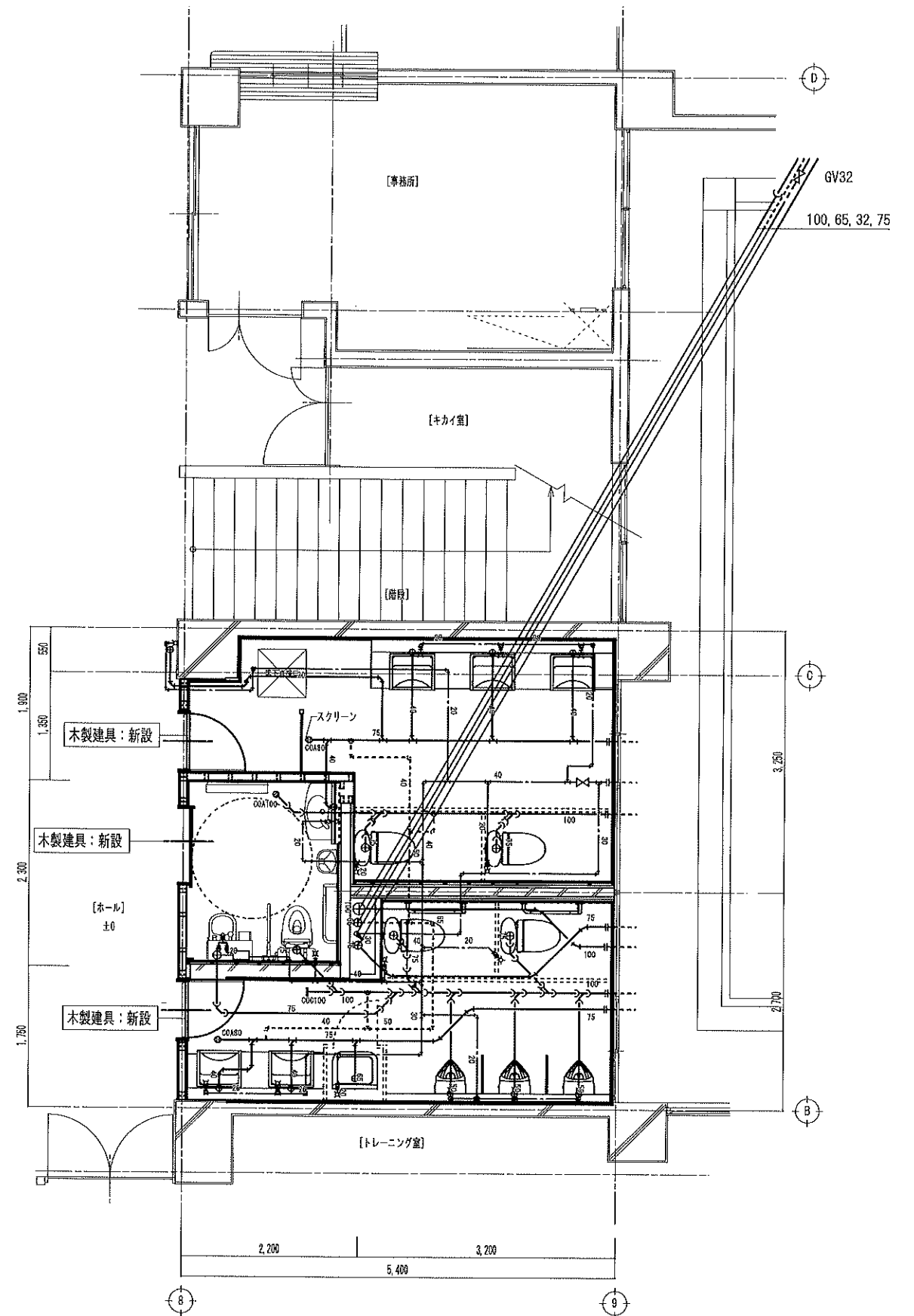
1階床面積: 1,381.065㎡

特記事項		訂正事項							
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正	所長	審査	係	製図
M-04	宝達志水武道館改修工事	給排水衛生設備 1階平面図(改修後)	A-2: 1/200 A-3: 1/282.8		1 2 3				
					一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士				
					佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄				
					整理番号 91				



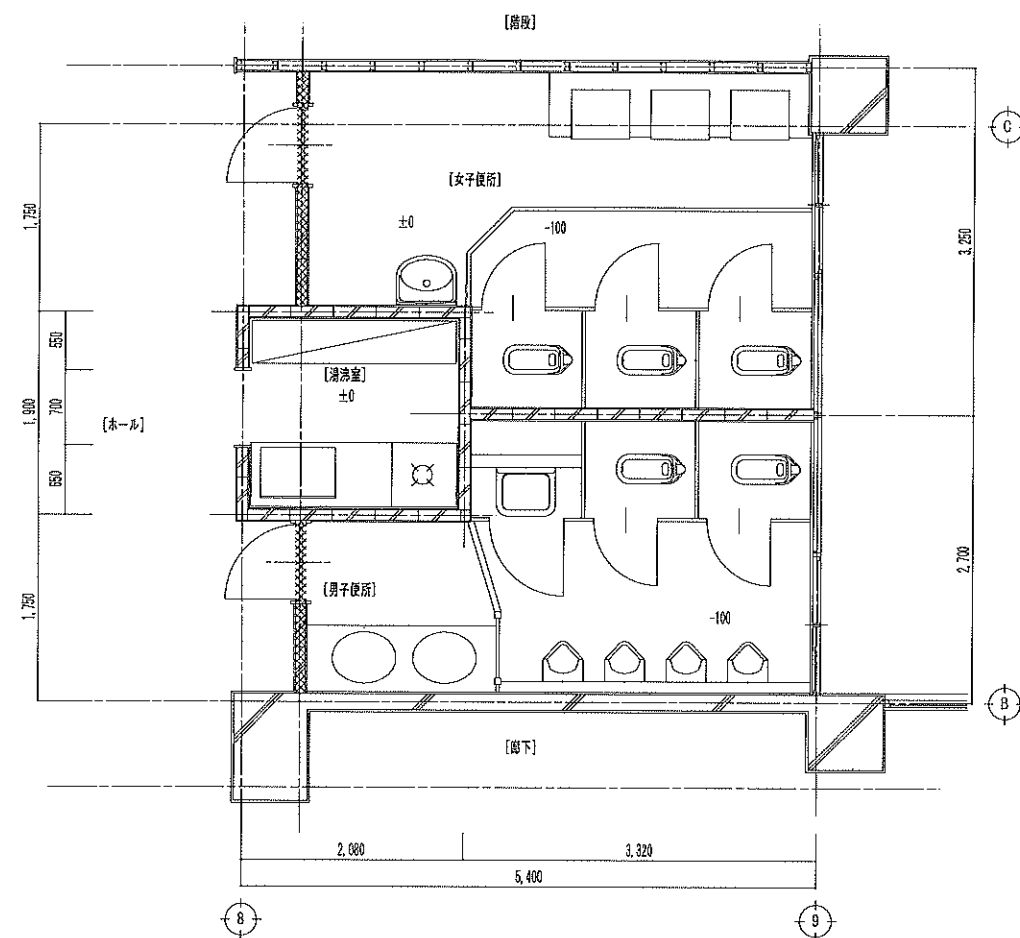
【既存 1階便所平面詳細図 S:1/50】

□ : 間仕切壁撤去



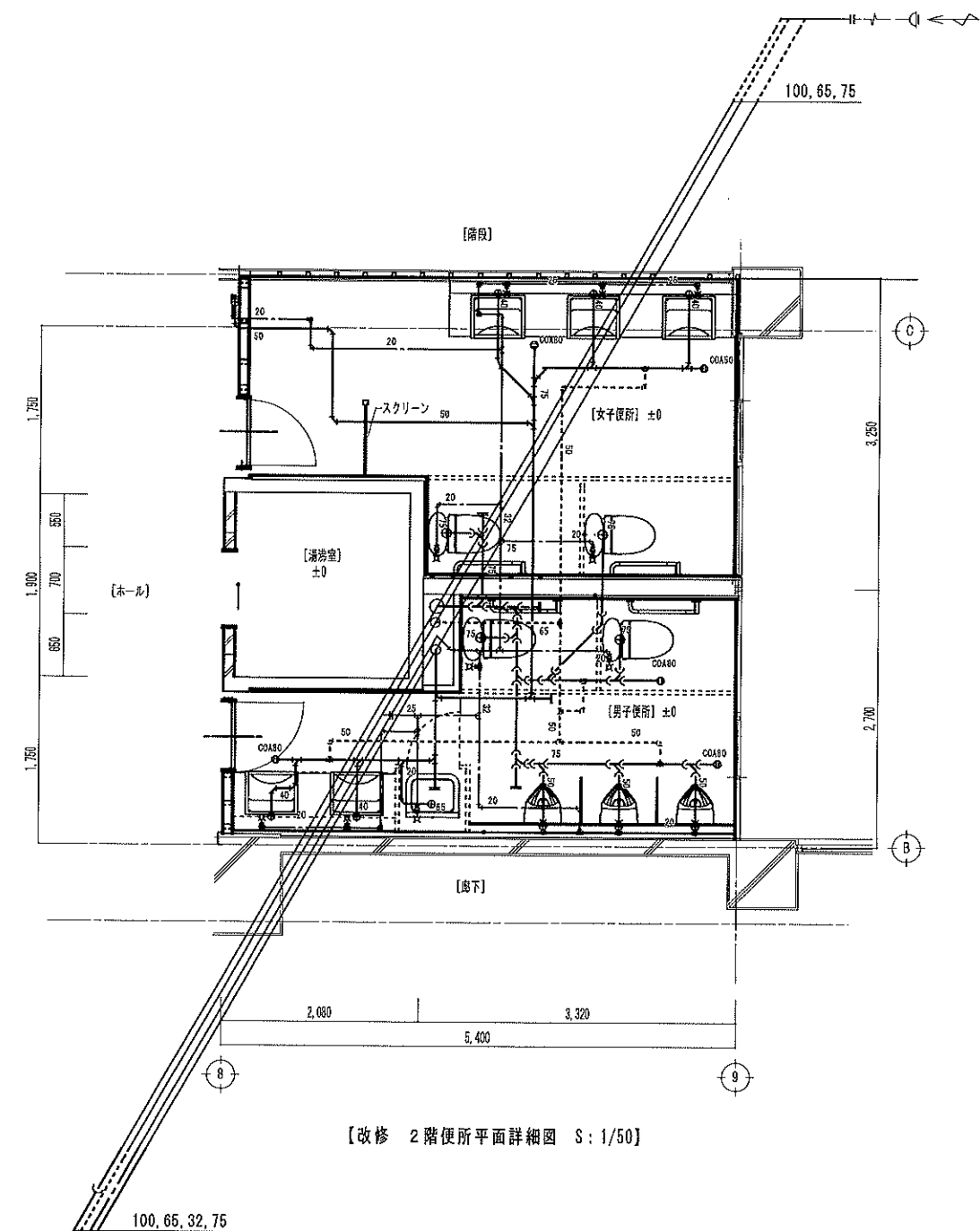
【改修 1階便所平面詳細図 S:1/50】

特記事項				訂正事項									
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正	所長	審査	保	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士		整理番号	
M-07	宝達志水武道館改修工事	給排水衛生設備 1階便所廻り詳細図(改修前・改修後)	A-2: 1/50 A-3: 1/70.7		1 2 3					佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄		94	



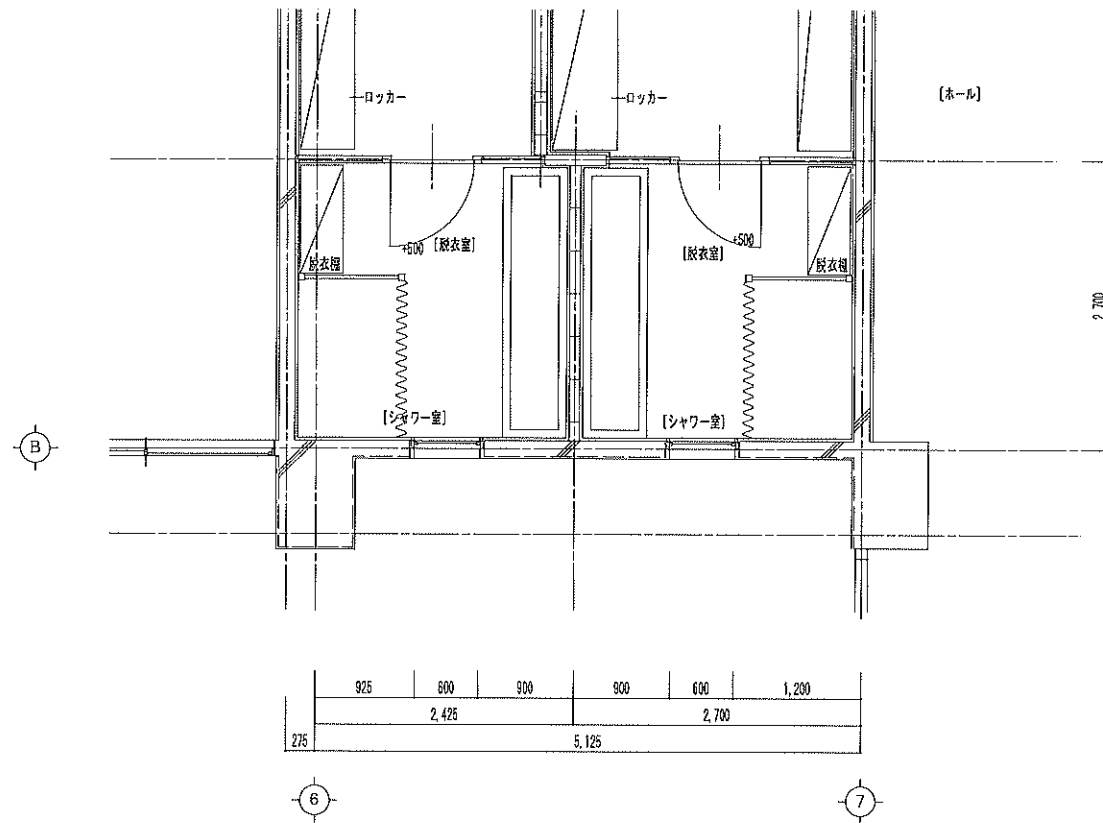
【既存 2 階便所平面詳細図 S: 1/50】

 : 間仕切壁撤去

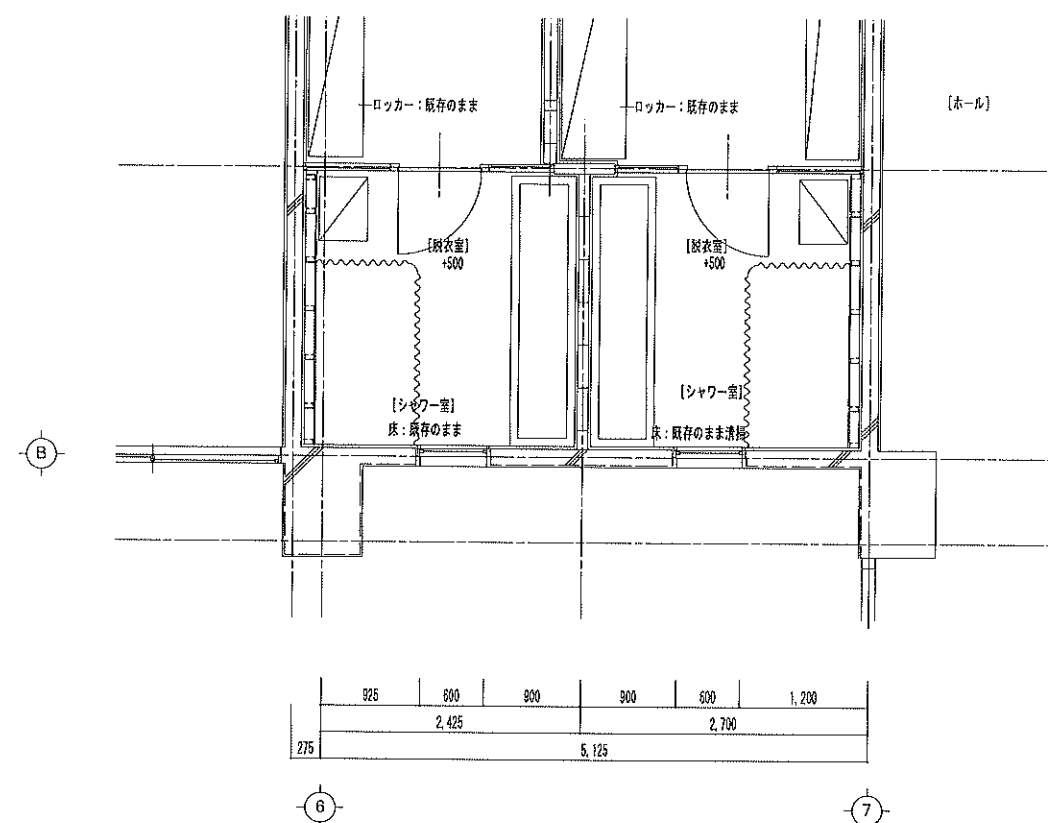
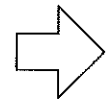


【改修 2階便所平面詳細図 S:1/50】

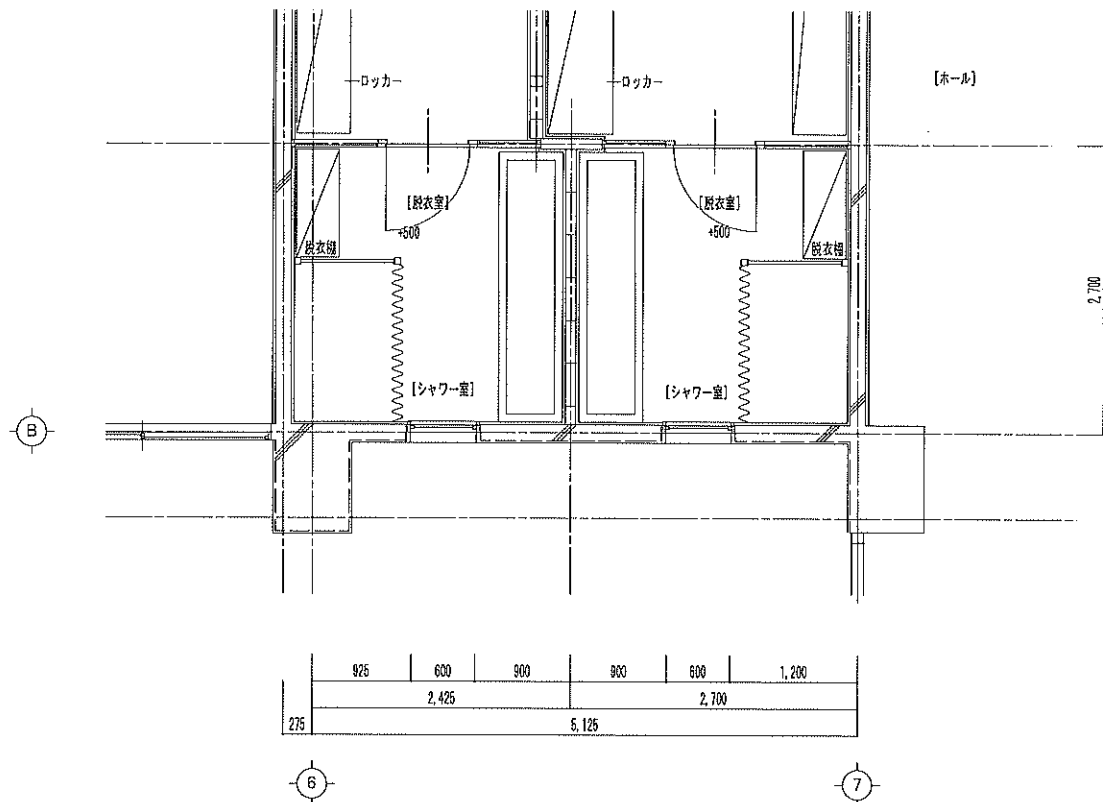
特記事項					訂正事項				
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正	所長	審査	係	製図
M-08	宝達志水武道館改修工事	給排水衛生設備 2階便所廻り詳細図(改修前、改修後)	A-2: 1/50 A-3: 1/70.7		1 2 3				
					一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士  佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄				
					整理番号 95				



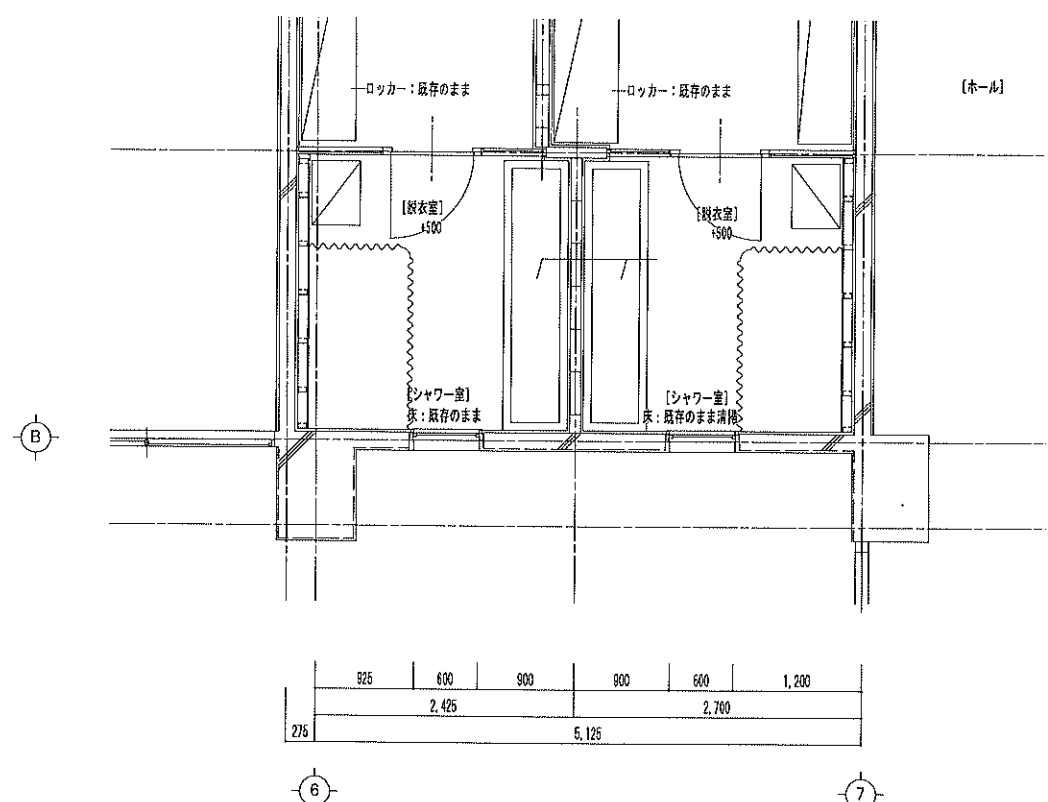
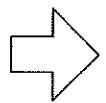
【既存 2階平面詳細図 S: 1/50 (A2)】



【改修 2階平面詳細図 S: 1/50 (A2)】



【既存 1階平面詳細図 S: 1/50 (A2)】



【改修 1階平面詳細図 S: 1/50 (A2)】

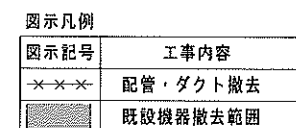
特記事項				訂正事項									
図面番号	工事名	図面名称	縮尺	設計年月日	訂正	所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号		佐竹建築事務所	整理番号
M-09	宝達志水武道館改修工事	給排水衛生設備 1階2階シャワー室詳細図(改修前・改修後)	A-2: 1/50 A-3: 1/70.7		1 2 3					一級建築士		第80667号 佐竹 三雄	96

[illegible]

特 記 事 項					訂 正 事 項														
図 面 番 号	工 事 名		図 面 名 称		縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所 長	審 査	係	製 図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一 級 建 築 士			佐 竹 建 築 事 務 所		整 理 番 号
M-10	宝達志水武道館改修工事		給排水衛生設備 器具表		A-2 : A-3 :		1	2	3								第 80667号 佐 竹 三 雄	97	

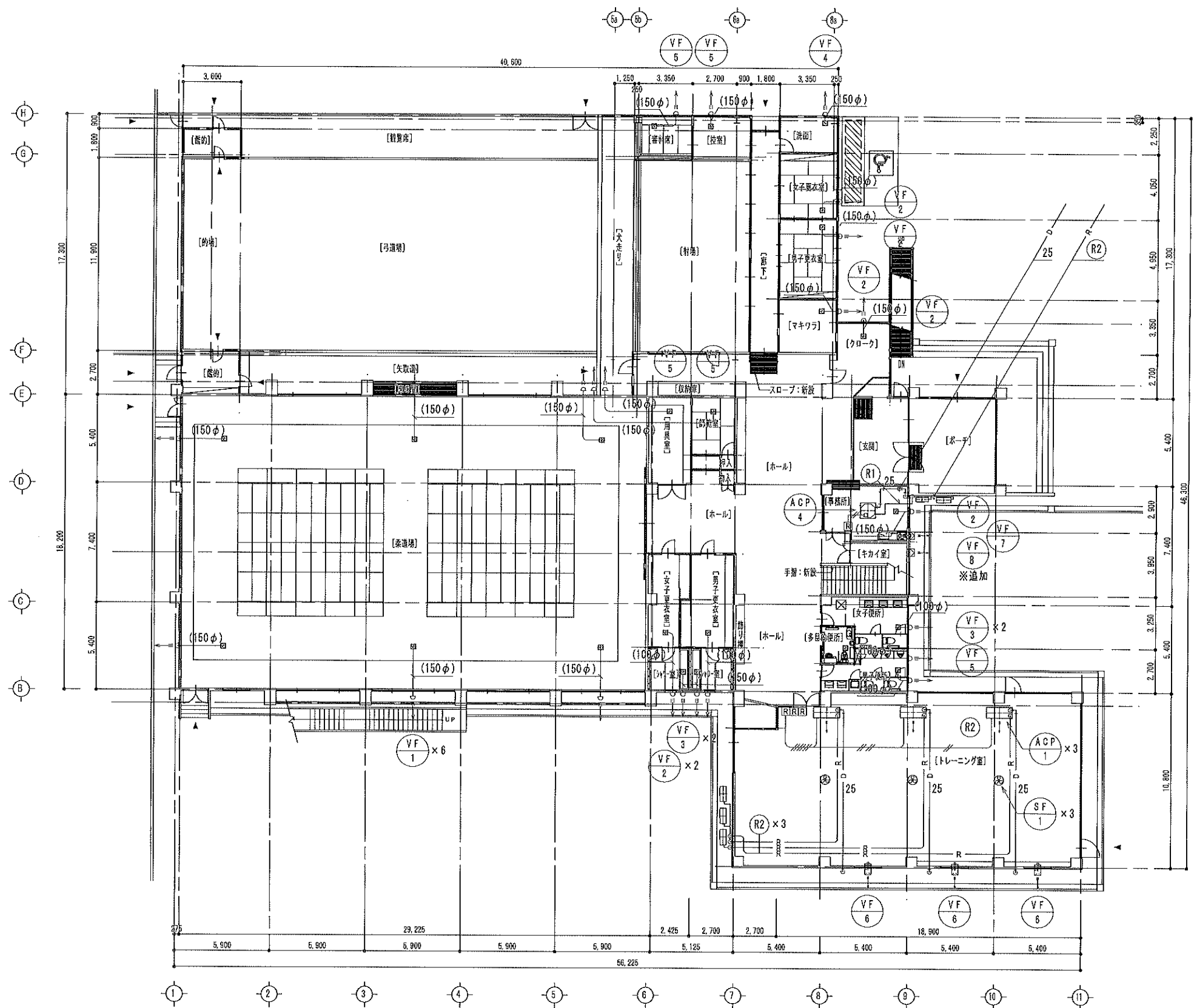
撤去衛生器具表

器具名称	仕 様 ・ 規 格	合計数量	1 階								2 階				
			事務室	男子便所	女子便所	多目的便所	シャワー室・男	シャワー室・女	弓道洗面湯沸室	屋外	男子便所	女子便所	湯沸室	シャワー室・男	シャワー室・女
和風大便器	G750V ロータンク S570B	10		2	3						2	3			
紙巻器	TS116RAY	10		2	3						2	3			
小便器	U306	8		4							4				
ハイタンク	S408B	2		1							1				
洋風便器	C48A TV140VB	1				1									
手すり	T110SAV	1				1									
手洗器	L8	1				1									
傾斜鏡		1				1									
埋込洗面器	L507	10		2	3						2	3			
壁掛洗面器	L230	2			1							1			
掃除用流し	SK22A T23AE20、TK22、TN114、T9R、HH04060、T37SGEP	2		1							1				
化粧鏡		2			1							1			
散水栓	T28UNH13 SUS製B-3・BOX共	1								1					
混合水栓		2	1										1		
シャワー水栓	TBB17DZ	8					2	2						2	2
横水栓	T131SUN13C	17					4	4	1					4	4
ステンレス流し台	一槽シンク 1, 200×550×800H	3	1						1				1		
ガス台	600L 600×550×620H	3	1										1		
ガスコック	単口ヒューズ式	3	1						1				1		
ガス湯沸器	強制給排気式 20号 給排気筒共	4					1	1						1	1
ガス湯沸器	5号 付属配管共	3	1						1				1		



1階床面積：1,381.065㎡

特 記 事 項					訂 正 事 項											
図 面 番 号	工 事 名		図 面 名 称		縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士	 佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整 理 番
M-12	宝達志水武道館改修工事		空調換気設備 1階平面図(改修前)		A-2: 1/200 A-3: 1/282.8		1	2	3							99



冷媒配管サイズ表

記号	液管φ	ガス管φ
R 1	6.4	12.7
R 2	9.5	15.9

注1、冷媒管屋外露出部はSUS板巻にて被覆する。
注2、上記の冷媒管には室内機連絡線（EM-EEF 1.6mm-3C）共巻きとする。
注3、室内機～リモコン間の操作配線はEM-GEE2.0°-2C

図示凡例

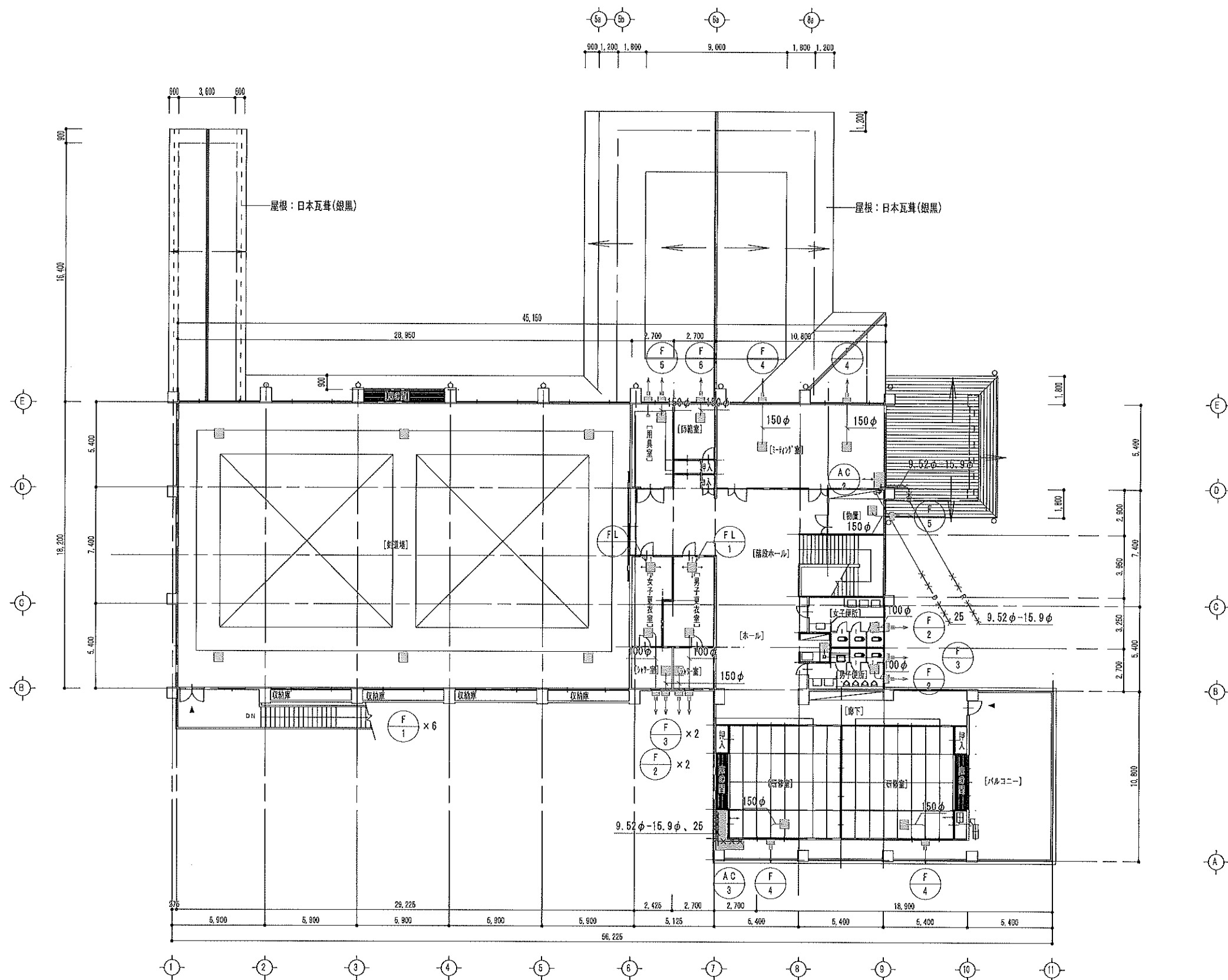
図示記号	工事内容
—	新設配管
—	既設配管・ダクト再使用（***）
★	既設配管接続部
▲	貫通はつり箇所

特記：撤去以外の再使用機器は機能点検、清掃の上再取付

【改修 1階平面図 S:1/200 (A2)】

1階床面積：1,381.065㎡

特記事項					訂正事項												
図面番号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号		佐竹建築事務所	整理番号		
M-13	宝達志水武道館改修工事	空調換気設備 1階平面図(改修後)	A-2: 1/200 A-3: 1/282.8		1	2	3					一級建築士		第80667号 佐竹三雄	100		



図示記号	工事内容
×××	配管・ダクト撤去
■	既設機器撤去範囲

※換気用ダクトは撤去指示以外は既設のまま再使用とする。
 ※換気用屋外ペントキャップは撤去とする。

【既存 2階平面図 S:1/200 (A2)】

2階床面積: 1,001.715㎡

特記事項					訂正事項									
図面番号	工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	設 計 年 月 日	訂 正			所長	審査	係	製図	一級建築士事務所 石川県知事登録1303号 一級建築士 	佐竹建築事務所 第80667号 佐竹 三雄	整理番号
M-14	宝達志水武道館改修工事	空調換気設備 2階平面図(改修前)	A-2: 1/200 A-3: 1/282.8		1	2	3							101

空調機器表

空冷式エアコン		型 式	台数	冷房能力 kW	暖房能力 kW	圧縮機 kW	送風機 kW		電源 φ-V	消費電力 kW			冷媒配管 (Cuφ)		リモコン	室外機		型 番
記号	系統・用途						(内)	(外)		冷房時	暖房時	低温暖房	液	ガス		架台	RC基礎	
ACP-1	トレーニング室	ヒートポンプ式 天吊形ドレンアップ付	3	14.0	16.0	2.83	0.15	0.1*2	3-200	5.30	4.58	7.0	9.52	15.9	ワイヤード	500H	120H	SSRH160BC 室外機耐塩害仕様
ACP-2	ミーティングルーム	ヒートポンプ式 床置形	1	12.5	14.0	2.36	0.152	0.1*2	3-200	4.30	4.08	7.0	9.52	15.9		500H	120H	SSRV140BC 室外機耐塩害仕様
ACP-3	研修室	ヒートポンプ式 床置形	1	10.0	11.2	1.79	0.152	0.1*2	3-200	2.65	2.80	3.90	9.52	15.9		500H	120H	SSRV112BC 室外機耐塩害仕様
ACP-4	事務室	ヒートポンプ式 天カセ4方向吹出形	1	4.5	5.0	0.85	0.053	0.07	3-200	0.999	1.03	1.86	6.35	12.7	ワイヤード	500H	120H	SSRC50BGT 室外機耐塩害仕様
(共通事項) 1、上記エアコンの能力表示、条件はJIS規格値による。冷媒R32, R410A 2、上記エアコンの室外機用RC基礎は建築工事、架台(溶融亜鉛めっき)は本工事とする。 3、上記エアコンの室内外連絡配線工事(冷媒管共巻き)共、本工事とする。 4、屋外露出冷媒配管はSUS製鋼板にて被覆する。 5、エアコン室外機には転倒防止金物(SUS製又は溶融亜鉛メッキ)を取付けること。																		

換気機器表

送・排風機		型 式	台数	用 途	ダクト径 mmφ	風 量 m3/h	静圧 Pa	電源・消費電力		屋 外 フ ード				備 考	型 番
記号	系統・用途							φ-V	W	材質	サイズ	形式	外部仕様		
VF-1	柔道場、剣道場	天井埋込形換気扇	12	排気 居室用	150	600	50	1-100	90	SUS	150φ	P-18VSQ4 深形フード	防虫網付	低騒音 インテリア格子パネル コントロールSW P-02SW	VD-23ZXP10-C
VF-2	事務室、更衣室他	天井埋込形換気扇	13	排気 居間用	150	270	60	1-100	36	SUS	150φ	P-18VSQ4 深形フード	防虫網付	低騒音 インテリア格子パネル 金属ボディ	VD-18ZXP10-C
VF-3	便所、シャワー室	天井埋込形換気扇	8	排気 サニタリー用	150	250	35	1-100	29.6	SUS	150φ	P-18VSQ4 深形フード	防虫網付	低騒音形 金属ボディ	VD-18ZB10
VF-4	湯沸室	天井埋込形換気扇	2	排気 台所用	150	270	40	1-100	35	SUS	150φ	P-18VSQ4 深形フード	防虫網付	低騒音形 金属ボディ	VD-18Z9
VF-5	師範室、用具庫 多目的便所、控室	天井埋込形換気扇	8	排気 居間用	100	160	60	1-100	22.5	SUS	100φ	P-13VSQ4 深形フード	防虫網付	低騒音形 金属ボディ	VD-15ZXP10-C
VF-6	トレーニング室	有圧形換気扇	3	排気 台所用	250×250	1210	0	1-100	40	SUS	250×250	W-25SBM ウェザーカバー	防虫網付	格子タイプ 電動シャッター付 コントロールスイッチ FS-01SW2	EFG-25KSB-W
VF-7	事務室	壁取付形換気扇	1	排気 台所用	200×200	588	0	1-100	18	SUS	200×200	P-20CVS4 ウェザーカバー	P-20KS3 防虫網付	電気式シャッター付	EX-20EH7
SF-1	トレーニング室	天井扇	3	サーキュ レーター		11400		1-100	56					速度調節器共	G90-WC
VF-8	キカイ室	壁取付形換気扇	1	排気	250×250	1250	0	1-100	40	SUS	250×250	W-25SB ウェザーカバー	P-20KS3 防鳥網付	電気式シャッター付	EFG-25SB

撤去空調機器表

空冷式エアコン		型 式	台数	冷房能力 kW	暖房能力 kW	圧縮機 kW	送風機 kW		電源 φ-V	消費電力 kW			冷媒配管 (Cuφ)		リモコン	室外機		参考型番
記号	系統・用途						(内)	(外)		冷房時	暖房時	低温暖房	液	ガス		架台	RC基礎	
AC-1	事務室	ヒートポンプ式 天カセ4方向吹出形	1	4.5	5.0	1	0.05	0.04	3-200	0.875	0.968	1.780	6.35	12.7	ワイヤード	500H		P50形 【撤去】
AC-2	ミーティングルーム	ヒートポンプ式 床置形	1	12.5	14.0	2.8	0.16	0.06*2	3-200	3.490	3.950	7.670	9.52	15.9	ワイヤード	500H		P140形 【撤去】
AC-3	研修室	ヒートポンプ式 床置形	1	10.0	11.2	2.1	0.16	0.06*2	3-200	2.530	2.660	5.120	9.52	15.9	ワイヤード	500H		P112形 【撤去】

撤去換気機器表

排風機	記号	型 式	台数	ダクト径 mmφ	風 量 m3/h	静圧 Pa	電源・消費電力		屋外フード			
							φ-V	W	材質	サイズ		
F-1	天井埋込形換気扇	12	150	600		1-100	160	アルミ	150φ	ダクトは既設のまま	V-23ZD2	【撤去】
F-2	天井埋込形換気扇	9	100	120		1-100	16	アルミ	100φ	ダクトは既設のまま	V-15ZS	【撤去】
F-3	天井埋込形換気扇	7	150	240		1-100	30	アルミ	150φ	ダクトは既設のまま	V-18ZS	【撤去】
F-4	天井埋込形換気扇	11	150	234		1-100	30	アルミ	150φ	ダクトは既設のまま	V-18ZX4	【撤去】
F-5	天井埋込形換気扇	4	150	318		1-100	55	アルミ	150φ	ダクトは既設のまま	V-18Z7	【撤去】
F-6	天井埋込形換気扇	3	150	240		1-100	30	アルミ	150φ	ダクトは既設のまま	V-18ZS	【撤去】
F-8	壁取付換気扇	2		1320		1-100	50	SUS	250×250		PF-25ASC	【撤去】
FL-1	脱 臭 器	6		240		1-100	80				HP-4	【撤去】